

鈴木濱治郎氏辭職、十七日ヒットラーユーゲント訪日團上陸、三十一日暴雨中に京濱電車追突し重傷三十餘名△九月十八日畏き恩召して小田原城外四ヶ所を下賜さる、十五日防空演習中に京濱電車追突重傷百二十餘名、二十一日警察署管内二萬戸軍用機銃納、二十二日H・J一行訪演、二十七日紛糾中の横濱買市長に久野上中將就任、二十九日縣の實行豫算二千五百萬餘圓(整理額百餘萬圓)△十月一日川崎市稻田町外三ヶ村を合併△四日縣會議員全員の時局委員會結成、△十一月七日傷兵療養所中郡東養野村に決定△二十二日通常縣會開く△二十八日三十年來の懸案鶴見川改修を政府で決定、三十日縣會時局委員會擴大市町村議員大會開く△十二月一ハマ港が神戸、大阪を壓へて貿易額首位を占む、大震災以來の記録六日東京開港反對意見書可決、二十三日半井知事北海道へ榮轉△十四年一月十日相模川河水統制事業起價許可△二月十八日女學生ばかりの武道大會、二十一日相模原縣警水道施行を決定、二十七日縣金融懇談會結成△三月十四日陸軍第三病院へ行幸遊ばさる、三十一日岩本縣會議長辭職△四月一日横濱市十七ヶ村を合併港北、戸塚兩區新設、四日臨時縣會開く、七日紛糾の未議長に高橋長治氏(民政)當

選、十二日横濱輸出興業株式會社設立さる、十四日縣會代表北支慰問團出發、十九日新設工業學校敷地平塚市に決定△五月一政友縣支部野方次郎代議士を除名、十七日川崎市議員市議選、廿六日閉院參謀總長官邸下陸軍第三病院御成り△六月一日ハマ港祭、七日縣南洋貿易協會設立認可、十四日中等學校入試は筆記全廢に決定、十七日藤原工大開校式、二十一日縣町村長會總會で加藤小兵衛會長再選、二十六日横濱第一區市議再選舉無投票當選決定、二十八日川崎に總動員法違反の熟練工引拔事件暴露す

六十一を算し時に比企郡吉見鎮は豫狀を呈す△九月十三日第二次防空訓練、二十八日後任浦和市長は相川宗次郎氏と決定△十月十日大元帥陛下熊谷飛行學校に行幸親しく陸の荒鷲の威容を囀せらる、二十日縣下五ヶ所に傷兵軍人の職業輔導所生る△十一月十二日川崎市議選、十四日通常縣會始まる、十六、十七の兩日朝香中將官邸下台覽のもとに縣下中等學校、青年學校聯合演習を熊谷中心で舉行、廿七日第三次防空訓練△十二月十五日問題の志木縣道秋ヶ瀬橋が開通、十二日縣會最終日、十四年度豫算九百二萬八千七百圓原案通り可決、次期議長は民政岩田鹿太郎氏に決定△十四年一月十六日露の勇士一千名を以て獨逸會生る△二月十四日警察部警務課防空係が警防課に獨立、同部長書記室が廢止されて他の三課へ分轄合併△三月十四日絹織物値下の省令公布に秩父銘仙市休業一時海風を呈したが間もなく復活、三十日浦和裁判所長三輪智氏が勇退、後任は千葉所長立石種一氏△四月九日縣招魂社が護國神社と改稱されてより初の大祭が行はれ支那事變關係の二百六十六柱の英靈合祀さる、十三日官幣大社水川神社本殿立柱祭畢上棟祭、十五日百萬圓事件として有名な元本縣會計課長福田清次(元越ヶ谷町長有禮七藏(七七)の兩名に對し大審院で各懲役八年(未決二百日通算)の判

決あり△四月一二十七日大元帥陛下には豐岡町陸軍航空士官學校に行幸遊ばさる△六月一十三日三年ぶりに福價協定成立

千
 十三年七月一水大洪水利根沿岸を襲ふ傷兵軍人療養所の地均工事終了學生生徒青年團の勤勞奉仕一萬二千名△八月一經濟警察店開き、中等野球南關東大會、物價委員會議決、天皇陛下下更津海軍航空隊行幸△京成電車墜落事件死傷十七名△九月一暴風雨再び襲ひ農作物大被害防空訓練、傷兵軍人療養所初代所長に堂野前維摩博士決定、大利根大改修案成る△十月一鶴風三度縣下を襲ふ、被害對策の臨時縣會召集△十一月一國民精神作興週尚、政府買上綿布の配給割當組五・五、産組四・五と決定通常縣會開き總豫算九百四十六萬七千餘圓で前年度より五十萬一千圓を減す、市川市會議員選舉、男女青年團長大會、工業化委員會結成△十二月一十年の歳月を経て津村問題解決、傷兵軍人千葉療養所全國に魁けて開所、縣會議長星野憲吉氏(政)副議長伊藤博愛氏(民)當選、船橋市長に後藤秀四郎氏當選△十四年一月一多知事東京市教育局長に就任、立田知事鳥取縣より着任、十三年度米實收高百九十五萬九千七百餘石△二月一縣下中等野外演習に三笠宮殿下臨臨、經濟更生委員會改組強化△三月一臨時縣會開き野田農校の工科

併置と千葉市立工業の縣會決定、大利根改修經費九百二十萬圓と決定△四月一縣三部長更迭、總務渡正監、經濟高辻武邦、警察伊能芳雄氏着任、十四年度の縣府善目標一億圓と決定、傷兵軍人療養所へ皇后陛下より草花球根種子下賜△五月一匝郡郡豐畑村に天然痘發生、體操大會開く△六月一初代專任警防課長に山口忠藏氏、興亞青年勤勞報國隊出發、秋肥の割割當決定、本社健康優良兒童特選に神里俊典主筆東子嬢入る

茨
 十三年七月一二日猛雨また襲來、五日御救恤金下賜、十日畏き聖旨を奉じ入江侍従水戸、土浦を視察、十九日水害對策の縣會全員協議會開く、三十日第一回物價委員會で最高價格決定、五十九種目は中央より下値△八月一二十七日縣北に豪雨死傷行方不明四△九月一日暴風雨全縣を蹂躪、死者十八、流失倒壞八百餘戸、冠水一萬餘町歩、農作物の被害九百萬圓、四日全日本青年學校相撲大會豫選大會開催、五日麥收穫高百四十萬石で全國一と發表、二十六日利根川大改修費縣負擔八百四萬圓と關係知事協議會で決定、三十日ヒットラー・ユーゲント來縣、水戸學に感銘△十月一六日應召商業者營業援護委員會設置、二十日戰歿勇士慰靈祭を借樂公園で執行、水害救農工事業費百三十萬圓決定、二十七日災害復舊對策臨時

縣會開く△十一月一二十一日通常縣會開幕十四年度豫算一千二百五十五萬五千圓、二十六日非常時色の防空演習始まる、金利協定懇談會で三分五厘乃至三分六厘に引下げ決定△十二月九日災害復舊土木工事業に百萬圓を追加縣會へ上程、十四日耕地復舊に十三年度より六ヶ年繼續で五百四十七萬圓計畫、十五日鹿島、筑波兩航空隊開隊、十七日縣會杉大豫算を對吞み、縣債二千萬圓を突破△十四年一月一十一日新知事に吉永時次氏、十三日新經濟部長に高橋一郎氏、十八日井川氏陸軍參謀官に△二月一十日古渡村の畫火事烈風中三十一棟燒く、十一日節婦、孝子、功勞者表彰十八日大水害を克服して煙草增收百萬圓水戸專賣局發表、青年團が積極的な經濟運動の指針決定△三月一十日夕刊千葉茨城版を分離し夕刊茨城版を獨立、十六日護國神社を二十五萬圓で建立の大綱決定△三月一二十二日利根川改修の縣費負擔内務省で四百六十七萬八千圓と決定△四月一一日多賀郡河原子、國分崎川三町村を合併多賀町誕生、二十一日新學務部長に渡邊二郎氏△五月一一日警防團結團式水府グラウンドで舉行、二十五日秩父宮殿下内原訓練所へ御成△六月一十三日待望の重要肥料縣への割當數量決定、廿四日興亞勤勞報國隊茨城隊内原を出發△七月一十日多賀高工開校さる、十一日日立、助川兩町會九

月一日より合併市制施行を決議内務省へ上申

木 柵

十三日七月七日支那事變一周年愛國行進、九日武勳輝く土肥原將軍宇都宮入り、二十日皇太子様日光へお成り遊ばさる△八月十五日各署に經濟保安係新設、十六日鹽原に傷兵温泉療養所建設と決定、二十日高原コウゲンバス運轉、廿二日三内親王様那須にお成り遊ばさる、二十八日ヒットラーニューゲント來縣△九月一日颯風三十六の生靈を呑み農作土木被害二千萬圓、四日東宮川温泉ホテル外百三十一戸鳥有に關す、十五日護國神社造營敷地市外駒生に一萬二千坪と決る、二十七日縣會郷士將兵慰問代表出發△十月十三日縣廳舎竣工式△十一月十四日通常縣會開く、十四年度豫算總額七百三十四萬九千八百餘圓、十八日縣物價委員會で鶏卵その他の公價決定、二十九日松壽園落成△十二月一日東電の直下げ實施、五日朝香宮殿下日光並に宇都宮にお成り遊ばさる、七日巴波川の改修七十萬圓をもつて施行と決定△十四年一月十二日佐久山併置校でストロウ機銃四名重傷、二十六日中等學校入試考査は算術と讀方に決定、二十九日少年警察官初めて採用△二月六日縣に警防、職業兩課新設、十七日混砂米禁止は五月から實施と決まる△三月二十二日一ノ澤を宇都宮市に編入と決定、三十一日中小教員千餘名の

馬 群

異動△四月十日朝日森神社社に昇格、十二日女青代表大陸視察に出發、十四日縣に精勵事務局開設、二十日縣の四部長更迭、二十九日白柏少佐以下五百二十四柱新に護國神社に合祀△五月十三日體協主催體操大會宇都宮市外六ヶ所に開催、廿七日下野愛郷會結成△六月二十一日岩舟村に天然痘發生、二十五日農保聯合會結成△廿六日肥料の割當比率産組三〇・九、商人六五・一と決定、二十七日山田師範校長殉職
十三日七月一日東毛地方水害、二日護國正仁親王殿下伊香保温泉御成り(九月廿三日御歸京)、八日第一回地方物價委員會開く、十日若井田久野村隊歸還、十三日人民戰線勞農派事件發表、十五日安中町碓氷炭礦坑道積事死者二名重傷五名、全國草刈選手權大會縣下豫選に青木初太郎君優勝△八月一日群馬郡長野村旋風で十戸全半壊、卅一日豪雨死者三十三名、流失家屋三十九戸、浸水家屋一千餘戸、損害約八百萬圓△九月七日水害罹災地(御下賜金、十九日河川改修工事に抜打的休工命令下る、二十七日熊谷陸軍飛行隊分隊開場式△十月第一回青年團中等校愛國大會、二十五日新田郡世良田村未教育補充兵滿載のトラック群馬郡金古町で翻落即死一名、百傷二十餘名△十一月十三日前橋統後奉公六

東北・北海道

福 島

行進、相生體操大會、四日再編成の縣豫算成る、總額七百六十五萬七千六百圓、六日前橋高橋體操大會、十五日縣會召集、廿九日吾妻郡嬭村大火で二名燒死、七十一戸三百棟燒失△十二月二日中高飛行機前橋分工場地鎮祭十四日縣會終る、十九日前橋放送局閉鎖△十四年一月十下仁田町に大火廿六戸全焼、十六日細矢部隊歸還、二十二日群馬時局懸談會結成、二十五日長谷川横領長官來縣、二十八日教員保養所前橋市外龍泉に決定△二月一日世紀の英雄高橋福次郎准尉中支に散る、六日遠藤部隊歸還、二十二日前橋市豫算に改編命令、佐藤總務課長引賣辭職△三月十四日絹織製品價格抑制で渡津地騒ぐ、二十二日伊織新組合長小暮重三郎氏と決定△四月十一日白根機銃、十七日知事更迭後任熊野英氏、二十日四部長更迭、二十三日勢多郡芳賀村一戸五名殺傷△五月十四日三市體操大會、二十日縣教育刷新要綱成る△六月十二日組合製糸平衡積立金決る、七日織機登錄制發表さる

十三日七月一日水魔縣下を襲ひ損害六百萬圓、十一日伊達郡立山山村地内阿武隈川で渡船船覆十一名溺死△八月十八日中線開通、十四日

矢吹ヶ原國營開墾農林省議で決定、三十一日ヒットラーニューゲント來縣△九月一日縣下に豪雨襲來、損害八百五十萬圓、家屋流失二十一、溺死十七名、三日二區選出代議士渡邊松氏死亡、十一日全國青年學校相撲本縣豫選郡山市麓山公園で開き浪江青年學校優勝、十二日防空演習始る△十月一日白棚線國營となる、四日製本宮殿下武徳殿竣工式に台臨遊ばさる、廿一日北島顯家卿六百年祭靈山神社で舉行△十一月十六日より數日間縣下に強震襲き被害あり、二十四日石川郡蓬田村に有力者を含む保險詐欺團發覺、同日皇軍慰問郷土演藝團結成、二十五日縣會召集、豫算一、八九九、七二四圓△十二月一日田村郡船引町大火、五日矢吹ヶ原開墾發達會結成、二十四日強通暴風あり沈没船百十一隻、損害五十萬圓△十四年一月十三、四日中等スキー大會會中優勝、二十一、二日縣下スキー大會、沼尻優勝△二月十六日各郡市に經濟更生委員會設置、十七日乃木庵建設案福島市會で可決、二十一日前村長殺し信夫郡水保村長梅津津一(急)懲役十五年判決(求刑無期)二十七日中村町大火△三月二日内親王様御誕生御乳人として喜多方町矢部善兵衛氏夫人、矢部經子さん上京、六日會工機械料新設、相馬商業新設須賀川商業昇格認可、福師野球部解散、三十一日教員異動發表總數千四百四十三名△四月

城 宮

一日招魂社護國神社と改稱、消防組解散、警防團生る、六日内閣書記官長太田耕造氏就任、警察部情報課廢止警防課設置、十一日土木部昇格、部長は後藤季總氏、廿一日總務、警察兩部長更迭△五月一日青年團改組規則改正、二十日耶麻檜原大火五十四棟全燬△六月十一日木戸内相來縣三日間縣内視察、二十九日朝香宮殿下御來縣軍需產業觀視察遊ばさる
十三日七月一日降雨廿一日に及び各地に水害、八日東北大學醫學部診療團滿洲へ出發、十五日教員保養所完成△八月十三日縣經濟保安係設置、十五日臨時負債處理委員會成る、十八日澁谷仙台市長三選△九月一豪雨禍(被害七百萬圓)角田署長外一名殉職、五日臨時縣會開く、十一日縣に八十一日抑留された大成丸釋放、十一日ヒットラーニューゲント來縣、十六日第二回青少年義勇軍三百餘名出發、廿二日仙台大橋開通、廿六日鹽釜の志波彦神社遷座祭△十月十五日シユネーダー博士逝く、十日阿武隈鐵橋横取り作業に成功、廿一日大陸の花嫁廿組菊山知事の媒酌で結ばる、廿八日練習機初の遭難機田助教殉職△十一月五日強震、七日石巻市長佐藤眞平氏辭職、十二日縣廳講内の孔子廟卅年振り開扉、十六日縣會開く豫算九百四十七萬餘圓、廿六日防空演習始る、廿九日

手 岩

物價調整協力委員卅名編成△十二月十三日仙台番街の火事、廿日古川町に産婦病院設立、卅一日女川町大火△十四年一月廿日仙台無電局開く、廿一日米實收高百九十九萬餘石△二月七日縣地方工業化委員會成る、廿六日日本吉郡戸倉村大火△三月一日仙台龍寶寺の經藏燒く、十一日尾崎行雄氏廿二年振りの飛行練習、廿四日軍用候補馬宮城野原で大鐵鍊△四月一黒川郡粕川に女自警團、十七日菊山知事去り山口縣戸塚九一郎氏來任△五月十三日全國小學校女教員大會、十五日農試で田植競技、二十日前田鐵相來縣、廿四日全國方面委員大會厚相臨席△六月一日縣に警防課、工場課新設、七日護國神社遷座、十二日鹽釜大火、十五日日本吉小泉大火、二十日木戸内相來縣、二十七日荒木文相仙台へ、纏れた石巻魚市場は會社案で解決
十三日七月一日縣職業課店開き△八月十七日盛岡放送局開局す、十七日豪雨襲來七被害二五〇萬圓△九月一日二十日に暴風雨襲ひ行方不明三一名、損害二五〇萬圓、十日ヒットラーニューゲント來縣六原で交離、二十五日秩父宮殿下の台臨を仰ぎ若人汗の結晶に成る岩手飛行機受納式舉行さる△十月二十日福岡町でサカスの壯獅子檻を脱出小犬を一吞す△十一月十三日本社後援體操大會開催加十餘萬盛況

この月釜石港南橋竣工、工費二百萬圓、二十三日...

形山

十三年七月一日配給制限のため、縣下二千台の織機止り名産の織製...

青森

米の出来不出来が縣民の經濟的死命を制する本縣は、未曾有の豊作が昭...

秋田

十三年七月一日田澤水國警團開墾工事、事變一周年千秋公園で市民大會...

北海道

四月一河邊郡濱田村三十戸焼く、小産業士五百八十餘名を乗せた少年就職列車...

百二柱遺る……遺骨傷病兵の歸還、新鋭部隊の出發交替等戦線との間の往復漸く繁し...

勝す△十月一札幌、函館、小樽、室蘭、旭川
釧路の各市議員總選舉行はる、夕張炭礦
殺百五十八名慘死す、車條代議士失格△十一
月一釧路飛行場完成、第五區の代議士再選舉
に東條氏當選、十四年度拓計豫算二千九百八
十二萬千五百九十四圓と決定す△十二月一北
滿警備の勇士還る、道會無事終了十四年度北
海道地方費豫算一千五百七十九萬四千二百六
十七圓無修正にて可決確定、石黒英彦長官又
部次官に榮轉後任神奈川縣知事半井清氏△十
四年一月一留岡總務部長秋田縣知事に榮轉し
岩上夫美雄新總務部長來る、夢ノ海で開かれ
た第十回全日本スケート選手權大會スピード
競技で本道女子軍新記録を樹立、根室本線十
勝茅室で旅客列車翻覆重傷者多数を出す、
釧路大藥毛沖合で遭難船救助作業中無残十八
名溺死△二月一全日本スキー選手權大會で北
海道軍振ふ、千島寶庫開鑿に調査所を設置△
三月一市長選舉から旭川市會流血の慘、新市
長に足立助役昇格と決定、日本海産物會社設
立反對に本道輸出組合員大舉上京陳情す、新
設高等工業室蘭市に設置と決定△四月一函館
市湯ノ川町と合併、北大に醫學新設、遠山經濟
士肥警察、高計學務各部長轉出し學務平本義
隆、經濟松崎陽一、警察齋藤亮各部長來る、
天龍坑ガス爆殺し死者二十名△五月一不良注
射藥から病死馬百五十餘頭を出す△六月一第

二區代議士補選で松浦周太郎(民)村上元吉
(政)兩氏當選、北大の父佐藤昌介男逝く、肥
料割當問題で産租商人對立深刻化す

中部地方

十三年七月一六月末よりの豪雨で三
日東海道線薩埵峠附近崩潰不通、縣
下の被害三千萬圓、内務省土木出張
所天龍川改修工事監督技手等三名
疑獄に連坐収容、十七日藤原郡初倉村で折詰
の中毒五十名、縣茶聯總會で四番茶摘採禁止
を決議、三十日尾崎靜岡市長辭職△八月一三
日水禍再び襲來浸水一萬戶、禁煙違反の檢舉
始まる、取調へ六百餘、起訴八十五名、十日
清水商工會議所議員改選、二十日靜岡市長に
相繼次氏當選△九月一三日濱松市議選舉棄
權二割七厘、十二日駿河、伊豆兩銀行合併、
十六日濱松市會議長に内藤惣一氏當選△十
月一一日富士身延線國營となる、九日靜岡市
助役に足立達夫氏當選△十一月一八日飯沼知
事廣島へ轉、後任山崎慶氏、十八日通常縣會
召集豫算千九百九十二萬圓、加藤七郎氏縣會
議長に當選、靜岡市會議長に手塚六郎治氏當
選△十二月一十五日伊東線全通△十四年一月
一義兵隊津町伊藤公郎に御遊學、煙津驛で
入營兵隊送者三名犠死、二十二日靜岡商工會

月一三十一日から十月一日にかけて颶風襲來
中央線に故障釀出、道路河川田畑の被害甚大
△十月一富士身延鐵道の國營移管、富士身延
鐵道は昭和二年春東海道線と中央線を結ぶ目
的で完成し日蓮宗大本山身延山參拜と富士遊
覽線として有名となつたもの、九日朝日新
聞社後援體育協會主催縣下體育大會縣警競技
場を開く、十七日甲府市制施行五十年記念
祭、甲府市は五十年前戸數六千八百五十、人
口三萬一千人であつたが今日二萬一千三百
戶、十萬四千人に達してゐる、二十日甲府
市鶴舞公園で事變病死者の慰靈祭執行四百
餘柱の英靈に對し全市民は心からの感謝を捧
げた、二十八日漢口陥落記念後奉公大行進
舉行朝日新聞社と山梨縣の主權△十四年一月
一五日鹽山町出身廣瀬久忠氏厚生大臣に決定
郷黨達「山梨縣最初の大巨匠」として歡喜、十四
日甲府市武田神社で知事夫妻媒酌大陸建設の
移民花嫁花婿十組の共同結婚式、十四日甲府、
東京をつなぐ青梅線開鑿東京市で内諾△二月
一十一日聖戰下の佳節甲府市民一萬人の愛國
行進△三月一五日津田部隊英靈七十六柱歸還
す、七日縣出身田邊治通氏逝相と決定、大臣
を持たなかつた山梨縣一時に二人を出す、二
十二日維新以來の戦没勇士を祀る護國神社建
立に決定、工費二十萬圓の豫定△四月一十四
日山梨縣體操大會舉行△六月一十七日甲府と

東京を結ぶ國道青梅線起工式舉行さる

長野

十三年七月一縣招魂社本本市に決定
新警察部長沼越正巳氏、各地水禍に
見舞はれ被害總額一千五百萬圓殊に
南信に甚し、タイ國より寄進の佛骨
善光寺臺上殿に納む△八月一東信電氣和田澤
發電所トンネル工事で生埋の十五名百廿六時
間救出さる、縣公定物價現市價より一二割
安に決る、縣内バス業者大合同を承認△九月
一公益質屋で米麥擔保の貸付開始、縣體育審
議會生る、縣十三年度實行豫算で二百三十萬
圓節約△十月一木炭縣營検査實施、預金利率
三分六厘以内引下げ、安房峠自動車道路完
成、新警務部長西岡廣吉氏、長野愛國飛行場
成る△十一月一縣招魂社の御靈代三千七百四
十柱長野より松本へ奉遷、十四年度豫算一
千七百七十萬四千圓成る△十二月一新知事富田
健治氏、縣總生産額三億一千五百一萬八千圓
(五分九厘増)、全町村部落に産業奉仕隊組織
に着手、愛護支部が婦人滿蒙開拓修練場及び
傷痍軍人配偶者養成所開設決定△十四年一月
一信越國境荒れ列車運休續出、經濟部中心に
縣行政調査會強化△二月一縣一千百萬圓増産
案成る、十三年繼續九千三百七十餘萬圓の大
治水事業計畫成り縣に砂防課新設△三月一釘
針全機械類に切符制實施、大日方村二百戶分
村完了△四月一全部落毎に常置強制設置、論

讓所會頭甲賀菊太郎氏辭職後任に尾崎元次郎
氏、廿四日愛知、兵庫、大阪を襲つたピストル
魔神田芳一警田郡井通村で高林源太郎夫婦を
射殺逃走、三日横光吉規氏濱松市長に再選、六
日臨時縣會召集工業用水敷設豫算百五十萬圓
可決、十六日縣土木部長關谷新造氏死亡、十
七日富士川釜口橋と共にトラック墜落五名即
死、十八日大陸拓士十八組淺間神社で集團結
婚式△三月一二十八日田中光顯翁蒲原町で逝
く享年九十七、徳川家達公を名譽會長に黒船
協會生る△四月一一日靜岡市制五十周年記念
式、伊東町崖崩れ死亡九名、十六日山崎知事
土木局長へ、新知事は農務局長小濱八彌氏△
五月一十日仙台乗員養成所視察靜岡市馬淵町の
人家に墜落二死傷、二十日縣議小林儀一郎禁
錮事件で檢舉、違反數百名に上り縣工務課技
手も連坐す△六月一十四日沼津兵學校七十周年
記念式

山梨

十三年七月一十三日計畫中の甲府
博覽會は時局極斷然中止と決定、十
八日、獨、伊、葡、ハンガリー、スベ
イン、中華民國代表の防共協定富士
登山隊富士の絶頂に防共親和の旗を翻へす
三十日津田部隊勇士等原隊に歸還△八月一
十九日山中湖畔にヒットラーユージュント一
行人龍湖畔の林間に日獨親善の集ひ、二十五
日甲府市外玉階飛行場大擴張計畫成る△九

新潟

十三年七月一十五日中頸城郡水上村
中央電氣發電所工事場で土工十四名
生埋、十九日東方會新潟縣支部結成
支部長に中村又七郎氏就任、二十八
日全日本草刈選手權大會代表に岩船郡神納村
細野御右衛門君決定、三十日江坂高田市長辭
任△八月一五日新潟で初めてのレスリング日
米戦、四日代議士川合時風氏死去、十六日小
柳牧徳氏選舉違反無罪の判決下る、村松新濁
市長辭職△九月一第一回縣下青年學校相撲大
會で縣代表三名決定、十四日村松前新濁市長
東京で死去、二十二日新潟で全國民市長會議△
十月一縣信聯定期預金利率一厘下三分七厘と
す、十五日梨の縣營検査實施、二十九日有田氏
(佐渡出身)外相就任△十一月一富金山で倉林

部隊百八十六勇士野死の發表、十二日金融
 懇談會で各種預金三分六厘以下を申告す、十
 四時豫算表前年より九分四厘減の千四百
 四十七萬圓、十八日新潟港修築費三百萬圓大
 蔵省の査定通過、二十二日朝香宮殿下軍
 需工場視察に御來縣△十二月一日新潟市
 長に井上英氏當選、九日横越村出身建部邊吉
 博士勅選となる、二十八日縣下大暴風雪△一
 月十八日小柳牧備氏文部政務次官となる△二
 月一日關原町松本夫佐さん乳人に決定、六
 日飯豊嶽山で坑夫十六名雪崩で生埋、廿六日
 長岡出身齋藤駐米大使逝去△四月十一日新
 潟海軍人事務官開選式、十五日新潟小口油田の
 ザリ層掘一四〇三層に達す、二十日經濟、警
 察兩部長更迭、二十一日堀川上流決潰す、
 鐵道車輛工場新津へ決定、二十二日新鐵局長
 更迭△五月三日南朝鮮總督來港、十五日第
 一回縣下體操大會三ヶ所で開催、二十六日
 西蒲原郡松永村出身羽黒山大關に昇進△六月
 一三日日本學術協會大會新潟に開く

富山

【縣市政】十三年七月一日高岡市政
 務廳のため堀市長辭職、廿三日小川
 節郎地方事務官高岡市長職務暫行
 する△八月廿七日高岡市會に解散
 命令下る△十月十六日自治勸導高岡市會議
 員選舉執行△十一月十七日通常富山縣警招
 集、縣會議長飛見文察氏退き吉田清平氏就任

石川

【縣市政】十三年七月十七日青年團中小學校の
 勤務報國家金澤市で結成式△八月一
 日縣下各警察署に經濟警察官配置
 卅日武谷縣會議長辭任谷内星七氏後
 任に決定△九月十日農民大眾の醫療機關産
 組加賀病院生る△十月一日縣立金澤制候所

△十二月四日木津太郎平氏名譽高岡市長に當
 選、十二日通常富山縣會閉會、一般會計九百
 七十七萬四千二百圓、特別會計千五百二萬三
 千六百圓の十四年度豫算可決△十四年四月一
 日縣會總代選舉【雜】十三年八月五日神通
 グラウンドに富山縣青年大會開催△九月七日
 全日本青年學校相撲大會縣代表射水郡チーム
 および貫田重則君が決定△十四年三月卅一日
 教員定期大異動發表小學校八百五十五名、中
 等學校百十三名△五月十日第一區衆議院議員
 再選舉執行石坂豐一氏當選、十四日富山縣體
 操大會神通グラウンドにて参加一萬三千人△
 六月廿三日縣營水力電氣事業二十年記念式
 舉行【社會】十三年七月十二日高岡縣構内で
 鹽釜瓦斯輸送貨車から毒瓦斯噴出二十五名中
 毒△九月六日氷見町大火千五百戶燒失損害三
 百萬圓△十月三日總工費四千五百萬圓東洋
 一縣營有崎貯水池式發達の起式舉行△十二
 月二十七日黒部社合谷日電氣二期發電工事場
 佐藤組飯場雪崩に倒壊死者八十四名△十四年
 五月三十日山西別院炎上損害二百萬圓

△六月一日加能合同銀行は北陸企業銀行を買
 収す、小任金澤地方海軍人事務部長轉出後任は
 秋山門道大佐

福井

十三年七月一廿六日縣下青少年四年
 を動員する、學校集團勤勞奉公團
 各地で結成さる、二十七日脇坂少
 將歸還す△八月一十五日縣下の娯樂
 遊樂街には夜十二時までの營業制限が示達さ
 る△九月一二十三日から一週間曹洞宗本山永
 平寺の開山承陽大師の御忌法要、二十五日南
 朝の忠臣堀六郎左衛門時能公の六百年大祭を
 陣致地吉田郡志比村の墓前で執行△十月一
 十五日敦賀港を出て北鮮への處女航海につい
 た敦賀市の大渡貿易商私有大阪船機船廠敦賀
 丸(三〇〇トン)は三十二日間行方不明のの
 ち浦瀨附近に漂着抑留と判明す△十一月一
 日より縣令で白米食は禁止され七分搗米とな
 る、七日敦賀市長森本一雄氏死去△十二月一
 十二日の敦賀市會で後任市長に若林義孝氏當
 選、十三日今立郡味直野村の眞宗の名刹瑞雲
 寺の一部燒失、十六日通常縣會閉會し六百二
 十五萬六千餘圓の縣十四年度豫算成立す△十
 四年一月一五日未明三方郡日向岬附近海面で
 發動機船日海丸に曳航されブリ網作業に向ふ
 日向漁業組合傳馬船二隻は曳航のロープ切斷
 して顛覆し乗組の七十七名中五十三名溺死の
 慘事△二月一十日大野郡中龍嶺山で大雪崩七

名生埋め死す△三月一五日ソ聯官憲に抑留
 された敦賀丸の乗組員十三名は百七十四日
 に無事敦賀に歸還す、十日飛嶋組の飛嶋文吉
 氏死去、廿日縣立結核療養所、北湖臨湖園
 開所す、二十三日通信省航空局千田乘員課
 長來縣今立郡の空港候補地視察の結果不適當
 と判明福井空港設置は絶望となる△四月一十
 七日中野知事は内務省神社局長となり後任は
 内務省振興課長木村清司氏△五月一六日
 本海の女王新造船氣比丸(四、五五トン)
 敦賀、浦瀨航路に就航す、二十二日福井市制
 五十周年記念式舉行され催しに賑ふ△六月一
 縣下各署で人絹糸開取引事件檢舉百餘名の業
 者が拘引され銃後の人絹王國に汚點を印す、
 八日縣廳に補助事務局誕生す、月末から七月
 初めにかけて太田、人見の兩部隊歸還

愛知

【縣政】十三年十一月通常縣會を開
 き、二四〇〇餘萬圓の戦時下堅實豫
 算を無修正で可決、見るべき新規事
 業としてはなかつたが、名古屋市中
 名、岡崎市の一各縣會議員増加を決定したの
 で定員は六十二名となつた△十四年四月名古屋
 屋帝大創學成つたので臨時縣會を開き地元
 百擔金九〇〇萬圓と熱田神社苑擴張事業費
 四〇〇萬圓を可決△十三年九月民政黨支部長
 加藤彌一、幹事長富田彦吉兩氏就任△同十二
 月政友會支部長加藤秀一、幹事長樋口善右衛

國營移管中央氣象台金澤支台となる、四日四
 高教授栗原保夫氏富山縣東礪波郡小瀨峠で謎
 の死を遂ぐ、十五日金澤飛行場の竣工及獻納
 式舉行、廿八日武漢三鎮攻略祝賀の旗、提燈
 行列△十一月十三日例年より二十日早く初
 雪、十九日通常縣會召集十四年度豫算七百四
 十五萬八千餘圓を無修正可決△東久通官影常
 王殿下には十三年十一月二十二日土官候補生
 として山砲兵第九聯隊に御入隊あらせらる、
 朝香宮鳩彦王殿下には十四年五月十六日軍需
 工場及び軍事援護施設視察のため御來縣遊
 ばさる△十二月十一日北陸線金澤一津浦間一
 一・六の複線工事成る△十四年一月一十一
 日白戸總務部長長崎縣へ轉出後任は大坪保雄
 氏、高橋警察部長内務省港灣課長に轉じ後任
 山田俊介氏、廿七日大聖寺署長川上喜吉氏割
 腹自殺を遂ぐ△二月一日縣會議事堂燒失す
 十五日庶民金庫支所開設、十六日通常金澤市
 會召集十四年度豫算七百六十二萬四千餘圓原
 案通り成立△三月六日飯田四高校長逝去後任
 は岡上梁氏△四月十日金塊密輸事件で小澤
 他喜三ら十三名起訴さる、十七日近衛知事熊
 本縣に轉出後任は成田一郎氏△五月一日貴
 族院議員本多政樹男辭任、五日鳳至郡御地村
 千代火災卅九戸全燒、十四日武運長久殿國降
 伏祈願大柴燈護摩法要安宅の關址で嚴修、二
 十八日鹿島郡東島村數日の火災二十六戸全燒

岐 卓

十三年七月三日夜來全縣下暴風雨に襲はれ岐卓市内四百戸浸水、八日初の地方物價委員會開催物價抑制方策を決定、十八日岐卓花街自肅してネオン消ゆ八月三日大垣地方三十年來の豪雨市内四千戸浸水、十三日知事の推薦により高山市長森彦兵衛氏と決定、二十六日中濃地方大豪雨關町西部六百五十戸浸水十月二日日獨青少年交誼使節HJ派遣團來岐、五日アルプスを賣き飛躍と信州を結ぶ安房峠開通、十日大日本山林會第四十六回總會岐阜市公會堂で開催、二十七日大垣商工會議所殉國勇士追憶の忠魂櫻樹運動場△十一月十一日縣會開く豫算千三百九十五萬圓前年度に比し百十萬四千四百圓の減△十二月二十三日縣聯合女青モンベを制服に決定、二十七日桑港萬國博に觀劇宣傳使節として山下鶴匠出發△十四年一月十五日高山郷軍護國神社に三千五百圓の巨石大手水鉢寄進、二十六日總工費百十七萬圓の長良川忠節橋起工式、三十一日雪地獄の飛驒地方四十餘日振りで交通復舊△二月十四日高山市會開く豫算三十一萬三千圓、二十六日岐阜市會開く豫算二百七萬六千六百圓△三月一日總工費三千七萬圓で建設の縣警貯木場起工、七日縣下四職物工組を統合して岐卓縣組人續織物工組誕生、二十五日岐卓護國神社造營許可となる總工費十

六萬圓△四月十四日岐阜市社會、保險兩課を合併し厚生課を新設、十日縣土木部新設初代部長平川保一氏△五月一日岐阜市制五十年記念の多彩な行事始まる、十日東濃中津の一尼僧の發願成就して身長二十一尺日本一弘法大師立像完成開眼式を厳修、二十一日岐阜高農、藝專に航空研究會生る△六月二日大垣市で小原鐵心七十年祭開く、十六日砂場白米の販賣禁止縣令公布、十九日高山地方氣温三十度二分二十三年振りの記録

近畿地方

京 都

十三年七月一人骨蒐蔵で世界的に有名な京大教授清野謙次博士は名利洛西神護寺ほか七ヶ所で古文書千六百餘點を竊取檢舉さる、昭和十年以來の豪雨で各河川氾濫、死者三、浸水家屋九千被毀總額三百二十萬圓、濱田京大總長逝く大學制度改革問題のため後任は四ヶ月後の十一月漸く羽田亨博士に決定△八月一舞鶴、東舞鶴兩市誕生、吳服問屋の商取引に歩引廢止正札勳行、水害對策臨時府會開會三十四萬八千圓の追加更生豫算等通過、夏目漱石の「坊ちゃん」の主人公弘中又一老逝く、全國に魁ヶ警防團京都市に生る△九月一京舞井上流の百一歳の老師匠片山春子力自、日本壽壇京都

派の巨匠西村五雲彌伯、市功勞者中村榮助翁相ついで逝く、映畫監督の逸材山中貞雄軍曹名譽の戦病死△十月一ヒットラーユーゲント入浴△十一月一中等學校入試級方一科目に決定、點數評價を廢止、甲乙丙に分ち同一組の員數超過の際は抽籤採用、約二ヶ年の日子と五百五十餘萬圓の工費を投じ日本一の近代設備を誇る淀馬場竣工、府會開會千七百十七萬圓の緊縮豫算可決、京都在住華僑反英救國の叫びを響く△十二月一京都日伊協會生る、三百三十餘年の星霜に腐朽してきた東寺の國寶建築物金堂を工費十五萬圓で改修着手△十四年一月一天然痘痘癩昨年末の罹病者二十五名△二月一團部、福知山間省營バス團福線開通、續織物價格抑制のため織物問屋八百軒三日間休業、更に三月續統制のため一週間休業△三月一中國人百四十名佛敎興亞會結成商店法實施を機に府下五萬の商店員をもつて商店厚生會組織、享樂制限強化遊廓一時、カフェ零時までに營業時間短縮△四月一京阪電鐵地下鐵工事、疏水導水管工事、鴨東線都計街路工事の起債抑制を加へ認可さる、靈山官祭招魂社は内務大臣指定により京都靈山護國神社と改稱、御遊歴祭と合祀祭執行さる、傷痍軍人小學校敎員養成所を府師範學校に新設二十五名入所△六月一滿蒙開拓隊軍九百三十名の壯行會舉行

大 阪

十三年七月一日四十萬産業戰士を動員する工場安全週間開始、三日一五日阪神間大水害、大阪市内浸水一萬四千戸、十六日時局に鑑みお役所の半どん廢止を池田知事より通達、二十日水害應急對策費六十四萬三千餘圓審議のため臨時府會開會△八月一日阪神間ふたどび水禍五日市内にタクシー呼出器お目見得、二十七日府下小中等學校長宛下駄ばき通學の通達△九月一日府産業時局對策部店開き、休閑地利用運動開始、三日府の「勇士公葬要項」成る、二十六日第三次防空訓練△十月一日商店法實施、大阪の盛り場を道頓堀、千日前と新世界のブロックに決定、二十日水害復舊耕地助成費その他百八十八萬圓審議のため臨時府會召集、廿八日武漢攻略祝賀緊急市會、市主催全中等學校生武漢攻略祝賀式中之島公園に開かる、卅日大手前公園教育塔前で教育祭舉行ついで時局教育大會△十一月十五日市民戰時生活強調町會大會、廿五日大阪府會開會、十四年度豫算三千九百六十三萬圓で十三年度當初豫算に比較すると百六十四萬圓の節減、廿六日東亞再建を商都に譲する日滿支經濟大阪縣談會開催△十二月一日磯村府會議長再選、副議長は南治好氏、十一日府體力検査實施△十四年一月一十七日空港大阪第二飛行場開場式、三十日府主催青年軍役奉仕

隊三百名中文へ出發△二月十四日豫算市會開く、十四年度總豫算案三億六千五百餘圓、二十七日大阪興亞會設立、興亞の青年人材養成の興亞時習社興亞經濟訓練所創設を發表△三月十一日大阪戰時市民の歌當選發表△四月一日官幣大社水無瀬神社で後鳥羽天皇御七百年祭はじまる、二十九日池田市制施行△五月一十七日第二次防空訓練開始、二十六日官立大阪高工創設費寄附、大阪輸出振興株式會社株式拂込その他百五十萬餘圓審議のため臨時府會開會△六月一六日青少年學生に賜はりたる勅語拜戴式ならびに男女中等學生の大分列行進を城東練兵場に舉行

兵 庫

十三年七月五日神戸、阪神間地方に未曾有の大水害あり縣下の被害約二億四千萬圓、十一日縣參事會で災害應急施設費九十五萬圓を可決、十四日神戸市會も災害應急費四百十五萬圓を可決、二十一日阪神電車打出踏切にて釧路川復舊應援作業中の軍用トラックと電車衝突軍人七名死傷△八月一日兵庫縣復興委員會初會議開會、十六日神戸市復興委員會初會議、十九日災害のため断水中の神戸上水道時間給水を開始す、二十六日臨時縣會開會災害應急對策費九百二萬六千圓を提出、水害罹災者に對し知事より御下賜金傳達さる、二十九日神戸有電車衝突百餘名死傷、三十日神戸市會災害

應急措置費百五十萬圓議決、湊川神社の大鳥居崩落△九月九日阪神國道水禍六十六日目に復舊、二十六日縣の復興計畫成る、事業費一億四千萬圓△十月一日神戸上水道完全給水復活、二十三日神戸で回教徒大會反英の叫びをあげ△十一月九日蒙藏自治政府第五一行來神、ヒットラーユーゲント一行三十名も來神、三十日西宮市長に松尾蘭治氏當選△十二月十六日神戸市電三車衝突十數名負傷十七日縣會役員改選西岡安左衛門氏議長に當選、二十一日縣會閉會、災害復舊費追加豫算千四百七十八萬圓と原案可決さる△昭和十四年一月一十三日印南郡阿彌陀村にて美人白晝射殺さる△二月一十日神戸全市民強制種痘の縣令公布さる、十八日御影町製糖工場ほか住家十棟焼く△四月一日西宮球場に大東亞建設博覽會開場、赤穂郡相生、那波兩町合併農會總代會選舉執行、十五日臨時縣會復興事業費五千九十六萬餘圓を可決、二十五日坂知事着任△五月二日高砂町外七町村を高砂都市計畫區域に指定、五日神戸市會復興豫算千八百一十一萬餘圓を可決、三十日藏重姫路市長着任三日目に辭意を表明して退去△六月十五日神戸に女醫のチフス饑饉事件あり、六日須磨沖の屋島丸(九六〇噸)引揚作業完了七年振りにつく、十五日中等學校入學考査算術方筆問筆答と決る、二十四日魚崎小學校六年生山田和子さん日本一の健康優良兒に入選

奈良

十三年七月十四日豪雨あり水禍五十
二萬圓、十一日檀原神宮木造始式執
行、大雷雨襲來被害三百萬圓突破、
十四縣議超黨派を標榜新團體「縣政
研究會」を結成、夏祭の黄粉團子から高市郡
餘橋村に赤痢患者續發△八月十三年度町村
豫算七百三十萬圓決定、檀原神宮外苑八絃舎
落成、史蹟破壊で問題になつた若草山麓自動
車路開發認可、檀原土地區劃整理認可△九月
一建國奉仕隊の歌發表會山田耕荏氏の指揮で
聖地に一萬人の合唱響く、二十二日檀原神宮
幣殿御柱立初式△十月一ヒットラーユンゲン
ト來り建國奉仕に參加、郷土部隊水谷少佐大
別山で戦死す、奈良市の所得調査委員選舉無
競争、添上郡東市村縣下最初の瀬洲分村を決
議△十一月一奈良署の移轉新築廳舎落成、蒙
瀛自治政府徳王一行來縣△十二月一高森縣會
議長ら皇軍への檀原神宮「金鶏杯」傳達使出
發す、十五日建國奉仕隊第一年終幕六月八日
作業開始以來の參加人員六十一萬八千人、續
出する檀原出土品保存の警署者間に起る、縣
豫算一般會計四百五十七萬圓災害復舊追加豫
算百四十萬圓無修正通過△十四年一月一十五
日建國奉仕隊第二次始式、尾野奈良市收
入役ら偽證罪で收容さる△二月一石上神宮の
玉緒祭千年振りに復活、吉野伯爵母ケ崎トシネ
ル開通、廿三日大阪朝日新聞社協賛檀原道場

地振祭、中等學校入試體操考査を廢し口頭試
問復活に決定△三月一足立博士法隆寺新非再
建論を發表學界に波紋を投ず、十津川文武館
中學四年生十四名同盟休校、五新鐵道起工式
△四月一生駒山觀劇所生る、森榮藏氏(政友)
失格に伴ふ代議士再選舉に北浦氏(中立)當
選△五月一宗教團體法の議會通過寺院境内
地無償拂下範圍の問題で東大寺、興福寺と縣
の意見對立す、六月一市南郊に護國神社創
建に決定、吉野口驛で大軌電車の衝突事故發
生修學旅行中の女學生ら四十名負傷、政友會
支部二派に分裂す

山歌和

十三年七月一八日初の和歌山縣公定
價格決定、十二日第二次防空訓練、
二十五日花街の自肅、營業は午前一
時、音曲は午後十二時限り、二十九日
海南市長に陸軍大佐山本義彦氏就任△八月一
二日卅五年振りの豪雨床上浸水七百戸、田畑
浸水千五百町歩、橋梁道路決壊流材夥し損害
二百萬圓、十一日橋本町でオリンピック選手
前畑、小島兩選手勝記念プール竣工式△九月
一四日和前道場で第一回青年學校相撲大會縣
豫選大會、七日紀西線周參見、江住開開式
で南紀地方祝賀一色に彩る、廿六日より第三
次防空訓練△十月一廿六日漢口占領に凱歌轟
く△十一月一八日書文捕禁止の商戰異變、十
二日縣主催朝日新聞社後援第五回體操祭、十二

日〇〇病院自費分院開所式、十五日書文捕に
代る謝恩總捕の戰時商戰、廿四日十四年度戰
時節減豫算六百八十四萬圓組上に通常縣會開
く、廿五日山本海南市長在任四ヶ月で辭職△
十二月一八日縣會正副議長更迭、議長に成川
善太郎氏、廿二日海南市長に市會議長の青木
英一氏當選、廿三日十四年度豫算無修正で
可決縣會閉會△十四年一月一五日平沼内閣の
鐵相に前田米藏氏、文相に荒木貞夫氏入閣郡
黨萬歳の嵐、十一日知事更迭清水重夫氏就任
十六日海南市會議長に森本新一郎氏當選、十
八日九十萬縣民合唱の縣勢歌成る△二月一十
三日縣下中等學校入學考査の選抜方法一部改
正發表△四月一郷土の新防衛隊警防團結成な
る、七日無言の戦士愛馬祭を陸軍墓地で舉行
十三日七府縣防空訓練、十七日梨本官守正王
妃伊都子殿下の台座を仰ぎ和歌山グラウンドで
愛國婦人會縣支部初の總會、二十二日縣獨自
の廢品回收運動強調週間、那智神社の遷座祭
廿一日縣總務、警察、經濟三部長更迭△五月一
三日縣護國神社鎮座祭、十七日第二次防空訓
練、二十日タクシ一深夜營業禁止、二十二日
東牟婁郡本宮村大火、全半焼七十三戸損害約
二十五萬圓△六月一十一日アサヒ・コードモ會
第一回大會を開催、十三日郷土防衛隊の本部
警防課新設、十五日縣立第二工業學校新設、
建國二千六百年記念造林事業提案の臨時縣會

重

を閉く、二十四日健康優良兒童表彰に那智郡名
手校植田俊夫君輝く日本一に見事入選
十三年七月一十二日から三日間防空
訓練、二十五日神都大聖地計畫案委
員會總會で可決、經濟戰強調週間開始
まる、二十九日白晝三重刑務所小田
倉一看守長妻女官舎で殺害さる、犯人高柳敏
雄(佐賀縣生れ)に十四年六月死刑の判決あ
り△八月一一日來の豪雨五十年ぶりの水禍と
なり交通通信は杜絶し、神都一時孤立の状態
に陥る、被害甚大△九月一三日厚生省の傷痍
軍人療養所を河藝郡大里村に設置確定、二十
日夜百五銀行本店に二萬七千圓の盜難あり
二十六日から第三次防空訓練△十月一二十八
日武漢三鎮陷落祝賀式に各地沸き立つ△十一
月一四日正午戰捷祈願聖矛繼走の第一走者神
宮の聖火を奉じて神都から東へ出發、十八日
通常縣會始まる△十二月一十九日陸海軍航空
隊河藝平野に開設發表さる、十七日十四年度
豫算一千八百四十七萬五千五百圓、十三年度追加
豫算百四十四萬三千四百三十三圓を議決縣會終幕△
十四年一月一二十日縣產業組合聯合會疑獄で
前農務課長の古城林岩手縣經濟部長三重刑務
所に收容△三月一一日佐藤知事名古屋市長に
就任、後任は小河正義氏、五日宇治山田市
古市遊廓放火で伊勢音頭の杉本屋はじめ大半
を焼く△四月一招魂社は護國神社に改稱され

消防組にはつて警防團が新しく登場、十七
日熊野總務部長群馬縣知事に榮轉△五月一十
九日北滿に三重村神略郡建設の多氣、度會兩
郡下分村農業拓土先遣隊勇進發、二十六日
臨時縣會開く、小河知事の答辭無用論で一も
めしたが結局總額四百四十五萬九千六百圓
の更生追加豫算を無修正可決△六月一一日鐵
維製鋼三千三百餘點の公定價格さる、十五日
百億貯蓄週間開幕、二十日興亞青年勞動報國
隊三重中隊百二十一戰士出發

滋賀

十三年七月一八日正札價格による
販賣制度實施、二十日より三日間第
四回琵琶湖祭開催△八月一一日から
の豪雨で琵琶湖は一五五の高水位を
示し水田五千五百町歩浸水、二度目の水禍に
被害續出、十一日から一週間水害防止勸勞週
間を實施二百十日に備へる、十二日推定釋
寺址の發掘はじまる△九月一十一日全日本青
年學校相撲大會豫選大會開催、二十五日近江
神宮獻木運動はじまる△十月一十四日ヒット
ラーユンゲント來る、二十一日近江神宮御造
營木造始祭、二十八日武漢三鎮の攻略を祝す
△十一月一八日縣廳舎上棟祭と縣會議事堂浦
祝式を舉行、十二日通常縣會開く提出豫算總
額七百三十三萬五千圓、二十九日天台宗務廳の京
都移轉を決議さる△十二月一一日遷野演習
場で諸兵連合演習はる、七日近江米の格上

げ成功、十日無修正記録で通常縣會終る、十
四年一月一十一日推定梵釋寺址から西塔基壇
と廻廊の礎石を發掘、廿五日省練京都、草津
間の新線敷設と電化問題具體化す、二十九日
縣職員七百名伊勢參宮して國威宣揚武運長久
を祈願△二月一七日土倉鐵山にアワ襲來し二
棟の飯場を破壊二十名の死傷者を出す、十一
日天台宗武藏内局總辭職△三月一三日推定梵
釋寺址から唐二彩發掘さる、十五日大阪朝日
滋賀地親會から讀者代表慰問使を中支に派
遣、卅一日九百八十二名の教員勳く△四月一
四十七萬圓をもつて近江神宮外苑運動場新設
決定、二十二日縣廳清成式、二十八日新縣廳舎
へ移轉完了、二十九日多景島に百疊敷の大國
旗あがる△五月一十日近江神宮上棟祭、十一
日近江神宮奉養會授會式、十六日縣廳舎落成
式△六月一五日清水喜重中將來縣遺族慰問、
二十五日桃太郎探しに春照校福永愛次君特選
に入る

中國・四國地方

【政治】十三年七月一傷兵保護院國
章島傷痍軍人療養所地鎮祭はる△
八月一二區選出代議士重井鹿治氏
(社大)辭職補選なし△九月一宇垣外
相突如辭職郷黨驚愕す△十一月一十四年度豫

算千七百七十五萬圓の通常縣會開催、議長に政友土原源氏△十二月一宮港岡山飛行場開設と國立航空機乗員養成所設置決定△十四年一月一近衛内閣總辭職の跡を受け平沼内閣成立郷土に歡呼湧く、萱島知事警視總監に轉し後任は警保局長本間精比、十二年度災害復舊費追加豫算及び公立瀬戸、親見、成羽、矢掛四高女縣警移管で臨時縣會開く△二月一郷土出身二百九十二勇士に軍人傷痍記章傳達△四月一三德縣警營農道場となる、縣廳に土木部新設初代部長竹内常八氏、沖森縣警、高橋學務、泉警察三部長轉じ武政經濟、原學務、中村警察の三部長新任、東久瀨宮檢査王殿下には白衣勇士御慰問と銃後施設援護狀況御視察のため御來縣遊ばさる△五月一聖戰に敢闘した郷土出身百九十三柱の新祭神護國神社に合祀さる、安井總務部長文教局に入り後任八田三郎氏△六月一岡山醫大臨時附屬醫科専門部創設さる【社會】十三年七月一縣下南見島と兵庫の機業地を中心とし大阪、廣島に跨る禁煙違反事件(綿糸閣取引三百萬圓關係者五百名)摘發檢擧さる△八月一縣北部に颶風△九月一人民戰線第一次檢擧に連坐した貧賤地方労働者組合執行委員長前代議士重井鹿治氏懲役三年に處せらる△十月一ガソリン節約で縣下バス網整理運轉回數減少、ヒットラーユーゲント一行來岡△十一月一岡山市北方

△八月一縣下學生、生徒、兒童らが慰問袋四萬圓を戰地に送る△九月一縣は西日本として初めて魚群探査のため山口號と防長號の二水上機を使用好評を博す、物資供給改訂並に節約のため縣は百五十九萬八千圓の事業繰延べ、毛利元昭公(舊秋藩主)遺去香山園に埋葬△十月一國立の傷痍軍人温泉療養所を湯田に設立決定二千坪二十五萬圓收容患者百人、二萬の漁民を會員とする縣漁業共濟會を縣が設立漁民救済に乗り出す、縣下各地で武漢陷落の提燈行列祝賀△十一月一通常縣會において出入共計一千二百五萬四千五百圓を原案通り可決、前年より四百三十萬圓の減△十二月一電力國家管理のため山口縣電の身賣即ち出資は一千五百六十萬圓と決定、小串漁港二十萬圓で改修に着手、大島商船甲種國營移管に決定△一月一德佐方面二尺五寸十數年來の大降雪△二月一朝香宮鳩彦王殿下軍需工業御視察のため御來縣遊ばさる、天然痘流行四十三名罹病八名死亡△四月一臨時縣會開會錦川ダム工事に百萬圓追加、宇部市に高等工業設立決定、戸塚知事宮城縣へ、後任に武井副知事山形より、國鐵關門の豆トネル一三二二以開通、縣水産主事河合光重收賄で収容さる、總務部長白井寅氏宮内省入り後任に加藤初夫氏學務部長平本義隆氏北海道へ後任に廣岡謙二氏、經濟部長奥田茂造氏退職後任は森下重

私立吉備商業學校に放火三分一燒く、男子師範學校も二回謎の出火△十二月一本庄總裁臨席し早島養老所開所す、岡山市繁華街七商店全燒、禁煙違反事件判決言渡し行はる△十四年二月一岡山市國富臨濟宗少林寺の出火で五百餘萬圓に達す△三月一山陽線和氣熊山間列車轉覆慘事の判決言渡兩被告共禁錮二月被告控訴△四月一國立六國鷲羽山周遊道路全長二、七幅員六、五開通、狂青年津田豐一宵の東中島遊廓で六人殺傷△五月一中支に活躍した天使部隊日赤岡山班二十一名歸還△六月一農村努力補充に男女中等學校生徒隊勤勞班麥刈りに田植及に出勤活躍す

【事變關係】十四年六月七日臨時縣會を開會、軍事援護關係、國民體位向上施設、重要農林水産物増産施設關係その他追加豫算百九十二萬七千七百圓を可決九日閉會△十四年度國民貯蓄二億五千萬圓と決定△十三年十月二十二日縣主催で今事變の戰歿勇士の縣下合同慰靈祭を廣島護國神社で執行す△十二月十六日廣島市に新設した廣島縣傷痍軍人再教育所の竣工式△十四年三月二十七日第一次縣會開會北支戰線に出發四月二十二日歸廣△四月二十三日宇品凱旋館第一期工事竣工式△六月十二日飯沼知事大陸視察に出發【政治・經濟】十三年九月一日縣物價調査委員五十名を囑託す△十月一日商店法による特殊地域に廣島市新天地

廣島

格氏、檢事正帶金悅之助氏浦和機事正へ後任は小倉より江橋修氏、國道關門の豆トネル一〇二、一開通△五月一河合主事收容により元貴族院議員縣下政界の重鎮源流權治氏賄賂で收容さる△六月一東久瀨宮檢査王殿下山口の陸軍關係病院の傷痍兵を御慰問遊ばさる、校長大會において五月廿二日を教育日と決定

根島

十三年七月一松江商業學校にグライダ一部開設、正札制實施さる、松江聯隊區司令官加村義政大佐着任△八月一縣警察部に情報、警防、勞務の三課新設、毛布獻納運動始まる、第十三回全山陰籠球選手權大會に島根縣優勝、民政黨島根支部長天野種三郎氏辭表提出△九月一出雲部地方に暴風雨襲來被害約二百萬圓、斐伊川上流に山陰一の雲電發電所新設計畫成る總工費五百萬圓、松江高校の理化學教室燒失す、郷土部隊出征す、山陰一の神立橋竣工費三十五萬五千圓、第十師團管下一優良壯丁村に八東郡千酌村選定さる△十月一縣代表皇軍慰問使出發、中國四國商工會議所聯合總會を松江市で開催、廣島控訴院管内辯護士大會開催△十一月一濱田招魂社鎮座祭、通常縣會開會、新日本レイン江津工場開業式、松江市と川津村合併△十二月一潮恩之輔氏橋樑顧問官となる原案承認で通常縣會終了豫算總額七百十六萬八千二百圓、山井映三技師、警務病、

東新天地を決定す△知事富田燮次郎氏十月九日軍人援護會理事長に就任し後任知事飯沼一省氏靜岡縣から着任△通常縣會十一月十六日開會總豫算百四十二萬七千九百圓を原案通り可決十二月十四日閉會、七月廿日から一週間市町村長プロック會議開會△五月十六日縣警保安、砂防兩課を新設す【社會・教育】十三年七月七日今事變一周年記念に縣立廣島高女で縣下青年團大會を開き日本精神昂揚と財金報國運動協力を決議す△八月十日比婆郡七塚原修練道場を新設△縣警綜合グラウンドを廣島市に新設と臨時縣會で決定す【交通】福澤中町一上下町間二十七、二十三年七月二十八日開通し中國陰陽兩線が全通し縣下循環國鐵完成す△國道卅三號線、海田市町間開通す【産業】紀元二千六百年記念事業として二千六百町歩のバルブ記念造林を六十年間計畫で着手した△縣下男女青年團一人一畝以上の農産物増産報國の農業報國田(畑)造成に決す【學校】四月廣島師範に大陸科を新設【社會その他】十三年十一月六日ヒットラーユーゲント一行來廣△十四年四月二十八日赤十字社廣島支部病院竣工式舉行

の正體を發見し知事實を受く、今事變最初の本縣關係論功行實發表、飯川郡久村の大火八十七戸全燒△十四年一月一櫻内幸雄氏農相に決定、島田俊雄氏參議に就任、斐伊川、江川、高津川に三大發電所設置に決定△二月一傷痍軍人療養所八東郡乃木村に決定、軍人援護施設御視察のため朝香宮鳩彦王殿下御來縣遊ばさる、松江市の十四年度豫算は六十四萬七千二百圓と決定、三瓶山麓中國一滑空訓練場完成△三月一松江招魂社鎮座祭舉行、縣出身岸偉一氏松江に綜合運動場を寄附、縣立大田農學校廢校となる△四月一隱岐神社鎮座祭盛大に執行さる、消防組警防團と改稱、救護看護婦島根班歸還、三樹知事名古屋市助役に決定、新任平山松江地方裁判所長就任、松江招魂社護國神社と改稱さる、隱岐神社御參拜と傷痍兵御慰問のため東久瀨宮殿下御來縣遊ばさる、並川總務石川縣へ、藤野經濟和歌山縣へ榮轉△五月一國立和牛試驗場中國支場開所式△五月十二萬圓、全日本體操大會出雲大社神社で舉行、松江市で全關西醫師大會開催、海軍協會縣支部發會式△六月一松江商工會議所に全國最初的女子商業實務指導所開設、愛媛の皇軍慰問使染田ツウ女史殉職す、仁多郡横田村の大火百餘戸全燒す、興亞青年勤勞報國隊島根中隊出發、櫻井警察部長警視廳消防部長に榮轉

の正體を發見し知事實を受く、今事變最初の本縣關係論功行實發表、飯川郡久村の大火八十七戸全燒△十四年一月一櫻内幸雄氏農相に決定、島田俊雄氏參議に就任、斐伊川、江川、高津川に三大發電所設置に決定△二月一傷痍軍人療養所八東郡乃木村に決定、軍人援護施設御視察のため朝香宮鳩彦王殿下御來縣遊ばさる、松江市の十四年度豫算は六十四萬七千二百圓と決定、三瓶山麓中國一滑空訓練場完成△三月一松江招魂社鎮座祭舉行、縣出身岸偉一氏松江に綜合運動場を寄附、縣立大田農學校廢校となる△四月一隱岐神社鎮座祭盛大に執行さる、消防組警防團と改稱、救護看護婦島根班歸還、三樹知事名古屋市助役に決定、新任平山松江地方裁判所長就任、松江招魂社護國神社と改稱さる、隱岐神社御參拜と傷痍兵御慰問のため東久瀨宮殿下御來縣遊ばさる、並川總務石川縣へ、藤野經濟和歌山縣へ榮轉△五月一國立和牛試驗場中國支場開所式△五月十二萬圓、全日本體操大會出雲大社神社で舉行、松江市で全關西醫師大會開催、海軍協會縣支部發會式△六月一松江商工會議所に全國最初的女子商業實務指導所開設、愛媛の皇軍慰問使染田ツウ女史殉職す、仁多郡横田村の大火百餘戸全燒す、興亞青年勤勞報國隊島根中隊出發、櫻井警察部長警視廳消防部長に榮轉

日小林知事は文部省教育局長官に榮轉、後任中野善教氏(神奈川縣警務部長)△五月十七日日本社高知通信局後援の縣下中等學校體操大會開く△六月十五日安藝郡魚梁瀬森林軌道車墜落し死傷四十七名を出す、廿五日全日本健康兒童查會に鎌田利子嬢(安藝第一小學校)推日本一の榮冠を獲得す

九州地方

福岡

十三年七月十八日縣下ダンス場設備を禁止歌舞音曲十時までカフエー酒場十二時までに制限、二十五日中小、青年學校生徒の制服制制新調禁止さる△九月一宮崎宮の正遷座祭十三日より十五日まで卅九年ぶりに執行さる△十月十五日第五回産青聯全國大會福岡で開催、二十二日縣出身戦後勇士〇〇柱の縣主催合同慰靈祭福岡市で執行△十一月十三日ヒットラーエーゲント一行來福、十日福岡雁軍飛行場で日本空輸ダグラス伊吹號墜落搭乗者六名重傷、十二日蒙頭首腦者徳王一行來縣、十九日通常縣會開會△十二月二日九大理學部新設決定十三日若戸海底トンネル工事認可さる、十七日通常縣會閉幕二千二百四十四萬圓の十四年度預算決定、二十四日柏屋郡古賀町に國立傷痍軍人療養所開所△十四年一月一七日太宰府

神社の被殺遺體祭の鬼すべの火から全焼、十日柏屋郡大川村で三頭連れの野犬が大隈喜一少年當時(●)を咬殺、十七日さらに人妻に咬傷△三月三日久留米高工新設決定△四月一日北九州五市國立労働紹介所を合同して八幡に北九州労働紹介所を設置四市に出張所をおく、十六日赤松知事京都に轉、後任は兒五九一氏、十八日縣警防課新設、十九日關門鐵道豆トネル(試掘導坑)開通、二十六日關門鐵道豆トネル(試掘導坑)開通、二十八日國鐵甘木線開通△五月四日獨逸ガブレンツ機福岡飛行場着、十七日大日本航空ロッキード球磨號福岡雁軍飛行場で墜落六名即死五名負傷△六月十四日福岡、奉天間長距離電話開通、九大臨時附屬警署開設十五日第一回入學試験舉行、二十三日國策會社西部輸出振興會社創立

佐賀

【支那事變關係】十三年七月一日軍事援護課獨立△四月二十五日久留宮朝融王殿下御成り武雄町海軍簡閱點呼を御視察さるに白衣勇士を御慰問遊ばさる△六月十日縣補助事務局店開き△同十二日傷痍軍人佐賀療養所竣工開所式總工費卅五萬圓△同十四日朝香宮鳩彦王殿下唐津市に御成り軍事援護事業御視察のち十六日再度御來縣傷痍軍人療養所、同職業再教育所及び佐賀市の援護事業を御視察遊ばさる△同十

九日縣國防協會ほか各種團體主催排英國民大會を佐賀市公會堂で開催氣勢を擧ぐ【縣政】十三年十一月廿一日通常縣會開會十四年度當切豫算五百五十八萬圓を議決△十四年五月十二日有明千折十四年度事業費百五十九萬圓起債認可さる【交通運輸産業】十四年四月二十九日三養基郡基山驛を分岐點に省線太刀洗線開通△五月九日資本金十五萬圓の肥前海運會社資本金十萬圓の縣貿易振興會社いづれも發起人會△六月一日九州一の長橋唐津市松浦橋竣工工費二十九萬圓【金融】十三年十月一日縣主催金融懇談會で定期三分五厘貸出日歩二錢二厘に金利協定成る△四月廿八日武雄ほか西部三銀行合同資本金三百廿五萬圓の佐賀興業銀行誕生【教育】十四年四月一日縣立鳥栖工業學校開校【雜】十三年十月十四日北茂安産組診療所長岩尾博士の業務上過失致死死事件は上告棄却され罰金二百圓の原審確定△十二月十八日基山町附近に天然痘發生罹患者二十四名に達し恐惶△十四年五月三日北茂多村に人妻傷害事件犯人家族母子四人心中の悲劇△同二十八日佐賀市制五十周年記念博内務省の横槍に暗礁に乗上く【人事】十三年十二月二十四日武富時敏翁逝く△十四年一月八日唐津市長西山茂、助役荻谷勇之介兩氏辭任同十八日荻谷氏市長に當選△二月九日大審院長池田寅二郎氏逝去△四月十七日知事小山知一氏文部

省普通學務局長に轉じ後任加藤於菟丸氏、總務部長加藤初夫氏山口縣に轉じ後任中原啓道氏△四月二十九日德島藩主鍋島直綱子急逝△六月三十日大島又彦中將鍋島侯爵家家政監督に就任歸郷

長崎

十三年七月二十二日雲仙鐵道解散二十七日電報警察官二十四名勸當△八月一日縣營バス木炭バス運轉始む、十九日百合根同業組合と反組合派の紛争訴訟化す△九月二日白骨葛電事件騒ぐ、十日濟生會長崎病院開く、十一日全國青校相撲大會縣代表四名決定、十七日桶神社地鎮祭執行、二十三日物價調査委員七十二名任命、二十四日早岐町政の紛糾解決△十月十五日新學務部長小林壽次氏に決定、七日諏訪神社大祭執行、三十一日ヒットラーエーゲント一行來縣△十一月十六日維新政府實業部長王子恩氏來朝、二十二日豫州の親日家トーマス・ライト博士來朝、通常縣會開く、二十三日臨時政府長崎商務辦事處主任潘耀源氏着任、二十四日南島燈打ちの海の荒鷲小川大尉以下八勇士歸還△十二月十七日縣民號第二左廠號の二機獻納さる、通常縣會十四年度豫算七百二十四萬圓を承認閉幕、二十二日滿洲國道歐經濟使節團經濟部大臣韓雲階、甘粕正彦氏ら高岡スベイン代理公使、獨伊派遣新聞使節團とともに來朝△十四年一月十五日

熊本

五通瀬沖で鬼池丸觸礁鷹甲齋虎丸、京山圓千代ら溺死、九日長崎株式取引所紛糾す、十一日副見總務部長島取縣知事に榮轉後任子實部長長白戸半次郎氏、二十五日伊萬里線延長新線開通す△二月一日縣廳に時局課新設、五日切支丹文化研究所生る、十八日御神火繼走本縣に入る△四月七日中村不二男代議士選舉違反で失格、十四日維新政府温立法院院長來朝、十八日伊巡洋艦コレオーニ號入港、新警察部長久安博忠氏、新學務部長坂田啓道氏に決定、廿八日久留宮朝融王殿下水難救濟會支部總會に御成り△五月十四日第一區衆議再選舉で本田英作氏當選△六月一日縣廳に青校生る、四日桶神社上棟式、五日縣水産會縣漁業人事行政で紛糾、十五日長崎醫大に醫學設置、十六日朝香中將宮殿下軍人援護事業御視察のため御來縣

十三年七月二十一日中等學校集團勸勞奉仕作樂縣下一齊開始、廿九日天草島へ警察電話架設△八月一日料理屋歐樂街營業十二時までとなる△六日田中警道部長戰死、十日縣令で混砂米禁止、廿七日政國民三派幹事長懇談會設置△九月廿六日阿蘇山頂で敵國降伏大祈禱祭執行△十月一日支那事變と産業博覽會水前寺で開會、四日西岡縣學務部長長野へ轉じ後任佐藤幸一氏、七日朝香中將宮殿下阿蘇山御成

大分

十二年七月十四日の別府市で内藤三郎氏市長に當選△九月十七日中津市および佐伯、津久見兩町に市街地建築法を施行△十月一日宇佐郡安心院村、速見郡中山香村にそれら町制實施、大分郡所屬宮原郡土の先登元藏相繼醫院顧問官元田慶氏東京の自邸で逝去、三日夜日田郡中津江村津江川に消防自動車轉落二十七名の重傷者を出す、七日朝香中將宮原下大分市に御成り中島製粉製菓作所を御視察遊ばさる、二十三日ヒットラーユージュントの一行別府訪問、廿八日縣市主催の武漢三鎮陥落の戦捷祝賀會を城崎グラウンドで開かれ是は旗行列夜は提灯行列で賑ふ△十一月一日大分港振興調査會生る、六日竹田町に聖田能村竹田の講堂落成、二十一日通常縣會開かる、十四年度豫算額七百九十萬六千圓△十二月十五日大分海軍航空隊開設初代司令は石井艦江大佐△十四年一月一日混砂白米の發賣を禁止さる△二月一日北海道郡大在村に縣營結核療養所二層壯麗施設工費は十萬圓、十日直入郡尚本村尋常高等小學校焼失、十三日御神火九州總走本縣に入る△三月十五日口論から水田安喜巡査刺殺さる、十七日大野郡長谷川村尾平錫鑛山から發火工場、民家など卅一棟焼失損害二十萬圓、二十日大分縣下一帯に強震あり被害僅少△四月一全國菓子

鹿兒島

改選三十六新市議當選△六月一日臨時縣會招集、缺員中の縣會議長に月野祐左衛門氏推さる、七日細島稅關開港式を舉行、十三日相川知事大體視察の途につく、二十日朝香中將宮原下軍事援護事業御視察のため御來縣縣内各地を御巡視あらせらる、十二年七月一栗野嶽放牧場學生勤勞奉仕隊により開墾△八月一竹の代用品價々誕生、白米禁止令却却米時代來る△九月一將兵總務所南薩宿宿町へ新設決定豫算七十五萬圓六千六百圓五人收容△十月一一名名會員を擁して海軍協會鹿兒島縣支部發會式、古江線開通上費、三八萬圓、大隅半島大風水害高山、鹿島、始良、大始良、大小根占、田代、佐多、内之浦各町村被害甚大死傷者一千餘、罹災者一萬、被害地面積七百平方、家屋橋梁堤防破壊無數、古江線又不通、ヒットラーユージュント來る、漢口陥落祝賀とユージュント歓迎の二重奏に全市沸立つ△十一月一南薩今和泉村大火百五棟焼失、十四年度豫算七六三萬六六〇〇餘圓前年度より十二萬圓緊縮事變對策施設に力縮、非常時縣會開く△十一月一編製品部當決定商業組合不調で陳情△十二月一金融機關定期預金利率引下げ△一日一屋久島縣實地測量着手、皇祖殺害の聖蹟顯彰熱燦頭二千六百年記念日の計畫概要成る△二月一かつを、まぐろ、いわし未曾有の豐漁

品評會大分市に蓋を開ける、四日別府市に設立の國立傷痍軍人温泉療養所地鎮祭執行、十七日知事望屋仙吉氏農林省經濟更生部長に轉任、後任は藤田三三氏、二十日警察部長長岡久七郎氏轉任、後任は田中榮一氏、二十三日久瀨宮朝權土殿下帝國水難救濟會大分支部總會に台臨、二十一日日本航空輸送研究所大阪別府間の定期旅客機運轉のため東國軍部奈狩江村大熊山に墜落機體を燒失し操縦士小川政信機師土福壽一郎乗客一名いづれも燒死、二十九日六師團官下優良壯丁市町村の表彰に北海部郡四浦村が第二部の第一位を獲得、三十日別府市で日滿兩國ロータリー大會開かる△五月一縣出身双葉山夏場所で全勝△六月一十三日官幣大社宇佐神宮下宮本殿遷座祭、引續き十四日日本宮假遷座祭執行、二十三日朝香中將宮原下本縣御成り、二十五日大分市で排英縣民大會を開催

崎宮

十二年七月一日紀元二千六百年祝典評議委員會において宮崎神宮の擴張整備事業決定國庫補助三十六萬圓、六日縣下警察官の大異動立澤官崎、兒玉延岡兩警長勇退、十四日郡城市會場場一致同市出身元島根縣知事財部實秀氏を第五代目市長に選舉、廿二日小林町は率先して軍人遺家族の自盡會を結成す△八月一六日郡城市安山助役辭職獅子目警輔氏後任に△十月一

日高鍋、上江兩町村の合併實現し大高鍋町誕生新町長に前宮崎市長補原政一郎氏就任、十一日傷痍軍人官崎療養所地鎮祭執行、十八日縣營電氣川原發電所地鎮祭を執行、廿四日ヒットラーユージュント一行來縣縣下各地の祖國振興隊と交歡、二十二日二千六百年記念大事業決定△十一月六日十四年度豫算額七百四十九萬圓の査定完了、九日官崎師範學校生徒ストライキ、二十四日通常縣會開幕、二十五日官崎神宮神城擴張工事起工式を執行△十二月二十二日十四年度豫算原案通り決定△十四年一月一二十一日縣會會長鈴木憲太郎代議士突如辭表提出△二月一十一日御神火九州總走靈峰高千穂の峰を出發豪華な繪巻を縣下に展開、二十四日縣下市町村長會縣の紀元二千六百年事業に十六萬圓贈出を決定△三月一一日縣會會長に相川知事就任、十七日見湯郡新田村古墳石船家外敷基を發掘學界の興味を呼ぶ、二十日午後零時すぎ近年稀なる強震全縣下を襲ひ被害相當にのぼる、三十一日細島港開港場に昇格稅關支署設置さる、全縣下にわたり廢娯を斷行縣より告示さる△四月一一日警防團誕生歴史に輝く消防組織消、二十七日縣下の地下資源開發のため鐵礦掘工場を高鍋町に誘致成功△五月一一日官崎市會議員改選に備へ愛市聯盟結成さる、二十日八紘之基柱起工式を舉行、二十九日宮崎市會議員

幾山河火を繼ぎて種神火九州總走聖路二百、を走破し霧島神宮にゴールイン更に神代三山陵へ獻火△三月一觀光道路の變り種島島嶼道道路十四ヶ年の歳月を費して完成、南薩宿宿町大火二二三棟焼失損害十萬圓△四月一嚴重知事惜まれつゝ、再退後任藤野知事、先生稱庶初任給引上増俸で足止め、屋久島縣營電氣水利權許可さる△五月一縣史第一巻成る、冒險船タービン號登砂砂に漂着、水野市長百萬圓出資宿宿温泉擴張計畫、大島純、黒崎増産△六月一全日本健康優良兒童表彰に出水都阿久根小學校木原美枝子嬢特選、湯之元温泉郷に奇怪な少女の失踪事件、朝香宮鳩彦王殿下軍事援護事業並に軍需工場視察のため御來縣、紀元二千六百年縣慶祝會結成、靈峰高千穂登山道路、全國青年修養道場建設、鹿兒島、霧島兩神宮顯彰に着手

沖繩

十二年七月二十七日縣下各署一齊に巫女及易者取締りを行ひ二百名檢舉、三十日浦上知事那覇市辻遊郭の大瀆清を斷行センセイションを撥き起す△八月一二日分散のタクシー合同し合同相互兩株式會社誕生、六日新神廟の建設目指し有力者を一丸として生活更新協會を設立、二十七日ダバオ開拓の恩人で沖繩移民の先驅者故大城孝藏氏の銅像郷里金武村で除幕式△九月一十三日武動水へに懸る戦死軍人遺族等

が高鍋報國會結成、二十九日より一週間縣民勸業員の綜合防空大訓練實施、颶風期去る今夏は珍しくもノ一颶風の記録を作る△十月一二十八日武漢三鎮陥落戦捷祝賀行事を催す△十一月一十一日國立國領愛樂團開演式、二十日輕微な民衆に喰入り縣經濟界を攪亂した那覇市の株屋事件被疑者二十九名起訴、被害額二十萬圓、二十五日通常縣會招集、可決された豫算額八百八十八萬四千圓、十四年度振興費二百四十四萬五千圓△十二月一三日ノ一颶風のため牧の發生警しく兩先島のマラリヤ患者四千名縣に救済を求む、八日内台航空のダグラス富士丸久島近海で遭難機體は海中に沈没二名救助二名死亡八名行方不明、十四年一月一十八日漢那憲和代議士内務次官に就任、最初の縣營金武村開墾事業實施五百町歩開墾し自作農三五〇戸誘致、卅日那覇商工會議所會頭に尾花仲次氏當選△二月一廿四日貧窮財政再建を期し縣財政調査會生る△三月一四日宮古島、那覇間の無線電話開通、卅一日小、中學校教員の刷新大異動發令△五月一十三日黒糖、白下糖百萬圓突破の新記録を樹立す、十九日沖繩移民の南方發展策を縣當局が發表、畫期的試みとして注目さる△六月一十八日豪華な武德殿開殿式舉行林大將臨席、昭和十五年度振興費豫算折衝のため知事上京縣下市町村に社會教育主事補設置及移民道場など新規要求

錦華紡績株式會社 錦華毛糸株式會社

取締役社長 加藤正人

營業所・大阪市東區瓦町二丁目



都市大觀

初めて市制が發布されたのは明治二十一年四月十七日で、翌二十二年四月一日より施行せられ、當時人口二萬五千以上の都市三十九を選んで市とした。これらの市は昭和十三年四月十七日を以て市制施行滿五十年に達したわけである。その後人口の標準を三萬以上に改めたが、續々として市の數を増し、昭和十四年六月末現在では市の數正に百四十九に達した。そのほか市域の擴張が頻々として行はれ、我國都市の膨脹發展は實に目覚ましいものがあり、市部對郡部の人口比率は急遽に變化しつつある。

◇都市數増加の大勢

明治二年	三	同	九年	八三
同三年	三	同	一四年	一〇一
同四年	六	同	一五年	一〇六
大正二年	六	同	九年	一三五

昭和一〇年 三 同 一三年 一〇
 同 一一年 三〇 同 一四年 一五
 同 一二年 一四 (九月一日現在)

昭和十四年に入つて市制を施行したものに大阪府池田と石川縣七尾と茨城縣日立があり、總數一五一となつた。なほこの以外に、市制を布かない町村で人口三萬以上(昭和十年國勢調査)を有するものが十四あり、神奈川縣鎌倉(十月一日)山口縣下松(十一月三日)兩町が市制施行に内定してゐる。

外地はこの數字以外であるが、朝鮮における都市の増加發展は特に著しいものがあり、樺太にも昭和十二年四月一日市制が發布され同年七月一日から豊原に實施された。

て、町村合して市となり、市はまた盛んに隣接町村を編入合併するため、實質以上に都市膨脹が數字に現はれ、人口都市集中の大勢と相まつて、左の如き現状にある。

百萬以上	四	十萬以上	三
七十萬以上	二	五萬以上	六
三十萬以上	二	三萬以上	四
二十萬以上	一	三萬未満	五

(備考) 昭和十三年十月一日推計人口による
また市町村を數の割合から見ると

明治三年	大正三年	昭和二年	同一年
市	三	三	二
町	七	七	七
村	一三	一三	一三

また人口を郡部と對比して觀察すると(國勢調査、昭和十三年は推計—人口單位千人)

市數	市部	郡部	市部	市部
大正九年	八	一〇、〇九	四、八六	一八〇
十四年	一〇	一三、八六	四、八三	二二
昭和五年	一〇	一五、四四	四、〇〇	三〇
十年	一七	一三、六六	四、六六	三三
十三年	一八	一三、四六	四、三六	三三

前表の如く昭和五年を頂點として郡部人口は

市 部

絶対数においても減退の数字を示し始めた。これには昭和七年五月の東京市隣接五郡八十二町村市域編入といふ事實もあるが、市部人口の千分比を見ると昭和十年は市部三二七、昭和十三年の推計では市部人口には一四三、五七となり、人口都市集中の大勢は滔々として止まるどころを知らぬ観があり、この顯著なる都市化現象は左表の如く歐米諸國に比して相當の高度に達し、すでにフランス、イタリア、デンマークなどの諸國を遙に凌駕し、アメリカ、オランダに近づかんとする勢ひを示してゐる。

Table with 2 columns: 市部人口千分比 (Relative population ratio of municipalities) and 諸國人口千分比 (Relative population ratio of various countries). Rows include Japan (日本), USA (イギリス), France (ドイツ), etc.

三一年、獨一九三三年、米國、オランダ、デンマーク一九三〇年、ソ聯は一九二六年、Aはイングランド及ウェールズのみ、Bはザール地域を除く。昭和五年國勢調査産業別人口市郡部比較(單位千人、以下切捨)

Table showing population statistics by industry sector (Total population, Agriculture, Industry, etc.) and by municipality type (Total population, City, etc.).

大正八年四月、都市計畫法及び市街地建築物法が制定公布され、郡計法は同九年一月一日より、建築物法は同年十二月一日より六大都市に施行せられた。また中小都市の發展に備へるためには、勅令を以て指定して同法を

市 部

が原則となり、また集中主義が市民生活に及ぼす不利な點が次第に明らかとなつて來たため、一都市を單位とする都市計畫から一連轉して、數都市または數府縣にわたる大地方計畫といふものに進展しつゝあり、東京市を中心にして半径二二八キロの地域——一府六縣にわたる地域の健全なる發達と防衛施設を加味した東京地方計畫が具體化し、また福岡縣の門司、小倉、八幡、戸畑、若松の五都市を連ねる地方計畫が一步步實際化せんとする情勢にあるなどが、その實例であらう。

財政と産業

市歳出費目別

(昭和十三年度豫算—單位千圓)

Table of municipal expenditures by category (Education, Police, etc.) for the year 1934.

Table of municipal revenues by category (Public services, Taxes, etc.) for the year 1934.

(昭和十三年度豫算—單位千圓)

Table of special taxes (Special taxes, Land tax, etc.) for the year 1934.

施行し得ることになつてゐたので、大正十二年七月札幌をはじめ二五市が指定され、爾來多くの市が指定されて來たが、昭和八年三月郡計法大改正が行はれ、市は指定を待たず當然郡計法の適用を受けることとなり、町村に限り内務大臣の指定により適用されることに改まり、昭和八年五月十日實施された。町村の指定を受ける規格は(一)人口増が顯著なるもの、(二)人口一萬以上のもの、(三)温泉地、海水浴場、史蹟地、遊覽地などを有するもの、(四)港灣の修築、工場、停車場などの設置に伴ひ市街地の構成せられんとするもの、の四つで、該當町村は全國に一千以上上つてゐるが、昭和十三年四月十日までに指定せられた町村は三七四であつた。またそのうち建築物法をもあはせて適用せられたもの一五三町村、他に建築物法のみ適用せられたもの七町村がある。

Table of municipal revenues by category (Municipal revenues, etc.) for the year 1934.

Table of public works (Public works, etc.) for the year 1934.

昭和十二年三月末現在の調査による市の主な公營事業は次の如くである。

○市警軌道事業(電鐵)十一市
東京、大阪、名古屋、京都、神戸、横濱、
仙台、札幌、熊本、鹿児島、富山

○市警乗合自動車事業(バス)十七市
東京、大阪、名古屋、京都、神戸、横濱、
札幌、熊本、鹿児島、徳島、青森、富山、
若松(福岡縣)、八戸、一宮、松江、尾道

○市警電氣供給事業(九市)(他に縣警六)

東京、大阪、京都、神戸、仙台、金澤、靜
岡、都城、酒田

○市警瓦斯事業(八市)

横濱、金澤、福井、久留米、宇部、大津、
松江、高田

都市生産額の對全國生産額割合

(昭和十一年一單位千圓)

生産種類	全 國	一三八市	市割合%
生 産 額	一、八、八、〇、〇、〇	九、七、七、七、七、七	五、二〇
農 産 物	一、三、三、三、三、三	一、一、一、一、一、一	八、三〇
畜 産 物	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一〇〇
林 産 物	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一〇〇
水 産 物	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一〇〇
工 産 物	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一〇〇

(備考) 東京府政務廳調査課より

住宅不足の問題

支那事變發生以來軍需工業をはじめ股販産
業の發展につれて、工業地帯は一齊に住宅不
足を來し、昭和十四年に入つてからはその傾
向甚だしきものがあり、昭和十三年の東京の
戸数は約百二十五萬、大阪約六十萬で、住宅
を常に圓滑ならしめるには全戸数の約八%の
空家が必要だといふ意見に従へば、東京は約
十萬、大阪六萬の空家が要求されてゐるのに
東京市の空家は昭和七年に約七萬六千戸あつ
たものが、十三年には二萬一千三百と減少し
大阪でも昭和九年二萬四千、十二年には一萬
八千と減少してゐる有様で、生産力擴充計畫
の遂行にも支障となり、深刻なる社會問題に
もならんとしてゐるので、厚生省でも對策に
腐心してゐるが、この住宅難を根本的に解決
するには小住宅二十萬戸、二百人收容のアパ
ート千五百棟を要するものと見られ、しかも
十五坪の小住宅一萬戸を建築するためには木
材三十五萬石、金屬三千トを要するので、こ
の二十倍を必要とすることになるが、差當り
應急對策として、十四年度に全國に小住宅四

萬戸、アパート(二百名收容)三百棟建築の計
畫を樹て、企業院および關係各省の諒解を得
て、十四年五月から實施計畫に着手した。一
方企業院では現状のまま遷延すれば、勞務者
の保健衛生に悪影響を與へ能率低下し、生産
力擴充計畫にまで支障を來すものとし、國家
總動員法の第六條か第十六條の發動について
考慮し、軍需關係の大工場には勞務者住宅を
設備せしめる義務を負はすことのできる第十
六條發動の意見が漸次有力となつて來た。ま
た大工場中には進んで住宅を經營する機運を
招來した。

東京市ほか二十一都市

住宅總數	獨立住宅	長 屋	共同住宅	寄 宿	下 宿	其 他	總 計
六、三、三、八	三、六、一、六	二、〇、七、八	三、三、一、七	一、三、三、三	一、三、三、三	一、三、三、三	六、三、三、八
六、〇、一、六	三、六、一、六	二、〇、七、八	三、三、一、七	一、三、三、三	一、三、三、三	一、三、三、三	六、〇、一、六
六、〇、一、六	三、六、一、六	二、〇、七、八	三、三、一、七	一、三、三、三	一、三、三、三	一、三、三、三	六、〇、一、六

昭和十二年中の住居建築

全國都市一覽

(一五二市) 昭和十四年九月十日現在

市 部	市 部	昭和十一年一月一日現在		昭和十五年一月一日現在		市制施行年月日
		人口總數	世帯數	人口總數	世帯數	
東京	東京	一、八、八、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、八、八、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	明治三三・一
大阪	大阪	一、三、三、三、三、三	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、三、三、三、三、三	一、〇、〇、〇、〇、〇	明治三三・一
名古屋	名古屋	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	明治三三・一
京都	京都	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	明治三三・一
神戸	神戸	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	明治三三・一
横濱	横濱	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	明治三三・一
福岡	福岡	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	明治三三・一
仙台	仙台	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	明治三三・一
札幌	札幌	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	明治三三・一
金澤	金澤	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	明治三三・一
和歌山	和歌山	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	明治三三・一
鹿兒島	鹿兒島	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	明治三三・一
山形	山形	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	明治三三・一

各市歳出一覽

昭和十三年度豫算

市 部	市 部	歳出總額
東京	東京	一、八、八、〇、〇、〇
大阪	大阪	一、三、三、三、三、三
名古屋	名古屋	一、〇、〇、〇、〇、〇
京都	京都	一、〇、〇、〇、〇、〇
神戸	神戸	一、〇、〇、〇、〇、〇
横濱	横濱	一、〇、〇、〇、〇、〇
福岡	福岡	一、〇、〇、〇、〇、〇
仙台	仙台	一、〇、〇、〇、〇、〇
札幌	札幌	一、〇、〇、〇、〇、〇
金澤	金澤	一、〇、〇、〇、〇、〇
和歌山	和歌山	一、〇、〇、〇、〇、〇
鹿兒島	鹿兒島	一、〇、〇、〇、〇、〇
山形	山形	一、〇、〇、〇、〇、〇

市 部

Table listing various cities and prefectures such as 前橋 (Machida), 宇都宮 (Utsunomiya), 松山 (Matsuyama), 長野 (Nagano), 大津 (Tsu), 京都 (Kyoto), etc., with associated numerical data and dates.

Table listing cities and prefectures such as 船橋 (Funabashi), 東京 (Tokyo), 八王子 (Yamanashi), 横須賀 (Yokosuka), 川崎 (Kawasaki), etc., with associated numerical data and dates.

市 部

Table listing various cities and prefectures such as 堺 (Sakai), 下關 (Yamaguchi), 小樽 (Oshima), 新潟 (Niigata), 岐阜 (Gifu), 門司 (Fukuoka), etc., with associated numerical data and dates.

Table listing cities and prefectures such as 米澤 (Yonezawa), 酒田 (Sakata), 若松 (Wakatsu), 福島 (Fukushima), 郡山 (Kumagaya), etc., with associated numerical data and dates.

市 部

Table with 20 columns listing cities such as 浦和, 尾道, 福山, 若松, 宇和島, etc., and their corresponding numerical values and dates.

Table with 20 columns listing cities such as 松坂, 宇治山田, 四日市, 津, etc., and their corresponding numerical values and dates.

市 部

Table with 20 columns listing cities such as 船橋, 米子, 直方, 岸和田, 豊中, etc., and their corresponding numerical values and dates.

Table with 20 columns listing cities such as 大津, 彦根, 京都, 舞鶴, 大坂, etc., and their corresponding numerical values and dates.

市 郡

Table of population data for various cities and prefectures in the right column, including entries like 池田(大阪), 石巻(宮城), 新宮(和歌山), etc.

備考—昭和十年國勢調査人口は確定数により、世帯数は速報による。△印は昭和十年の國勢調査後に市制を施行したものであるが一部分は遡って人口数を記載したものである。

Table of population data for various cities and prefectures in the bottom right section, including entries like 丸高, 德島, 防府, etc.

市 郡

Table of population data for various cities and prefectures in the top left section, including entries like 京師, 平野, 大津, etc.

Table of population data for various cities and prefectures in the middle left section, including entries like 關東州, 新中, 彰化, etc.

Table of population data for various cities and prefectures in the bottom left section, including entries like 知取町, 泊居町, 立川町, etc.

市 部

Table of city populations for various countries including Japan, USA, and Europe. Columns include city names, population figures, and country codes.

列國大都市の人口

世界における人口三十萬以上の大都市は百八十でそのうち百萬以上のもの三十八、二百萬以上は十一で、ニューヨークの七百三十七萬第一位にあり、東京は昭和七年十月一日の市域擴張により六百四十六萬を算して一躍第二位を占め、ベルリンの四百三十三萬、ロンドンの四百四十四萬、上海の三百七十六萬、モスクワの三百六十四萬、シカゴの二百六十一萬、大阪の三百三十二萬などこれにつぐ。

Table of metropolitan populations for various countries, including a section for 'リヤの四、フランス、スペイン、オランダ、ポーランドおよびアルゼンチンの各三、蘭州、エジプト、カナダおよび蘭領インドの各二'.

Table of metropolitan populations for various countries, including a section for '三、フィラデルフ(米)、ウイロン(獨)、デトロイト(米)'.

市 部

Table of city populations for various countries including Japan, USA, and Europe. Columns include city names, population figures, and country codes.

Table of city populations for various countries including Japan, USA, and Europe. Columns include city names, population figures, and country codes.

Table of city populations for various countries including Japan, USA, and Europe. Columns include city names, population figures, and country codes.

市 都

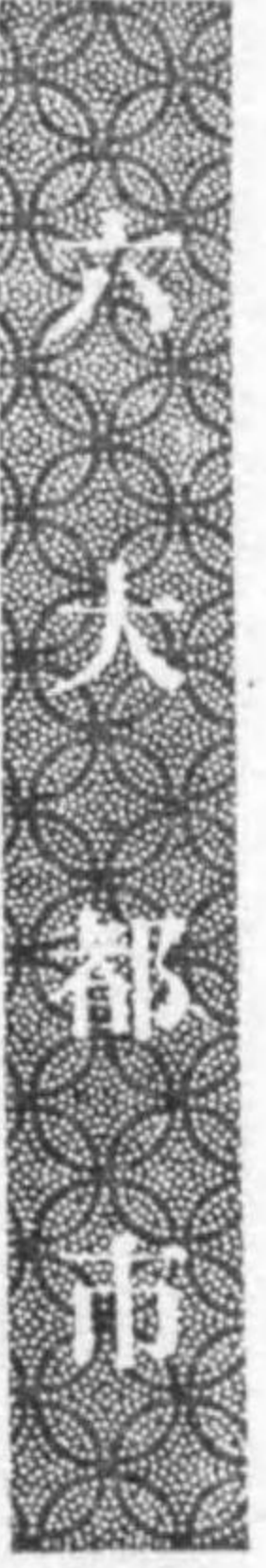
Table listing various cities and their administrative status (e.g., 107 ダブリン(愛), 108 ハイダラバード(印), etc.) with columns for city name, country/region, and a numerical value.

市 京 東



東京市 沿革

古へを回顧する。人口六百四十五萬、世界第二の大都市を誇る東京市も千餘年の昔は「あづま」と呼ばれた草深い荒野に過ぎなかつた。



道灌歿し、上杉氏、北條氏に敗れてその繁華は小田原に奪はれた。かくてまた百餘年後の天正十八年八月一日徳川家康關東八州の領主となり江戸を居城と定めついで慶長八年征夷大將軍に任ぜられこれに幕府を開き、一方萬難を排して附近の沼澤原野を開拓し、江戸は一躍日本六十餘州の政治的中心地となり、徳川十五代、二百六十八年、八百八町より天保年間には千六百七十八町に擴大され、人口二百萬を算へて賑賑を極めた。

大震災と帝都復興 大正十二年九月一日の關東大震災により明治維新以來營々として築かれた帝都五十餘年の文化施設は一瞬全滅にも等しい大打撃を被つたが、同十二月帝都復興の詔書頒發せられ長らくも御内帑金一千万圓の下賜あり、更に第一次復興費八億二千六百餘萬圓の巨費と復興に燃ゆる市民の不撓不屈の精神により遂に舊に倍する近代都市を建設した。

十月一日遂にその隣接五郡八十二ヶ町村を市域に編入、従来の十五區から一躍卅五區の大東京に飛躍、人口では世界第二位、面積世界第五位となつたが、更に昭和十一年十月一日千歳、砧兩村（面積廿一方、九六）を加へて世田谷區に編入し、總面積五百七十七方、九五、總人口六百四十五萬七千人となつた。

△土地種別（平方米）

御料地六、三九九、〇五七、國有地七三、二三三、三三八、民有地四〇四、八六八、〇六八、總面積四八四、四九九、四五三、民有地のうち有租地は三八一、五七九、三七九あり、その種別割合は宅地四・八一%、畑地二九・〇三%、田地二〇・四五%、山林三・〇三%、池沼〇・四九%、原野一・四七%、雜種地〇・七二%。

△公園（昭和十三年七月一日）

開闢せる面積は四、五一四、〇五〇平方、一五一ヶ所あり、主なるものは上野公園六一一、七九二平方、芝公園五一七、八〇四平方、日比谷公園一六四、五六六平方、淺草公園一〇、五五八平方、後樂園六〇、二五二平方、大森園一〇三、五〇一平方などである。なほ以上の外工事中のもの五ヶ所、一一六、四〇四平方、未着手のもの一ヶ所、一三九、四三三平方がある。

最近の市政重要事件

支那事變二周年を迎へて東京市政もますます多事繁劇を加へてきた。先づ統後後援事業や國民精神總動員運動はさらに一層擴大強化され、一方内務省地方局の東京都制官選都長案をめぐつて、東京市をはじめ自治擁護聯盟が活潑な活動を見せ、一路内務省案排撃に邁進した。また多大の期待をかけたオリンピック東京大會は中止、日本萬國博覽會は延期となり、東京市は紀元二千六百年記念事業に専心することになつたが、市の各事業は物動計畫によりそれら相當の影響を免れなかつた。この間小橋市長は十四年三月八日原案委員會の席上病に倒れ遂に四日退職、同月末元選相編母木桂吉氏が第十七代市長として登場、七十二の老翁ながら元氣一ぱいで市政改革を呼號し、六月末市の機構人事に全面的改革を断行した、昭和十三年七月より十四年六月まで一ヶ年間の市政重要事件を列記すれば次の通りである。

◇水害に下賜金（二三・七） 天皇、皇后兩陛下には六月末の大出水のため東京全市にわたり死者や倒潰流失家屋が多敷に上つた趣聞召され、七月六日御救恤として金一封下賜あらせられた。

◇東郷元帥邸、公園として開放（二三・一一） 麹町三番町の東郷元帥邸は十二年十一月市に一切を寄附されたが、市では約一萬七千圓をもつて同邸を修理し十一月十日開闢式を挙げ、十一日から一般に公開されたが、同邸は特に公園と稱せず東郷元帥邸とした。

◇第二次防空訓練（二三・一一） 第二次東部防空訓練は十一月二十六日より同二十八日にわたり實施、前回の燈管を一層徹底せしめ同時に前回はなかつた焼夷弾による消火綜合訓練も行ひ、全市の防護團、町會、家庭防火隊などは各警察署、消防署と協力して活躍した。市では防衛本部を上野自治會館に設け小橋市長は防衛團長として各區防護團を指揮した。

◇護都七十周年記念祝賀市會（二三・一一） 十一月二十六日は、明治天皇が明治元年陰曆十月十三日京都より東京に御着遊ばされたより滿七十年に相當する慶祝すべき記念日であるので、東京市ではこの日特に眞都七十周年記念祝賀會を開會、奉祝文を讀決し、市會で感謝文讀決（二三・七） 支那事變一周年に當り、東京市では七月九日市會を開き車に對する感謝文を讀決した。

◇六十年來の豪雨に善後策（二三・七） 六十年ぶりの豪雨で浸水家屋二十萬戸に達したが、市では社會、保健、土木の各局が全力を擧げてこれが應急對策を講じ、また衛生課では約七萬圓を計上、浸水地區の惡疫防止のため各種消毒薬を配布し、また豫防注射を施行、相當長期にわたる救護班の派遣などを行つた。

◇オリンピック東京大會中止を聲明（二三・七） 第十二回オリンピック東京大會は事變下のため七月十五日の閣議に於てつひに中止と決定したが、翌十六日市では小橋市長以下各首腦部が參集緊急會議を開き、結局東京市とオリンピックは深い關係があり、それだけ今回の取止めに遺憾無量なものがあるが、平和回復を待つて再び次期オリンピック大會を東京に誘致すべく今より萬全の努力を擧ふこと、し聲明書を發表した。なほ萬國博も延期となつた。

◇新宿驛前廣場建設に着手（二三・七） 昭和九年度より十四年度に至る六ヶ年繼續都市計畫事業の新宿驛前廣場は一應の準備工事も出来上り、七月二十一日起工式を擧行した。（面積六千二百五十一坪、工費四百萬圓）

會終了後小橋市長は松永市會議員を帶同宮中に參内、奉呈した。なほ本市會では勝、西郷兩翁に對する謝恩の建請をなした。

◇小河内貯水池工事地鎮祭（二三・一一） 奥多摩溪谷に世界的大ダムを建設して東京市民を水飢饉の心配から救はうとする小河内貯水池工事の地鎮祭は十一月十二日貯水池堰堤敷定地で盛大に行はれた。

◇都長官選決定（二三・一一） 十二月八日内務省地方制度調査委員會において東京都制案に關する都長は遂に官選と決定した。この報に接した自治擁護聯盟をはじめ市區各方面は異常の衝動を受け、各方面ともこれが反對の氣勢を示した。

◇特別所得税を廢止（二三・一一） 國稅所得税の免稅點以下八百圓以上の所得に賦課してゐた東京市特別所得税は、國稅所得税の免稅點引下げにより徵收範圍が極めて少くなつたので財政市設委員會で遂に廢止することとなつた。

◇七省線驛前廣場計畫決定（二三・一一） 十二月二十六日都市計畫東京地方委員會において可決されたもの、内、主なるものは省線驛前廣場計畫で駒込、巢鴨、目白、目黒、五反田、大井、蒲田の七驛前廣場計畫が決定した。

◇航空港建設計畫決定（二三・八） 八月八日都市計畫地方委員會において城東區南砂町沖に飛行場建設計畫を決定した。

◇廿年來の猛颶風帝都を襲ふ（二三・九） 八月三十一日夜半から九月一日拂曉にかけて東京地方を襲つた猛颶風は全市に多大の損害を與へたが、街路樹だけでも八萬五千本の九割までが損傷し、學校は殆んど休校、また上下水道、土不關係、市電、市バス方面にも被害甚大であつた。

◇官選都長反對氣勢熾烈（二三・九） 六月末都長を官選する東京都制内務省案が發表され、東京市を中心とする公選都長支持派は猛烈な反對運動を起し各方面に呼びかけてゐたが、東京市自治擁護聯盟では九月二日日比谷公會堂に官選都長反對の都制問題講演會を開き各政黨代表者は官選懸念の熱痛を揮つた。

◇第一次東部防空訓練（二三・九） 十二年第一次防空訓練は九月十二日より五日間にわたり實施、市廳舎内に東京市防衛本部を設け軍の防空に即應して種々の訓練事務をとり、小橋市長が防衛團長として全市防護團を指揮し、各區防護團は警報傳達、交通整理などに出勤し好成績を収めた。

◇傷痍軍人優待、市電無料（二三・一〇） 東京市では支那事變による傷病兵に對し、勵

市職制改正(一三・一一) 十月二十八日市職制の一部を改正したが、これは區長職務權限擴張を主とするもので、まづ徴収、土木及清掃事務の一部を區長に移管し、この結果區役所に土木課を新設、保健土木課を保健課とした。この外市の内部にも産業局内に金融課を設け、土木局出張所は廢止、電氣局、清掃部にも一部の改正があつた。

東京都制案反對を決議(一四・一) 一月二十六日六大都市都制ならびに五大都市特別市制促進會兩院議員幹事及び各市實行委員の聯合協議會において内務省地方局の東京都制案は廢棄し、自治の本義に悖らざる東京都制案と五大都市特別市制法案を立案し、速かに帝國議會に提出されたいといふ意味の決議をなし、關係官廳方面に陳情した。

中央市場 澁橋分場開場(一四・二) 東京市中央卸賣市場澁橋分場は工費五十三萬圓で昭和十二年九月竣工したが、収容に當り業者間に單一と複數の二つに分れて纏まらず開場が延び、漸く十三年末單一の新宿青果株式會社が創立され、二月十六日開場した。

満足し得なくなつたので毎週一回宛市政週報を發行し、東京市區政に關する限り細大もらさず實情を報道することとなつた。

東亞大都市懇談會(一四・四) 東亞新秩序建設の側面的工作をはからうといふ日滿支の大都市代表者懇談會は、四月七日より九日まで三日間にわたり東京で開催された。東京市では大連都市々長を一週間の賓客として歡待した。

小橋市長退職(一四・四) 四月十一日小橋市長は病氣のため辭表を提出、このため同十四日市會を開き小橋市長および三助役(但三助役のみは後任市長決定後退職)の退職を承認した。なほ市會は市長に對する感謝文を決議しその勞をねぎらつたが、在任二年間の主なる事績は次の通りである。

として大久保留次郎、橋本祐幸、多久安信の三氏が決定した。

市職制未嘗の大改正(一四・六) 市政運用の圓滑、事務能率の増進をはかり、時局下市民生活の向上發展を期するため頼母木新市長は六月廿日付を以て大規模な職制改革を行ひ人事の大異動を斷行した。その主なるものは總務局、市民局を新設し、社會、保健兩局を合して厚生局を設けた。なほ獨立してゐた五部を廢合、中央卸賣市場、養育院などもそれぞれ各局へ配屬された。

市政の現状

△歴代市長 就任年月日 辭任年月日 高輪 五六 明治一九三・九 三三・八・元

侯 鎌倉實茂 三三・五・九 二四・七・二 富田鐵之助 二四・七・三 三三・一〇・一

二浦 安 三三・一〇・一 二四・七・二

侯 久我 通久 二九・三・三 三〇・一〇・三 子 岡部 長職 三〇・一〇・三 肥塚 龍 三三・七・六 三三・一〇・六

(以上は市制條例により知事兼職)

松田 秀雄 三三・一〇・六 三三・六・一 尾崎 行雄 四三・九・三 四三・九・三

(次頁ハシ)

人口及び面積(昭和十三年十月一日現在、人口は推計)

Table with columns: 區名, 世帯數, 人口(單位千人), 面積(單位方科). Rows include 全市, 舊市部, 神田, 日橋, 芝橋, 赤坂, 四谷, 牛込, 小石, 本郷, 下谷, 浅草, 本所.

Table with columns: 區名, 人口(單位千人), 面積(單位方科). Rows include 深川, 新部, 品川, 目黒, 荏原, 大森, 蒲田, 世田谷, 澁谷, 中野, 杉並, 豊島, 荒川, 板橋, 足立, 向島, 葛飾, 江戸.

Table listing names and numbers for various departments like 男阪谷, 男奥田, etc.

Table listing names and numbers for various departments like 市長, 副市長, etc.

Table listing names and numbers for various departments like 厚生局長, 消防局長, etc.

Table listing names and numbers for various departments like 市長, 副市長, etc.

市會議員(昭和十四年七月一日現在)
向島 福内 林平 江戸川 青木 春好

市會議員(昭和十四年七月一日現在)
【勤町】三輪田元道、池田清秋【神田】中村高一

紀元二千六百年記念事業

東京市では紀元二千六百年を記念する事業
計画について市民局記念事業部で鋭意調査研

一、宮城外苑の整備
紀元二千六百年の祝典を迎へるにあたり宮

意義を國民に銘記せしめる事ともなるので、
その具體案については宮城外苑整備事業審議

二、新東亞建設大展覽會
新東亞建設の大使命に即應し、内は一般國民

田谷【廣川弘、東鏡英、鈴木堅次郎、吉川末次郎
【澁谷】丸山鶴吉、關口彌三郎、北田一郎、吉峰

Table with columns for school types (幼稚園, 小學校, etc.) and student counts.

Table with columns for school types (中學, 高等女學校, etc.) and student counts.

大 學 三 三、七九 四、四四
 總 計 1,010 三、三三三 1,111,111
 △圖書館 館數 圖書館 閱覽人員數
 官 立 一 八七、〇三八 三、六、五四〇
 市 立 三 五五、四四一 一、九、七、〇一〇
 私 立 三 五〇、一三三 三、五、五〇九
 合 計 三、一、五七、三三三 三、七、九、〇六九

社會事業

△妊娠婦保護事業(昭和十二年度)
 市設五、私設二五、妊娠婦延人員は入院二
 三〇、七七〇人、外來二四〇、〇七〇人、巡
 回取扱一、一二四人
 △兒童保護事業(昭和十二年度)
 ○乳幼児保育 市設三三、私設七九、預り
 延人員二、〇三三、二〇一人、牛乳配給一九
 〇、六四九合
 ○育兒 市設三、私設一〇、年度未現在收
 容人員一、〇五二人
 ○虐待兒童保護 市設一、私設五、年度未
 現在收容人員一四三人
 ○少年保護 市設二、私設一三、年度未現
 在收容數五六四人
 ○兒童鑑別審査 公設一、私設二、總數三
 三、二九六八

○兒童健康相談 市設三〇、私設二五、總
 數九九、七〇五人
 ○異常兒童保護 市設二、その他施設一五
 年度未現在數一、三三三人
 ○補習教育 施設八、年度未現在數七四
 九人
 ○貧兒教育 施設八〇、年度未現在數五、
 六七七人
 △經濟保護事業(昭和十二年度)
 ○住宅供給 市設二二、私設五一、敷地坪
 數二一八、一六〇坪、建物延坪數九四、八〇
 七坪、棟數二、四六九
 ○宿泊保護 施設總數四八、有料は市設
 一〇、私設五、無料は市設四、私設九、有料
 無料兼わるものは私設二〇、總宿泊人員一、
 四七七、八七六八
 ○父子ホーム、母子ホーム 市設一、私設
 一一、收容延人員二七六、四五八八
 ○公設浴場 市設三、入浴人員七五二、一
 八一八
 ○公衆食堂 市設一五、私設六、總數人員
 四、五〇五、三八七人、金額五〇一、六四〇圓
 ○公益質屋 市設二〇、私設一〇、年度未
 現在貸付口數一七六、九六〇口、同金額九六
 三、二八七圓
 ○公益市場 市設一〇、私設三五、賣上總

額七、九三三、五一五圓
 △失業保護事業(昭和十二年度)
 ○職業紹介所 市設三六、私設一〇、求人
 數六三二、三三三人、求職者數四八五、九三
 六人、就職者數一四六、五六一人
 ○小額給料生活者失業應急事業 總額七五
 六、九七一圓、實際授職延人員四九〇、三三
 八人
 ○授産 市設一一、私設二四、年度未現在
 就業者數四、八五二人
 △救護事業(昭和十二年度)
 ○窮民救助、遭難者救護及軍事保護 私設
 二〇、救民六、〇七七人、遭難者四、九九六
 人、出征軍人三、五四二人
 ○養老 市設一、私設四、年度未現在一、
 〇五五人
 ○司法保護 私設一二、延人員男八五、四
 四二人、女三、三三四人(以上收容保護)、私
 設一二、延人員男四八四、三三九人、女三三
 五六一人(以上間接保護)
 ○行旅死亡人取扱 男五三九人、女一五
 一人
 ○行旅病人救護 男六六五人、女二七人
 ○救護法による救護 二〇、七三三世帯
 實人員三〇、一三三三人、延人員六、〇二七、
 五九二人

△傳染病患者及死亡數
 病名 患者 死亡 病名 患者 死亡
 コレラ 一 一 赤痢 四、六九七 一、七七一
 及類似 一 一 疫痢 八四二 三、〇〇一
 赤痢類似 一 一 傷寒 一、〇〇一 一、〇〇一
 スチフ 一、三三三 四四 傷寒 一、〇〇一 一、〇〇一
 フス 一、〇〇一 一、〇〇一

衛生と警察

△社會教化事業(昭和十二年度)
 ○労働者教育 市設、講座私設三、受講延
 人員四五、四七八人(内、女九、三二八人)
 ○隣保 市設二七、私設四五
 △醫療保護事業(昭和十二年度)
 ○一般醫療保護 市設七、私設三三、年度
 未現在收容數二、一七六人、外來患者延人員
 三、九九六、四九五八
 ○診療所 市設八、私設四八、外來患者延
 人員九八三、四〇二人
 ○特殊療養所 市設八、私設一一、年度未現
 在四、〇二七人、外來患者延人員一五、三二
 七人(但し市設のものを除く)
 △方面事業(昭和十二年度)
 ○方面別 方面總數二二〇、委員數二、六
 二〇人、社會調査二四一、三七二、相談、保
 護、保健、戸籍、福利、教化、育兒、獎學、
 周旋、金品給與等およびその他の總數一、九
 三三、〇五三

△官公私立病院 病院數三七二、醫師及その
 他の従業員男五、一七八人(内、醫師三、二
 八九)女八、一六七人(内、醫師三〇九)入
 院患者延人員六、二二二、二六〇人、死亡一
 七、六五五人、外來患者延人員二、八五
 七、三八六
 △醫院、診療所 總數三、七三三、醫師その
 他一〇、一五一(内、醫師男三、九三八、女
 四〇九)
 △齒科病院、醫院、診療所 總數二、七二三
 醫師三、一六九(内、女二八七)患者延人員
 六、三五六、四三三
 △下水道 水路、その他の田地二一一、九九
 一、一八二平方尺、沈澱池一面積二二、面積
 六〇五、〇〇五平方尺、濾過池一面積一一
 〇、面積二六六、〇九六平方尺、淨水池一面積
 二、六、面積二四五、三四五平方尺、給水鐵
 管延長四、七二二、五七七尺、給水栓數八九
 七、五六九、使用人口五、三四八、五四七、
 配水量三五五、六〇七、九二七立方尺、一日
 最大一、二五一、一七五、同最少七〇三、三
 四七、同平均九二二、一五三
 △下水道 沈砂池一池數二〇、有效容積三、
 九七八立方尺、沈澱池一池數二二、有效容
 積五二、一〇〇立方尺、貯水池一池數五、有
 效容積一三六、五五〇立方尺、濾過池一池數
 二八、面積二八、二八〇平方尺、沈澱井二、
 有效容積一箇數二、有效容積四五〇立方尺、
 下水管一、七九一、〇九二尺
 △塵芥と屎尿 塵芥一雜芥七〇五、五〇五
 噸、厨芥一〇九、一二五噸、屎尿汲取一市直
 管五二五、二九四石、請負八、七六五、八〇
 一石、農民五四一、〇七三石
 △警察 警視廳職員二、五三七、警察署一總
 數七九、派出所、駐在所一、二〇五、職員數
 一三、七〇一
 犯罪件數二三八、〇九四、就捕犯人五九、
 一六三、犯罪檢舉件數九〇、二九五、要視察
 人員七、七八七、自殺者一、七三三
 消防署及分署四一、職員二、五二四、消防
 組員六、七三五、出火度數二、七二五、失火
 一、四四九、放水八八、その他一七八、罹災
 世帯數二、〇三六
 △取締を要する營業十三年三月末日現在)
 湯 屋 三六 宿 屋 三三
 待合茶屋 三六 藝妓屋 三三

書 送 屋 丸六三三 西洋料理店 丸三六
 支那料理店 丸三六三 喫茶店 丸一〇一
 壽司屋 丸一〇三 その他 丸一〇五
 劇場 總數三〇、興行回数一八、五五八、興行
 日數一、六八八、入場人員八、三三四、五九三
 活動寫眞館 總數二四六、興行日數八九〇、
 九一、興行回数二〇六、八四〇、入場人員四八、
 二四五、二六三△演藝場一〇〇、興行日數二二、
 七五四、興行回数二七、三五八、入場人員三、三
 一〇、三六二

土木交通通信

土木事業

土木施設は經常部支出によるものほか昭和十二年以後施行すべき繼續事業として左

記のものが議定せられてゐる(單位千圓)
 都市計畫事業第三街路修築費 一一、〇〇〇
 街路修築費 九、二五六
 在來下水整理費 三、〇〇〇
 オリソビック大賣場街路修築費 一〇、八〇〇
 土木費(道路新設改修費) 一三、五〇〇
 同(簡易鋪裝費) 二、〇〇〇
 同(側溝新設改修費) 八〇〇
 同(水格改修費) 五〇〇
 同(排水場新設改修費) 三、五〇〇
 河川改修費 七、四〇〇
 橋梁新設改修費 三、〇〇〇
 河川浚渫土埋立處分費 二、〇〇〇
 澱池淨化施設費 一、〇〇〇
 土木費(河川改修費) 六、〇〇〇

△東京市内省線乗降人員及料金(昭和十二年度)

線 名	乗車人員	降車人員	乗客(人)	降客(人)	一日平均	入場券枚數
東海道本線	一六、七三六、〇四九	一四、二七三、〇六八	一七、〇三三、三六八	一三、〇三三、三六八	三、三三三、三三三	三、六六六、六六六
中央本線	九、九〇二、八五七	八、五九九、六三三	一〇、七三〇、二六〇	九、五九九、六三三	三、〇〇〇、〇〇〇	三、三三三、三三三
山 手 線	一〇、〇〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇	三、三三三、三三三	三、三三三、三三三
東北本線	八、八八八、八八八	八、八八八、八八八	八、八八八、八八八	八、八八八、八八八	二、二二二、二二二	二、二二二、二二二
常磐線	六、七七八、八七八	六、七七八、八七八	六、七七八、八七八	六、七七八、八七八	二、二二二、二二二	二、二二二、二二二
武 本 線	三、〇三〇、三〇三	三、〇三〇、三〇三	三、〇三〇、三〇三	三、〇三〇、三〇三	一、一〇〇、一〇〇	一、一〇〇、一〇〇
合 計	四二、〇〇〇、〇〇〇	三九、〇〇〇、〇〇〇	四四、〇〇〇、〇〇〇	四一、〇〇〇、〇〇〇	一三、〇〇〇、〇〇〇	一三、〇〇〇、〇〇〇

△道路現況(昭和十一年十二月末現在)

延長(米)	面積(平方米)
國 道	三、五八六、〇〇〇
府 縣 道	七、七三六、三三三
市 道	三、八三三、三三三

△私鐵運輸狀況(昭和十二年度)

會社總數 一四 營業路線延長 一、六八八.八
 營業路線員長 八.六.六.六 在籍車輛 七.七.七.七
 現業員 五.五.五.五 運轉車輛 三.三.三.三
 運轉料 其 他 運轉料 乘車人員 五.五.五.五
 一日平均乘車料金 〇.〇.〇.〇
 △市營電車(昭和十二年度)
 軌道延長 四.六.六.六 停留所 三.三.三.三
 車輛數 一.一.一.一 運轉料 四.四.四.四
 使用電力 〇.〇.〇.〇 従業員 五.五.五.五

産業經濟

△物品販賣店

東京市内の物品販賣店は昭和十二年七月末現在で一五五、六七四店に上り、そのうち舊市部は七三、四一〇店(四七.二%)、新市部は八二、二六四店(五二.八%)の割合となつてゐる。これを昭和十三年十月一日現在の全市推計世帯數と人口との關係を調べると、全市では一店當り八世帯、四一人で、新舊市部別では舊市部が六世帯、三二人、新市部が一

○世帯、五〇人について一店の割合となつてゐる。

これらを品別に調べると、最も多いのは菓子パン店の一六、一八九で、一店當りは八一世帯、三九九人となり、それに次いで酒、調味料、清涼飲料店の一〇、〇五三、白米店の八、〇四四、蔬菜、果實店の六、三三六などで、さすがに生活上直接必要品を賣る店が斷然多い。今店舗數が二、〇〇〇店以上の品種だけを掲げて見ると次の如くである。

種別	店舗數	種別	店舗數
菓子、パン	一六、一八九	酒、調味料	一〇、〇五三
米	八、〇四四	清涼飲料	八、〇四四
小問物、洋品	六、三三六	蔬菜、果物	六、三三六
(洋傘を含む)		薪、木炭	五、二二二
藥種、賣藥	四、三三三	石炭	五、二二二
化粧品	三、三三三	車輦	四、三三三
荒物	二、二二二	鮮魚介	三、三三三
紙、文房具	二、二二二	履物、傘(洋傘を含む)	三、三三三
洋 服	二、二二二	金 物	二、二二二
乾物、雜貨	二、二二二	鳥、獸肉	二、二二二
古道具、書	二、二二二	指物、家具	二、二二二
膏、骨董	二、二二二	呉服、木物	二、二二二
木材、竹材	二、二二二	豆 腐	二、二二二
電氣、瓦斯	二、二二二	絹糸、絹物	二、二二二
機械器具	二、二二二		
靴	二、二二二		
浴物、煮物	二、二二二		

△會社

市内の會社總數は昭和十二年末現在で一七五四一、公稱資本金一、四五三、六〇七、四六一圓、拂込資本金九、三六二、八五一、二七五圓(外に相互會社四、基金總額二、四〇〇、〇〇〇圓)で、これを前年に比較すれば會社數は六三七の増加(前年の三、七七七)に過ぎないが、公稱資本金に於いて一、七一八八七一、五〇二圓(一六%)の増加を示してゐる。これより全體とくらべると會社數では全國の二〇%六三、資本金では半ばに近く四六.二%に上りまた大阪市にくらべると會社數では七、八三八、公稱資本金では七、三三、二二六萬圓を凌駕してゐる。

會社組織別に見ると株式會社五、七二八(三三%六五)、合資會社九、三五八(五三%三四)、合名會社二、四五三(一三%九八)、株式合資會社二、相互會社四となつてゐる。

昭和十二年末で市内の銀行店舗は三五五五行で、そのうち本店二四行、支店三三三二行であるが、支店中その本店が東京市内に在るもの二、三六行、東京市外に在るもの九、五五行である。そして市外銀行は貯蓄銀行支店が僅か三

行、普通銀行支店は八七行に上り、總數の七九%を占め、そのうちでも特に日本橋區の六六行、麹町區の三七行、京橋區の二三行などいはゆるビジネスセンターにはさすがに多數集中してゐる。これに反し新市部二十區には僅か七六行しかなく、しかも葛飾と江戸川の兩區には全然ない。

昭和十二年中における全銀行の預金受入高は一四九、一八九、九三一、八八四圓、拂戻高は一四八、四五三、五四八、八六二圓で前年よりもそれ／＼約三〇億圓方の出入増加を示し、金融市場は嘗てない大繁栄を呈した。従つて年末現在高でも四、六九五、六八七、六九八圓に上り、前年よりも七四〇、七六四、二五四圓(一八%九増加といふ大躍進で、また總貸出高は六八、八三〇、五六二、六〇五圓で資金の需要も極めて旺盛であることを示し、前年よりも七、〇五七、一一七、〇二六圓(一一%増加し、結局年末現在の貸出高は四、六〇九、八六七、八三七圓となつてゐる。

△工業

昭和十二年末現在で市内にある工場總數は四三、九六二(休業工場は含まず)、職工數四五〇、三四六八、生産額は一、五〇五、五二

四、六七二圓で、前年よりも工場數一、〇九二(二%)、職工數七三、六二八(二%)、生産額六七五、三一七、二七圓(三七%)それ／＼増加してゐる。

東京市の工業が昭和二年以來數年にわたる不況のどん底から漸く復活の曙光を見出した昭和七年を基準として、以後五箇年間に於けるその躍進振りを指數から見ると、昭和八年には前年來の貿易條件の好轉と滿洲事變を契機として國家の消費が急激に増大したことで稀有の活況を齎し、工場數一〇八、職工數一一五、生産額一三〇と一躍増加し、續いてこの好調は昭和九年にも持續して一一三、一二九、一五一と累増し、その後さらに軍需工業を柱軸とする工業界の進展が一層の加速度を加へたために、昭和十年には工場數一一六、職工數一四三、生産額一七五、十一年にはそれ／＼二二〇、一五九、二〇一と躍進し、十二年に至つてはさらに昇つて二二三、一九〇、二七五と躍進の一途を辿つてゐる。

事業別工場概況

Table with 4 columns: 主要事業別, 工場數, 職工數, 生産額(圓). Rows include 紡績, 印刷, 金剛, 機械器具工業, etc.

化学工業 三、三三三 四、八六一 四、七、三、七、六、四
製材及木製 三、〇〇〇 三、七六六 三、一、八、四、三、三
印刷及製本業 三、〇〇〇 三、九、九、九、九、九、九
食品工業 四、〇〇〇 三、九、九、九、九、九、九
瓦斯及電氣業 七、七、七、七、七、七、七、七、七、七
その他の工業 四、二、二、二、二、二、二、二、二、二
總數 四、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三
たゞ最近物資調整によつて繼續困難になつた事業も相當多くなり、これらが軍需品工業輸出品工業および代用品工業への轉業が頻繁になり小さくない波瀾を巻き起してゐる。

△労働

○労働賃銀(昭和十二年度)
最高日給四圓三五錢(製革工) 最低日給五七錢
(絹糸紡績女工) 總平均二圓二二錢
○労働者總數(同)
男五三〇、一五九人 女一四八、九七八 總數六七九、一三三
○労働組合(同)
組合數二七一 組合員數七九、九四六
○工場法適用民間工場及職工數(同)
工場數 一六、九二八
職工數 三、八四、五〇五(男二九一、四四三人 女九三、〇六二人)

△市場

東京市中央卸賣市場の指定區域は現在の東

京市域と合致してゐるが、かゝる膨大な面積でしかも人口稠密な區域にあつて物資配給の圓滑を期するには分場設置が必要なので、中央卸賣市場建設當初の計畫は一本場(築地)、二分場(神田、江東)であつたのを、第二次計畫として新市域に四箇所の分場(荏原、淀橋、豊島、足立)を建設することにした。第一次計畫に屬する市場および第二次計畫による荏原、淀橋、豊島の三分場はすでに開始した。

市場別取扱高(昭和十二年)

Table with 2 columns: 築地本場, 魚類部, 青果部, 鳥卵部, 神田分場, 青果部, 江東分場, 荏原分場, 豊島分場, 合計. Values in 100,000 Yen.

△東京港

東京港修築は明治三十九年に始まり、先づ隅田川改良工事に着手し、同工事終了と共に東京港修築工事を起し、着々諸設備の完成に努力し開港準備を進めてゐる。港灣施設およびその利用の概況は

(一)港域内總水面積は一萬千六百四十六ヘクタールで、その中實際港灣設備の施されてゐる區域は各台場と防波堤で圍繞された港内面積は九百十六ヘクタール四であつて、航路新岸壁前面、本船泊地などで最も深い部分は七以六の水深を持つてゐる。

(二)出入航路は基準水面下六以七、可航幅員四十五以、延長五千二百六十以、その兩外側に總延長四千三百八十以十五連の防砂堤が築造され、所々に浮標が設置してある。

(三)繫船浮標は十八個で、繫用浮標が二個合計二十個ある。

(四)繫船棧橋および岸壁は全長千八百四十七以で前面水深は六以七乃至七以六で、接岸浮標合せて四十六隻同時に繫留できる。

(五)上屋は鐵骨造平家十棟(二萬三千六百十八平方以)が設備されてゐる。

(六)臨港鐵道は汐留驛を起點として芝浦驛に達し延長二、〇八の單線官營である。

(七)貨物集散狀況 昭和十三年の吞吐貨物量は七百二十四萬噸、入出船舶は三千八十七隻、總噸數七百九十四萬噸に達してゐる。

○出入貨物(昭和十三年)
入貨六、三三三、〇四四噸 出貨九〇四、五三二噸

市の財政

△昭和十四年度豫算

(單位千圓、千圓以下切捨)

Table with 3 columns: 經濟別, 總收入, 純收入, 總支出, 純支出. Rows include 普通, 皇太子殿下御誕生記念事業積立金, 中央卸賣市場費, 港灣費, 公庫敷地, 住宅並浴場費, 土地區畫整理費, 火災共済金, 水道, 養育院, 運輸事業費, 電氣供給事業費, 電氣事業公債, 電氣事業工場敷定及貯蔵物品費, 電氣研究所費, 公債償還金, 公債費.

職員貸付資金	八、四〇〇
轉貸資金	三、三〇〇
用品及工場	一、八〇〇
計	一三、五〇〇

△十四年度各經濟種類別歳入豫算

種別	金額	種別	金額
財産收入	三、三〇〇	過年度市税	二、三〇〇
使用料車手数料等	九、三〇〇	市債	三、〇〇〇
國庫下渡金	八、〇〇〇	其他	一、八〇〇
助金交付金	一、〇〇〇	前年度繰越金	六、〇〇〇
府縣補助金	一、〇〇〇	繰別途積立財	一、〇〇〇
納付金	七、八〇〇	入庫金	一、〇〇〇
報償金	一、〇〇〇	その他繰入	一、〇〇〇
受益者負擔金	一、〇〇〇	金運用金	一、〇〇〇
財産賣拂代	一、〇〇〇	計	一三、五〇〇

△十四年度事業別歳出豫算

種別	金額	種別	金額
教育費	一、〇〇〇	電気事業費	一、〇〇〇
衛生費	一、〇〇〇	その他	一、〇〇〇
保健費	一、〇〇〇	市債	一、〇〇〇
社会事業費	一、〇〇〇	利息	一、〇〇〇
		取扱い	一、〇〇〇
		計	一三、五〇〇

土木費	一、〇〇〇
水道事業費	一、〇〇〇
市債	一、〇〇〇
繰入金	一、〇〇〇
市債	一、〇〇〇
繰入金	一、〇〇〇
その他	一、〇〇〇
繰入金	一、〇〇〇
積立金	一、〇〇〇
計	一三、五〇〇

△十四年度市税賦課率

項目	普通市税	都市計畫特別税
地租	0.600	0.050
營業收益税	0.800	0.100
所得税	0.100	0.100
營業税	1.000	0.100
取引所營業税	0.100	
特別地稅	0.100	0.100
家屋稅	0.100	0.100
營業稅	0.100	0.100
自動車稅	0.100	0.100
自動車營業用	0.100	0.100
不動産取得稅	0.100	0.100
其他	0.100	0.100

○附加税(本税一圓に對する課率)

項目	普通市税	都市計畫特別税
地租	0.600	0.050
營業收益税	0.800	0.100
所得税	0.100	0.100
營業税	1.000	0.100
取引所營業税	0.100	
特別地稅	0.100	0.100
家屋稅	0.100	0.100
營業稅	0.100	0.100
自動車稅	0.100	0.100
自動車營業用	0.100	0.100
不動産取得稅	0.100	0.100
其他	0.100	0.100

○特別税
 消費金高百分の十課
 商品券發行税 商品券發行高百分の二、金庫税
 (一個につき)十二圓乃至三十圓、軌道税(一)利
 益配當五分以上六分未満のもの
 軌道延長一米につき年税〇・〇七九八(重量三
 十疋を超えるものは五、五十疋に二錢二
 厘六毛を増加)(二)利益配當六分以上のもの
 軌道延長一米に付年税〇・一二四(重量三十疋
 を超ゆるものは五疋迄を増す毎に一錢八厘を
 増加)
 戸數割(一坪に付年税)〇・四五〇、埋立免租地
 段別割(一坪に付年税)〇・〇八一乃至〇・六六
 一、法人特別所得税 所得税額百分の四十五、
 俱樂部税(一人に付年税)二圓乃至十圓
 借入税(二人使用一人に付年税) 五、〇〇〇
 三人使用同 三、〇〇〇 四人使用同 二、〇〇〇
 五人使用同 一、八〇〇 六人使用同 一、〇〇〇
 以上一人を増す毎に二圓を増す

△市價現在額(單位千圓、千圓以下切捨)

普通	一、〇〇〇
中央卸賣市場	一、〇〇〇
港灣	一、〇〇〇
住宅並浴場	一、〇〇〇
轉賃	一、〇〇〇
合計	一、〇〇〇

大阪

概観

△沿革 大阪ははじめ「難波」と呼ばれ、神武天皇御東征の御初御上陸第一歩を印させられた由緒深い地である。その後應神、仁徳、孝徳、聖武諸帝の御宇この地に皇居を構へさせられた記録もあるが、就中紀元九百七十二年仁徳天皇が都をこの地に遷し給ひ、「高津宮」の御造營あり、これらは大阪が古くより水陸交通の要衝に當りその中心都市たりしことを物語つてゐる。

「大阪」の名稱が生れたのは戰國時代の頃といはれる。豊臣秀吉が諸國統一の壯圖を懷き畿内大阪城を築き、市中諸堀川を開鑿したことは今日の繁榮を濟した起りであつて、徳川時代に入つて經濟的發展いよ／＼著しく遂に汎く海内の商權を把握するに至つた。

維新以來國運の隆昌に伴つて市勢次第に伸張し、明治二十二年四月一日市制を實施、東西南北の四區に分つたが、幾何もなく市域擴張の必要に迫られ、明治三十年四月一日隣接二十八町村の全部または一部を合併した。こ

れより先き市制中に特例を設け大阪市は東京京都兩市と共に知事が市長の職務を司つて來たが、明治三十一年十月一日この特例を廢止してこゝに純然たる自治制となつた。

日露戰役および世界大戰を経て市勢の發展は愈々急速となり、大正十四年四月一日さらには市の第二次擴張を斷行、東成、西成の兩郡すなはち隣接四十四町村を合併し新編入地城を五行政區に、舊地城を八行政區に合計十三行政區に分割したが、港區及び東成區の著しい人口膨脹に伴ひ昭和七年十月一日更に兩區を分割して二區を増し、合計十五行政區となつた。かくて今や面積八十七平方キロメートル(水面を含む)、人口三百三十二萬餘人に上り世界屈指の大都市たるの地位を占むるに至つた。かくして昭和十三年四月十七日市制發布五十周年を迎へたが、その記念事業の一として全市に自治的な三千の町會が結成され、事變下の統後運動に活躍するとともに市政の圓滑なる運営に寄與し今日ではあらゆる方面に誇るべき模範都市を築きあげてゐる。

△人口の變遷(市勢要覽)

寛文五年	紀元三五五	二六、七〇〇人
天明元年	同 二三四	四三、三〇〇
明治元年	同 二三八	一八、一〇〇
同 二年	同 二四九	四一、二〇〇
同 十年	同 三五七	七五、二〇〇

△面積及人口

同四十年	同	二、七〇〇	一、七二、一八六
大正九年	同	二、六〇〇	一、三三、六三三
昭和五年	同	二、五〇〇	二、四三、七三三
同 十年	同	二、四〇〇	二、六九、八七四
同 十一年	同	二、三〇〇	三、一〇、七〇〇
同 十二年	同	二、二〇〇	三、二二、〇〇〇
同 十三年	同	二、一〇〇	三、三三、一〇〇
區別	面積(平方キロ)	總數	人口(千人)
北花	八・五五	二七・〇八	一四四・四四
此花	一一・〇八	三三・三七	一三六・八八
東	六・五五	一七・四四	一〇四・八八
西	四・三六	一三・九四	七三・七七
港	九・三三	三三・五五	一八八・九一
大正	九・一七	二四・八五	一四八・一七
天王寺	四・四〇	一三・九二	八二・二二
南	二・七三	一〇・一七	五三・三三
浪速	三・九七	一五・一一	八二・六六
西淀川	三・二七	一〇・二二	五三・三三
東淀川	二・九〇	一〇・一三	五三・三三
東成	一・〇六	三・〇六	一七・〇六
旭	一・八二	五・〇六	二七・〇六
住吉	一・五〇	四・三〇	二二・〇六
西成	一・七〇	五・一〇	二六・〇六
合計	一七・七三	六三・三三	三、七三、七〇〇

年次	住宅總數		宅 (戶數)	
	住宅總數	空家數	住宅%	空家%
昭和十年	五三、三三六	一、五三三	三、四七	
同十一年	六三、三六九	一、八六六	三、三六	
同十二年	六八、三三一	一、六六六	三、三三	

都市計畫

大阪都市計畫は明治十九年大阪市區改正案取調委員の設置に端を發し、大正六年都市改良調査會を設け基本調査を開始した。ついで九年一月大阪市區改正設計として認定されたる街路を告示し、十年その事業並に年度割を決定した。即ち第一次都市計畫事業である。

○第一次都市計畫事業 大阪市の都市計畫區域は廣袤二二七平方キ、事業は主として街路の擴張、新設改良である。その後大正十二年關東大震災の慘害に鑑み十三年十一月既定計畫を變更、街路の新設擴張数を追加し且つ樞要道路の橋梁を不燃質に架替へる工事も加へた結果事業費の總額は一億八千二百九十三萬圓、十三ヶ年の繼續事業に更正された。その後さらに事業年度三年延長し昭和十一年度までに完成すると決定、豫算も一億六千五百九十二萬圓に修正された。市の南北貫通大路たる梅田、難波間約四キ、幅員二十四間の御堂筋もこの事業により完成をみた。このほか大阪府域内外に亙る國道および府縣道に該當する十大放射路線は都市計畫事業とし

て大正十五年度より昭和十四年度にいたる繼續事業として大阪府知事が施行することになり、現に工事が進められてゐる。なほ地域の設定については現在全區域の三割一分を住居地域に、一割五分を商業地域に、四割二分を工業地域に指定し、未指定地域は一割二分でまた一定の地域を防火地區に指定してゐる。

また第一次事業追加事業たる寝屋川附近都市計畫事業は工費二百二十三萬圓を以て昭和八年三月竣工したが、その他追加事業として左のごときものがある。

(イ) 大阪府附近都市計畫事業 昭和三年五月内閣認可、その後同九年三月、同十二年二月、同十二年十月三回に亘つて變更(大阪府附近街路新設擴張事業として大阪市長執行)街路新設及び擴張九路線▽地下道新設七路線▽驛前廣場新設一四、〇〇〇平方キ▽事業費四八五萬圓、昭和九年度より同十四年度まで六ヶ年繼續事業、昭和十四年三月末の進捗状況約七〇%

(ロ) 大阪府前土地區畫整理事業 昭和九年三月内閣認可、高層建築敷地造成の目的に本つき會根崎中二丁目及び東梅田町の各一部地積約一四、七〇〇坪の土地區畫整理事業を大阪府において事業費二、七〇〇千圓をもつて昭和十年より同十五年にいたる五

ヶ年繼續事業として執行中で、昭和十四年三月末の進捗状況約六四%

大阪都市計畫

大阪市は大正十四年四月隣接の東成、西成兩郡四十四ヶ町村を市域に編入し行政の統一をはかるとともに將來有機的一體をなすべき地域に對し健全なる發達を期するため都市計畫區域全部にわたつて街路、運河、公園、墓地および下水道に對する綜合的計畫を樹立、昭和三年五月二十九日内閣の認可を得て告示された。その後幾分變更をみたが左にその概略を示す

- (一) 街路 幅員十一以乃至四十以のものを全部で百十六線、總延長三百キロ(約七十五里) 工費概算二億千六百六十六萬圓
- (二) 運河 幅員十八以乃至六十以のもの十五、總延長四萬二千八百六十以、工費概算一千七百五十五萬圓
- (三) 下水道 全市域を五處理區に分ち各區に處理場、抽水所及び下水道幹線を敷設す 工費概算一億六千二百八十八萬二千圓
- (四) 公園 全地域に百九ヶ所、面積七百九十六・四ヘクタール、その他公園道路十二線、面積百十七ヘクタール、合計千二・五ヘクタール、工費概算四千八百三十萬圓
- (五) 墓地 南北各一ヶ所づつ設置す。面積三十六ヘクタール五三、工費概算三百二十

一萬九千圓

○第二次都市計畫事業

大阪都市計畫のうち緊急を要するものを選んでまづ第一期事業として施行すること、し昭和七年十月二十八日内閣の認可を得た。これ即ち第二次都市計畫事業であつて、その大要は道路二十八線、道路鋪裝五十七萬平方以運河二線で、懸案の安治川筋源兵衛渡しの河底トンネルもこの事業の一として着々工事が進められてゐる。豫算總額四千六百九十一萬一千餘圓、昭和七年度より同十四年度に至る繼續事業として執行中で昭和十四年三月末における進捗状況約六一・五%である。

○土地區畫整理

前記大阪府前土地區畫整理事業のほか土地區畫整理組合により實施せられたるある區畫整理事業があり、市はこれを助成あるひは受託施行してゐる。すでに事業完成せる組合十その地積九十二萬五千坪、設立認可済の組合六十三、その地積千六百六十三萬坪、設立認可申請中及び申請準備中のもの十三、その地積二百六十八萬四千坪(以上いづれも昭和十三年末調)

○第三次都市計畫事業

昭和十二年より十八年度に至る七ヶ年繼續事業として工費約二千六百萬圓をもつて執行、事業の概要は街路十二線の新設擴張、百

萬平方以の路面鋪裝、三十二橋の改善、二運河の新設擴張等である。

○都市計畫公園事業

大阪市の紀元二千六百年記念事業として施行されるもので、昭和十四年度以降八ヶ年繼續事業、總豫算千五百九十九萬圓をもつて全市八十五ヶ所に大小公園總計四十二萬八千坪を造築する。この中には待望の大綜合體育公園たる住吉區長居公園(二十萬餘坪)をはじめ一萬坪以上の公園七ヶ所が含まれてをり、防空公園も併置される。

△公園及び動植物園

市内の公園、運動場は總計七十五ヶ所、面積二百六萬平方以である。主な公園は中之島大阪城、天王寺、城北、新淀川、真田山の六公園で府の經營にかゝるものに箕面、瀧寺、住吉、住之江の四公園がある。天王寺動物園は昭和七、八年度に擴張、現在面積六萬平方以を占め動物三百五十種、約二千四百點を收容し一ヶ年約百六十萬人の入場者がある。城北公園には農園および通俗植物園がある。

△大阪港

大阪港は大阪府が創設し維持經營に當つてゐる。明治二十年十月第一次築港工事を起し昭和四年三月竣工、ひきつゞき第二次修築計畫第一期工事を起し昭和十三年三月竣工した

が、昭和十一年度までの工事費累計は八千三百八萬圓、これに維持經營費、公債費等を合すると總額約一億七千二百八十七萬圓に上る。さらに支那事變以來港勢變遷の實情に鑑み昭和十四年度より第二次修築計畫第二期事業に着手したが、總豫算二千八百五十萬圓八ヶ年繼續の大事業で、將來南港の突堤となるべき用地埋立ならびに浚渫などが主なる事業である。

現在の施設概要を簡記すれば、防波堤並に波除堤總延長一萬二千九百九十五以、港内面積六百五十五萬平方以、水深千潮面下九以、一部は十以。また繫船岸十ヶ所、延長三千三百五十三以、棧橋六ヶ所、この延長千五百二十三以、即ち棧橋、繫船岸のみにて千トシ以上二萬トシ以下の船舶二十七隻を同時に繋留せしめることができる。

昭和九年九月二十一日の大風水害は躍進大阪港に對し未曾有の打撃を與へ、港灣事業にも幾多の齟齬を來したが、これが却つて近代港へ飛躍の契機となり、災害直後より直ちに復興事業に着手、強大なる外郭防波堤の構築並に既設防波堤の補強、港域の擴張、その他中央大突堤の築造、陸上設備の修築改良など工費二千二百八十萬圓を投じて九年度以降六ヶ年繼續事業として目下事業を遂行中である。なほ國際飛行場用地として昭和八年以來埋立

續行中の南港埠立地はその速成區域たる十六萬坪が昭和十四年夏には完成のはずで、將來國際水上飛行場として利用されるはずである。つぎに大阪港の現勢を示すと、大阪港は今や本邦三大貿易港の一として實に驚異的な發展を示し、昭和十二年中の出入船舶二十二萬隻、噸數四千四百萬トンに上り、本港を起點とし、または寄港地とする定期船は外國航路九十九線、朝鮮及内國航路七十三線に達し同年中の海運貨物は入貨二千九百九十四萬トン、三十一億三千萬圓、出貨八百九十三萬トン、三十億五千六百萬圓、これを大正元年に比すれば入港船舶は隻數八三%、噸數四二四%以上増加し、出入貨物は噸量において四倍弱、價額において八倍に激増してゐる。

Table showing trade statistics for Osaka (大阪) from 1913 to 1923. Columns include Year (年次), Output (輸出), Input (輸入), Total (總額), and Excess (超過額).

尙十三年度は統制による原料品輸入激減のため特異現象を示した。品種別輸出入割合(昭和十三年) 食品 輸出 輸入 原料品 二・一% 二・〇% 原料用製品 一・七% 四・二% 全製品 七・六% 九・六% 其他の雜品 一・三% 〇・二% 輸出品の主なるもの(單位千圓) 綿織物 二四二、六二六△人造絹織物三七、三〇八△綿織糸二八、六二八△毛織物一六、六四六△硝子及同製品二、〇〇〇△機械類五九、六三一△鐵製品二九、六四〇△紙類一七、八一八△木材二、四一五△メリヤス製品一〇、四九五

三大貿易港比較(單位百萬圓) 年次 輸出額 輸入額 大阪 神戸 橫濱 大阪 神戸 橫濱 昭和八年 四四、三〇一 一五、〇一三 二四、九三〇 二六、九 八昭和九年 六三、九七二 一六、〇三六 二二、〇三〇 二二、〇 八昭和十年 八五、三〇八 一八、〇〇〇 二七、〇三〇 二五、〇 八昭和十一年 七五、七〇六 一八、〇〇〇 二九、〇三〇 二五、〇 八昭和十二年 八五、三〇八 一八、〇〇〇 二七、〇三〇 二五、〇 八昭和十三年 七五、七〇六 一八、〇〇〇 二九、〇三〇 二五、〇

のための寄宿舍まで計畫してゐる。また輸出貿易の積極的進出助長を企圖して南洋と印度にも事務所を開設し全國的に貿易陣の強化を計らうとしてゐる。このほか滿洲、支那、印度、南洋、近東、アフリカ、歐洲、北中南米諸洲等約五十ヶ所に通信員、連絡員を配置して情報網を張り、海外市場に關する最近の情報を蒐集し新聞、雜誌、ラヂオ及機關誌を通じて發表、一方取引紹介、信用調査、競争見本蒐集なども行つてゐる。

Table showing school statistics for Osaka (大阪) from 1913 to 1923. Columns include School Type (種別), Number of Schools (校數), Number of Teachers (教員數), and Number of Students (生徒學生數).

大阪市の海外貿易調査所は大正十一年上海に設けられたのを嚆矢とし、爾來天津、大連、哈爾濱、錦州、張家口、青島と滿支の樞要都市に順次設置せられ、貿易業者のため少からぬ貢獻をして來たが興亞の黎明と共に今後の飛躍に備へて昭和十四年度には漢口に増設、上海、大連の擴充を行ひ、上海には貿易業者

同 十 年	108	110,708	12,613
同 十 一 年	108	124,323	14,961
同 十 二 年	108	127,511	15,455
同 十 三 年	108	131,101	17,324

△市營バス 昭和二年二月營業開始、昭和十三年末現在營業路線百四十八、車輛數八百四十八輛で、内百二十四輛が木炭バス。

年次 營業 乘客總數 乘客收入 (千人) (千圓)

昭和十年 一三三 三,四四六 四,三三四

同 十 一 年 一七五 四,〇九七 四,八六〇

同 十 二 年 一八〇 四,九六五 五,八三〇

同 十 三 年 一四八 八,七〇四 四,九二一

△大阪バス 交通統制の目的のもとに昭和十三年十一月一日株式の大半が市に買収され會社は富分存置して同日以來市理事者から成る新重役により經營されてゐる。昭和十三年末現在營業路線八十八、九營業用車輛六百六十七輛(うち遊覽自動車四輛、木炭バス二百四十八輛)、同年中の營業收入五百八十一萬四千八百九圓、前年に比し三十三萬六千餘圓の減收なれど年一割二分の配當持續。

△高速度電車 大正十五年三月都市計畫法により決定を見、昭和二年六月軌道法により内務、鐵道兩大臣の特許を得た。左記四路線で總延長三三、三八六、建設費概算總額一億六千二百二十萬圓。

(第一號線) 大阪府豐能郡豐津村字榎阪一

住吉區我孫子町(一、四四) △(第二號線) 大阪市東成區森小路町一住吉區天王寺町(八、五二) △(第三號線) 大阪市浪速區敷津町三丁目一西成區玉出町(二、三三一) △(第四號線) 大阪市港區三條通四丁目一住吉區平野町西脇町(二、〇六三)

而して第一期事業として第一號線並びに第三號線を豫算總額七千九百二十二萬七千餘圓をもつて昭和三年度下半年以降四年半の繼續事業として着手することに市會で可決、各種の事情にて工事が捗らず昭和八年五月二十日まづ梅田、心齋橋間二キロの地下鐵がはじめて開通、ついで十年十月三十日心齋橋、難波間、さらに十三年四月二十一日には天王寺まで開通し、こゝに南北兩玄關梅田、天王寺間七、六が僅々十三分(賃十錢)で結ばれ高速度鐵道の機能を發揮した。

年次 車輛數 乘客 (千人) 料 金 (千圓)

昭和十一年 三三 一七,五〇〇 一,一五三

同 十 二 年 三三 一六,〇三三 一,一三三

同 十 三 年 元 三三,七六六 二,八四一

△道路 大阪市の昭和十三年末現在道路面積は千四百四十七萬一千平方尺、延長二千五百九十八、〇三三に達し全市面積の七・七%に相當してゐる。その内譯を左に示すと

國道 (平方メートル) 積 (メートル) 長 (メートル)

一、〇〇〇,〇〇〇 三、〇〇〇,〇〇〇 三、〇〇〇

府縣道 1,100,000 100,000

市道 三、三〇〇,〇〇〇 二、〇〇〇,〇〇〇

右の内鋪裝道路面積は六百四十二萬一千平方尺(前年に比し二・二%増)で總道路の約半數が坦々たる明粧道路である。

△河川及橋梁 水都の名に背かず河川は市中を四通八達、その延長は十八萬二千九百二十八尺に達し、昭和十三年末現在で橋梁の數は千二百九十九、橋梁面積は二十六萬五千平方尺に上り前年に比し九・一%の増加を示してゐる。これは近年豪華なる廣幅員耐震耐火橋が増したためである。

△交通事故 高速度交通機關の發達に伴ひ年々多數の交通事故をみてゐるが、昭和十三年に至り俄然激減を來した。即ち被害總數四二九五件、事故による死者三三二人、負傷者四、〇三二人で、前年と比較し件數において三二・四%、死傷者數において三五・八%の減少を示してゐる。これはガソリン規正強化によるタクシ一の經濟速力嚴守と交通量の減少に因るところ大なりとみられる。

保 健 衛 生

明治二十五年八月水源地を櫻島に下し初めて水道工事を起し大正三年柴島水源地の完成と、もに水源地をこゝに移して現在の上下水

道施設の端緒を開いた。この間市勢の伸張に應じて數次にわたる擴張工事を進行、その第五回擴張事業は昭和十四年三月完成、これより一日の最大配水能力は八十六萬二千立方尺、あらゆる近代的設備を誇つてゐる。今日までに投じた事業費は實に五千四百八十萬圓に垂んとしてゐるが、昭和十三年中における一日最高給水量は六十七萬七立方尺に達し、重工業の發展と、もに年々加速度的に増加しつつある給水量をみるときは、この施設といへども安閑としてをれないので、さらに第六回擴張事業を起すことになり、總工費五千萬圓を投じ昭和十二年度以降十ヶ年繼續の事業として淀川上流北河内郡楠葉に第二水源新設事業に着手、一方、第二水源地完成までの中つなぎとして昭和十三年度より柴島水源地の設備増設改良工事を進行してゐる。これらが完成すれば一日最大配水能力は百三十三萬三千立方尺となる。

△下 水 道

明治二十七年以降五ヶ年繼續事業として市の中心部に施された下水改良事業が大坂市における下水道事業の嚆矢である。その後數次に亘り下水道事業が起され大正十一年以後は都市計畫事業として全市に網の目の如く排水溝を敷設、既に完成した總排水溝面積は五千二百ヘクタールに及んでゐる。さらに人口都

市集中に伴ひ單なる排水設備のみでは保健衛生上欠けるところが大きいので昭和三年下水處理計畫を確立、うち焦眉の急を要する市の中部及北部兩處理區に對し昭和六年度より工費二千百萬圓をもつて下水處理事業に着手、さらに昭和十一年度以降工費五千八百萬圓、七ヶ年繼續事業として港、大正、阿部野、住吉、恩貴島、傳法、咲島、大和田、天王寺、中濱及都島、今福の大區域合計面積六千三百十ヘクタールに對し都市計畫第五期下水道事業として處理事業を施行してゐる。なほ中部及北部處理事業は昭和十四年九月には津守並に海老江の兩下水處理場が完成、直ちに運轉を開始するはずで、これにより市中心部は汲取式便所が水洗式に改造され、下水、尿尿の淨化が完全に行はれることとなるが、同時に兩處理區管内の市民に對し下水道使用料が賦課される。

△病院と衛生試驗所

○市民病院 南市民病院は病室百三十六、病床五百を有する中産以下の庶民醫療機關で昭和五年度より市内五ヶ所に診療所を設け外來者の診療を行ひつゝある。なほ北市民病院は昭和十四年秋竣工開業の豫定である。

○衛生試驗所 市民の保健衛生上各種の依頼試驗、調査研究、榮養指導などを行ふ。

○桃山病院 傳染病患者を收容し、また細

社 會 施 設 そ の 他

△時局關係諸施設

○銃後奉公會 昭和十四年六月全市の軍人

遺家族援護組合を改組強化したもので、出征軍人遺家族に對する援護の徹底を期してゐる

○授産事業 模範的設備を誇る中央授産場をはじめ各市民館その他八ヶ所に授産場があり軍人遺家族、歸郷軍人、時局失業者らに獨立自營のため各種の技術を講習、仕事を授けてゐる。

○住宅施設 住吉區粉濱に「母子寮」を開設、軍人遺族の母子を安んずる家賃で收容するとともに、市内二ヶ所に「勤の家」を新築、遺家族に提供してゐる。このほか軍需労働者のため「青年寮」も三ヶ所建設中。

△社 會 施 設

○失業保護事業 職業紹介事業は昭和十三年國營に移管されたが、市立労働訓練所では失業登録労働者や時局失業者を收容し、鐵工製圖などの技術部も併設して肉體的、精神的に規律正しい訓練を興へてゐる。

○經濟保護事業 (イ)住宅 中産階級以下の住宅難緩和、生活改善のため本市の提供する住宅は大正八年以來現在一、六一五戸に達する。一定期間住宅料を完納すれば所有權が移轉されるいはゆる「月賦賣り住宅」は四五八戸あり、改良住宅は昭和三年より天王寺浪速兩區に跨る總面積二萬坪の不良住宅地區に行はれ、現在天王寺區の全部および浪速區の一部を占め、鐵筋コンクリート造七二八戸

木造二八〇戸を建設した。また小住宅建設助成のため土地會社、住宅會社、住宅組合に住宅建設資金の貸付をなし、その金額は三百二十萬圓、建設された住宅は一、三〇〇戸を超えてゐる。また水上生活者アパート「毛馬寮」と同業兼業二ヶ所が昭和十四年度中に完成する

(ロ)宿泊施設 一般労働者のため有料と無料とあり有料の共同宿泊所は五ヶ所ある。このほか海員宿泊所、本市吏員雇傭員の寄宿寮(文化寮)、苦學生のための學生寮(進修寮)、一般小額給料者の築港寮、救護法による被救護者のために西成厚生寮がある。

(ハ)生業資金 五十五萬圓の資金を持ち各市民館において二世帯二百圓を限度に低利で貸付けてゐる。

(ニ)市營質舖 現在九ヶ所、資金六十九萬圓。このほか生業資金貸付を専門とする生業質舖一ヶ所がある。

○兒童保護事業 託児所は大正八年創設、現在二十七ヶ所あり、このほか各市民館、中央授産場などにも併設し、また昭和十四年には郊外保育所二ヶ所が新設される。

○社會教化事業 市民館は北、天王寺、港浪速、東、玉出、此花の七ヶ所あり、今年さらに一ヶ所増設される。いはゆる隣保事業で附近住民のため講演會、講習會、補習教育などによつて智徳の修養と職業的技能的の啓蒙を

はかり、音楽、演藝會、活動寫眞など備して清新なる趣味と慰安とを得せしめ別に健康、法律、身の上などの相談に應ずる。以上のほか共同宿舎、青年宿舎、簡易食堂、理髮所、浴場、地方改善事業、授産事業などがある。

△中央卸賣市場

大正十四年三月市場開設認可を得て新船津橋の西方、川口波止場の北岸一帯三萬八千坪に預算千八百萬圓をもつて創設に着手し、昭和六年十一月業務を開始した。昭和十三年末の卸賣人會社七、その公稱資本金四千二百八十六萬五千圓、ほかに個人五人あり、仲買人千二百二十四人。取扱高は東京について第二位にあり、昭和十三年中の取引高は一億四千四百七十七圓、前年に比し一六・七%増加し、平均一日の取引高は二十八萬七千圓である。

△市設小賣市場

昭和十四年一月現在五十三ヶ所、十三年中の賣上高二千四百二十九萬八千圓、前年に比し四・一%の増加。平均一ヶ月の賣上高は二百二十五萬圓にして、最も多いのは十二月の三百二十四萬九千圓、最も少いのは一月の百六十四萬七千圓である。また一日平均賣上高は七萬一千六百七十六圓で最高賣上日は十二月三十一日の五十一萬三千三百五十六圓、最低は正月休業明けの一月四日の四萬二千九百九十二圓である。

市 政

△大阪市の要職

市長 坂間 棟治 助 役 中井 光次
 助 役 三宅 正三 助 役 森下 政一
 収入役 石原 孫市 副収入役 山田 俊治
 電氣局長 木津谷榮三郎 教育部長 菅野和太郎
 水道部長 島崎 幸彦 土木部長 福留 龍喜
 港灣部長 内山新之助 電氣局長 橋本 敬之
 保健部長 藤原九十郎 電氣局長 川内 植藏
 財務部長 秋元 保一 庶務部長 大塚 辰治
 經理部長 里村安二郎 電氣局長 青木忠治郎
 主計部長 高木 貞治 産業部長 伊東 俊雄
 社會部長 田坂 茂忠 監査部長 玉井 猛
 人事課長 土井 登 秘書課長 金子金次郎
 ○區長 (北區)武川保人(此花區)藤井 忠義(東區)上島直之(西區)栗岡松次(港區)酒井利男(大正區)津山直一(天王寺區)塚本萬次郎(南區)森本頼平(浪速區)井上登園(西淀川區)田中英一(東淀川區)北川定男(東成區)山本慶治(旭區)岩橋靜(住吉區)松村義太郎(西成區)梅原和三郎
 ○市區吏員 昭和十三年末現在における大阪市區職員數(雇員以上)八千二百四十五人。

△歴代市長(△印は物故)

就任年月日	退任年月日	在職年月
△田村太兵衛 明治三三・一〇・三	三〇・一〇・三〇	三〇・一〇・三〇
△磯原 定吉 同 三三・八・三	三三・一〇・三〇	三三・一〇・三〇
△山下 重威 同 三三・三・二	三三・三・三〇	三三・三・三〇
△植村 俊平 同 三三・八・八	三三・七・三〇	三三・七・三〇
△肝付 兼行 大正 三三・一・一〇	三三・一・一〇	三三・一・一〇
△池上 四郎 同 三三・一〇・三	三三・一〇・一	三三・一〇・一
△關 一同 三三・二・一〇	三三・二・一〇	三三・二・一〇
△加々美武夫 昭和 三三・三・三	三三・三・一	三三・三・一
坂間 棟治 同 三三・三・三	在職中	

現在の大阪市會は昭和十二年六月一日の選挙によつて改選せられ従前の定員九十二名が十二名増員されて百四名となつた。改選の結果最も著しい現象は無産黨議員の断然たる進出で社會大衆黨が一舉二十名當選した。すなはち改選直後の分野は民政系三十八名、社大系二十名、政友系十九名その他二十七名であつた。而して議長に中田守雄氏、副議長に田邊忠實氏(いづれも大成會)が推されたが、その後十四年六月役員改選と同時に正副議長の改選を断行の結果、議長に元議長川畑清藏氏、副議長に青木新治氏、政友系氏(いづれも大成會)が當選した。しかし大阪市會として前例なき任期半ばにおける正副議長の改選問題をめぐつて、絶對多數を誇つ

てゐた大成會は内部に亀裂を生じてつひに大成會、市政同志會、市友會の三派に分裂、同年七月現在における勢力分布は左の如くなつたが、比較的野黨的色彩的の濃い社大黨、進興會の二派を除き他は全部與黨的存在である。

大成會 四十一名、十日會九名、社大黨十九名、進興會十名、尙誠會七名、市政同志會十名、市友會六名。

○市會議員 (北區九名) 畑精吾、高士政郎、上田孝吉、野田照美、山野平一、山口正義、古野周藏、甲本勇、淺利弘次郎(此花區七名) 大矢任藏、田中喜三郎、瀬川亮、辻本天常、村主徳三郎、漆原龜太郎、松浦俊次郎(東區六名中一名缺) 辰谷政太郎、中田守雄、梅本敬二、古畑銀次郎、阪中繁市(西區五名) 川畑清藏、吉岡彌市、田邊忠實、中田秀次郎、松本萬次郎(港區十一名中一名缺) 井上松五郎、太田松太郎、金森嘉平次、高野保、樽繁郎、大田松太郎、金森嘉平次、高野保、樽繁夫、中西政三郎、青木新治、笹島榮助、菊澤雪治、樋口貞三(大正區四名) 大西菊次郎、中野光義、淺野豐行、淺野藤太郎(天王寺區四名) 甲斐積、有光岩次郎、澤虎之助、見野末次郎(南區四名) 大谷正三郎、田中藤作、粟井岩吉、庄健一(浪速區五名) 船松倉太郎、川西榮之祐、田村敬太郎、栗須喜市郎(西淀川區七名) 岩田豊、近森麒一、奥田泰治、名越民次郎、久野耕造、前田種男、木村信太郎

【東淀川區八名】稻葉房藏、瀧川末一、田島政治郎、辻本富三郎、土田伊右衛門、長尾徳太郎、中川富三郎、北浦純一【東成區十一名】橋本民三郎、橋本吉五郎、百百基臣、大森種一、米田卯三郎、高谷喜三郎、松井強、澤竹宗輝、清水太一郎、森政應、潮社家敏治【旭區六名】磯野健、徳永佐十郎、大谷辰造、加富鶴市、田中七三郎、松尾碩一郎【住吉區十名】濱田昌尾、金野太三郎、梶野屋三、橘郷、樽本八郎、工藤精一、安部伊勢太郎、天野正義、木下常吉、平井良太郎【西成區七名】吉宗貞之、田中正男、辻竹松、山口常治郎、松岡金太郎、寒川洋治、齋藤順次郎

△風水害復興事業

昭和九年の風水害直後、大阪市は復興費總額一億五百萬圓(既決豫算千四百三十萬圓を含む)の概算計畫を樹て、政府に對し大阪港復興については七割五分乃至全額、その他教育土木等には關東震災の例に倣ひ、それれ國庫補助、國庫貸付ならびに利子補償などを要望したが、結局大阪港復興費(基本額千八百萬圓、このうち防波堤工事に對し七割五分その他工事五割、計千九十九萬圓を昭和九年度より二十一年度までに補助)小學校復興費(九年度より二十四年にわたり事業費に對する元利償還額の八分の一補助)および結核療養所復興費(基本額約二十二萬圓の五割)の三事業に對してのみ國庫補助を受ける

ことゝなつたので同年十二月十四日の市會で可決され目下施行中である。

市の財政

△大阪市歳計沿革

明治二十二年市制施行以來大阪市の歳計は多少の出入はあつたが大體において年々膨脹し今日に至つたことは左表の示す通りである(昭和十二年度まで決算、十三年以降は豫算、單位千圓)

年度	歳入	歳出
明治二十二年	三六	一九七
同二十三年	三九〇	二八七
同二十四年	三六六	二八七
同二十五年	三九四	四九二
同二十六年	三九四	一八六
同二十七年	三九四	一八六
同二十八年	三九四	一八六
同二十九年	三九四	一八六
同三十年	三九四	一八六
同三十一年	三九四	一八六
同三十二年	三九四	一八六
同三十三年	三九四	一八六
同三十四年	三九四	一八六
同三十五年	三九四	一八六
同三十六年	三九四	一八六
同三十七年	三九四	一八六
同三十八年	三九四	一八六
同三十九年	三九四	一八六
同四十年	三九四	一八六
同四十一年	三九四	一八六
同四十二年	三九四	一八六
同四十三年	三九四	一八六
同四十四年	三九四	一八六
同四十五年	三九四	一八六
同四十六年	三九四	一八六
同四十七年	三九四	一八六
同四十八年	三九四	一八六
同四十九年	三九四	一八六
同五十年	三九四	一八六
同五十一年	三九四	一八六
同五十二年	三九四	一八六
同五十三年	三九四	一八六
同五十四年	三九四	一八六
同五十五年	三九四	一八六
同五十六年	三九四	一八六
同五十七年	三九四	一八六
同五十八年	三九四	一八六
同五十九年	三九四	一八六
同六十年	三九四	一八六
同六十一年	三九四	一八六
同六十二年	三九四	一八六
同六十三年	三九四	一八六
同六十四年	三九四	一八六
同六十五年	三九四	一八六
同六十六年	三九四	一八六
同六十七年	三九四	一八六
同六十八年	三九四	一八六
同六十九年	三九四	一八六
同七十年	三九四	一八六
同七十一年	三九四	一八六
同七十二年	三九四	一八六
同七十三年	三九四	一八六
同七十四年	三九四	一八六
同七十五年	三九四	一八六
同七十六年	三九四	一八六
同七十七年	三九四	一八六
同七十八年	三九四	一八六
同七十九年	三九四	一八六
同八十年	三九四	一八六
同八十一年	三九四	一八六
同八十二年	三九四	一八六
同八十三年	三九四	一八六
同八十四年	三九四	一八六
同八十五年	三九四	一八六
同八十六年	三九四	一八六
同八十七年	三九四	一八六
同八十八年	三九四	一八六
同八十九年	三九四	一八六
同九十年	三九四	一八六
同九十一年	三九四	一八六
同九十二年	三九四	一八六
同九十三年	三九四	一八六
同九十四年	三九四	一八六
同九十五年	三九四	一八六
同九十六年	三九四	一八六
同九十七年	三九四	一八六
同九十八年	三九四	一八六
同九十九年	三九四	一八六
同一百年	三九四	一八六

昭和十四年度原簿(單位千圓、以下四捨五入)
 經濟名 總額
 普通經濟費 三、九〇〇 中央卸賣市場費 三、五五
 水道費 三、二〇〇 質舖費 一、〇二
 電氣事業勘定 三、七三二 商科大學費 七九
 同資本勘定 三、〇三三 受託事業費 七九
 同用點勘定 一〇、〇〇〇 火災損害補償基金 三〇
 同高速度建設費 一、〇〇〇 公債費 二、三八

消費費 一〇、三〇六 都市計畫事業費 一九、七
 合計 三〇、〇一六
 △府稅・市稅・區稅率 (十四年度)
 ○國稅附加稅

稅目	本稅一	府稅	市稅
地稅	〇・七〇	〇・六〇	〇・六二
營業收益稅	〇・四六	〇・八〇	〇・八〇
所得稅	〇・二〇	〇・二〇	〇・二〇
取引所營業稅	〇・一〇	〇・一〇	〇・一〇
礦業稅	〇・一〇	〇・一〇	〇・一〇
府稅附加稅	〇・一〇	〇・一〇	〇・一〇
特別地稅	付 〇・七〇(圓)	付 〇・七〇(圓)	付 〇・七〇(圓)
家屋稅	同 一・〇〇(圓)	同 一・〇〇(圓)	同 一・〇〇(圓)
東大區	同 〇・四〇	同 〇・四〇	同 〇・四〇
西大區	同 〇・三〇	同 〇・三〇	同 〇・三〇

△大阪市の公債
 昭和十四年三月末日までの大阪市の公債總額は六億七千二百三十三萬二千餘圓に上り、うちすでに償還した七千二百四十六萬八千餘圓を差引けば公債現在額は五億九千九百八十八萬三千八百圓になる。これを大阪市の人口一人當に直すと百八十八圓六十二錢といふ勘定になる。なほ市有財産に對する市債の割合は六割強で六大都市中京都市につく低率である。



京 都 市

△沿革と廣表 京都は古く山背國葛野郡宇太村の地であつたが、桓武天皇この地に新京を營ませられてから千有年間王城の地として政治文化の中心をなし殷盛を極めた。明治二年車駕東幸の御事以來市民の意氣頓に銷沈し千載の帝都も一朝にしてその舊觀を損傷せんとしたのを、畏くも明治大帝御軫念あらせられ、産業基金として金十萬圓を下賜あらせられ、且明治二十二年發布の皇室典範において今後の即位大禮、大嘗會は京都に於て執り行はせらるゝことと定めせられるにいたつて漸次發展を示し、その後二十三年四月琵琶湖疏水の工事成るや市の産業續々開發され、二十一年六月聖護院村ほか六ヶ村を上京區に、今熊野ほか一ヶ村を下京區に編入したので、今熊野ほか一ヶ村を大内村の一部、ついで大正七年四月柳原町ほか十五ヶ村を、さらに昭和六年四月伏見市ほか二十六町村を編入し、市域は昔の平安京を遙に凌駕し、その廣袤は極東西二六・〇七五キ、極南北二五・〇九〇キにおよぶ大都市となつた。なほ東京市、

大阪市が我國における政治、學術都市、商工業都市たるに對し京都市は美術工藝、宗教の中心をなすとともに洛の外に存在する由緒ある名勝舊蹟、森嚴なる神社、豪華な伽藍は山紫水明の自然美と相俟つて世界における觀光都市として冠絶の地位を占めるのみならず産業都市としても發達の道程を辿りつゝある。

△面積・人口・世帯

區名	面積	人口	世帯
上京區	一、〇一	一七六、五〇〇	五八、〇〇〇
左京區	三、〇九	一三三、〇〇〇	二九、〇〇〇
中京區	七、五〇	一三三、〇〇〇	二九、〇〇〇
東山區	三、七〇	一三三、〇〇〇	二九、〇〇〇
下京區	一、八〇	一三三、〇〇〇	二九、〇〇〇
右京區	九、〇六	一三三、〇〇〇	二九、〇〇〇
伏見區	五、七七	一三三、〇〇〇	二九、〇〇〇
計	三六、八三	一、三九八、〇〇〇	三二〇、〇〇〇

人口の内譯は男五九四、二〇〇人、女五六五、六〇〇人で、前年より二五、九〇〇人の増加、世帯數も五、四〇〇の増加となり、一世帯平均人口四人八一、一方、當人口密度四人〇一八である。

△歴代市長

就職年月	退職年月	氏名
明治三〇・一〇	明治三〇・一〇	西郷菊次郎
明治三〇・一〇	明治三〇・一〇	西郷菊次郎
明治三〇・一〇	明治三〇・一〇	西郷菊次郎

△市高級職員

職名	氏名
市長	西郷菊次郎
副市長	西郷菊次郎
助役	西郷菊次郎
収入役	西郷菊次郎
水道局長	西郷菊次郎
電氣局長	西郷菊次郎
警察局長	西郷菊次郎
教育局長	西郷菊次郎
衛生局長	西郷菊次郎
庶務局長	西郷菊次郎
秘書課長	西郷菊次郎
左京區長	西郷菊次郎
東山區長	西郷菊次郎
下京區長	西郷菊次郎
右京區長	西郷菊次郎
伏見區長	西郷菊次郎

【解】恩賜京都博物館長川口知雄、紀念動物園長長田寛三、染織試験場長猪飼博、工業研究所長仲井俊雄、宇多野療養所長日下部周利、京都病院長伊澤爲吉、衛生試験所長吉田房雄、児童院長福島満帆、中央卸賣市場長井手久馬彦、大禮記念京都美術館長事務取扱教育部長瀧谷薫

△財 政 (昭和十四年度)

市の財政は普通、特別、學區の三經濟に區分されてゐるが、十四年度各經濟當初豫算總額は六二、八六八、六四〇圓で内訳は

Table with columns for '歳入豫算' (Revenue Budget) and '歳出豫算' (Expenditure Budget). Rows include '市税' (Municipal Tax), '繰入金' (Transfer Income), '補助金' (Subsidies), '納付金' (Payments), '手数料' (Fees), '受益者負担金' (Beneficiary Contributions), '其他' (Others), and '合計' (Total).

Table with columns for '種目' (Category) and '豫算' (Budget). Rows include '都市計畫事業費' (Urban Planning Expenses), '土地區劃整理事業費' (Land Reorganization Expenses), '下水道事業費' (Sewerage Expenses), '電気供給事業費' (Electricity Supply Expenses), '電車事業費' (Tramway Expenses), '中央卸賣市場費' (Central Wholesale Market Expenses), '公益質屋費' (Public Housing Expenses), '物品購入資金' (Purchase Funds), '電気事業用品購入資金' (Electricity Equipment Purchase Funds), '染織試験場特別作業資金' (Textile Testing Lab Special Operation Funds), '職員貸付金' (Staff Loans), '基本財産' (Basic Assets), '積立金' (Reserves), and '合計' (Total).

【學區經濟】全市百一學區豫算總額四、二一三、〇三三圓
各經濟豫算中歳入出の重複せる收支を差引いた純豫算總額は歳入三九、九九八、五一〇圓、歳出四〇、八〇六、一〇八圓である。

Table with columns for '種別' (Type) and '人員' (Personnel). Rows include '觀光施設' (Tourist Facilities), '省線各驛乘降人員' (Provincial Line Station Boarding/Alighting Personnel), and '宿泊外人國籍別' (Overseas Travelers by Nationality).

【西大路】 五九、三三三 共、四〇〇
計 一〇、〇四四、三三三 九九三、三四四
但し途中下車客は加算せず
【入浴場人員推定】
省線各驛降車人員 九、九三一、三四四人
同途中下車推定人員 二、八九、九五四人
郊外電鐵移入推定人員 二九、一四三、九一五人
計 四一、八六五、二二三人
【入浴觀光客推定】
省線六、〇九九、〇七八 電鐵五、八二八 七八三
その他四〇〇、〇〇〇 計二一、三二七、八六一人
【御陵墓】 歴代天皇御陵五九、歴代外御陵五四
【神社佛閣】 神社官幣大社七、官幣中社四、別格官幣社四、府社一四、郷社一二、村社一七、無格社その他二七三、總數四三二
社○佛閣各宗本山四五、門跡寺院一九、宗派別天台宗五五、眞言宗八五、淨土宗五三〇、眞宗二七一、臨濟宗二二九、曹洞宗二六、黃檗宗一四、時宗二〇、法相宗一〇、眞言律宗四、境外佛堂二九、總數一、四八八寺
【史蹟名勝天然紀念物】 史蹟二二、名勝三、史蹟及名勝二一、天然紀念物五、總數五一
【國寶】 建造物二二五點、一般國寶七九九點

△土 木

【道路及橋梁】 延長(米) 面積(平方米) 橋梁
國道 三九、四七三・三三 五三三、〇三三・元 三三
府縣道 一八、六六六・八 一、二〇一、六二五 一七〇
市道 三、〇〇八・六六三 八、八四八・三三三 八八
合計 六〇、一五二・〇〇六 一、〇六九、〇〇一、〇三三
右のろ
わ鋪裝 二五、八四三・七〇 三、五九六、〇三三・〇
道路
【災害土木工事】 昭和十年六月、八月兩次の水害は市内各方面に被害を與へたが殊に土木關係における被害甚だしく三條、五條等名橋の流失をはじめ道路、橋梁、河川の被害合計五六三ヶ所に上り、總額四、二〇九、八八七圓の豫算をもつて復舊工事中同十三年七、八兩月再度の水害を蒙り、新たに一、〇〇六、四四〇圓の豫算をもつて工事中である、現在竣工せるもの昭和十年水害の分三三三ヶ所、十三年の分四六九ヶ所中七八ヶ所である。しかし復舊工事中主なる橋梁は河川の改修と併行して施行の要があるのと、時局による鐵材統制のため着手が遅れ現在竣工のもの六橋に過ぎない。四條大橋の架橋は鴨川改修に伴ひ最も必要なので復舊費八七、三三一圓のほか三九七、七四〇圓をもつて十四年秋より着工の豫定である。なほ將來災害防止のため鴨川、高野川など諸河川の根本改修を行ふことになつたが、うち鴨川、高野川ならびに御室川、天神川の工事は府で擔當する關係上、市は單に分擔金を支出するに止まり白川、菅羽川改修工事および小河川十九ヶ川を市の手で着々工事中である。

△都市計畫

【區域】 都心部である四條烏丸を中心とし半径九百の圓圈内に抱擁せられる京都市、乙訓郡向日町、久世村、久我村、羽東餅村、大山崎村、新神足村、久世郡淀町(以上全部)久世郡御牧村、綴喜郡八幡町(以上一部)の一市三町六ヶ村にわたりその面積三二、四〇九・七ハクタールに及ぶ。
【用途地域】 Ⅱ單位(ハクタール)
住居地域 東山一帯、北白川、加茂、高尾、嵐山、桃山、醍醐、山科など閑靜なる方面六、二九九・一〇
商業地域 舊市中心部の集團商業地と新市域に通ずる主要街道の路線商業地一、五二一・三七
工業地域 下京區、伏見區、西宮郡部など水利の便多き工場地四、〇五七・五〇
未指定地域 高野、西陣、梅津、山科などに散在する輕工業地一、三六三・三五
【防火地區】 四條通の祇園石段下……大宮間烏丸通の丸太町……觀小路間、新京極通の三

條……四條間

【風致地區】鴨川沿岸、東山、北山、御所、離宮、著名社寺境内などを含む市の風光明媚の地域約八、〇〇〇ヘクタール

【土地區劃整理】都市計畫事業である外廓循環線の沿線地積約四、二五〇、〇〇〇坪の暫定地積につき施行することになつてゐるが現在竣工地積三、七二〇、九三三坪、組合施行にかゝる分はすべて完了、代執行によるものも七八%完了、残りの二二%に當る五八〇、〇〇〇坪は目下工事中、右のほか都市計畫區域外において地主の自發的組合設立のものあり、市で工事の設計、測量その他手續一切を指導助成してゐる。

【洛西工業地區】昭和十年の水害による天神、御室兩川の改修に伴ひ同流域中三、〇九五、〇〇〇坪の區域につき土地區劃整理を行ひ工業地區を造成することとなり、その一部吉祥院地區に對しては昭和十四年二月代執行命令も受けたので近く着工予定である。この事業の總工費豫算は一、七二〇、〇〇〇圓、六ヶ年繼續事業。

【公園】市内の適當な公園系統の樹立については特に留意し圓山、岡崎、五條、二條、船岡山の公園のほか、昭和八年以降土地區劃整理區域において夫々敷地の提供を受け、兒童公園五十四ヶ所を造成することとなり、既に

竣工開園のもの十九、近く開園するもの九ヶ所、工事中八ヶ所である。さらに皇太子殿下御降誕記念事業として昭和十三年度より三ヶ年繼續、工費五十萬圓をもつて七ヶ所の兒童公園を新設することになり、五ヶ所は着工、また綠地保存の立場から昭和十四年度に三ヶ所の都市計畫公園が設けられるはず。

△交 通(昭和十三年度)

【電車】電氣軌道事業は明治四十五年六月十一日の創業で大正七年電氣鐵道株式會社を買収し、市内交通機關の擴充統一を圖つた。その後市勢の進展に伴ひ周邊部の交通需要に應ぜんがため大正十一年より都市計畫外劃線工事に着手し、昭和七年には本邦最初の無軌條電車を創設した。現在においては該工事の建設も殆んど完成して電車の運行を見るにいたつた。この間事業の經營は財界の盛衰及び都市交通情勢の推移に伴つて一進一退はあつたが概して順調なる成績を擧げてゐる。

營業路線 七二、四三三〇
在籍有軌條車輛 四六四輛
在籍無軌條車輛 六輛
運轉車輛 一一七、四八八輛
現業員 二、一一二人
乘車人員 一一六、四〇六、八三六八
乘車賃 六錢均一(區間制區間三錢)

乘車賃収入 六、六〇二、七九六圓
【乗合自動車】電氣軌道未建設の周邊部住民に交通機關の便益を供するとともに電車輸送の補助機關たらしめ、もつてスピード化の要求を満足するために昭和三年五月十日創業設備經營において漸次充實し堅實なる發展を見るにいたつたが、支那事變の勃發によるガソリン消費規正の結果これが經營上相當の影響を受けたが木炭自動車の採用、營業路線の一部運轉休止、運轉時間の短縮など時局即應の事業計畫を樹立國策順應に努めてゐる。

營業路線 六八、四六八
在籍ガソリン車輛 一七六輛
在籍木炭車輛 五〇輛
運轉車輛 四六三、一八輛
現業員 六九一人
乘車人員 一四、四五四、〇四八八
乘車賃 十錢均一(但し特定區五錢)
乘車賃収入 一、三三二、四〇三圓

△電氣供給事業

【發電】廠上發電所は明治二十四年五月設置せられたものであるが、これ實に我國水力電氣の嚆矢である。その後第二疏水工事に伴ふ發、變電所の新設および火力發電所の新設並受電設備の増設等があつた。現在琵琶湖より疏水を通じて引水する水量は八五〇個で、うち七五〇個は發電用、殘餘の百個は上水道

御所用水、灌漑用等に使用してゐる。

發電所 發電力 發電力
廠上(水力)五、七〇〇キロ 夷川(水力) 二、〇〇〇
伏見(水力)一、三〇〇キロ 廣大路(火力)五、〇〇〇キロ
【受電】大正七年七月一日京都電燈株式會社より、大正十五年七月一日宇治川電氣株式會社より受電を開始し、兩社より夫々契約最大電力常用五、五〇〇キロワット、季節三、五〇〇キロワットの電力を受電してゐる。
【營業】明治二十四年十一月から供給を開始し逐年需要増の傾向を示し良好の成績を擧げつゝある。

電 燈	需要家數	燈 數
定 額	三、一八一	六、八六七
從 量	七〇、三三九	三、三三〇、六六
合 計	一〇三、四五〇	三、三三七、五二七
動力 需要家數	五、五二六	
個數	八、八二七	容量二六、四一〇馬力
電熱その他 需要家數	四、八五八	
個數	八、八〇二	容量八、六九七キロワット
變電所	一一	送電線延長一六〇キロ、配電線延長一、三四〇キロ、電燈使用料三、二〇一、二四一圓、動力使用料一、七二五、三三〇圓、電熱その他使用料二四二、二二三圓

最近の市勢の躍進は既設給水能力を突破

し各所に水不足を告ぐるにいたつたため、さらに擴張を志し十二年十二月第十六師團との間に水道協定成立し軍用水道の經營を市に統合することになり、疏水水系と宇治川水系の所謂水源の二元化を實現するにおよび、第三期擴張計畫成り昭和十三年から五ヶ年繼續事業として工費五百八十三萬五千圓の豫算をもつて廠上淨水場と桃山淨水場の擴張を行ふことになり同十四年五月着手した。この擴張工事完成の頃は一日一人當り給水量一九〇リットルに達することになる。

△下 水道

昭和九年度から同十八年度に至る十ヶ年繼續事業として總工費二千四百六萬圓をもつて昭和十年五月着工、以來工事進行し十四年三月鳥羽下水處理場がその第一期工事を完成した。その處理面積は一、〇七七ヘクタール、處理人口三二五、〇〇〇人で工事完成の頃は處理面積二、一五五ヘクタール、處理人口六五〇、〇〇〇人に達する。

△敷 育

【學區制度】全市を一〇一學區に分ち小學

校、幼稚園に要する經費はその學區の負擔とし學區市税及び固有財産をもつてその財源に充てゝゐる。但し教員に對する諸給與のみは市の負擔とし、さらに學區の財政状態により市より補助金を交付してゐるが、その總額は一、一五二、五三三圓である。なほ學區經營の小學校のほか市は高等小學校三校を直接經營してゐる。

【市立幼稚園學校】

幼稚園 二〇 生徒數 二、八二九 教員數 八二
小學校 一〇〇 二、九三三 一、〇、四〇〇 二、一、一〇〇
男子中等學校 九 一、二二一 八、三三三 三三三
女子中等學校 四 三〇七 三、五七三 一三三
繪畫專門學校 一 二 一七五 一〇
【市立以外の諸學校】幼稚園二〇、男子中等學校二五、女子中等學校二二、盲學校一、聾啞學校一、師範學校二、高等學校一、專門學校一八、大學六

【社會教育】(昭和十三年度)

【青年學校】主として小學校に併設し職業科として男子には商業、工業、農業を、女子には商業、農業、家事裁縫を授業してゐる。
種 別 校 數 學級數 生徒數
一般男子青年學校 一六 三七〇 一四、九三三
松原商會青年學校 一 八 二七
商工專修學校 一 八 三三九

實務女學校 40 甚 11,071
私立青年學校 43 一六 4,126
計 77 六二 三、六五二

【恩賜京都博物館】美術、歴史、美術工藝の三部門を合せて三、四五二點（内國寶四〇〇點）を陳列、觀覽人員五五、九六〇人

【記念動物園】收容動物二二四種類、一、〇一五、觀覽人員五九三、八四五人

【音楽堂】使用回数四八回

【大禮記念美術館】使用回数四五回、市展文展など開催

【各種團體】帝國在郷軍人會京都市聯合分會一分會數二三四、會員約五八、〇〇〇人、京都市青年團一單位團數一五二、團員約二〇五〇八、京都市聯合女子青年團一加盟團數八三團員約一五、〇〇〇人、京都市聯合婦人會一加盟會數四五、會員約一八、〇〇〇人、少年團京都市地方聯盟一加盟團數三三三、團員約七〇〇人、社會教育委員會一〇一學區に各々設置、委員一、九七一

【體育】奉祝記念運動場（西京極）岡崎公園相撲場、南禪寺、七條、二條、橋、小坂、西ノ京の六水泳場を有する。

實人員 4,093 一四、九一五
延人員 4,337 三、四七六
金 額 六、七〇七圓八分 六、三〇七圓八分

母子保護法による扶助
住宅救護 收容救護

實世帯 一、五三三 三六
實人員 二、五三三 三六
延人員 2,041 二、二九六
金 額 四、〇六四圓八分 八、九〇三圓

なほ救護法、母子保護法によるもののほか慈善救濟、無料診療を行ひ、市營の電燈料を免除してゐる。診療券による救護は診療費人員九五五人、診療延日數八、八〇八日、診療費三、〇〇〇圓である。また救護の對象たるべき精神耗弱者のための收容施設として醍醐和光寮を建設し昭和十三年七月一日から開所した

【經濟保護事業】貸付住宅は二五〇戸で最高三五圓、最低八圓五〇、月賦供給住宅戸數一四戸、住宅組合法による住宅戸數七三九戸あり、また風害住宅には復舊資金を貸付けてゐる。無料宿泊所一ヶ所、この宿泊延人員一、四六五人、公設浴場六ヶ所この入浴人員一、七三三、三四二人で入浴料二七、〇八〇圓（公設食堂一ヶ所これが利用人員六七、四一九人で金額九、三三四圓、公設買屋三ヶ所この貸付口數四一、三三二、金額二二五、八四

一圓、回收口數三六、七九九、金額一八二、六六四圓、流賃口數六四五、金額九七、四六三圓

失業保護 労働者更生訓練道場は定員三〇名、訓練期間五ヶ月で年二回開設し修了者二四名、全部就職してゐる。失業者推定數は給料生活者一、二一六人、日傭労働者六、九六三人、その他労働者二、四八四人、職業紹介所及労働紹介所は昭和十三年六月三十一日限り國營に移管されたが六月末日までの成績は左の通り

職業紹介所 求人數男六、二七六、女五、〇九六、求職者數男三、八二二、女二、八一七、就職者數男九一一、女五七八

労働紹介所 求人數男八七、八七六、女四八六五、求職者數男二〇二、三〇七、女四、八六五、就職者數男八七、八七六、女四、八六五

一般労働者失業救濟應急小河川改修事業は労働者延人員七九、二二二人、勞賃一、一八、二一六圓、授産場は洋裁、和裁、手工の各部に分れ作業延人員六〇、七七八人、工賃總額三三三、二四八圓、十三年度末の施設數は八ヶ所、收容定員五五五人である。

【兒童保護事業】兒童院一ヶ所、その成績は助産外來人員四、七四三人、入院一、七八〇人、分娩一、五三八人、健康相談一〇、五

三二人、心理相談二、七二三人、家庭訪問五九二人、牛乳供給三五五人、數量二、四八四升、幼児保育取扱數一、五八一一人、乳兒保育取扱數一、二〇一人、農繁期託兒所は夏季三ヶ所、平均開所日數一九・七日、人員一、〇二七人、秋季二ヶ所、平均開所日數一九・六日、人員六三九人

【隣保保護事業】隣保館七ヶ所の託兒保育取扱人員二一四、七四七人、家事講習受講者人員四四、九四一人

【統後事業】事業の長期化により同事業が一層重要性を加ふるにいたつたので昭和十三年十一月市に軍事援護課、區役所に軍事援護係を新設し、各統後團體の聯絡統制、出征軍人遺家族、傷病軍人、歸郷軍人に對する物質的援護、相談指導を行ふとともに慰安激勵なご精神援護をも行ひ、また市民に對しては軍事援護精神の強調を圖りつゝある。

△保 健

【傳染病】（昭和十三年度）

發生數	死亡數	患 者
赤痢	1,051	16
傷チフス	45	7
パラチフス	7	3
猩紅熱	7	1

チフテリア 71 空 13
流行性腦脊髄膜炎 3 空 4
痘 痘 2 0 0
合 計 81 七六 一四

【施設】京都病院（傳染病院）目下改築工事中、工費九六二、六二一圓で收容定員五百名◇宇野野療養所（結核療養所）目下擴張工事中、工費三千萬圓、定員六三〇名◇保健所二ヶ所、二條保健所昭和十三年九月開所、一條保健所同十四年開所◇花柳病診療所昭和十四年三月開所◇塵芥焼却場三ヶ所、塵芥量一日約十萬貫◇その他尿尿處理所一、衛生試驗所一、屠場一、火葬場三（花山、蓮華谷、歸命院）トラホーム治療所七、共同墓地八を有す。

△産 業

【工業】工産額は最近數ヶ月間毎年約二千萬圓程度の増額を示すを例とし、昭和十三年は三二五、一六六、一八四圓に達した。主たる生産品はつきのごとくである。（單位千圓）

絹織物及交織物	4,464	晒及染物	3,454
被服製品	3,555	履造物	3,454
金屬製品	3,233	絹織及麻糸紡績	2,154
機械類及標本	1,866	電氣及瓦斯器具	1,866

工業種別にこれを觀れば紡織工業三八%で第一位、機械器具工業は一六%、食料日用品工業一四%、金屬工業一〇%、化學工業一〇%の順であり、近時機械器具、金屬及化學等の新興工業の發展は目覺ましいものがある。しかし現在においては京都市産業の大部分はなほ染織を主とする平和産業の占むるところで、今次事業の影響を受けるところ大である。

【商業及貿易】昭和十一年の商業調査によれば市内の物品販賣業者は三五、一六六店でこれを全市世帯數に比較すれば六・四世帯に對し一店の割合となる。貿易は滿洲、印度、南洋及支那を主たる輸出先とし北米、濠洲がこれにつぐ。商品は絹織物が第一位で加工絹布、絹製品、金屬製品、糸類、機械類、レース、ブッククロス、雜詰の順である。

【農林及水産業】農家戸數七、〇〇八戸、農耕地面積四〇、三九七反、畑一、三九三反で所謂都市農業を營み、その結果普通農事は集約多角形栽培を重要視し、穀類より蔬菜の栽培に力を注いでゐる。水産業は淡水魚の飼育、放流で、産額次のとおり（十二年中單位千圓）

農産物	五、七〇四	林野産物	三、三三三	漁獲物	三、〇〇〇
△水産製造額	八、五一一				

【産業施設】中央卸賣市場、我國最初の朝

設に依り、現在卸賣人六名、仲買人三十九名
昭和十三年中の賣上高は二二、九二〇、六八
七圓である。公設小賣市場、市場敷一五、店
舗敷四〇二、昭和十三年中の總賣上高二、五
五四、三五九圓、一店舗平均賣上高六、六七
六圓である。その他奉天、天津に各物産紹
介所を設置してゐるほか染織試験場、工業研
究所、勸業館、商品陳列館、京都中央商工相
談所がある。

△市 政

【市政問題】 京都市と京都瓦斯會社との間
に締結されてゐた報償金契約は昭和十二年契
約期間満了しこれを機会に市は報償金増徴の
契約改訂を交渉し會社側が應ぜぬため、道路
占用料徴収を通告し双方訴訟、訴訟を提出す
るなど紛糾したが吉野元商相、鈴木前府知事
らの調停案を兩者とも承認して折衝の結果妥
協成り、昭和十四年二月假契約、同年五月本
契約の調印を了し圓滿解決をつげた。新契約
は報償金に代るべき納付金五十萬圓以上を年
年會社から市に納付するもので契約期間は十
四年二月一日から滿十一年とされてゐる。

京都市對京都電燈會社の配電區域協定は大
正八年滿期以來紳士協定として存續してゐた

とはいへ、この間供給區域の争ひもあり、市
ではこの際自由進出を一擲し全面的協定樹立
に移らんとし市會の承認を求めた。昭和十
四年二月から正式交渉を開始した。市の意圖
は京電供給區域中から山陰線以北を買収し、
さらに洛西工業地域を地域交換せんとするの
が主眼であつたが、地域交換が市會の希望條
件に反し交渉停頓、遂に電氣事業法第二十六
條の二の發動が懸念されるにいたり交渉の前
途は斷絶を許された。

京都市の畫期的飛躍を目標し市では大京都
振興審議會を組織し昭和十四年六月一日發會
式を舉行した。顧問には近衛公はじめ二十四
名、委員は百三十二名計百五十六名の知識經
驗者を網羅し、第一部—國粹文化、文政史蹟
顯揚、第二部—産業、第三部—公益企業、第
四部—交通運輸、第五部—市民厚生、第六部
—財政及一般行政の六部門に分れ夫々振興策
を審議し顧問會にも諮つたりへ實行に移さん
とするもので、躍進京都のブレイク・トラス
トともいふべきである。

【市會議員定數】 六四名、上京區一五人、
左京區七人、中京區一人、東山區七人、下
京區一人、右京區五人、伏見區五人
【市參事會員定數】 一五名

【學區會議員定數】 全市一〇一學區に學區
會を設け人口の一定標準により議員定數は十
二人乃至一八人としてゐる。

【市會各派】 革正會三〇名(民政派) 田中
和一郎(議長) 田中三郎(副議長) 石田芳
之助、石田吉左衛門、西村宗太郎、富森吉
次郎、大西太郎兵衛、太田和實三、小川半
次、川端道一、川橋豐治郎、川越直三郎、田
中一男、竹内忠治、内藤清次郎、中川宗太
郎、中村庄太郎、内山廣三、上野捨次郎、
野田與三郎、山田富三郎、藤井正次郎、藤
井彦次郎、福田彌次郎、後藤彌太郎、東方
造、澤村榮一郎、北村平三郎、木下彌次郎
森米造▲更新會十一名(中立) 西尾林太郎
西村力、富田清、太田嘉兵衛、太田與一郎
長村清之助、坪田光藏、中塚保一、山村治
郎吉、比賣江金藏、菱野貞次▲社會大衆黨
十名、渡邊清一、津市市太郎、辻井民之助
永井健藏、國島泰三、山村直三郎、坂本時
三、水谷長三郎、生水徳松、森英吉▲一新
會七名(政友派) 生谷龜之助、橋本榮太郎
久保元、江羅直三郎、八木敏一、北波長三
郎、森川新太郎▲革友會五名(民政系) 伊
藤庄兵衛、尾張宗七、宇間佐助、中川久喜
宮崎又三郎

名古屋市



△廣袤及び面積 濃尾平野の中央部に位し東
部の丘陵地帯を除いては概ね平坦で、東西は
一五軒一五、南北は一七軒三四、面積は一六
〇平方軒一三三三である。

△沿革 古くから那古野、名護屋、那古屋の
文字が使はれ、また古圖には浪越と書いたも
のがあるが、明治三年四月命令によつて始め
て名古屋の文字を使ふことゝなつた。慶長十
五年徳川家康がその子義直のために名古屋城
の大工事を起し三代光友の頃には人口五萬五
千人となり、天保十一年には土分を除いて七
萬五千餘人に及んだといはれる。明治維新に
は名古屋藩、明治四年七月の廢藩置縣制に名
古屋縣、幾何もなく愛知縣と改稱し、明治十
一年名古屋區となり、同二十二年十月市制を
施行、明治四十一年四月區政を實施、大正十
年近接十六ヶ町村を併合し、昭和二、三、四
年にわたつて名古屋港の一部を埋立て、同三
年八月八事村の一部を、同五年庄内村の一部
を編入、かくて中部日本における大都市とな
り、昭和十年十月一日の國勢調査で人口百八

萬を突破、日本第三位となつた。さらに昭和
十二年三月一日隣接の庄内、下之一色、萩野
の三ヶ町村を合併し、同年十月一日十區制を
施行した。

△世帯數及び人口(昭和十三年末推計)

區名	人口	世帯數
千種區	29,500	9,500
東區	124,800	40,300
西區	185,400	56,300
中村區	113,200	33,300
中區	125,000	39,900
昭和區	133,200	39,900
熱田區	91,200	28,900
中川區	55,200	18,600
港區	33,200	11,000
南區	69,200	23,000
計	1,134,100	353,900

△行政組織 戦時下の諸情勢に適應するため
昭和十四年七月一日から機構改革を斷行、四
局八部、五十課および十區その他各課とし、
厚生局、總動員部の新設、産業部の擴充を行
つた。

△市の要職

市長 忍 第一助役 佐藤 正俊
第二助役 三樹 樹三 収入役 中原 順平
厚生局長 石黒 大介 電氣局長 高原 匠
水道局長 田邊 良忠 土木局長 花井又太郎

總務部長 奥村 國雄 財務部長 森本 節男
産業部長 中川 貞三 教育部長 稻垣 利作
總動員部 民屋慶次郎 厚生局 成田市太郎
長 庶務部長 鷲尾 重一 社會部長 (電氣局長)
電氣局長 鷲尾 重一 運輸部長 (兼務)
千種區長 大河原昌勝 東區長 長谷川太平
西區長 金子 有造 中村區長 石田孫三郎
中區長 須藤 林七 昭和區長 水谷 平吉
熱田區長 山崎 晴三 中川區長 森田 嘉十
港區長 渡邊 次郎 南區長 酒向 興作
【解】市立圖書館長坂谷俊作、東山動物園長
北王英一、東山植物園長横井時綱、市立工業
指導所長松良正一、市立衛生試驗所長山口輝
夫、市民病院長戸谷銀三郎、城東病院院長合
國太郎、八事療養所長青井節郎、貿易所
長倉井幹雄

△歴代市長

市長	就職年月	在職年月
中村 修	明治三年三月	一月
志村 忠平	同 三年二月	三年三月
柳本直次郎	同 七年一月	三年三月
志水 直	同 三年二月	四年二月
青山 朝	同 四年二月	四年三月
加藤重三郎	同 五年二月	五年三月
坂本彰之助	同 六年二月	五年三月
佐藤孝三郎	同 六年三月	五年三月
大喜多河之助	同 六年三月	八年八月

市屋古名

川崎 卓吉 同二年四月 三年四月
 田坂 千助 同二年四月 三年四月
 大岩 勇夫 昭和三年四月 現在
 縣 忍 同四年四月 現在
 △市會議員(定員六十八名、○印參事會員)
 (議長)青井恒次郎(副議長)木村直正、大鹿由太郎、奥村鐵三、○橋本金一、今堀辰三郎、淺井針次、松久好次、正田義助、成田秀雄、内藤一藏、安藤七郎、田中政友、近藤新助、山内誠一、市野徳太郎、須藤實、伊藤甚八、石黒幸市、大溪實雄、○熊谷治男、○加藤金之助、○高木一、○石黒一二、山根虎治、天野金松、山内金次郎、○井川一、須永伊之助、榊原孫太郎、○佐々木信夫、廣田七郎、小栗作造、○横井龜吉、鈴木脇藏、服部崎市、辻藤一、近藤正次郎、○鈴木久夫、富田彦吉、太田吉太郎、○石原秀治郎、野口令吉、伊藤銀之助、杉浦林藏、○坪井研精、加藤一夫、松永秀則、大澤鶴三、○辻寛一、佐藤太郎、高橋鎮五郎、西浦宇吉、○片山雄次郎、木村諄助、○赤座大治郎、○鈴村金一、手島博章、宮地太市、横井恒治郎、瀬川嘉助、松尾守隆、塚本三、高田勲三、伏屋政一、青山雅彦、横井太郎、缺員一名市會議書記長(山田進)
 昭和十四年七月一日現在分野は民政四一、政友一四、その他一二である。

財政

○昭和十四年度當初豫算(總歲出)
 一 一般會計 一八、四〇八、二二八圓
 特別會計 三六、一三八、九三九圓
 水道事業費 六、二二三、八四二圓
 電氣軌道事業費 九、二八八、二〇六圓
 都市計畫費 四、九九二、〇六五圓
 都市計畫費 七三三、〇〇一圓
 土地區畫整理費 一〇一、五〇〇圓
 名古屋城址費 一〇一、五〇〇圓
 公益質屋費 三七四、〇八三圓
 市債費 一四、三五二、一七七圓
 兒童就學獎勵費 六九、〇六五圓
 合計 五四、五四七、〇六七圓
 ○市債總額(昭和十四年四月一日現在) 一一、九六四、八五七圓で、このうち外債一四〇、〇〇〇圓、一七圓で換算して二、三八〇、〇〇〇圓を含む
 △教育(昭和十四年七月現在)
 ○市立 商業三、工業一、機械専修一、高女三、幼稚園四、實務二、青年學校二一〇、小學校一九九
 ○縣立 師範二、中學校四、實業一、工業二、盲學校二、聾啞學校一、女學校二、幼稚園一小學校二
 ○官立 帝國大學一、同醫學部附屬專門部一、

高等學校一、高等商業一、高等工業一、同附屬夜學部一、同附屬工業教員養成所一
 ○私立 專門學校三、中學校五、女學校六、商業學校九、工業學校一、實務一二、青年學校一五、小學校一、幼稚園三六、各種學校五八
 ○社會教育 市立圖書館一(藏書冊數一四六、六一九冊)私立圖書館一〇
 ○愛國給血團 名古屋市青年團を主體に昭和十二年十月結成、團員三七九名、昭和十四年三月末現在白衣の勇士への血の奉仕は三萬八千五百五十名に及んでゐる。
 △産業及び經濟
 ○工業 本市産業の主體で職工數五人以上の工場生産額は六億一千四百七十四萬五千圓を示し、わが國第三位、時に織物工業、陶磁器工業はその中心をなし、航空機、精密機械工業の飛躍的發展も目撃ましい。昭和十二年末の工場數および生産額左の通り(單位千圓)

種別	工場數	生産額
紡織	五八	一六、六六
機械器具	一、〇〇〇	一六、二六
食料品	五三	四、五〇三
化學	一八	四、八九二
木材	七九	五、三三
金屬	五八	三、六三
窯業	三三	二、六六

市屋古名

品名	輸出	輸入
印刷製本	二四七	一、六八六
瓦斯電氣	三	六五八
その他	一、〇三	四、六四三
○會社 昭和十三年末の市内の本店會社數三千五百社、その資本金總額九億六千九百六十一萬圓(拂込額五億八千二百五十萬圓)で、前年に比し増加資本額一億一千二百三十萬圓(拂込額五千七百九十二萬圓)に及び、工業資本の増加が七六%を占めてゐる。		
○名古屋港貿易總額(昭和十三年中)	輸出 一、一〇一、一五圓	輸入 一、一〇一、一五圓
○重要貿易品(昭和十三年、單位千圓)	輸出 一、〇九七、一〇圓	輸入 一、〇九七、一〇圓
綿織物	三、一三	三、一三
陶磁器	六、七三	五、八五
紡織機	五、四七	五、四七
小麥粉	四、六九	五、三三
毛織物	四、〇三	三、五三
車輻	三、二二	三、三七
玩具	三、一六	三、七六
箱板	二、八七	二、六〇
ベニヤ板	一、八八	一、九三
鐵製品	一、八八	一、九三
羊毛	三、一三	三、一三
玉蜀黍	五、八五	五、八五
石炭	五、四七	五、四七
豆	五、三三	五、三三
木材	三、五三	三、五三
大豆	三、三七	三、三七
絹	三、七六	三、七六
人絹	二、六〇	二、六〇
機械類	二、六〇	二、六〇
高粱	一、九三	一、九三
酒	一、九三	一、九三

○名古屋港 總工費二千餘萬圓の第四期擴張工事もいよゝ完成して産業都の海の玄関としての名實を備へた。昭和十三年中の寄港船舶數二、二二五隻、一一、八一六、九八二噸である。
 ○市場 多年の積案である中央卸賣市場は未だ實現せず、卸賣市場十三、昭和十三年中の販賣總額三三、二七一、六四二圓、小賣市場は市設十四、私設八十八、同年の販賣高は市設三、一四七、八七五圓、私設八、三三八、八〇五圓に及んでゐる。
 △金融 本店銀行數は農工銀行一、普通銀行五、貯蓄銀行一でその他日銀正金、興銀、勸銀などの特殊銀行はじめ東西大銀行の支店數十六、昭和十四年五月末現在組合銀行の預金高七億二千九百四十八萬八千圓、貸付高は四億八千四百三十三萬圓である。また昭和十三年中の手形交換高は二、八六〇、八八八枚、その金額四十六億二千三百九十九萬一千三百三十六圓であつた。
 ○取引所 名古屋株式、名古屋米穀、名古屋綿糸布の三取引所がある。
 名古屋株式取引所 昭和十三年 同金額
 實買高(株數) 一〇、九三九、一四圓
 長短期 三、三三、七〇七 二、八四〇、九三三、五九六圓
 實物 九、八三〇 三、五八、八七七圓

總計 三、三二、八四〇 三、八八、七九、七〇七
 米穀取引所 實買高二、一八六、三〇〇石
 この金額七七、一八三、二二八圓で最高値段三十八圓二十錢、最低値段三十三圓七十七錢、平均は三十五圓三十四錢であつた。
 綿糸布取引所 實買高四七、七七五〇捆、但し昭和十三年十日以降の綿布取引を含む。
 △運輸及び交通
 ○市内省線各驛乗降人員(昭和十三年)
 乘車人員 降車人員

品名	輸出	輸入
名古屋	四、六八三	四、四二二
熱田	一、八〇七	一、九八三
千種	五、三三	五、四一八
大曾根	七、三三	八、〇〇六
八幡	三、〇六八	三、〇三六
白鳥	一、七〇五	一、五九七
堀川	三、〇四三	三、〇四三
名古屋港	三、七〇七	三、〇四三
名古屋港	三、七〇七	三、〇四三

品名	輸出	輸入
名古屋	四、六八三	四、四二二
熱田	一、八〇七	一、九八三
千種	五、三三	五、四一八
大曾根	七、三三	八、〇〇六
八幡	三、〇六八	三、〇三六
白鳥	一、七〇五	一、五九七
堀川	三、〇四三	三、〇四三
名古屋港	三、七〇七	三、〇四三
名古屋港	三、七〇七	三、〇四三

○市電運輸成績(昭和十三年)
運轉車輛數 二七、二七輛
乗車人員 二六、三三、三九人、収入 六三、三〇圓
營業行程(昭和十四年七月) 三、三九七、七〇七

○市電バス運輸成績(昭和十三年)
運轉車輛數 八、八三輛
乗車人員 五三、五七、八三九人、収入 三、九四、〇七圓
營業行程(昭和十四年七月) 一、七九、三三三

○地下鐵 未會有の交通難緩和と將來の發展にそなへるため地下鐵道を敷設することとなり地下鐵調査委員會を結成して具體的計畫を樹てることになつてゐる。

△電氣及び瓦斯事業 電氣事業中市電氣局の經營するものは市電氣車のみで、電燈電力の供給は特殊のものを除いては東邦電力株式會社に仰いでゐる。市は公益企業的見地から會社の名古屋市内營業區域における事業買収を企圖し昭和八年以來二百回以上の交渉を重ねてゐる。一方電氣事業調査臨時委員會を置き電氣供給事業に關する諸般の事項の調査を進めてゐる。また事業は報償契約により東邦瓦斯株式會社に經營を委ねてゐる。

△水道事業
○上水道第四期擴張工事は殆ど完成し一日最大給水能力は二三萬八千立方尺に及ぶが、急激な市勢の進展とともに需要は速からずこの能力を突破せんとしつゝあるので、さらに第五期擴張計畫を樹立、總工費千百十八萬圓を

もつて昭和十四年度より五ヶ年繼續事業として既に着手した。完成の暁は一日最大給水量五十萬立方尺、豫定給水人口百七十七萬八千人である。
○下水道 明治四十年事業着手以來數次の擴張工事をひ昭和十三年度末下水管延長は七八八、四四一米、小下水道敷設戸數は一五七三二一戸、目下市周圍部に擴張工事中
○市電プール (一)振甫プール 千種區振甫町に昭和八年六月竣工、公認プールで五十坪競泳、二十一坪飛込二十五坪練習プール、徒渉池二池があり、競泳および飛込プールをめぐり一萬人を收容するスタンドを有する。
(二)豐田プール 熱田區豐田町にあり、九年七月竣工、二十五坪練習プールおよび徒渉池があるが、さらに十二年五月二十五坪、十六坪競泳プールを増設した。(三)見玉プール 西區見玉町にあり、十年七月竣工、五十坪競泳、二十五坪練習プール、徒渉池。(四)向田プール 中區向田町にあり、二十五坪、練習プールおよび徒渉池。(五)杉村プール 東區船附町にあり、二十五坪、十八坪練習プール徒渉池。(六)松元プール 中區松元町二丁目にあり、十三年六月竣工、二十五坪練習プール、徒渉池。
△保健衛生事業(昭和十三年中)
○傳染病患者 五九 巴拉チフス 三三

内總延長三、五一九、四一三、總面積一五六七二、四四六平方尺、都市計畫街路新設擴張工事は南大津町線はじめ四路線および一部障礙除去の中山線はじめ三路線を總工費一、三三四、四〇四圓で着手することになつてゐり、このほか國道十二號線の改築を總工費二五〇、〇〇〇圓で着手する。また名古屋驛前一帶の地域を總工費三七〇、〇〇〇圓をもつて土地區畫整理中である。
○街路の鋪裝 昭和十三年度末鋪裝街路總延長三八七、二七三、總面積二、五九六、四四四平方尺、府縣道、名古屋長野線はじめ二十五路線を總工費四三〇、〇〇〇圓をもつて工事中であり、さらに百五十萬圓をもつて市周圍部の工事に着手する。
○橋梁新設改築 市内多數の橋梁中腐朽甚しき三十橋を選択し目下總工費二二二、四六五圓で大瀬子橋はじめ五橋改築豫定。
○街路樹 昭和十四年四月末現在總數一八、三四六本、篠懸八、三二八本、公孫樹四、五四三本、柳二、二五〇本、櫻一、二五〇本。
○運動公園の新設 南區師長町、彌富町に互り總面積四二、三二八坪、目下着手工事中で山崎川貫流し、都市計畫路線十三間道路が貫くことになつてゐる。昭和十六年完成の豫定で野球場八、三〇〇坪、陸上競技場七、八〇〇坪、プールと附屬設備二、〇〇〇坪、そ

の他庭球場、相撲場、武術場の施設を行ふ。
△公園
○東山公園 東洋一を誇る自然公園で東區田代町唐山地区にあり、總面積二十五萬坪、總工費八十萬圓、主なる施設としては東洋一の動物園(五萬坪、五十五萬圓)植物園(十八萬圓)兒童園およびドライブ・ウェイ(六千坪)がある。植物園は温室および二十二區の植物分類園があり、主要植物は二千五百餘に及ぶ。
○朝霧公園 昭和區朝霧町にあり、七七、三四九坪、公園内に一周四百尺のトラックを持つ陸上競技場があるが昭和十二年四月第二種運動場になつたので近く三萬餘圓を投じて改修し第一種への復活を要する。
○中村公園 中村區中村町にあり、一萬五千坪の擴張工事を完了して總面積二四、一七六坪、豊公神社御社殿の敷地、陸上競技場、野球場、庭球場、子供の國あり。
そのほか大小十四ヶ所三萬餘坪の公園あり、なほ市内に街路十二ヶ所(三、二六七坪)あり、また公園豫定地として指定公園二十ヶ所區畫整理組合公園百三十四ヶ所がある。
○皇太子殿下御降臨記念事業 昭和十二年度より三ヶ年繼續事業とし大部分は用地の寄附を受け總工費五十萬圓をもつて市内十ヶ所に小公園を新設する。十四年度分は十五萬圓。○公會堂 鷺舞公園にあり、鐵筋コンクリ

赤痢 三四 疫痢 一五九
チフテリア 四三 猩紅熱 二六〇
痘瘡 一 流行性腦脊髄膜炎 三
○市立東病院收容力二〇八人、入院患者延人員三七、五四六人
○市立市民病院收容力二三〇人、入院患者延人員六五、八五一一人、外來患者延人員四二、三九〇七人
○八事療養所(肺結核) 收容力二二四人、入院患者延人員八〇、五二〇人
○トラホーム治療所(十二ヶ所) 取扱患者延人員四四二、三六四人
○市立診療所(四ヶ所)取扱延人員一七、三五二人
なほ市外天白村に建設中の結核療養所も竣工、このほか小兒結核預防所四ヶ所、消毒所、花柳病預防所各一ヶ所の建設中
○家畜病院 外來畜四〇二、入院六九、往診九六、〇五七
○屠場 屠殺總數二七、九一五頭
○水洗便所施設戸數累計一八、二〇八戸
○方面委員助成會經營診療所 七ヶ所
○墾芥燒却場(六ヶ所)二二、八四六噸
○市立兵葬墓地、火葬場、葬儀場、墓地總面積二二三、三四九平方尺、新式火爐三十基
△土木事業
○街路の新設擴張 昭和十三年度末街路の市

上五階建、總工費二百二十五萬圓、六ホールは椅子席二千七百あり。
○名古屋城 元難宮で昭和五年下賜され、同六年から一般に拜觀を許してゐる。
○徳川園 昭和六年舊藩主徳川家から寄附された邸宅および庭園で同七年から公開す。
△社會事業(昭和十三年度)
○市營事業
社會 二 共同宿泊所 四
公益買屋 五 公衆食堂 一六
市營住宅 一六 保育園 三三
授産所 六 理髮所 五
賣店 三
○私設事業
妊産婦保護 二 特殊療養所 一
保育園 三 隣保事業 三
宿泊保護 三 職業紹介所 三
司法保護 二 授産所 三
養老院 一 實費病院 二
診療所 七
○方面事業 昭和十四年四月末現在カード登録者數二、六三二世帯、九、六二八名、昭和十三年中の取扱件數
生活扶助 一七、三〇七 兒童保護 四、二八八
金品給與 一、八〇〇 相談指導 六、六九五
醫療扶助 一、八〇〇 戸籍整理 一、三三〇
生業扶助 一、三〇〇 職業紹介 六、四三三
埋葬 一、三〇七 旋

神戸市

△市勢概説

◇沿革 明治二十二年四月一日市制實施、同二十九年四月一日隣接三村を、翌三十年四月一日さらに二ヶ村を市域に編入し、大正九年四月には須磨町を、ついで昭和四年四月西灘村、六甲村(西平野を除く)、西郷町の三ヶ町村を併合し、同六年九月一日區制を實施、灘、葺合、神戸、湊東、湊、兵庫、林田、須磨の八行政区に分置した。かくて面積八十三平方キ、人口九十八萬九千餘(内閣統計局推計)の國際的大都市として内容、外觀ともに充實し、さらに同十三年五月この膨大な市制の處理上能率増進を主とする職制の大改革が斷行され、部を單位とする市政の圓滑なる運用により將來の繁榮に備へ陣容を整備することゝなつた。

△災害復舊事業

◇復興事業 昭和十三年七月五日突如襲來した大水害の被害は激甚を極め多くの人命とともに損害實に一億數千圓に上つた。この被害に對しては單なる現状回復のみでは他日の災

厄に對し晏如たり得ず根本的復興對策樹立の必要があるので、こゝに復興委員會を組織し復興の方策を審議しその結果に本づき山地、河川、道路、溝渠および都市計畫の各方面に互り永遠に災禍の魔手より港都を救ふべき大方針を決定した。その計畫實行の所要工費は次の通りである。

河川復興	三、七、六五、千圓
道路新設擴張	五、八、八四、千圓
(郡部に屬する分三、二、七九、四、千圓を含む)	
公園新設	五、七、七五、千圓
治山並流洗治水	三、七、八三、千圓
水道復興	四、一、三三、千圓
總計	一、五、一、二八、千圓

しかしこの工費は到底災害の打撃深刻なる神戸の負擔に耐へないところであるので、高率の國庫補助を仰ぐべく陳情し、左の通り工事施行者および費用の割當が決定した。

神戸市災害復興事業費總覽(單位萬圓)

市内十四河川改修工事	内務省施行
(十四年度より七年度)事業費	一、八、四三、千圓
國庫補助	三、六、三三、千圓
事業費納付金	三、六、三三、千圓
災害防備林造成工事	神戸市施行
(十四年度より廿年度迄)事業費	七、七、七、千圓
縣補助	一、四、一、千圓
縣補助	一、四、一、千圓

市内七河川沿道新設擴張 兵庫縣施行
(十四年度より廿年度迄)事業費 五、九、三、千圓

國庫補助 一、四、一、千圓
事業費納付金 一、四、一、千圓
縣補助 一、四、一、千圓

都市計畫山麓道路新設擴張 神戸市施行
(十四年度より廿年度迄)事業費 五、九、三、千圓

國庫補助 一、四、一、千圓
受益者負擔 一、四、一、千圓
神戸市負擔 一、四、一、千圓

水道施設復興 神戸市施行

事業費總額	三、三、三、千圓
國庫補助	一、八、四三、千圓
縣補助又ハ縣費	一、四、一、千圓
受益者負擔	一、四、一、千圓
事業費納付金	一、四、一、千圓
神戸市負擔	一、四、一、千圓
合計	三、三、三、千圓

外に國の施行の砂防工事がある。事業費三、三、七、(國庫負擔三、三、五、神戸市負擔一、〇、一、) なるは當面の災禍を復舊するため

應急復舊 事業費 一、二、五、(縣補助三、三、) 本復舊 事業費 一、〇、〇、(縣補助一、二、) の二工事が施行されつゝある。従つて市内の復舊、復興費は總額五、三、三、〇、萬圓(國庫補助一、五、二、〇、縣補助又ハ縣費一、〇、三、八、計補助總額二、五、五、八、萬圓)となる。

これらの事業を執行するため神戸市災害土木復興部を置き庶務、用地、工務の三課を配しなほ水道部には復舊工事課の設置を見た。

◇都賀川西部海面埋立工事の計畫 昭和十三年七月未曾有の災害による流出土砂を處分し併せて神戸港東部における工場、上屋、倉庫などの建築用地に供せんがため、灘區味泥大石地先約三二、七〇〇坪の埋立を計畫し、昭和十三年度より十七年度に至る繼續事業として總工費約百萬圓を以て施行の豫定。

◇神戸港擴張計畫

▲新東防波堤 延長二、五五〇以、現在の東防波堤の東方へ新築造

▲舊東防波堤 移動延長一、九〇〇以、現在の位置より南五〇〇以沖合へ移動

▲假防波堤 (一)延長一、八〇〇以(二)同七〇〇以新東防波堤の東端より北方へ築造

▲舊假防波堤 移動延長四〇〇以、現在の假防波堤の内四〇〇以を南沖合へ移動

▲總工費 一一、七〇〇千圓

(昭和十二年—二十六年十五ヶ年計畫)

△土地と人口(昭和十三年十月一日現在)

◇面積 全市八三万〇〇六

◇人口 九十八萬九千百人

△人口の變遷と世帯數

年次 人口 世帯數

明治二十二年(市制實施) 二、七、七〇四 三、三、六

明治四十一年(市勢調査)	三、七、九、九、二	八、七、五、九、七
大正 九年(國勢調査)	三、八、八、四、四	一、六、九、七、〇
大正 十四年(同)	六、四、三、三、三	三、五、五、五、五
昭和 五年(同)	七、七、七、七、七	三、三、三、三、三
昭和 十年(同)	九、三、九、三、九	三、九、三、九、三
昭和 十三年(推計)	九、九、九、九、九	三、九、九、九、九

△區別人口世帯 (昭和十三年推計)

全 市	九、九、九、九、九	三、九、九、九、九
灘 區	一、四、一、三、〇〇	三、四、一、三、〇〇
葺 合 區	一、六、一、三、〇〇	三、六、一、三、〇〇
神 戶 區	九、九、九、九、九	三、九、九、九、九
湊 東 區	一、四、一、三、〇〇	三、四、一、三、〇〇
湊 西 區	一、四、一、三、〇〇	三、四、一、三、〇〇
林 田 區	一、四、一、三、〇〇	三、四、一、三、〇〇
兵 庫 區	一、四、一、三、〇〇	三、四、一、三、〇〇
須 磨 區	一、四、一、三、〇〇	三、四、一、三、〇〇

△歴代市長

氏名	就職年月日	退職年月日
鳴瀧 幸恭	明治三、三、三	明治三、三、三
坪野平太郎	三、三、三	三、三、三
水上 浩躬	三、三、三	三、三、三
鹿島房太郎	三、三、三	三、三、三
櫻井鐵太郎	三、三、三	三、三、三
石橋爲之助	三、三、三	三、三、三
黒瀬 弘志	三、三、三	三、三、三
勝田銀次郎	三、三、三	三、三、三

△神戸市高級職員

(昭和十四年七月末現在)

市長勝田銀次郎△助役八木林作、同守屋慶彦
夫△收入役村上金次郎(會計課長)△副收入役
佐々木良綱(電氣局會計課長)△電氣局長杉
野繁△理事三本敏藏(庶務部長)同横尾繁六
(經理部長)同川島傳三(教育部長)同赤堀郁太
郎(社會部長)同岩田稔(保健部長兼同部衛生
課長事務取扱)同渡邊大輔(經濟部長)同荒木
文四郎(土木部長)同村山喜一郎(水道部長)同
富田忍四郎(災害土木復興部長)同都木輝(電
氣局財務部長)同前田利雄(同電氣部長)同桐
村早太郎(同給電部長)同廣瀬秀吉(同運輸部
長)同野田林太郎(同工務部長)▲區長小西建
左衛門(灘) 谷山富三郎(葺合) 中村中(神
戶) 永末節雄(湊東) 道添哲夫(湊) 古藤市
三郎(兵庫) 成瀬修一郎(林田) 小林壽郎
(須磨)

△市 會 議 員(議席順)

(定員六十五名、◎印參事會員)

竹島謙作、神田喜太郎、中川光太郎、◎酒事
一雄、永江一夫、松澤兼人、◎中ノ瀬幸吉、
藤原正雄、◎川崎瀨太郎、◎木原仙松、西川
莊三、森島甚吉、重成千代吉、◎山下文太、
森政雄、近藤健一、細見善藏、永田八重雄、
成瀬佐太郎、竹田延逸、梶野太郎、吉田衆一、
岸原徳四郎、谷本貞次、佃良一、黒田覺平、

市戸神

○柴田健吉、手納幸次郎、八木佐太治、金光邦三、大越兵藏、○大坪横太郎、北國太郎、田中太兵衛、松本清瀨、○伊丹武司、丸岡茂吉、岡本大六、村土蕃、松岡勝榮、○伊藤利勝、高砂勝吉、○伊藤貞五郎、丹下良太郎、大久保直次郎、大崎一郎、○香山熊吉、後藤仲一郎、片岡常松、森重太郎、谷口庄一、平松市太郎、上田實、小畑萬吉郎、南陽二郎、○松田平藏、小林秀吉、永田良介、高木重明、南秀春、○手納幸一郎、山本慶治郎、○安國幸左衛門、○豆谷大吉、中野文門▲(議長) 缺(副議長) 松岡勝榮(市會書記長) 門前嘉久一

△都市計畫事業概観

街路工事としては大正九年三月着手の第一期事業は總延長六千餘間、事業費千七百餘圓、大正十四年三月竣工。第二期事業は總延長三千餘間、事業費六百四十餘萬圓、昭和三年十月竣工。第三期事業は兵庫臨港線、國道線、臨港國道線、新生田川筋線、板宿線など總延長約四千餘間を完成、夢野線、平野線延長二、七四三居の事業は十四年度に完成の豫定で、總豫算一、一七〇千圓である。他に海岸線に神戸驛側線を都市計畫事業として決定、施工中で總延長二、五八〇居、幅員二七居、總豫算二、六五〇千餘圓である。

△市 豫 算(昭和十四年度、單位圓)
普通會計三、二五、二二三 [經常六、三三、八六六
臨時六、三三、三〇〇
皇太子殿下御慶賀記念事業公會堂 一四、二〇八 臨時 一四、二〇八

計	會	別	特
皇太子殿下御慶賀記念事業公會堂	一四、二〇八	臨時	一四、二〇八
都市計畫事業費	一、八五、二九四	臨時	一、八五、二九四
電氣事業費	三、三三〇、六一	經常	三、三三〇、六一
水道費	三、三三〇、六一	臨時	三、三三〇、六一
中央卸賣市場費	六、一六六	臨時	六、一六六
市民病院	三、三三〇、六一	臨時	三、三三〇、六一
公設賣屋	三、三三〇、六一	臨時	三、三三〇、六一
救護費	一〇、〇〇一	經常	一〇、〇〇一
救護費	一〇、〇〇一	經常	一〇、〇〇一
學齡兒童就學奨勵費	一、九三三	經常	一、九三三
印刷所費	一、九三三	臨時	一、九三三
資材調達費	一、九三三	臨時	一、九三三
公債費	一、〇七二	臨時	一、〇七二
基本財産及積立金	三、〇七三	經常	三、〇七三
電氣事業用品資金	二、〇〇〇、〇〇〇	經常	二、〇〇〇、〇〇〇

總 計三、三三〇、六一 [經常三、三三〇、六一
臨時三、三三〇、六一
昭和十三年度三、三三〇、六一 [經常三、三三〇、六一
臨時三、三三〇、六一
△市債現在額(昭和十四年六月末) 一三、三、八、四〇〇圓
總 額 一三、三、八、四〇〇圓
內譯 證券債 六、四、三、六〇〇
借入金 一七、九、〇〇〇
△金 融 (昭和十四年六月末)
銀行 本店銀行(神戸、神戸(淡路)支店 銀行六二、外國銀行支店五
組合銀行勘定(外銀を含む、單位千圓) 三、七、七、六
預金 高 三、七、七、六
貸金 高 三、七、七、六
有價證券 一、〇、〇、〇
現金有高 一、〇、〇、〇
手形交換高(枚數) 一、〇、〇、〇
金額(單位千圓) 一、〇、〇、〇

△賣 易 (昭和十三年度)
金額(單位千圓) 前年比減少率
輸 入 七、七、〇、六 一〇%
輸 出 七、〇、三、七 一七%
合 計 一、四、〇、二、五 一四%
超 過(出超) 七、七、〇、六
對全國神戸港比率 一、〇、〇、〇
輸出 元% 輸入 一七% 合計 一六%
△主要通商國輸出入額 (昭和十三年、單位千圓)

衣服の新調をやめ
廢品衣服を活かし
て着るこそ銃後の
女性の御奉公!

家庭染料
みよやちの染
誰にも手軽に面白いほどよく染まる!



東京市日本橋區小舟町
株式會社 桂屋商店

市 戸 神

◎柴田健吉、手納幸次郎、八木佐太治、金光邦三、大越兵衛、◎大坪慎太郎、北國太郎、田中大兵衛、松本連彌、◎伊丹武司、丸岡茂吉、岡本大六、村上蕃、松岡勝榮、◎伊藤利勝、高砂勝吉、◎伊藤貞五郎、丹下良太郎、大久保直次郎、大崎一郎、◎香山健吉、後藤伸一郎、片岡常松、森重太郎、谷口庄一、平松市太郎、上田實、小畑萬吉郎、南陽二郎◎松田平藏、小林秀吉、永田良介、高木重明、南秀春、◎手納幸一郎、山本慶治郎、◎安國幸左衛門、◎豆谷大吉、中野文門▲議長◎萩(副議長)松岡勝榮市會書記長門前嘉久一

△都市計畫事業概観

街路工事としては大正九年三月着手の第一期事業は總延長六千餘間、事業費千七百餘萬圓、大正十四年三月竣工。第二期事業は總延長三千餘間、事業費六百四十餘萬圓、昭和三年十月竣工。第三期事業は兵庫臨港線、國道線、臨港鐵道線、相生川船渠、板宿線など總延長約四千餘間を完成、夢野線、平野線延長二、七四二間の事業は十四年度に完成の豫定で、總算一、一七〇千圓である。他に海岸線に神戸臨港鐵道を都市計畫事業として決定、施工中で總延長二、五八〇間、幅員二七間、總算一、六五〇千餘圓である。

衣服の新調をやめ
 廢品衣服を活かし
 て着るこそ銃後の
 女性の御奉公!

家庭染料

みよあ染

誰にも手軽に面白いほどよく染まる!

東京市日本橋區小舟町

株式会社 桂屋商店



計 會 別 特

項目	金額 (千圓)	時期
皇太子殿下御降臨記念事業公費室	1,200.00	臨時
都市計畫	1,550.00	臨時
電氣事業	7,300.00	臨時
水道費	3,400.00	臨時
中央卸賣市場費	500.00	臨時
市民病院	3,700.00	臨時
公設質屋	3,000.00	臨時
救護費	3,800.00	臨時
學齡児童就學奨励費	10,000.00	臨時
印刷費	1,600.00	臨時
資材調達	2,000.00	臨時
公債費	2,300.00	臨時
基本財産及設立金	100.00	臨時
電氣事業	2,000.00	臨時
臨時費	2,000.00	臨時

總 計

昭和十三年度 3,232.23
 臨時 3,700.00
 臨時 10,000.00
 臨時 1,200.00

△市債現在額

昭和十四年六月末
 1,378,000圓
 1,740,000圓
 1,740,000圓

△預金

銀行 本店銀行(神戸、神戸西)支店
 銀行六二、外國銀行支店五
 組合銀行勘定(外銀を含む) 單位千圓
 預金 高 7,700.00
 有價證券 高 2,500.00
 現金有高 1,500.00
 手形交換高 1,200.00

△貿易

輸出 1,500.00
 輸入 1,500.00
 合計 3,000.00

△對全國貿易比率

輸出 1.5%
 輸入 1.5%
 合計 3.0%

△主要通商國輸出入額

昭和十三年、單位千圓

市戸神

前年出比	高	一〇〇・九二	八〇・九二	一〇〇・九二
前年出比	低	四・七五	一四・七五	一四・七五
前年出比	高	一〇〇・九二	八〇・九二	一〇〇・九二
前年出比	低	四・七五	一四・七五	一四・七五

中央卸賣市場 昭和十二年三月開成の認可を得、水陸運輸の要衝兵庫港中之島沿岸三二五二九八平方尺の地に豫算七百萬圓を以て五年八月前竣に着手、七年十二月開業。東西二ヶ所に配給所を設置し市場機能の充實開演を期してゐる。十二年度の取引額三〇、〇四四千圓(前年度より二、一四七千圓増)

公設市場 現在敷十一、店舗敷三〇四、十三年度売上高二、五三五、九七四圓にして一店舗一ヶ年平均売上高八、七六四圓となる

市立小學校七 教員三六五 児童數六、七七一
市立諸學校

商業 學校 四 高等女學校 二
青年 學校 吳 幼稚園 七
盲學 校 一 中學校 一
實業 學校 二
その他諸學校

私立幼稚園 吳 私立小學校 三
私立青年學校 三 商業 學校 私立 三
高等女學校 私立 二 中學校 私立 三
工業 學校 私立 一 其他 吳

保健衛生施設

結核療養所建築 看護婦多井畑に理想の健康地三三、九五七平方尺を選び工費七十八萬四千圓を以て昭和十三年十月結核療養所の建築に着手した。構造の大要——耐震耐火鐵筋コンクリート造五層建、建物延面積五九、四三五平方尺、收容患者定員三〇〇名、休息所日光室を配し最新式のレントゲンを始め、暖房給水湯、汚水浄化、塵芥焼却などの衛生設備に萬全を期してゐる。昭和十五年竣工の豫定

屯田療養所 市立結核療養所たる屯田療養所の病床を百床増加し患者二百名收容す

市民病院 診療科——本院内科、外科、

産額東洋一

ニッザン 洗濯石鹼

専賣特許 ス・フもいたためぬ

ニッザン 洗剤

1本50セン

泡立ちよくて もちのよい

ニッザン 新石鹼

専賣特許・活性化酵素入

1個10セン

日本油脂株式會社

市戸神

前輸	羊	豆	棉	重要輸入品	清	毛織	メリヤス	人絹	絹織	重要輸出品	アメリ	イギ	蘭印	海峽植	英領印	中華民	關東州	滿洲	
年出	糸	類	花	(單位千圓)	酒	物	品	織物	物	(單位千圓)	州	リ	度	民地	國	國	國	國	
比高	(昭和十三年度)	類	三六、一〇〇	機	小	紙	諸	絹	生	三、一六二	三、一六二	三、一六二	三、一六二	七、七七一	六、三三三	六、三三三	六、三三三	六、三三三	
四、七三減	八、七三減	一〇、七三減	一〇、七三減	一〇、七三減	一〇、七三減	一〇、七三減	一〇、七三減	一〇、七三減	一〇、七三減	一〇、七三減	一〇、七三減	一〇、七三減	一〇、七三減	一〇、七三減	一〇、七三減	一〇、七三減	一〇、七三減	一〇、七三減	一〇、七三減
一四、三三減	一四、三三減	一四、三三減	一四、三三減	一四、三三減	一四、三三減	一四、三三減	一四、三三減	一四、三三減	一四、三三減	一四、三三減	一四、三三減	一四、三三減	一四、三三減	一四、三三減	一四、三三減	一四、三三減	一四、三三減	一四、三三減	一四、三三減

同 比 率 (減) 四二% (減) 四四%
 兩港輸出高比率(數量)
 神戶 三三% 横濱 七六%
 △倉庫 (昭和十三年度)
 倉庫協會加入倉庫出入貨物(十一倉庫)
 入庫 一四、三三三千圓 四八、三三三〇千圓
 出庫 一四、三三三千圓 四八、三三三〇千圓
 △會社 (昭和十二年末、單位千圓)
 社數 公稱資本金 拂込資本金
 農 業 三 二、〇〇〇 一、九〇〇
 水産、鑛業その他 一八 三、〇〇〇、七、五〇〇
 工業 九 九、〇〇〇、三六、二〇〇、八八
 商業 二、六三三、三三三、二二二、二二
 運輸 業 三、三三三、三三三、三三三、三三
 合計 三、三三三、三三三、三三三、三三〇〇

△市 場
 ◇中央卸賣市場 昭和二年三月開設の認可を得、水陸運輸の要衝兵庫區中之島沿岸三五二九八平方尺の地に豫算七百萬圓餘を以て五年八月開設に着手、七年十二月開業。東西二ヶ所に配給所を設置し市場機能の充實圓滑を期してゐる。十二年度の取引高三〇、〇四四千圓(前年度より三、二四七千圓増)
 ◇公設市場 現在數十一、店舗數三〇四、十三年度賣上高二、五二五、九七四圓にして一店舗一ヶ年平均賣上高八、七六四圓となる

△教 育 (昭和十四年三月末現在)
 市立小學校 七 教員三、六三 兒童數九、六三
 市立諸學校
 商業 學校 一 高等女學校 二
 青年 學校 一 幼 稚 園 一
 盲 學 校 一 中 學 校 一
 實業 學校 一
 その他諸學校 一
 私立幼稚園 三 私立小學校 三
 私立青年學校 三 商業 學校 縣立 一
 高等女學校 縣立 二 中 學 校 縣立 一
 工業 學校 縣立 一 其 他 一
 △保健衛生施設
 結核療養所建築 須磨區多井畑に理想の健康地三三、九五七平方尺を選び工費七十八萬四千圓を以て昭和十三年十月結核療養所の建築に着手した。構造の主要 耐震耐火鐵筋コンクリート造五階建、建物延面積五九、四三五平方尺、收容患者定員三〇〇名、休息所日光室を配し最新式のレントゲンを始め、暖房給水湯、汚水淨化、塵芥燒却などの衛生設備に萬全を期してゐる。昭和十五年竣工の豫定
 ◇屯田療養所 市立結核療養所たる屯田療養所の病床を百床増加し患者二百名收容す
 ◇市民病院 診療科——本院内科、外科、

産額東洋一

ニッザン 洗濯石鹼

専賣特許 スフもいためぬ

ニッザン 洗剤

1本50セン

泡立ちよくて もちのよい

ニッザン 新 洗濯石鹼

専賣特許・活性化酵素入

1個10セン

日本油脂株式會社

産婦人、耳鼻咽喉、小兒、皮膚、眼、齒の諸科。分院(東西)内、外、眼科。患者取扱数...

昭十四年度には運搬トラック一四台購入の豫算七萬七千圓を計上した。昭十四年度は...

△社 會 事 業 (昭和十三年度)
無料法律相談所 一ヶ所、相談件數六〇四
海員會館 定員二百名、宿泊人員四六、二六三



横濱市

△沿革と概観

横濱市の誕生も發展も港である。港は横濱の生命である。安政六年六月二日(西曆一八五九年七月一日)開港以來本年に至る八十年を閉じた。戸數僅かに百戸に満たなかつた一漁村は開港とともに内外の商人一齊に參集して一朝にして繁華の巷となり、横濱の名は突如として宇内に轟くにいたつた。尤も開港前後には鎖國、攘夷、開港と國論露々、物情騒然として、かの有名な文久二年の生麥事件をはじめ外人殺傷變亂事件などが隨所に引起されたが、時勢の波に押し流されて外國との通商は次第に頻繁その度を加へて行つた。開港當時の貿易状況は今日に比べれば微々たるものであらうが英、米を始めその他の諸國と通商條約成立し諸外國商館の設立あり毛織物、諸器物殊に當時珍重せられた諸硝子製品その他の雜貨が輸入せられ、また今日日本邦輸出品の大宗たる生糸は保土ヶ谷の商人芝屋清五郎なる者によつて初めて外國商館に賣込まれて

入寮兒七九人

巡回産婆 七人、取扱妊婦實數一、一五八、生産數九七二、日診數一〇、五七八
公設食堂 六ヶ所、賣上二二六千圓
市營住宅 二ヶ所、戸數二二一
住宅組合 二四組合、價額済のもの二四
共同住宅 七棟、三二六戸、一ヶ所
不良住宅地區改良事業 十三年度支出額五、八六三圓、事業費總額一、一四七千圓
公設賣屋 三ヶ所、貸付金高二二〇千圓
利用者數二〇、九一五人
仲仕休憩所 二ヶ所、利用者延六萬千人
授産所 一ヶ所、就業延人員八、一二八
救護事業 救護實人員二、八二二、救護費一六九千圓
方面事業 委員四一三人、方面區一一
救護事業 救護實人員一五二人
母子保護事業 保護實人員二、六五〇、保護費九萬八千餘圓
失業者更生訓練施設 入所者八四人
失業應急事業 俸給者就業延一〇、六四四人、労働者就業延二五、六八四
職業保護所 授産延人員一、六五四、授産延人員一七五(十四年二月開所)
共同宿泊所 二ヶ所、宿泊定員四〇〇人
簡易宿泊所 二ヶ所、定員二百人、宿泊延人員四五、三四九

△電氣、バス事業(十四年三月末現在)

電氣供給 電燈需要戸數二〇七、四七五戸、燈數一、二二三、九〇四燈、電力供給需要戸數八、二八一戸、使用電機數一一、五三九台、馬力數一八八、三八五
電氣軌道 營業キロ程三二、三餘、車輛數二八五、十三年度乗客數九千三百萬人餘、收入五百六萬八千餘圓に上る
バス 營業キロ程六二、三、車輛數二五〇、十三年度乗客數千五百七十萬人餘、收入百三十五萬餘圓

△上 水 道

沿革 明治三十年五月布引、鳥原兩貯水池の起工に始まり、三十三年四月給水開始、三十八年五月竣工、給水人口二十五萬人、次に明治四十四年、大正十四年の兩度に互り擴張工事を施行、前者の給水人口五十萬、後者八十萬六千となり、その後第三回擴張計畫を樹立せしめ工事認可とならず、結局昭和十一年夏、神戸市と阪神間二市十三町村を給水區域とする阪神上水道市町村組合の設立を見た。これは大體第三回擴張計畫を骨子としこれに淀川取水案を加へ給水人口百萬(神戸六十三萬)を目標とする。十三年夏の大水害に依り、鳥原、布引兩貯水池を始め水道各施設に大被害を蒙り、その復舊工事のために水道部内に復舊工事課が新設された。

から順に需要を増加したものである。なほまた今日の我國文化の盛衰も横濱にその端を見るものが多い。慶應三年には僅か十馬力ではあるが國産汽船で海岸通二丁目から江戸水代橋間に一日一回の通船事業始められ、明治二年九月東京、横濱間に電信の架設があつて我國電信事業の第一歩となつた。また鐵道は明治五年五月品川、横濱間に開通、同年九月に瓦斯燈の點火を見た。淨化装置を持つ近代的水道施設は英人技師パーマーの設計によつて明治二十年竣工したのが全國の魁である。その他活字、新聞の發行、乗合馬車など横濱に始まつたものは枚舉にいとまなく我國文化史上横濱港の盡した役割は誠に大きい。

かくて明治、大正の聖代の國運隆盛に伴ひ次第に人口稠密し我國六大都市に伍して世界有数の國際港都となり、大正十二年ごろには人口四十餘萬を擁する本邦第一の大貿易港となつた。しかるに大正十二年九月一日の關東大震災は二萬三千の生靈を奪ひ各般の施設を一瞬にして灰燼に歸せしめ全市は廢墟と化してしまつた。一時は最早復舊も期し難しとまで危ぶまれたが市民の氣魄と努力は朝野の甚大なる援助の下に災後僅か六ヶ年にて復興事業を完成し災害前より遙かに完備せる施設を有する清新發刺たる近代港都を形成するに

至つた。さらに大都市計畫案に基いてまづ昭和二年四月一日には久良岐郡の屏風ヶ浦村、大岡川村、日下村、橋樹郡の内保土ヶ谷町、城郷村、大綱村、旭村及び鶴見町、都筑郡の内西谷村の二町七ヶ村を編入し同年區制を施行し全市を鶴見、神奈川、中、保土ヶ谷及び磯子の五區に分ち、水陸兩方面にわたる諸設備の企畫進められ大防波堤の建設をはじめ永代借地權の買収、上水道の擴張、埋立臨港工業地帯の設定など大都市として重要な事業着々進捗し就中神奈川及び鶴見における埋立臨港工業地帯六十餘萬坪は買入れ盡して多數の大工場、に林立し單なる貿易港より工業都市への飛躍を開始した。さらに昭和十一年十月一日の久良岐郡金澤町、六ッ浦村及び鎌倉郡水野村の合併、翌十二年四月一日の橋樹郡日吉村の一部吸収合併、そして十四年四月一日には都筑郡川和町、新田村、中川村、山内村、中里村、田奈村、新治村および鎌倉郡戸塚町、同郡中川村、川上村、鹽田村、本郷村大正村、中和田村、瀬谷村の二町十五ヶ村にわたる大合併を断行し、舊都筑郡分一町六ヶ村をもつて港北區、舊鎌倉郡分一町七ヶ村をもつて戸塚區の二區を設定、明治二十二年市制施行當時僅かに五、四万、人口十二萬に過ぎなかつた横濱市はこゝに四〇〇万、東

市 債 債

京に次いで本邦第二位の面積を擁するに至り、人口また八十五萬五千といふ畫期的躍進を遂げたのである。

ここに特記すべきは事變に伴ふ軍需産業の股賑が横濱市政一般に齎しつつある未曾有の活況ぶりである。即ち十二年末において七億合であつた横濱市の工業生産總額は僅々一年間に於いて十三年末には實に十億(推算)を突破し神奈川縣下工業總生産額の六割強を示し税収入もこれに比例して十一年度の五百六十二萬圓から十三年度には七百十八萬圓の増收を記録し瓦斯、水道、電車など何れも未曾有の黒字時代を現出して何十年か覆いたハマの財政難、殊に昭和七、八年頃の吏員教員の俸給支拂にすら窮したといふ恐慌期を一場の悪夢として解消したが、この急激な人口の膨脹は物價の住宅拂底と瓦斯、水道の不足時代を招來し瓦斯は既に擴張工事に着手、水道もまた一千萬圓の擴張豫算を市會に提案審議中である。住宅難については工場労働者だけの住宅不足が四千戸に達してゐるが調査の結果判明したので、市では急ぎ六百萬圓の低資をもつて差當り千五百戸の職工住宅建設に乗り出し、埋なき「人間氾濫」住宅難の緩和に腐心してゐる。そも、十四年春の隣接十七ヶ町村の合

市 債 債

- 久保田 政周 同セ・ハ・七 同二・五・七 辭
渡邊 勝三郎 同二・二・三 同四・四・〇 辭
有吉 忠一 同四・五・七 昭六・二・六 辭
大西 一郎 昭六・三・三 同四・一・八 辭
青木 周三 同四・六・三 現在
△市要職(昭和十四年六月末現在)
市 長 青木 周二 助 役 鶴澤 憲
助 役 菊池 慎三 収入 役 伊藤 爽哉
秘書課長 宮原 宏平 總務部長 紙谷 文次
財務部長 片野 道藏 教育部長 藤岡 準
産業部長 稻葉 文毅 社會部長 水島 藤吉
建築部長 鷲巢 昌 衛生部長 木村眞之助
防衛部長 國分 邦彦 土木局長 下村 猛
水道局長 藤田 弘道 電氣局長 木村 芳人
瓦斯局長 賀田 立二 十全醫院長 及能謙一
鶴見區長 和田 正雄 神奈川區長 森田宗作
中 區長 脇水重臣 保土ヶ谷 佐藤時之助
磯子區長 小田切忠之助 戸塚區長 安藤 喜八
港北區長 大野 元

- △市會議員(昭和十四年六月末現在)
(定員六十名△印參事會議員)
栗原 權藏 竹内 定吉 小澤 二郎
鈴木金太郎 沖山 明一 本郷 金作
田邊徳五郎 須々木本次 平澤權次郎
加山 健一 石塚北一郎 吉澤忠兵衛
△井上仙之助 西 英雄 △北見 清吉
△田中 彌平 小中澤保平 高木義兵衛
△小此木歌治 須田 善次 山崎 小三
田口良太郎 小杉 芳藏 横山 四朗
内田 正一 △松村 亮吉 飛鳥田喜一
堀内 萬吉 △飯田 助夫 △赤尾 彦作
△加藤義右衛門△安達啓次郎 池島 留吉
△吉村 榮作 岩澤泰太郎 平野 佳秀
牛頭伊之松 岩澤 金藏 鳥山 數衛
長野榮太郎 北見 玉吉 山本新三郎
伊藤 太郎 本間祐次郎 佐藤 安藏
上條 治 須川 多助 田上 松衛
石河 京市 麻生 喜市 門司 亮
松尾 常一 △平山伊三雄 鈴木 長之
△阪上 安藏 三浦寅之助 石渡 清作
河野 茂造 森 榮一

- △市歳出豫算(昭和十四年度)
一 般 經 済 一、五九、三三圓
水道事業費 四、八四、五九〇
水道事業貯藏物品費 四、四三、三三〇
瓦斯事業費 一、三〇、〇〇〇
瓦斯事業貯藏物品及工場費 一、三〇、八四〇
電氣事業費 一、二〇、〇〇〇
電氣事業貯藏物品費 五、六、〇〇〇
退隱料基金 三、四、三三〇
火災共済基金 一、八、九九九
特別財産造成費 四、四、七三三
墓地火葬場費 六、〇、七〇〇
特別財産(貿易倉庫) 四〇、〇〇〇
質舖事業費 一、三、〇〇〇
轉貸資金費 五、八、四七七
住宅事業費 二、四、八六六
子女、生麥地先埋立事業關係公債費 一、七、九四、四四四
市 債 金 一、七、九四、四四四
十 全 醫 院 費、五、五、〇〇〇
計 費、五、五、〇〇〇
△市 債 額 (昭和十四年三月末未償還額)
一 般 經 済 一〇〇、八三、四〇〇圓
電 氣 經 済 三、七、四、〇〇〇
水 道 經 済 一、三、五、八、三三三
瓦 斯 經 済 六、二、六、三三三
十 全 醫 院 經 済 一、三、五、八、三三三
其 他 三、七、九、三三三
△教 育 (昭和十三年六月)
專門學校(官立)高等工業、高等商業(市立)
商業專門(私立)關東學院、横濱專門、慶應
義塾大學豫料
中學校 縣立三、私立三
實業學校(甲種) 縣立二、市立四、私立六

併は従来の埋立による工場敷地の造成が既に飽和點に達し「土地」の上から行詰るにいたつた工都横濱が、新しく土地を求めるといふ點にその眼目があつた。従つて今後は新市域の鶴見川上流沿岸(横濱線中山驛附近)一帯數百町歩の平野に新らしき工場地帯の形成を企て、ボーリングを行つて地質、地盤の調査を終へた。政府の手で目下施行中の鶴見川改修工事は同川の運河としての利用價值を將來に固く約束してをり、恐らく兩年を出でずしてこの地帯は立派な工場街と化するであらう。また一方大日本航空の横濱—サイパン—パラオ間四千キロの定期航空は十四年四月一日から磯子海岸埋立地三千餘坪を空港として開設され、現に毎月二往復の郵便空輸が行はれてゐるが八月から旅客運輸をもはじめることになつてゐる。時局の脚光を浴びて、大横濱の飛躍ぶりはめまぐるしいばかりである。

- △土 地 面積(方キロ) 周圍(キロ)
明治三二(市制施行) 五、五八 三、三三
同 三四(第一次擴張) 二、八〇 三、五五
同 四四(第二次擴張) 五、七〇 六、〇〇
昭和一(第三次擴張) 一、三〇 一、五〇
同 一一(第四次擴張) 一、六〇 一、八〇
△戸數と人口
世帯數 人口
明治三二 三、三〇 三、三〇 市制施行
同 三四 四、七〇 二九、二〇〇 第一次擴張
同 四四 六、六八 四四、〇〇 第二次擴張
昭和一 二、〇〇 七、〇〇 第三次擴張
同 四 一、三〇 五、〇〇 復興完成
同 八 一、三〇 六、〇〇 (内閣統計局推計)
同 九 一、三〇 七、〇〇 (内閣統計局推計)
同 一〇 一、三〇 七、〇〇 國勢調査
同 一一 一、三〇 七、〇〇
同 一二 一、三〇 七、〇〇
同 一三 一、三〇 七、〇〇
同 一四 一、三〇 七、〇〇 第四次擴張
△歴代市長
就職年月 退職年月
増田 知 明三、四一 明三、三〇 辭
佐藤喜左衛門 同三、三〇 同三、三一 退
梅田 義信 同三、三〇 同三、三〇 死
市原 盛宏 同三、三〇 同三、三〇 辭
三橋 信方 同三、三〇 同三、三〇 死
荒川 義太郎 同三、三〇 同三、三〇 辭
安藤 謙介 大、二、二二 同七、八、三三 退

霞町小學校で排英市民大會を開催

霞町小學校で排英市民大會を開催。就任年月日 在職期間

Table of city council members with columns for name, rank, and term.



福岡

九州の首都としては勿論興亞大陸進出への産業、交通上の基地として溌刺たる躍動をとげつゝあり博多築港第二期工事も着々進捗中で、關門トンネル開通の

曜には關釜聯絡にまさる博多、電水航路を開設せよとの議も市當局によつて熱心に唱道されてゐる。さらにまた博多港を國策港に指定し、政府はよみしく大陸への玄關口として大博多港を総合的に活用すべきであるとの猛運動が起されてゐるが、これなどは飛躍して止まぬ福岡の横顔を示すものとして特筆に値しよう。

▲市街は那珂川を境に西を福岡、東を博多といひ、慶長年間黒田公が入國して城下街を經營し十二世二百七十年間の城下時代がつゞいた。明治二十二年市制を施行、以來筑紫郡の警固村、住吉町、八幡村、堅粕町、千代町、原村、樋井川村、姪ノ濱町などを合併し東西四里九町餘、南北三里四町餘、面積五万七千四百の大都市となつた。

歴代市長

Table of past mayors of Fukuoka with columns for name, rank, and term.

時實 秋徳 同 一五、三 四年
久世 庸夫 昭和 五、六 四年
久世 庸夫 同 九、七 三年六ヶ月
河内卯兵衛 同 一三、四 四月
服部直彰(職務管掌) 同 一三、一〇 二月
畑山四男英 同 一四、一 現在
▲十四年度豫算は一般會計六、二七七、九四三圓、歳出經常部二、四五五、六一〇圓、同臨時部三、八二二、三三三圓、歳入市稅總額二、八八八、四九九圓、特別稅戶數割八七二、〇〇〇圓、二百平均一六圓、起債額一、二六一、〇〇〇圓、市債現在額(六月一日現在)一八、〇七三、二二四圓五五錢。

解散▽十一月十一日革新市會初召集▽十二月十一日城西高等小學校燒失▽十四年一月四日第十三代市長畑山四男英氏に決定▽二月二十日市會疑獄事件久世元市長派關係十三名にかかる公判開かる▽二月二十一日堅粕尋常小學校燒く▽三月七日市會疑獄事件河内派公判開かる▽三月十三日豫算市會召集▽三月三十日豫算市會閉幕▽四月八日市警防團結成▽五月十七日安永登氏助役に決定▽五月三十一日市會疑獄事件久世派並に河内派判決言渡▽六月十日渡邊龍太郎氏收入役に決定。



阿蘇

鎮守府の所在地であり東洋一と稱せられる。吳海軍工廠の所在地、隣接村の廣には廣海軍工廠、吳航空隊があり、海を隔て、江田島には帝國海軍士官搖籃たる海軍兵學校がある。かくの如く吳市は全く「海軍の街」で人口も海軍軍人、軍屬および海軍工廠従業員ならびにその家族で三分の二を占めてゐる。總面積四八方キ、六五、明治二十三年鎮守府開闢以來過去の戦役、事變毎にめざましい發展をとげ、明治三十五年十月一日市制施行、昭和三年には隣接の吉浦、豊岡屋、阿賀の三町を合して今日に至つた。

▲十四年度當初豫算は一般會計二百九十六萬二千餘圓、特別會計において水道費六十五萬七千餘圓、水道擴張費百五十七萬五千圓その他合せて總計四百九十六萬餘圓、軍港地はどこも同じ悩みだが街が急激に膨脹した結果、各般の施設、事業なども急務を必要とした。め財政は年々膨れてゆくに反し内容これに伴はず、十四年度一般會計豫算においても歳入は市稅收入約四十八%、そのうち戸數割が五十%を占め擔稅者は六十%以上が海軍工員とその家族たる給料生活者で、その他でも擔稅力低く、一方では教育、保健などの支出嵩み經濟切りまはしに年々苦慮を重ねてゐる。

▲十五年度には完成の豫定である。▲産業方面では年産額百萬圓以上のものは清酒、金ペン、萬年筆などであるが、金ペンは金の使用禁止により耐酸鋼ペンに轉向、萬年筆もしたがつてその影響をうけ不振となつた。その他の産業はみるべきものなく、しかして時局柄海軍工廠の下請工場として中小工場勃興の機運にあるのは注目すべきところである。

歴代市長

Table of past mayors of Amakusa with columns for name, rank, and term.



八幡

▲八幡市は洞海湾の奥部を占め面積五七平方...

歴代市長

Table of past mayors of Fukuoka with columns for name, term, and dates.



仙台

▲慶長五年伊達政宗青葉城創設に始る。明治...

歴代市長

Table of past mayors of Sendai with columns for name, term, and dates.



長崎

▲長崎は元龜二年(三...

歴代市長

Table of past mayors of Maebashi with columns for name, term, and dates.

歴代市長

Table of past mayors of Maebashi with columns for name, term, and dates.



静岡

▲市は元駿河の國府で...

歴代市長

Table of past mayors of Maebashi with columns for name, term, and dates.

市を叩へ今や新なる發展の巨歩を

▲(主なる出来事) 杉本助役不信問題に絡んで尾崎市長辭任のあと後任詮衡でもめた揚句、八月十九日市會議長稻森誠次氏一票の差で當選▽杉本助役辭職のあとには十月十二日元本縣學務部長足立達夫氏當選▽十二月一日市役所に企劃課を新設、大靜岡再編成の第一歩を踏出す▽四月一日事變下に市制施行五十年を迎へ新しき躍進を誓ふ、文化方面も事變下にも不拘着々進行▽十月十二日中央氣象台靜岡測候所敷地寄附を決定▽多年要望の市立中學もいよいよ十五年度に新設に決定、六月末には創立委員も決定した▽また同月時代に即應して統後事務部を新設、従来の兵事關係事務ならびに國家總動員關係その他統後の諸關係を包括した活潑な活動を開始した。

▲歴代市長

Table with columns: 就任年月, 在職期間, 市長名 (星野謙太郎, 長島弘裕, 小森慶助, 伴野欣平, 小島源三郎, 宮崎通之助, 菅貞仁)

尾崎元次郎 同 一〇・九 二年九月月 稻森 誠次 同 一三・八 現在

▲十四年度通常豫算二、四九九、五八九圓、電氣部特別會計二、三〇九、三三三圓、下水道第三期事業費四二二、〇〇五圓その他合計百七十萬圓、起債總額一〇、〇九五、四四九圓、市稅戶數割平均額は十四圓五十錢である ▲十三年度生産額は荒茶、蜜柑、石垣苺等の農産八、六七三圓、蠶糸、畜産、林産等で四九五圓、水産一、七九七圓、和洋紙九、七〇五圓、漆器五、一九四圓、木製品九、一九八圓、塗下駄六、九三六圓、再製茶三〇、六八九圓、金屬製品三、一七八圓、機械類二七〇萬圓、製材二、九九六圓、絹糸織物一〇、〇二九圓、人織糸三、四六二圓。

▲産業同業各種組合八十餘、會社數二四六、資本金總額三千六百八十萬圓、銀行十二、内本店二である。工場としては漆器は工場數二、〇一九、職工八、五三三人、木製品は工場一、〇三〇、職工四、一八八人、再製茶工場九六、職工一、九〇七人、その他を合すれば工場四、八〇五、職工二一、一九五人を算す。なほ再製茶工場に外人經營のものが存在することは斯業の波瀾多き歴史を物語つて興味深きものがある。



川崎

▲川崎の地が記録に現れたのは堀河天皇の御宇河崎冠者基家が秩父より來り肝園を拓いたのが初めて見られ、その後元和九年に久根崎、砂子、小土呂、新宿の四ヶ村を合し川崎宿として東海道五十三次の一驛となり、多摩川を控へ街道の要地をなしてゐたといへなほ單なる一宿驛、一寒村に過ぎなかつた。しかし明治以降この地が多摩川の河口に據ると、帝都と横濱を兩翼とする天恩の地を占むることにより、こゝに昔日の面影を脱して工都川崎の誕生を見たのである。大正十三年七月一日川崎町、大船町、御幸村の二町一村を廢して市制を施行し、次いで昭和二年四月一日田島町を、同八年八月一日中原町を、さらに同十二年四月一日には高津町および日吉村の一部を、同年六月一日には桶村を、同十四年四月一日には桶生、岡上兩村を合併し面積二二七平方キ、八九、東西は東京灣に臨み横濱港第四區として活躍、現在人口二十三萬八千四百四十四人でまさに全國都市に類のない驚異的躍進を遂げてゐる。

工業學校費二十一萬一千四百八十八圓、小學校費總費九十八萬八千六百圓、下水道工事費三十萬圓、都市計畫街路新設費二十三萬三千圓、道路改良費八十萬圓、都市計畫公園新設費三十五萬六千圓、同厚生園(皇紀二千六百年記念事業)新設費八十八萬八千圓、公園墓地新設費百二十萬圓、市營バス事業費八十九萬七千一圓(認可申請中)結核療養所修繕費七十八萬四千圓、工業利用所新設費三萬五千五百六十圓、尋常夜學校費二千四百二十一圓、相模川水利統制による上水道擴張調査費ならびに工業用水道費一萬九千八百圓その他である。

▲(主なる出来事) 重、輕工業の驚異的發展から市内の住宅難は極度に達し約五千戸の不足を告げ、これを緩和するため市と數種の大工場がタイアップし資本金二百萬圓の川崎住宅株式會社を創立、二ヶ所のアパートと一千戸の住宅建設計畫をたて事業を開始、三十萬圓で建設中の工員寮舎(青少年工アパート)完成、大師橋(大師・羽田間)完成、八十二萬圓で建設中の富士見公園(綜合運動場)完成五萬九千圓で建設中の勞働宿泊所は十四年度

中に完成、川崎署廳舎は九月に完成。

▲工業概況は製鐵、鋼管、電氣、電機、機械器具その他重工業、精密工業、化學工業、紡績、食料品等々大小工場數三百餘、従業員十萬と稱せられ、工場生産額(昭和十三年中)は實に七億四千六百八萬圓餘、前年の二倍に達して居る。

▲歴代市長

Table with columns: 就任年月日, 在職期間, 市長名 (石井 泰助, 春藤 嘉平, 百濟 文輔, 中屋 重治, 助役代理市長, 菊地 彌左衛門, 芝辻 一郎)



函館

▲懸案の函館市と湯ノ川町の合併は昭和十四年四月一日をもつて成立六月一日盛大な合併祝賀會をあげた。こゝに函館市は人口二十三萬八千八百八十四人、世帯數四萬三千六百四十六となり北海道第一位の都市を誇り北洋漁業の策源地としていよいよ北海開門の護りを固めてゐる。助役彌吉茂樹氏は昭和十三年十月執行の市議改選の開票に

▲歴代市長

Table with columns: 就任年月日, 在職期間, 市長名 (西岡 實太, 小濱 松次郎, 佐藤 孝三郎, 木村 英俊, 坂本 森一, 齋藤 興一郎)

▲渡島半島の南端周囲二七・八、總面積一八、九八九、二〇三平方尺、津輕要塞司令部によつて要塞地帯法が布かれ、海軍建設その他に關し注意を望まれてゐる。

▲昭和十四年度の市の當初豫算は一般會計歳入出總額二百八十八萬三千三百七十七圓(經常部百八十二萬五千二百四十四圓、臨時部百五萬七千九百三十三圓)特別會計は水道費七十三萬三千四百圓、市立病院費四十四萬五千二百二十九圓、および昭和九年の大火復興豫算七十一萬一千九百圓、公益質屋八千六百六十九圓が主なるもの、元イギリス國領事館を二萬五千圓で買収し觀光ホテル經營計畫や海洋氣象台建設も實現の域に近づいてゐる。海外貿易は十三年度輸出總額三千六百七十七萬三千六百七十四圓、輸入四百七十七萬七千七百二十圓、計四千四百四十八萬一千三百九十四圓で支那事變の影響を受け支那大陸より滿鮮方面に新販路を開拓してゐる。



佐保世

▲明治二十三年四月二十六日明治天皇の御臨幸を仰ぎ、佐保鎮守府開闢して五十年、聖戰下海軍軍港として開闢五十周年記念日を迎へた佐保軍港では、長くも久彌宮朝融王殿下を迎へ奉つて軍民一

致多彩な記念行事で賑ひ、矢岳練兵場で開いた商工會議所主催開闢記念支那事變博覧は三十日間に六十萬二千の入場者を集めた。▲鎮守府設置のころ一千戸、四千人に過ぎなかつた佐保村は五十年にして現住人口二十一萬突破、まさに五十倍以上の發展である。▲市長相賀照郷氏は十三年十一月六日任期満了したが、翌七日の市會で四十票中三十六票の多數で再選、佐保市政に三選市長の記録をつつた。

▲昭和十年七月起工以來四百二十五萬圓を投じた市上水道管線新設水源池は五月下旬竣工貯水量百四十萬トン、名物の上水道創設は完全解消だと當局が言明したら皮肉に六月十五日から一足とびに隔日三時間給水の激しい水飢饉で、市民は悲鳴をあげ水道當局は近所隣りの灌漑用溜池の水買ひに汗をかいた。

▲軍港の一隅に閑借生活の佐保商港はいつ立退きを食はされるかも知れぬ時局の雲行なので、十三年春市に合併した相浦港を大商港に改修する計畫で縣が六ヶ年總額百四十萬圓の第一期改修計畫を樹て、さらに港灣協會では一十萬圓の大商港計畫を設計提示した。協會案では第一期改修も四百三十萬圓となつてゐる。パツクに豊富な北松炭田を控へ、新しい工業地帯として軍港都市から産業都市としての更生が期待されてゐる。

歴代市長

Table with 3 columns: 退職年月, 就任年月, 氏名. Lists mayors from 1871 to 1924.



賀須横

▲海軍の諸設備によつて今日の繁榮を招いた横須賀市は南北一、四〇〇尺、東西一〇、



札幌

▲札幌市は幕政時代末開の地であつたが明治二年開拓使が置かれ拓務總覽の府となり、十一年市制施行、翌十二年都計法適用、さ正十一年市制施行、翌十二年都計法適用、さらに昭和九年札幌村一部を併合、將來人口四十萬を目標に都計を進めてゐる。市の面積二十九萬九千七百七十四、周囲三、一八二・五、昭和十三年十月一日現在の世帯數四一、七九〇、人口二〇一、五六一人、十二年度總生産額四三、〇三八、一、二六圓、そのうち工業品は四一、七三四、二〇四圓を占め、市はまた農勝地として年約六十萬の觀光客を迎へてゐる。▲十四年度豫算は一般會計歳入二、九五〇、四七八圓、歳出經常部一、七二〇、五二三圓同臨時部一、二二九、九六五圓、特別會計二六四一、二六二圓。▲市營事業は上水道、電車、乗合自動車、病院、公益質屋、結核療養所、花柳病診療院、小賣市場、産業指導所、機械工講習所等。

一七五尺、周囲六九、二〇〇尺、面積四二平方尺、慶應元年幕府の小栗上野介がフランクス人ヴェルニー氏を聘し造船所を建設したのが大横須賀軍港出現の動機となつた。明治四十年二月十五日市制を施行し、以後海面の埋立を行ひ市街の擴大發展をみたが、關東大震災で全市の大半壊滅官民あけて復興に努め、昭和七年五月二十七日盛大な復興祭を舉行したが復興のための市債八百餘萬圓、その他を合せ現在千二百餘萬圓の借金が市財政を苦しめ當局悩みの種となつてゐる。

▲昭和十二年四月一日ペルリ上陸で有名な久里濱村を合併したが、北方地帯行詰りの横須賀市ではこの久里濱を中心とする地域、即ち南方開發をもつて大軍都の完成を期し得るとなし、目下湘南電車の久里濱延長およびこれに伴ふ工場誘致、住宅街建設事業が着々進捗市民も多大の期待を寄せてゐる。

▲十四年度豫算は一般會計百七十七萬三千七百十五圓、特別會計の主なるものは水道、病院質屋、震災救濟事業などで合計百七十九萬三千三百圓、水道および病院は十一年度から赤字だが貧窮財政のためこれといふ事業は見當らない。銃後施設の一として市社會事業協會の手になる母子寮が十四年六月に開所した。▲特異な施設として三等保存會により、白濱

歴代市長

Table with 3 columns: 在職期間, 就任年月日, 氏名. Lists mayors from 1871 to 1924.

就任年月日

在職期間

○前田宇治郎 大正十一年 八月 一日 四ヶ月
 ○馬場 義也 同 十二月 三日 三ヶ月
 高岡 直吉 同 十二年 二月 十二日 十ヶ月
 橋本 正治 昭和二年 十二月 十九日 九年 六月 十ヶ月
 ○伊澤 廣實 同 十二年 五月 十七日 二ヶ月
 三澤 寛一 同 七月 十七日 現在

▲(主なる出来事) 十三年七月市職組の國警移管、中等野球に北海中四年連覇、市で開催の冬季オリンピック中止となる▽八月開道七十周年記念盛大に行はる、空前の全道防空演習行はる▽九月ヒットラー・ユーゲント來札産業指導所開設、閑院宮載仁親王殿下の御允許を得て碑面題字御下賜の光榮を荷ひ、行幸記念聖恩碑の建設に着手、融雪を待つて竣工式舉行さる▽十月市議選舉舉行はれ、市參事會員その他の委員更迭す▽四月非常時生産擴充の一翼として機械工訓育所開設さる、東京一札幌間定期航空路復活す▽五月札幌地區防空演習實施▽六月エルクの學園北大の父佐藤昌介男爵去にあたり、畏き邊りでは御市問のため勅使御差遣あらせらる、豫算百萬圓のガラス官殿竣工し札幌通信局移轉式を行ふ、第七回全國都市市立傳染病院長會議を市役所にて開催す、北大附屬醫學部開設、海軍豫備航空團札幌支部は札幌飛行場内に開設さる▽明治、大正、今上三陛下の行幸記念として聖恩

を續仰し奉るため、札幌市豊平館二階の壁間に掲げる聖德繼仰壽六幅のうち四幅は六月迄に完成された。



熊本

▲面積三万六千六百八十八、納稅義務者數三萬六千餘戸。
 ▲支那事務第三年を迎へ十四年度豫算編成の方針は國策線に沿ひ、緊急差遣き難きもの、外は計上を見合せ時局關係たる兵事課諸費および物資統制強化に伴ふ失業、轉職などに關する産業對策費、授産事業費などはそれ計上、その他經費緊縮を旨とし膨脹を抑制、新規事業としては國家の基礎たる教育施設、市民の體位向上、保健衛生、産業施設など若干の計畫を樹て市の振興發展、市民の福利増進を期した。一般經濟二百六十六萬五千三百四圓、特別經濟は水道三十八萬九千八百六圓、公益質舖七千七百九十八圓、公會堂九萬五千五百七十一圓、電氣軌道八十一萬五千七百三十六圓、乗合自動車十七萬八千九百五十九圓、動物園五萬五千五百七十圓、部落有財產二千五百七十六圓、一般經濟、特別經濟總額三百七十一萬三千圓。

▲(主なる出来事) 十三年八月十三日熊本市停

年制實施さる▽十月二十八日武漢三領占領說實施行列ならびに提燈行列行はれ全市萬歳の聲滿つ▽十月二十九日ヒットラー・ユーゲント來熊▽十一月十日國民精神作興詔書頒發十五周年記念日を迎へ記念式、記念講演會を開催▽十四年二月十一日建國祭、市吏員一同熊本城午砲台に參列觀禮に舉行▽四月一日市產業課上海駐在員設置、初代駐在員高山氏と決定▽五月四、五、六の三日間にわたり全國市長會議開催、彈力性ある地方財源を要望す▽五月六、七日熊本招魂祭事變下莊嚴盛大に執行▽六月二十四日日本郵船妙見丸三角港に寄港、市物産の大陸進出に拍車をかける。

▲産業發展の特筆すべきものは市物産の大陸進出の急速な進展である。輸出品の内容は木材竹工業、農器具、食料品などで年額約二十萬圓に達する。その他商工業者の大進出もまた目覚しく滿洲は勿論中支那、南支那の廣範圍におよんでゐる。

▲特異なる事項として市會議員十五名を五月十六日より約三週間、中支支の大陸視察に派遣皇軍慰問、産業視察を行はしめた。

歴代市長

就任年月	退職年月
杉村 大八	明治三、五
松崎 爲巳	明治六、七

幸島 格	大正一	大正一
山田 珠一	大正一	大正一
依田 昌介	大正一	大正一
佐柳 藤太	大正一	大正一
高橋 守雄	大正一	大正一
辛島 知巳	昭和四	昭和四
山田 珠一	昭和五	昭和五
山根 康	昭和五	昭和五
山根 康	昭和五	昭和五



和歌山

▲和歌山市は古へ若山と稱し紀ノ川のデルタに位する寒村にすぎなかつた。天正十二年豊臣秀吉この地に築城、

桑山、淺野兩氏を経て元和五年南龍公徳川頼宣の入國以來五十五萬五千石紀伊徳川家のお膝下としてすこぶる榮え弘化三年の市中人口は二萬五千を算へた。明治二十二年市制を實施以來五十年間商工業に、觀光に、市勢大いに振ひ戸數四萬二千二百人口十九萬八百人に達した。

▲大正十二年海草郡湊村の一部、昭和二年同郡雜賀、宮兩村、同八年和歌浦町、雜賀崎、鳴神、四ヶ郷、宮前、岡町、中ノ島の七ヶ町村を合併し、南北九、三五、東西七、七六、面積三二平方、六〇五。

▲十四年度豫算は戦時下の節減方針により前年度より五分四厘強を減じ、歳入二、一一一三六七圓、歳出經常部一、一四〇、〇五〇圓同臨時部九七一、三一七圓、特別會計水道費三八七、一三九圓、市民病院費一五九、六九一圓、社會事業費二〇〇、五三一圓などで失業救済應急事業費、時局經濟振興費、臨時事業費などのほかめぼしい新規事業費はない

歴代市長

就任年月	在職期間
長尾喜彌太	明治二二、五
加藤 果	同 三〇、九
渡邊行太郎	同 四、六
有川 定一	同 一〇、七
田口 易之	同 一一、五

▲明治初年藩兵被服用としていはゆる紀州ネルが発明されて以來一大機業地として發展を重ね、交通機關整備により産業都大阪の近郊都市化するに至り近年の躍進ぶりは見るべきものがある。生産總額一億五千二百七十七萬五千二百圓に達し、うち工業だけで一億四千八百七十萬圓にのぼる。工業中綿ネル、綿布染色、莫大小などの織維工業が一億六百七十一萬圓にのぼり、平和産業を中心とするだけに

戦時統制による打撃は織維工業方面において特に深刻なものがあつたが、組合合併による生産機構の強化、輸出の促進、スフ生産への轉換、軍需受注によつて危機を解消した。近年化學、皮革工業の勃興著しく機械工業も漸次盛んとなり將來さらに重工業をめざし工業立市の市是のもとに興亞の繁榮を謳はんとしてゐる。昭和七年以來工事中の築港も近き將來完成のほすで大阪に至る貿易道路國道十六號線の完通と海南市はじめ紀三井寺、湊、野崎三田各隣接町村の合併實現によつて一段の躍進が期待される。

▲(主なる出来事) 十三年八月土木課を擴充土木部を新設▽十月一日和歌山電話局の加入者五千を突破し全國第十二番目の料金度數制實施▽同月二十三日廣東政略祝賀大行進、同二十八日武漢陷落記念大提灯行列で市中沸く▽十一月六日和歌山中學で第一回市民體操大會開かる▽同月十五日から十日間の警文拂に際し、縣では消費節約のため警文拂の名稱廢止を命じ、商店街では窮餘謝恩籌の珍名稱を案出自肅特賣を行ふ▽十四年一月築港完成促進のため築港促進聯盟成る▽二月十日市會開會、議長交替問題で審議齟齬す▽三月十六日物價騰貴抑制のため商店街の自肅休業▽五月一日都計路線舊縣線前線着工▽同月二十日

より市内タクシーの深夜營業廢止▽六月縣立第二工業設置。



金澤

▲北陸文化の源泉として加賀百萬石の傳統に輝く金澤市は明治二十二年四月市制實施以來滿五十年その間一張一弛の變遷こそあれ市勢は極めて順調に躍進し人口實に十九萬七百三十七人、面積二千七百四十四萬三千坪に達し日本第一の大都會に飛躍した。市内には第九師團、第六旅團、醫大、四高、高工、警專、海軍人事部、專賣局、貯金支局、日銀支店、運輸、保線兩事務所などをはじめ諸官公衛、學校櫛比し北陸文化の要衝をなし、さらに北陸第一の水陸兼用の金澤飛行場は十三年十月竣工國營に移管され、十四年七月十五日から定期航空路に颯爽と登場、本年度から着工される航空無線局の完成とともに國際空港として平戰兩時を通じての超飛躍を約束されてゐる將來こそ刮目して期待される。一方懸案の金澤築港計畫は縣營大野川改修工事の進捗と共に逐年具體化し、しかも十四年四月には金石、野々市の二ヶ町、大野、押野、川北、二塚、戸板の一部の五ヶ村が都市計畫區域に編入され市域編

入實現に一步を進め、人口二十萬突破、廣袤三千五百九十五萬餘坪に及ぶ大金澤建設の素地は全くなり、古都の面目一新は近き將來に約束されてゐる。

▲十四年度豫算は政府の方針に策應して時局關係以外の諸般の施設については努めて緊縮大削減を加へ、その結果一般會計二百五十二萬九千餘圓、特別會計(電氣、ガス、水道事業など)四百九十九萬五千餘圓、兩會計通じて七百六十二萬四千餘圓で前年度より七十二萬餘圓の激減となつてゐる。電氣、ガス、水道事業は頗る好調で赤字をあげ、十四年度の一般會計には二十三萬五千圓を繰り入れ市財政のドル箱的存在となつてゐる。

▲市政は十三年七月久保助役任期満了で勇退その後尾戸電氣局長が就任した。

▲産業方面にあつては古來美術工藝に秀で、就中金箔、陶磁器、織物などの平和産業がその根幹をなしてゐるだけに事變による物資の統制及使用制限禁止などのためその生命線は極度に脅かされるに至り、これが對策としてはその程度に應じ保護助成、轉業の斡旋、輸出振興などに乗り出し、十四年度には新たに大阪、大連に市産品旋陳列所を開設、勳章等の受注斡旋などによる救済を講ずる反面、産業轉換策として軍需工場誘致につとめ、

日本電氣冶金工場、津田米工場の擴充、十三ドリル金澤工場の新設など著々その成果を収めつつある。

▲銃後援護事業方面では十二年九月軍事援護相談所を開設、さらに從來の軍人慰問會を銃後奉公會に改稱、その内容を擴充し、活動を強化するなど出征軍人遺家族の慰問援護に完璧を期してゐるほかさらに十四年度には全國にその比を見ない賑ひ者およびその遺家族に對する戸數割補給金の交付を實施するなどその華々しい活躍は特筆するに値する。

歴代市長

Table with columns: 就任年月, 退任年月, 市長名. Includes names like 稻垣 義六, 長谷川 準也, 奥村 榮滋, etc.



島兒鹿

▲鹿兒島市は九州南端の鹿郡島津氏八百年の舊城下で惟新の史蹟に富み明媚な櫻島錦江灣を擁して史と景の名を

育うてゐるが、農業中心であつて燒酎、大島紬など傳統的名産の外には未だ近代工業の著しい發達を見ない。▲古い城下町より近代都市への轉換は新しく市の二大政策となつて現れ(一)觀光政策(二)鹿兒島港擴張運動がそれである。前者は油蔵のやうな天産豊かな南國風景の宣傳紹介、史蹟顯彰、歴史記念館建設による觀光客誘致であり、常春の國鹿兒島を憧れる來訪者は、數年に著しく増加した。後者は商業都市としての發展のために、狹隘僻嶺山積の鹿兒島港を現在の三千ト級から一萬ト級船舶を繋留し得る程度にまで擴張せんとする運動で縣市物産の大陸進出とともに拍車を掛けられすでに擴張期同盟會を結成、長崎港の姉妹港を自さし猛運動を開始し港灣協會に委嘱し設計に着手した。また廣袤七〇六・〇七平方、さらに東西櫻島合併論も起つてゐる。

▲十四年度豫算は一般會計二百五十萬圓、特別會計(主として電氣軌道費)百十萬五千圓市債九百萬圓で世帯は相當苦しい。

▲(主たる出來事)十三年八月鴨池郡之線觀光道路完成、延長一、七三六、工費十二萬六千五百圓▽午後十二時以後の客はお断り盛り場の自肅▽十月ユージェント來慶、照國神社で交驛式▽十一月船腹不足をよそに縣物産の物腰い大陸進軍、鹿兒島港輸出港と化す▽林美美

子女史來慶、朝日新聞社主催で漢口攻略戰報告講演會を催す▽鹿兒島港擴張期同盟會本格的に活動開始▽市立工藝研究所移轉擴張▽四月市選出縣議補缺選舉、上林山榮吉氏當選▽戸子田天保山校長朝日新聞社大陸派遣教員團に縣代表として参加▽觀光客増加▽五月大江戸の恩人南洲翁墓前東京市の手で執行▽六月鴨池綜合大運動場計畫完成。

歴代市長

Table with columns: 就任年月, 退任年月, 市長名. Includes names like 上村 行藏, 上村 慶吉, 有川 貞吉, etc.



山岡

明治二十二年市制實施近年隣接村を編入し三縣、櫻島、大野、今、芳田、富山、沖田、白石、牧石の九ヶ村から

市會へ編入陳情書が提出されてゐる。

▲都市計畫第一期事業は豫定より四年遅れ十三年九月完成す。市内には各種地方行政機關あり、交通網は明治二十四年山陽鐵道、同三十一年中國鐵道、同四十四年宇野線、昭和三年伯備線、同七年因美線など全通し、山陰山陽、四國聯絡の中心點となる。岡山放送局(JOKK)は昭和六年二月開設、昭和九年の大風水害で被害甚大の後築園は十一年春復舊なる。

▲市の廣袤は東西一里二十八町五十二間、南北二里二十一町四十三間、面積三方里〇八、人口十七萬四千九十六人。

諸税負擔(岡山市政)

Table with columns: 種別, 調査額. Lists taxes like 直接國稅, 縣稅, 市稅(特別稅とも), 都市計畫稅.

▲歴代市長

就任年月日	退職年月日
花房 端遠 明治三、九、七	明治三、〇、三〇
新庄 厚信 同 三、〇、三〇	同 三、〇、三〇
小田 安正(二選) 同 三、四、三〇	同 三、四、三〇
岡田 馨(三選) 同 三、七、三〇	同 三、七、三〇
中山 寛 大正三、九、三〇	同 三、九、三〇
窪谷逸次郎(二選) 同 三、九、三〇	同 三、九、三〇
守屋松之助(二選) 昭和四、三、三〇	同 八、六、二
石原市三郎 同 九、三、三〇	同 三、三、三〇
時實 秋雄 同 三、三、三〇	現在

▲(主なる出来事) 十三年七月一日岡山市職
 船國管移管となる。三月三日から三日間中部防衛
 司令部管下の第二次防空訓練実施。八月九
 日在職一年七ヶ月で小西助役圓滿退職。十五
 日猪俣喜勝氏助役に就任。九月一日から五日
 間中部防衛司令部管下の第三次防空訓練。十
 月二十二日廣東陥落祝賀式舉行。二十八日武
 漢三領陥落祝賀式舉行。十四年一月二十九日
 總工費三萬三千圓を投じ昭徳會岡山支部會館
 竣工。盛大な落成式を舉行。二月十六日市議
 商議。市選出縣議を打つて一丸とした高工新
 設期成同盟會生る。五月十、十一兩日全國區
 畫整理事業者大會を市公會堂で舉行、全國か
 ら千五百餘名參集し盛會。十四日奥市公園で
 市警防團結成式舉行、全市より團員二千名參
 加。十七日から三日間第三次防空訓練。

※ 堺

▲堺市の歴史は遠く上
 代に及び神武天皇御上
 陸の茅渚の海邊に臨み
 神功皇后御征韓には數
 數の傳説が遺されてゐ

る。南蠻、唐土の果までも日本の代表的都市
 として知られてゐた輝かしい堺の全盛は室町
 末期から江戸初期にわたるおよそ一百年間だ
 った。足利幕府は遣明使をこの港から出して
 初めて海外通商の途を拓き、堺の商權は支那
 南部から安南、シヤム(タイ國)フィリッピン
 にまで及び、堺港内外は御朱印船や南蠻船が
 輻湊して西歐、東亞の珍貨奇物が續々舶來
 し、國際的商港としてすばらしく異彩を放つ
 た。従つて市街は股販を極め日本産業經濟の
 中心としての堺の勢力は斷然戰國諸侯を抑
 へ、大名武家も堺の街には一指も觸れること
 が出來ず、常に諸國から辭を低くして軍資の
 融通を乞ふ有様であつた。自然戰禍を避けた
 各地の富豪、商人、學者、藝術家らも集り
 住んで、堺のみはひとり戰國の外にある自由
 の樂天地として繁榮し連歌、茶道、音曲、印
 刷、機械など藝術の華絢爛と咲き競ひ、耶穌
 教もこゝから擴がり鐵砲も堺から傳播した。
 天正年間には秀吉が石田三成を堺奉行として支
 配させ、徳川幕府もまたこゝを直轄地として

奉行を置き幕末に至つた。明治維新後堺縣
 廳を置いたが明治十四年四月これを廢して大
 阪府に屬し同二十二年四月市制を實施して今
 日に及び、産業立市を自指し産業貿易の金字
 塔建設へ精進してゐる。

▲現堺港は寛政から文化年間に構築されたも
 のであるが、堺市飛躍の當然の道程として大
 港灣修築事業が起され、五百萬圓の巨費を投
 じて昭和十年十月から五ヶ年繼續事業として
 起工、大堺港建設の雄叫びがいま逞ましく沖
 の汐風に挑んでゐる。やがて生れ出る新港の
 面積は七十二萬五千坪、一萬噸級の巨船十數
 隻が悠々と港内岸壁に横着けされ、なほ同數
 の巨船が港内で碇泊出來るといふ豪華なプラ
 ンで、さらに港をめぐつて新に出現する陸地
 は四十七萬坪、舊三寶地帯の埋立地と合して
 百萬坪に餘る大工業ゾーンが堂々登場し、こ
 の附近一帯にロフトビルの理想的な工場、倉
 庫が建ち並び、この間を縦横に通ずる大舗裝
 道路、省線臨港鐵路の敷設など、さらに工業
 指導機關として大阪府工業獎勵館分館も設け
 られることとなり、産業立市の市是遂行に力
 強い拍車をかけるものである。

▲昭和十三年二月に隣接神石村を、さらに同
 年九月一日には南河内郡金岡村、泉北郡五ヶ
 莊、百舌鳥の三ヶ村を市域に編入し、現市域

は舊市域の約三倍となり市勢躍進をつづけて
 る。十四年度當初豫算は百七十三萬八千
 圓、特別會計は水道部四十三萬九千圓、市民
 病院二十二萬六千圓、公益買屋一萬六千圓、
 都計費十三萬圓、土地區畫費十四萬七千圓で
 市有基本財産八萬圓、市債八百萬圓、赤字財
 政建直の一策として市營屠場、水族館の經
 理のほか特別所得課の研究を進めてゐる。
 ▲工業生産が頗る旺盛で年産額一億七千萬圓
 に達し大小工場、作業場の數二千八百を越
 え、職工數三萬といはれる。綿糸、足袋、自
 轉車部分品、セルロイド、亞鉛化リトホン、
 刃物、スコップ、シヤベル、線香、ガラス製
 品など世界各國にわたつて販路を有して
 る。特に足袋、自轉車、線香の三者は國內
 生産界の王座を占む。

▲歴代市長

就任年月	退職年月
一 藤作兵衛 明治二二、六	明治二六、八
北田三郎 二六、一〇	二九、二
大西五郎 二九、二	三三、一〇
宮本 通義 三三、三	四三、二
齊藤 研一 四三、二	大正 元、二
熊野秀之輔 大正 二、一	六、一
齊藤 研一 大正 六、六	一五、一
森本 仁平 一五、一	昭和 八、一
河盛安之介 昭和 八、四	一三、四
河盛安之介(再) 一三、四	現在



松 濱

▲かつての濱松は東
 海道五十三次の一宿
 場、永正年間三善爲
 連城を築いて曳馬城
 と名づけ、永祿十二

年徳川家康岡崎より移つて濱松城と改む。弘
 化三年井上河内守が入城して殖産を奨勵し商
 工業旺んとなる。
 ▲面積は東西七、四一八、南北一三、二〇二で四
 七平方キ、東は天龍川、西は濱名湖、南は
 遠州灘、北は古戰場三方原に至り人口十七萬
 六千餘、巨數三萬一千八百餘(十四年七月一
 日舊白鷺、蒲兩村合併で増加)。
 ▲十四年度豫算額は一般會計百六十五萬七千
 三百九圓、經常部百九萬一千九百九圓、臨時
 部五十六萬六千九百九圓、一月平均戸數割は
 九圓二十四錢四厘六毛。
 ▲都市計畫事業——昭和二年より十九ヶ年繼
 續事業の停車場線、旭町上島線(十二間幅)ほ
 かに十一路線延長一四・六キ餘(工費八百五
 萬餘圓)の道路擴張工事は進行中で、十三年
 迄の完成部分は延長六・六一キ(五百十八萬
 五千圓)而して十四年度中完成線は傳馬
 町掛線の一部その他三路線延長一・五八キ
 (工費六十七萬三千餘圓)である。
 ▲工業概況——十三年末現在工場數は二千九
 百五十一、従業員一萬三千八百餘、女一萬

一千六百餘、計二萬五千四百餘名、十三年度生
 産總額は一億二千九萬餘圓で内譯は主要工
 業たる織物六千八百三十八萬餘圓、綿糸六百
 九十五萬餘圓、捺染織物六百六十萬餘圓、機械
 類一千三百四十七萬餘圓、製鐵類二百七十九
 萬餘圓。
 ▲(主なる出来事) 十三年七月上旬連日の豪
 雨により各河川氾濫し、五日には市外天龍
 川西岸一部大決潰し軍隊出動、軍民協力二
 日間の努力により防衛成る。右は不正工事に
 基因すること判明、築堤疑獄の進展となり内
 務技手等處断さる。七月十三日市内諏訪神社
 社殿國寶建造物に指定(徳川二代秀忠將軍の
 遺營にかゝる社)▼七月下旬禁掃事件第一
 次檢舉、被檢舉者中八十餘名の綿糸布プロ
 カ、工場經營者等起訴さる。▼七月二十一日
 市營運動場起工式舉行、坪數三萬、將來十五
 萬坪に擴大の豫定▼八月三日又復市内浸水家
 屋千八百七十四戸にのほり交通異常繰返さ
 る▼九月三日市會議員選舉、新分野は自治會
 九、政友クラブ九、清交會七、民政會二、社
 大、中立八となり同十六日政友クラブ内藤
 惣一氏議長に當選▼十二月二十二日國寶五社
 神社社殿修理(昭和十年七月着手)成り遷座
 祭執行▼十四年二月三日市長選舉、横光吉規
 氏再選▼三月下旬禁掃第二次檢舉始まりその
 暴風は日を送りて激化、六月末までに被檢舉
 者三百五十餘名に達し、有力組合首腦者、大



色彩鮮明にして最も耐久力がある

印プット カーボンペーパー

事務用に、筆記用に、最上の

トモモ工鉛筆

目丁三町寺寶久南區東市阪大
店商藏勇松黒 株式會社

工場主、検査員等次から次へ強制收容を見、關網系の動き二萬噸、關網糸桁取引額二千萬圓といはれるほどの大規模にして強質なる國策違反に遠州絹業界は一大汚點を印せらる。五月二十九日濱松共同乾欄所における白蠶初取引の結果は國用糸方面の熾發的買進みにより平均十一圓六錢、掛目七七の高値取引を現出したが「法外な割高値」が第二日に響き、ぐつと低調を示して七一・二掛に反落す。

▲歴代市長

職名	就任年月日	在職期間
（舊見）信平	明治四四・七・一	五ヶ月
（事務取扱）		
小西 四郎	同 四四・一・二・一九	四ヶ年
竹山平八郎	大正 五・三・二四	四ヶ年
渡邊 泰夫	同 九・七・二四	八ヶ年
中村 健平	昭和 三・一・四	四ヶ年
高柳覺太郎	同 八・三・一七	一年八ヶ月
横光 吉規	同 一〇・二・八	現在



下 關

▲地名下關は防長二州内に存する上之關、中之關との對稱であるが往古の赤間津に起り赤間關、赤馬關、馬關或は單に關と呼ばれて、その地理的天恵は上古以來交通運輸、經濟的には對内的にもまた對大陸的にも國運の發展と終始してゐる。殊に

徳川幕政期の産業隆興時より一層の殷賑を極め、いはゆる出船千艘入船千艘盛觀は山陽の小浪華と稱せられ、中國西海の航運界に雄飛したものである。

▲維新後航運界の革新となつては大船巨舶の寄泊にはや、危ぶまれる港灣であつたが、國際鐵道列車聯絡港として依然我が國第一位の旅客港たるに變りはなく、それに大正十年以來市街地一帯の沿岸を整理修築して内國貿易に備へ、また國民日常の營養食糧として鮮魚の集散また海内第一位で、下關大漁港工事もすでに外港の防波堤工事を竣して岸壁は竣工し陸土魚舎の建造中で、これと相援して下關大商港も政府直轄事業として着手せられ、更に本土、九州を繋ぐ國鐵海底トンネルと二號國道海底トンネルも着々起工せられ共にその試掘導坑は貫通して兩地間を陸續せしめ、今や本格的工事の日と共に掘進せられつゝある。かくて海陸の完全連絡の外にさらに又航空聯絡にも幕進し、下關飛行場も十四年度中には完成するので市勢の躍進は一層の期待をかけられてゐる。殊に事業直下の十三年度外國貿易で内地十二主要貿易港中前年に比し輸出と共に増加し、且つ輸出超過の國策線上に雄飛しその増加率四十一割餘といふ第一位の成績をあげ將來を嚆望せられてゐる。

▲市勢の發展に伴つて共同利害關係をもつ隣接區域とは漸次合併し來つたが、昭和十四年五月には一舉に五ヶ町村を合併して東西一八・三、南北二・二四、面積一五四方キ一四の臨港大都市となつた。

▲歴代市長

職名	就任年月	退職年月
伊藤房次郎	明治二二・五	明治二四・八
石川 良平	同 二四・九	同 二五・八
内田 一心	同 二五・八	同 二九・二
高洲 素介	同 二九・二	同 三二・三
原 勝一	同 三二・四	同 三八・四
同上	同 三八・五	同 三九・八
白上 俊一	同 三九・一〇	同 四三・五
小林 重威	同 四三・一〇	大正 二・二一
青木 長雄	大正 三・七	同 六・五
不破 彦彦	同 六・一〇	同 八・九
李家 隆介	同 八・一〇	同 一〇・二
山崎林太郎	同 一一・八	同 一四・四
同上	同 一四・七	昭和 二・一
浮田茂太郎	昭和 二・一	同 六・一
松井 信助	同 六・一	同 一〇・一
同上	同 一〇・一	同 一四・一
同上	同 一四・一	現在

▲昭和十四年度市豫算は一般會計三、六七〇、七〇九圓、特別會計四、九三一、七九一圓、合計八、六〇二、五〇〇圓。



朝鮮 土地人口、財政は各本國に、重要職員名は「人名録」中にあり、南洋群島、朝鮮、台湾、樺太、関東州、南洋群島

植民地大観

明治二十八年四月台湾が我が領有に歸するや、同年六月内閣總理大臣の下に台湾事務局を置いた。ついで明治二十九年拓殖務省が設置されたが三十年九月廢止、四十三年六月拓殖局を置き大正二年廢止、同六年再置、その後曲折があつたが昭和四年六月十日拓務省を設置、植民地行政を統轄して今日に至る。

朝鮮は元の韓国で、明治三十八年十一月十七日韓新協約によつて保護政治となり、四十三年八月二十九日併合と同時に朝鮮と改稱された。面積は本州より稍小さく、北部は大陸性氣候で寒暖の差が相當多いが、南部は殆んど内地と同様である。雨量は概ね八〇乃至一、〇〇〇以内の半ば以下である。降雪は北部國境地方においては十月下旬から四月末に及ぶが雪積量は極めて少く北部山地で一、二尺、中部以南の平原では五寸を超すこと稀なくらゐるである。

台湾は明治二十八年四月日清講和條約によつて我が領有に歸し、その大きさは九州、樺太と相似てゐる。總面積の約三分の二は山嶽地帯で三千呎以上の高峰が六十二座ある。北回歸線が中央部を横斷し、亞熱帯に屬し、冬でも高山のほかは降雪を見ず結構も稀れで、氣候が氷點以下に降つたことは領台後僅かに二回に過ぎない。従つて四季珍草奇樹繁茂し特有の美觀を呈する。

樺太は明治元年八月判事岡本監輔が駐在し、後樺太開拓使を置いたが、明治八年五月千島列島と交換してロシアの有となり、日露役の講和條約によつて五十度以南が再び帝國の領土となつた。台湾よりや、

大きく、地盤及び地質により東部山嶽地帯、西部山嶽地帯、中央低地帯の三つに分れ、暖流に洗はれる南西沿岸地方は比較的溫暖で、寒流を受ける北東海岸は寒氣が強い。年平均氣温は本島の四度五分から數香の零度一分の間にある。

南洋群島は歐洲大戰に當り我が海軍が占領し、對獨平和條約の結果大正九年我國の委任統治地域となり、同十一年四月南洋廳を置く。マニラ、マリアナ、カロリン三群島、六百二十三の島嶼からなり、總面積は東京府とほぼ同じである。全群島は熱帶圈内にあるが、最高温度も三十六度を超えず温帯の如く四季の別がない、いはゆる「常夏の國」で驟雨多く純然たる海洋氣候である。

關東州は明治二十八年九月日露講和條約により租借權を繼承し、大正四年日支條約により租借期限を九十九年に延長した遼東半島の地で東は黃海に西は渤海に臨みその面積二百二十四方里四九である。丘陵起伏して平地乏しく河川も小さく水利の便も少いが、海岸線は出入が多く大連、旅順の如き良港がある。昭和十二年十二月一日滿鐵附屬地の行政權を滿洲國に移讓して以來、日本の行政權を支配する區域は關東州のみとなつた。

口 人 と 積 面	昭和十年國勢調査	
	世帯	人口
朝鮮	三、〇七五、三〇三	三、〇七五、三〇三
台湾	一、〇六六、〇〇〇	一、〇六六、〇〇〇
樺太	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
關東州	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
南洋	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
合計	六、一四一、三〇三	六、一四一、三〇三

朝鮮

一年史 (昭和十三年七月)

(一) 施政——十三年七月二十七日半島教育刷新の徹底を期するため勅令をもつて教學官制度創設さる。八月三十一日から三日間兵站基地朝鮮強化に備へ、全鮮産業部門の再検討をなすべく各道産業部創設最初の部長會議開催。九月六日から四日間南總督の最高政策の具體的検討決定をなすべき總督府時局對策調査會が開催され、内鮮滿の權威百名の委員額を揃へ盛觀。九月八日學校卒業生使用制限令施行細則公布さる。九月十四日から全鮮一齊に思想戰強調週間に入る。十月一日を期し平潭、利川、庫底、三陟、論山、長項、河東、固城、長承浦、安岳、長淵、蘆津の十二區誕生す。十二月末半島人の内地渡航に關する取締手續を改善、全面的に簡易化し内鮮一體の實を擧ぐ。一月上旬昭和十四年度朝鮮特別會計豫算六億四千二百九十八萬圓と決定、空前の大豫算で羅津廳、企畫部の新設などが目立つ。一月上旬朝鮮志願兵訓練所生徒定員を六百名に増員、前期、後期の二期生に分けて三百人宛收容訓練すること、なる。五月二十一日

日全鮮府邑會議員の總選舉一齊に行はる。南總督は内鮮一體の強化をはかるため、五月二十九日から三日間各道知事、中樞院、精勵朝鮮聯盟幹部、言論代表らの會同を求め總親和、總努力の必要を力説した。

(二) 産業、交通、經濟——十三年七月上旬十二年度朝鮮米生産額發表表、二千六百七十九萬六千九百五十七石、價額七億七千七百二萬七千四百九十二圓といふ空前の記録を示す。七月二十一日物價騰貴抑制策として改正暴利取締令を實施。八月十日總督府物價委員會規定公布さる。八月二十四日重要物資使用制限令公布され給、亞鉛、錫、皮革などの使用制限強化さる。十月一日鮮滿支大陸を結ぶ釜山、北京間の直通列車初運轉、歴史的スタートを切る。十月中旬、十二年度水産物製造總額發表、九千三百四十四萬七千圓で前年より一千四百七萬圓一割七分の増加を示し施政以來の最高記録をあぐ。十月二十二日から二日間朝鮮穀物協會改組後第一回の米穀大會を木浦で開催。十一月三日朝鮮經濟警察官制度新設。十一月十日全鮮にゴム使用制限令實施。十一月下旬、十二年度農産物生産額發表表、總額十五億六千四百八十八萬圓に達し前年に比し三割の飛騰的增加を示す。十四年一月九日朝鮮米輸出禁止令實施、滿支方面で大衝動を與へ間もなく緩和さる。三月上旬全國經濟調查機關聯

合會朝鮮支部より半島最初の朝鮮經濟年鑑出版さる。

(三) 社會——十二年七月一日精勵朝鮮聯盟創立總會開催、同七日京城運動場で發會式を舉行、参加者五萬人に上る。八千名の全鮮思想轉向者を行つて一丸とする愛國運動團體結成、七月二十四日京城府民館で發會式舉行。八月中旬北鮮一帯に豪雨襲來、咸南北兩道の水禍甚大。八月二十六日全鮮各道體育協會はじめ陸上、水上、蹴球その他全鮮體育諸團體十九全部を朝鮮體育協會の傘下に糾合し、陣容強化をはかる。九月二十四日全鮮中堅青年四千團體、十五萬團員を打つて一丸とする朝鮮聯合青年團の發團式舉行さる。十月六日京城府民館で二十五年振りに李王職雅樂公開さる。十月十日から三日間第六回都市問題會議京城で開催、外地で最初の會同である。十月二十四日から三日間全鮮沿岸で半島最初の海洋空演習實施。川島義之次大將精勵朝鮮聯盟總裁に就任、十二月六日推戴式舉行す。十二月十日朝鮮志願兵在鮮部隊一齊に初入營。十四年一月一日日本海最初の豐陵島無線局開業。一月廿四日日本學術振興會朝鮮委員會第一回會合を京城で舉行。四月八日學界最高の警察農學實を五倍子人工増殖研究完成の總督府林業試驗場技師高木五六氏に授與さる。△元朝

朝鮮總督府實子爵の坐像總督府大ホール内に竣工四月廿二日除幕式舉行す△五月十一日下イッ新聞使節團來鮮△六月十、十一兩日新交響樂團京城で公演、半島文化の向上に畫期的役割を果す△六月十五日官幣大社扶余神宮御創立御勅許となる△六月十五日京城で排英國民大會開催

▲歴代總督 Table with columns: 官名, 就任年月日. Includes names like 伊藤博文, 曾根龍助, 寺内正毅, 寺内正毅, 長谷川好道, 齋藤實.

宇垣一成 總督臨時代理昭和... 山梨半造 總督 同... 齋藤實 同... 宇垣一成 同... 南次郎 同... ▲地方行政 ▲行政上十三道に區畫し、更にこれを十八府、二百十八郡、二島、六十三邑、二千二百九十五面に分つ。

▲各道・道廳所在地・面積・人口 (昭和十二年)

Table with columns: 道廳所在地, 面積(方軒), 内地人, 朝鮮人, 外國人, 人口總數. Lists provinces like 京畿道, 忠清北道, 忠清南道, etc.

道は内地の府縣に似て法人にして議決機關たる道會(議長は知事)を置く。府 内地の市と似てゐるが、府尹は官吏で意思機關として府會と教育部會を置く。邑、面 内地の町村に相當し、邑長、面長は官吏で、意思機關たる邑會、諮問機關たる面協議會を置く。

▲教育

陸軍特別志願兵令について十三年三月四日改正朝鮮教育令が公布され、普通教育における國語を常用するものと然らざるものとの區別は撤廢され内鮮人ひとしく同一法規のもとに教育を受けることとなつた。すなはち從來の普通學校、高等普通學校、女子高等普通學校の制度は廢止されて小學校、中學校、女學校に統一されることとなつたのである。

朝鮮總督府の專賣品は煙草、人蔘、阿片及び麻薬類である△煙草は販賣高五千五百一十一萬圓△人蔘は古來高麗人蔘として尊重せられ紅蔘は最高價で主として支那に輸出せられ、白蔘は朝鮮および内地で消費される。販賣高紅蔘百七十二萬圓、その他八萬六千圓△鹽は專賣ではないが昭和五年以來輸入許可制と鹽田官營とで完全に統制してゐる。現在鮮内の消費量年額三億四千八百萬圓に對して官營

天日鹽生産高は二億四千九十五萬圓内外、在來の即製鹽三千三百萬圓を見込んでなほ七千六百萬圓を輸入してゐる△阿片及び麻薬類は吸飲または注射の弊風を禁絶するため昭和四年專賣とし今や殆んどその害毒を絶つに至り、昭和十二年度は麻薬の製造を中止した。

○學校一覽(昭和十二年五月末)

Table with columns: 學校, 校數, 教員數, 生徒數. Lists school types like 小學校, 中學校, 高等女學校, etc.

▲主要農産物

Table with columns: 年次, 作付段別, 收穫高, 輸出高. Lists agricultural products like 米, 大豆, 棉花.

▲畜産

總督府施政當時は養蠶戸數七萬六千餘、産繭一萬四千石に過ぎなかつたものが、獎勵の結果漸増し昭和十二年には桑田約七萬八千町歩、養蠶戸數八十一萬五千二百餘戸、産繭七十二萬二千三百石に達した。これに伴ひ製糸も勃興し機械製糸七十八戸、その他三十三萬三千八百三十一戸、計三十三萬三千九百九十九戸、生糸産額は機械によるもの三十三萬三千七百二十四貫に達してゐる。なほ合理的發達を期し製糸工場施設を制限するため昭和十年八月朝鮮製糸業令を公布し、十一月實施した。

朝鮮牛は古くから知られてゐるが明治四十四三年末の飼育數七十萬三千頭、輸出二萬頭に過ぎなかつた。それが昭和十二年末には飼育百七十一萬三千頭、内地への移出五萬六千六百頭、この價額四百四十萬圓に達した△馬は現在約五萬一千頭で、在來馬は年々減少し

てゐる。△豚と鶏も在來種が多く品質劣等な
ので施政以後改良種の普及に努力した結果、
豚百六十三萬頭の内六十六%、鶏は七百二十
二萬羽の内五十四%の普及率を示すまでにな
つた。

細羊 この特筆すべきは細羊である。昭和
十一年六月二十五日對通商報復手段として、
通商擁護法公布實施されるや、朝鮮にお
ける細羊増殖計畫は國家的に重要性を帯び來
り、總督府では南浦北羊計畫の第一次計畫北
鮮十道六萬頭に更に一步を進め、獎勵地區を
全鮮に擴大して十五ヶ年五十萬頭増殖を目標
とし、新に平安南道順川郡に國立種羊場を増
設した。

▲水産物(單位千圓)

Table with 2 columns: Year, Value. Data for 昭和十二年 and 明治四十四年.

▲工業概観

高麗時代より二、三百年間相當の發達を遂
げた跡は高麗燐、建造物などに遺つてゐる
が、漸次衰頽して併合當時は小工場や家内工
業に僅かに面影を留める状態であつた。やゝ
見るべき近代的工場組織が出現したのは大正
五年ごろからで、紡績、製糖、セメント、硬

質陶器、製糸、鑄造などまづ興り、近年は水
力電氣事業の經營から空中架索固定工業や金
屬精鍊、製紙事業におよび大規模の各種工業
勃興の機運に會してゐる。數字的に見れば明
治四十四年上産額三千萬圓に過ぎなかつたも
のが昭和十二年には九億五千萬圓の巨額に上
り種別的に見れば左の通りである。

○昭和十二年度業種別上産額(單位千圓)

Table with 2 columns: Industry, Value. Lists various industries like 紡織工業, 印刷及製本業, etc.

▲産物

朝鮮の産物は年々著しい増減を見るが、大
體漸増の勢ひで、明治四十三年に六百六萬餘
圓に過ぎなかつた總産額が昭和十一年には約
一億二千萬圓に達した。主なる産物は金地金
石炭、鉄礦、砂金、金銀礦、銅鐵、銀、銅、
タンクステン礦、黒鉛などである。

▲鐵道

朝鮮の國有鐵道の大部分は滿鐵と同じく一
路四三五の廣軌であつて國際聯絡の便あり、
昭和八年八月一日圖們線全通し、九月一日京
圖線竣工、羅津港の修築などで裏日本一帯と
の交通路が急に發展し、清津、新京間にも直

通列車が開通した。昭和二年以後の十二ヶ年
繼續事業は着々實現し昭和十二年三月末現在
で四、〇六六、〇五に達してゐる。

▲貿易額(單位千圓)

Table with 2 columns: Year, Value. Shows trade statistics from 明治四三年 to 昭和十二年.

台灣

一年史(昭和十三年七月)

七月十八日 新竹地方法院開庭式舉行
同月廿二日 全國中等野球開幕台北一中優勝
東港郡溪州に旋風起り六戸吹き飛ばす

同月廿四日 暴利取締規則改正公布さる

同月廿六日 本島軍需産業關係者九氏に對し
古莊軍司令官より聖旨傳達

同月三十日 陸軍省官制公布さる

八月四日 台灣氣象台官制公布さる

同月十日 高雄要塞司令官林義秀大佐着任

同月十二日 佐藤少將中支戰線より歸還

同月十三日 大日本傷痍軍人會台北支部發會
式、全島各地防空演習實施

同月十九日 高橋良少將中支戰線より歸還

同月二十日 台灣農會及台灣畜産會創立

同月廿五日 府評議會懇談會開催さる

同月廿六日 台灣聯合少年團結團式

九月一日 大日本國防婦人會台灣本部發會式

同月十六日 小林總督上京

十月一日 台北放送局マレ、語放送開始、内
台定期船、同航空及島内航空ダイヤ改正

同月二十一日 重要産業調整特別委員會開催

同月二十二日 廣東防務視察提燈行列舉行、
官營第一回台展開催、新高山に初降雪

同月二十四日 古莊中將陣中より離任の辭を
寄す

同月二十六日 秩父宮殿下には廣東作戦に武
勳を樹てさせられ台灣より空路歸國

同月二十八日 武漢三鎮陷落進行列、ダグラ

ス愛宕號台北一廣東間試験飛行に成功す
十一月六日 台南、馬公定期航空旅客輸送
開始

同月七日 重要産業委員會米管管申案可決

同月十五日 水戸馬公要港部司令官に原五郎
中將補せらる

同月十六日 南支戰線傷病兵高雄に歸還、太
平洋横斷の七外人ジャンク澎湖島に漂着

同月十七日 古莊南支最高指揮官歸還

同月二十四日 本島人への親族相續法適用審
議のため法令取調委員會開催

同月三十日 訪日コンドル機台灣上空通過

十二月一日 新竹市天然ガス配給實現す

同月八日 ダグラス富士號沖繩で遭難、十名
死亡、二名救助さる、少年警察官全島に配備

同月十三日 廣東へ博愛會醫療班出發す

同月十四日 プロム・カルシウム注射液に
劇薬混入を發見、十八日全國に使用禁止

同月十八日 燈火管制規則公布

同月廿二日 下淡水溪人道橋竣工式

同月廿七日 兎玉軍司令官、大津參謀長の官
民合同歡迎會開催さる

一月六日 花蓮港黒金通に火災八戸全焼す

同月十一日 森岡長官南支皇軍慰問に向ふ

同月十四日 森岡長官議會出席のため上京

同月廿一日 官民代表南支皇軍慰問團出發す

同月廿二日 全支聯絡慰問の飛機台北に飛來

同月廿五日 タイ國訪問の乃木號台北着

同月廿八日 藤田、内海兩知事勇退、異動發令

同月卅一日 寺廟整理に關し總督府注意喚起

二月三日 台灣經濟懇談會開かる

同月十日 丸福暴騰で正米市場立會停止

同月十日 米管特別會計法案議會提出(三月
二十三日通過)

同月十一日 海南島占領視察飛行列舉行

同月十四日 官民代表皇軍慰問團廈門へ出發

同月廿四日 台灣商工會議所創立總會

三月五日 東海バス八百尺の斷崖に墮落死者
四名、重傷七名

同月十六日 鬼熊湯萬萬六年振りで逮捕さる

同月十七日 小松澎湖島要塞司令官着任

同月二十日 朝香宮鳩彦王殿下には台灣軍營
御視察のため御來台遊ばさる

同月廿一日 宜蘭飛行場改修工事竣工す

同月廿二日 台灣物價委員會設立さる

同月三十日 新南群島台灣管下に編入さる

四月二日 台灣家屋稅に施行規則實施さる

同月二日 澎湖島間無線電話開通す

同月四日 三好徳三郎翁逝去す

同月四日 台南州に天然痘患者六十一名發症

同月九日 イラン訪問そよかぜ號台北に飛來
同月廿六日 中研解體し工業、熱帯醫學兩研
究所、農業、林業兩試驗所創設
五月一日 台銀貸出金利引下げ實施す
同月三日 訪日ガブレンツ機台北に飛來
同月十日 米穀移出管理令公布さる
同月十一日 台灣青年學校規則公布實施さる
同月十二日 保田台銀頭取辭任し水津氏就任
同月十六日 小林總督上京、一億圓目標の全
島貯蓄勸進決定す
同月二十九日 米管第一回委員會二期米買上
價格決定す
同月三十日 高砂族自助會設立方通牒さる
六月一日 台南州會文溪治水工事竣工す
同月九日 臺南全島に變ふ
同月十一日 訪日廣東婦女團一行來台
同月十三日 松木台電社長逝去
同月二十日 汕頭占領祝賀旗行列、台北排英
島民大會開催さる
同月二十七日 台灣科學會議委員會發令、台
南花園小學校三宅透君准日本一優良児に
入選

七月一日 米穀局官房企畫部官制公布さる
同月七日 事變記念日、全島排英大會開催
▲歴代總督
就任年月日
明治二八・五・一〇
樺山資紀

實業補習學校 〇〇 二六六
官立學校 二 二〇八
師範學校 四 一三三
高等學校(七年制) 一 一五〇
專門學校 四 一七六
帝國大學 一 一〇八
帝國大學 一 一〇八
島人書房 三 一〇〇

五種あつて總督府經常輸入の四割を占める
重要財源となつてゐる△阿片 明治三十年專
賣となり課税根絶のため糖者に限り吸飲を特
許したが、三十三年九月の約十七萬人を最高
として激減し、昭和十二年末には一萬二千六
十三人となつた。収入二百七十五萬圓△食鹽
収入三百十九萬六千圓△樟腦 世界に冠絶す
る特産で年産約三百萬キ、収入八百七十一萬
餘圓、最大の輸出先はアメリカである△煙草
明治三十八年内地より一年遅れて施行、収入
一千三百三十五萬圓△酒 世界に稀な專賣で
品質統一を計り保健衛生にも資せんと大正十
一年七月創始し、麥酒は昭和八年七月から販
賣のみ實施した。収入二千四百七十三萬圓。

▲主要農産物
昭和十二年總生産額
三大農産 米 四〇、九〇〇千圓
甘蔗 九、三三三、二七石
收獲高 甘蔗 一、四七〇、八四四千斤
甘蔗 二、九〇〇、八四四千斤

澎湖廳馬公

澎湖廳馬公 三三 六、七七一
▲種族別人口 (昭和十二年未現在)
種族 人口
内地人 二九、三〇〇 朝鮮人 一、六八五
本島人 二、三六〇 高砂族 一、七二五
外國人 四、六三三 合計 四〇、〇〇三
高砂族 先住民族たる高砂族は主として山地
に居住し化育の程度によつて生蕃、化蕃、熟
蕃に分つた時代もあつたが今や殆ど教化され
た。種族別には左の通りに分れる。(昭和十
二年未現在)

▲教育・學校一覽 (昭和十三年四月末)
學校別 校數 教職員數 生徒數
小學校(内地人) 一四四 一、二〇六 四、〇八八
公學校(島人) 一六六 一、二〇六 四、〇八八
中學校(共學) 一四 一、二〇六 四、〇八八
高等女學校(同) 一四 一、二〇六 四、〇八八
實業學校(農、工、商) 三 一、二〇六 四、〇八八

▲五州・三廳所在地・面積人口
廳所在地 面積方軒(十二年未現在) 人口
台北州 台北 四、九〇〇 一、一〇一、八八六
新竹州 新竹 四、五七〇 一、〇六六、八二五
台中州 台中 七、三三三 一、三三三、五二二
台南州 台南 五、四三一 一、四三三、八四一
高雄州 高雄 五、七三三 一、四三三、八四一
台東廳 台東 三、五二五 七、八四三
花蓮港廳 花蓮港 四、六三九 一、三三〇、〇〇〇

米 年二回の收穫あり、一期作四百四十一
萬石、二期作四百八十二萬石。近年蓬萊米の
栽培盛んに行はれ年收穫四百七十八萬二千餘
石に達した。内地移出は玄米、白米を合せて
千四百四十四萬餘袋、價額一億二千六百二萬九
千圓に上る。
バナナ 代表的果實で米と砂糖に次ぐ重要
移出品で主産地は台中、高雄兩州、輸出高
三百五十萬斤、價額千七百二十六萬圓に達す
る。

▲工 業
歐洲大戰を畫期として大飛躍を遂げ、昭和
四年には丁産總額二億六千萬圓の記録を作つ
たが、世界的不況で二億圓以下に減退したが
漸次盛返し、昭和十年は三億一千二百萬圓ま
でに達した。そのうち砂糖一億七千二百萬圓
が第一位、再製茶一千一百萬圓これに次ぐ△
電氣事業 大正八年台灣電力株式會社令によ
り成立した同社は現在資本金四千五百七十五
萬圓、昭和九年末の出力十六萬七千五百キロ。

▲貨 易 額(單位千圓)
輸出 内地移出 計
大正元年 一四、九〇〇 四、八三二 一、九、〇七二
昭和元年 四、三三三 三、〇一〇 一、三、三四三
九年 二、五八八 二、七二〇 五、三〇八
十年 二、五八八 二、七二〇 五、三〇八
十一年 二、五八八 二、七二〇 五、三〇八
十二年 二、五八八 二、七二〇 五、三〇八

樺太

歴代長官

官名 就任年月日
熊谷喜一郎 民政長官 明治六・七・三
楠瀬 幸彦 長官 同 四・四・一
床次竹二郎 同(兼任) 同 四・四・三
平岡定太郎 長官 同 四・六・三
岡田 文次 同 同 四・六・三
昌谷 彰 同 同 四・六・三
永井金次郎 同 同 四・六・三
昌谷 彰 同 同 四・六・三
豐田 勝藏 同 同 四・六・三
喜多 孝治 同 同 四・六・三
縣 忍 同 同 四・六・三
岸本 正雄 同 同 四・六・三

地民植

今村 武志 同 同 七、七、七
棟居 俊一 同 同 三、三、七
榊太助所在地 同 同 三、三、七

▲地方制度概要

市、町、村 榊太町村制による特別の地方
團體で、一級町村長は名譽職、二級町村長及
び市長は有給吏員で、議決機關たる町村會及
び諮問機關として町村評議會がある。昭和十
二年四月一日より市制が實施され、先づ豊原
が七月一日より市となつた。

▲土着人種別人口(昭和十二年末)

アイヌ 一、三三三 キーリン 二四
オロツコ 三七六 サンダー 二二
ニクブン 一〇〇 ヤターツ 二〇

▲教育・學校一覽(昭和十二年末)

公立小學校 校數 職員數 生徒數
中學校 三三三 一、〇三三 五、八〇八
高等女學校 四 四 一、三三三
右のほか拓殖學校、土人教育所、私立夜間
中學、裁縫女學校、公立實業補習學校、教員
講習所などがある。

▲主なる産業

總生産額一億八千七百二十五萬圓のうち林
産價額二千八百五十六萬圓で、木材を原料と

する工業物即ちパルプ及び洋紙の價額九千八
百萬圓に上り、この二者合せて全生産額の六
割七分強に當る。森林面積官有林二百九十四
萬ヘクタール、大學演習林九萬ヘクタールで
總面積の約八割となる。農産は約五百八十萬
圓。石炭は埋藏量二十億六千萬ト(未調査區
域を除く)と推定されてゐるが、獨特の封鎖
炭田なるものがあつて蓋掘を保護され昭和十
一年の採炭量二百七萬トに過ぎない。石油も
まだ試掘時代である。

▲貿易(單位千圓)

昭和十年 輸出 内地移出 計
昭和十一年 三三 三、八八四 三、九一六
昭和十二年 三三 二、八四六 二、八七九
輸入 内地移入 計
昭和十年 八四 三、〇三三 三、一一七
昭和十一年 八八 三、七七一 三、七九九
昭和十二年 八六 三、一三二 三、二一八

關東州

▲歴代長官

大島 義昌 官名 就任年月日
都督 明治三〇・九・一
福島 安正 同 昭・四・三・六

▲種族別人口

(昭和十四年四月末は關東州人口)
(のみ、他は滿洲附屬地を含む)
日本人 一、〇、五〇一 昭和十四年四月末
同 一、〇、五〇一 昭和十三年四月末
同 一、〇、五〇一 昭和十二年四月末

▲主なる産業

同四年及び十二年の四回にわたり内地産業に
影響の少い生果ほか三十六種は輸入税免
除、牛肉ほか一種は特定粉率に依ることとな
つてゐる。

▲主なる産業

關東州における工業は滿洲國の健全なる發
達並に我國の對滿政策の積極化と共に滿洲産
業開發を目的とした新興工業も起り、滿洲化
學工業株式會社、滿洲大豆工業會社、滿洲石
油會社大連製油所、滿洲曹達會社工場、滿洲
ペイント會社等有力な工場が設立されたのみ
ならず既設工場中にも増資その外の方法で工
場設備を擴張したものがあつて昭和十二年に
は工場數一、〇二二、資本金二四七、四八八
二三五圓、生産額二六七、〇〇〇、九三一圓
となつてゐる。

次に鑛業は未だ大規模の鑛山なきも苦灰
石、石棉、金、重晶石、滿鐵、螢石等が産出し
鑛區六十三、面積八百二十四萬六千九百坪に
達してゐる。

鑛業は關東州の氣象状態が天日製鹽に適し
てゐる關係上大いに發達し、昭和十三年末に
は邦人鹽田八千二百四十四町、滿人鹽田八百六
十八町、合計九千八百二十二町歩を算し、鑛業は
州内最大の産業の一となつてゐる。

地民植

滿支人 一、〇三三、三三三 一、〇三三、三三三
外國人 一、七七一 一、七七一 三、二〇九

▲教育・學校一覽(十四年四月末日)

小學校 校數 職員數 兒童生徒數
公學校 一六 四、三二 一、九、六〇〇
普通學堂 三三〇 八、三二 三、〇、〇三三
中學校 五 一、八六 四、六六九
實業學校 三 一、七四 三、三三九
實業學堂 二 三、三六 五、九七九
高等女學校 六 一、六六 三、〇三三
家政女學校 二 一、三三 二、〇〇〇
盲啞學校 一 一、四四 三、三三三
高等公學校 二 一、四四 三、三三三
專門學校 二 一、四四 三、三三三
大學 一 一、四六 四、三三三
師範學校 二 一、四六 四、三三三

▲專賣

台灣と同じく收入目的でなく取締上の必要
から阿片專賣に特許制度をとり、滿洲國も漸
禁方針に本づき昭和八年一月阿片專賣制度を
實施した。關東州においては、大正十四年の阿

▲特異な關稅制度

關東州の關稅制度は内地および他の所管地
域と全く趣を異にして、明治三十九年「大連
を滿洲貿易の中心となす目的を以て經營し租
借地は軍事上必要な制限のほか純然たる自
由港となししかも自由港主義を最大限まで實
行す」といふ主旨から同州内に輸入せられる
物品には一切關稅を賦課しない制度となつて
ゐる。關東州と内地との關係も他の外地と異
り貿易上全く外國と看做され、生産物を内地
に輸入するときは輸入税を課せられるが、關
東州における生産工業の發達助成および本
邦工業原料の不足を補ふ目的をもつて特恩關
稅制度が設けられ、大正十四年、昭和二年、

水産物は昭和十二年においては数量一千七百七十六萬五千貫、金額六百六十四萬六千圓であつてなほ漸増の傾向がある。

農業は管内産業の大宗で普通農業、果樹、特用作物としては落花生、棉花の栽培がある。落花生は滿人農家唯一の重要な輸出農産物で昭和十年九月より官行検査を實施して品質の向上、輸出奨励に努めてゐる。昭和十二年産額は穀類、蔬菜類及び果樹類のみで二千九百餘萬圓を算してゐる。

▲貿易

大連、安東、營口、山海關、哈爾濱、龍井村、圖們および承德における昭和十二年の滿洲國貿易高は輸出六億四千五百二十九萬七千圓、輸入八億八千七百四十一萬一千圓、うち對日貿易は輸入六億六千六百二十七萬圓、輸出三億二千五百一十一萬一千圓である。また關東州のみにおける昭和十三年の貿易總額は輸出四億八千四百萬圓、輸入九億四千萬圓、合計十四億二千五百萬圓で、うち對日貿易は輸出二億七千六百萬圓、輸入七億二千六百萬圓、合計十億二百萬圓を占め對支および對獨貿易に比し絶對的優位にある。これらの主要輸入品は、綿織物、鐵、鋼、機械類、砂糖、麥粉、棉花、紙、

水産物、麻袋、木材等で、主要輸出品は大豆、豆粉、石炭、豆油、粟、落花生等である。

南洋群島

▲歴代長官

官名	就任年月日
手塚 敏郎	海軍事務長官 大正七・七・一
手塚 敏郎	長官 同 二・一・三
横田 郷助	同 同 二・四・四
堀口 彌貞	同 同 六・一・三
田原 和男	同 同 六・二・三
松田 正之	同 同 七・七・三
林 壽夫	同 同 八・八・四
北島謙次郎	同 同 二・九・九

▲南洋群島所在地 南洋群島パラオ群島コロール島

▲人 口
昭和十二年十月一日現在人口總數は十一萬三千二百七十七人
邦人 大正三年占領當時は僅か數十名であつたが、昭和十二年十月には遂に六萬二千三百五人に達した。その大部分はサイパン支廳

管内に住んで農業を営んでゐる。
島民 昭和十二年十月の調査ではカナカ族四萬七千四百四十四人、チャモロ族三千七百五人であるが、チャモロ族は増殖率が高い。

▲産 業

農耕地二萬三千四百七十三ヘクタール、椰子林三萬二千四百四十五ヘクタールで合せて五萬五千六百十八ヘクタールに過ぎず、甘蔗、椰子實を主産物とし、砂糖工場三あり、酒精工場もある。工産額昭和十二年度二千五百一萬餘圓に上つた。水産物はやゝ豊かで將來がある。貝類用の高瀬貝、たいまいなどを特産とする。

▲貿易 額(單位千圓)

年	輸出		輸入	
	内地移出	計	内地移入	計
大正五年	六三	三三	一〇	六三
昭和十年	三三	三三	一〇	六三
十一年	三三	三三	一〇	六三
十二年	三三	三三	一〇	六三
大正五年	一〇	六三	一〇	六三
昭和十年	一〇	六三	一〇	六三
十一年	一〇	六三	一〇	六三
十二年	一〇	六三	一〇	六三



海外發展

滿洲開拓民

(イ)内地人 滿洲事變前におけるわが滿洲移民については大正三年滿鐵經營の除隊兵移民、大正四年關東廳の愛川村移民、昭和四年滿鐵の傍系會社大連農事株式會社の移民等があつたが、何れも好成績を収めるに至らず、その後滿洲事變起り諸般の情勢一變し、邦人滿洲移民が國策遂行上重要なものであるとが朝野に認識され、拓務省は昭和七年度より專門家を派し移民適地を調査し、一方滿洲に於て邦人に適する經營方式を調査研究すると同時に、昭和七年第一回特別農業移民五百名(關東、東北、信越の十一縣出身)を三江省樺川縣及び依蘭縣地方に先驅人植せしめて以來年を逐つて漸進的な成果を収め、回を重ねること七回、既に第七回移民本隊の入植も終り、更に昭和十四年度第八回の移民中、先遣隊九百七十四名は既に現地訓練も終へ入植を開始したが、今回の移民團が從來の各年度移民と比較して最も特色とするところは分村、

分郷移民の多いこと、四十集團のうち、實に十七集團四千五百戸にのほつてゐる。

日滿一體、移民制確立、しかるに支那事變の勃發によりわが滿洲移民の重要性は著しく加重し來り、すでにその目的は單に内地人口問題の解決或は農村救済といふ言葉から離れて今や「大陸經營の據點培養」といふ新しい積極的の意味を持つ言葉に替へられる時代に到達し、わが國開拓農民を中核とする日滿の一體的發展、民族協和の達成を目標とする開拓政策を行ふこととなつた。即ち從來の移民なる名稱はこの意義より見て適當ではないので、今後は開拓農民又は開拓民と呼ぶこととし、また農家と土地との絶對的な關係を考慮して開拓民が代々安定して農耕し得る様な特殊農地制度を設定するなど日滿兩國の不可分關係をますます強調するに至つた。なほ青少年義勇軍は將來開拓民となつて眞に日滿一體、五族協和の中心層となるべき重大使命を有してゐるので、これが教育、訓練については兩國の關係機關が一體となつて最善の注意を以つ

て當つてゐる。

内地訓練、茨城縣東茨城郡下中妻村内原において約二ヶ月間心身の鍛鍊、建國精神の徹底及び協同精神の涵養をなされしめ

現地訓練、渡滿後滿洲國內五ヶ所に設置されてゐる訓練所において概ね三ヶ年間農民に必要な技術を習得することとなつてゐる。

滿洲國移民二十年計畫、なほこれより拓務省では陸軍省その他關係方面と協調、對滿大量農業移民案を樹て、既に積極的大陸政策遂行に着手してゐるが、この計畫によれば現在滿洲國にある未耕地一千八百萬町歩に百萬戸、五百萬人の移民を昭和十二年より二十ヶ年間に入れようといふので、これが豫算は十五億乃至二十億を要する見込みで種々協議の結果、まづ第一期計畫として昭和十二年より五ヶ年間に十萬戸、五十萬人(豫算一億圓)を入植せしめることになり目下着々進捗中である。

拓務省以外では東京深川區の労働者を移住せしめた天照團移民(一棟樹開拓組合)天理教團の天理村(哈爾濱郊外、現在七十、三百六十八名)滿洲國鐵路總局が鐵路沿線の治安維持と産業開發を目的として沿線従業員の一部をして業務の傍ら農牧の經營を行はしめる鐵路自警村は滿洲獨立守備隊隊員の希望者を入れ、五ヶ年間手當として通計千三百二十圓

を交付し、一戸約十町歩の土地を無償貸與するもので昭和十、十一兩年に合計二百四十四、四百十九名を入植せしめ、十二年度は二百十五戸を入植せしめた。...

(ロ)朝鮮人 朝鮮人の滿洲移住は古い歴史がある。殊に間島は往時支那と韓國との國境明瞭でなかつたのと、支那としても東北の邊陲であつたため、自然國境の朝鮮人が移住したもので、...

人が古くより對岸に移住農耕に従ひ漸次奥地に向つて進み、安奉線開通前は南滿にも進出し、滿鐵をはじめ滿洲國有鐵道沿線を主として奥地までも進出した朝鮮人は昭和十二年十月一日現在で四十五萬三千四百八十四人となつてゐるがその實数はこれに倍してゐるものと觀られてゐる。

ブラジル移植民

ブラジルは南米大陸の東北に位し面積八百五十一萬一千百方キ、餘、日本内地の約二十二倍に當る大國で、しかも人口四千二百三十九萬人(一九三六年)一方、當り人口僅かに五人に過ぎず、日本内地の約三十五分の一であつて假に日本と同じ密度まで人口を包含し得るとすれば二十一億の大人口となり得るわけであらう。

分を占めるサンパウロ州の如き最高氣温三十一度、最低九度、九州の氣候に似、北部の熱帶地方も想像よりは暖かきといふとされてゐる。昭和初年から加速度的に渡航者が増加し昭和十二年十月一日現在在外務省調査の在留邦人(内地人)十九萬三千五十七人に達したが、昭和九年七月の新憲法の移民制限條項によつて制限を受けることとなり、激減の止むなきに至つた。

この結果は勞力の大半を外國移民に仰ぐ同國産業界に重大なる影響を與へ勞働力不足が政治問題化せんとし同國政府ではこれが緩利策を考慮してゐたが遂に十三年五月五日新移民法を公布するに至つた。これによれば日本移民は場合によつては著しくその入國を増加し得る可能性があり多少將來を期待し得ることとなつた。...

民間の諸施設

海外興業株式会社(東京) 内地主要都市や海外要地に出張所や業務代理人を置く本邦唯一の移民會社で資本金九百萬圓、昭和十二年末までに合計十七萬一千五百二十人の移民を取扱ひ一面ブラジルでイグアペ植民地およびアニーマス農場を經營してゐる。

海外移住組合 昭和十一年十一月末現在で聯合會加入組合四十四、組合員數一萬四百三十一名に上り昭和四年四月より同十三年十一月末までに送り出した人員は一千二百二十五家族、七千九百六人。聯合會はブラジルの法令によつてブラジル拓殖組合を設立してゐる。

日南産業株式会社 聯合會の事業として昭和十二年七月設立、ブラジルにおける現移住地の經營完成に當るほか移住地内外の邦人に對する金融、農具、肥料、一般商品の供給、同國産原料品の内地への輸出などを行ひ、なほ同國以外の外國における新移住地の購入と經營を行ふ。

南米拓殖株式会社(東京) 昭和三年八月

サンパウロ日本病院 南米の新天地に活躍する甘萬同胞の健康のため、畏くも五萬圓の御下賜金を賜はり、サンパウロ市郊外四千三百坪の敷地に三階建千八百坪(病床五十)、豫算八十萬圓をもつて昭和十年來計畫されたサンパウロ日本病院は十四年四月二十日完成、モンテネグロ博士が院長に就任し、五月十日開院したが、同病院は邦人醫師、看護婦を専屬とし、在留同胞の保健、體質の向上と醫療費の軽減を計つて海外發展の大業を完成せしめ併せて日本醫術を通じて日伯親善に貢獻しようとするものである。

政府の奨勵施設

宣傳方面 政府は大正十二年度以降各府縣または團體主催にて講演會または講習會に講師を派遣し昭和六年よりは拓務省内に海外移住相談所を設け、また月刊拓務時報のほか案内書、情報などを頒布してゐる。

奨勵施設 内地、外地、外國への移民には鐵道の三等旅客運賃五割引の特典あり。渡航費補助は大正十二年關東震災罹災者フラジール渡航に始まり、同十三年度より一般の移民にも一定の條件で補助されることになつたが、昭和十二年度までに移民十八萬三千三十九人、總金額二千三百三十萬八千六百六圓補助し

てゐる。補助費は出渡港より目的港までの船賃全額で、原則として五十歳以下の夫婦に十二歳以上の子女をもつ家庭を構成する者となつてゐる。それから昭和七年九月から農村救濟對策をかねてブラジル移住者に十二歳以上五十圓、満七歳以上二十五圓、満三歳以上十二圓五十錢の支度金を補助することとなつた。

拓殖訓練所 政府はまた昭和八年六月文部省所管で

- 第一訓練所 (盛岡高等農林學校内) (三重高等農林學校内)
第二訓練所 (宮崎高等農林學校内)

を開設し、第一、第二は滿蒙方面の移住者を第三は南米方面の移住者を入所せしめてゐる。資格は中等學校または實業補習學校卒業程度以上の學力を有し、満十八歳以上満三十歳以下の者、一ヶ所約三十名、訓練期間一ヶ年

日南産業株式会社 聯合會の事業として昭和十二年七月設立、ブラジルにおける現移住地の經營完成に當るほか移住地内外の邦人に對する金融、農具、肥料、一般商品の供給、同國産原料品の内地への輸出などを行ひ、なほ同國以外の外國における新移住地の購入と經營を行ふ。

南米拓殖株式会社(東京) 昭和三年八月

設立、パラ州に百萬町歩の土地を取得し、昭和十一年十二月までに三百六十家族、二千百十四人を入植せしめてゐる。

○移殖民學校

- 海外植民學校(東京) 正科二年、専科一年
日本植民學校(札幌市) 二年
日本力行會海外學校(東京) 一年、研究科三年

○海外協會その他(政府助成團體)

- 北海道海外協會(札幌) 海外協會中央會(東京)
海外婦人協會(東京) 海外貿易振興會(東京)

- 東洋協會(東京) 日本力行會(東京)
大阪YMCA(大阪) 南洋栽培協會(東京)
南洋協會(東京) 日本通商亞米利(東京)

渡航地別移民數

Table with columns for destination (e.g., 南洋, 北支那, 南洋羣島) and years (昭和十一年, 昭和十二年).

海外拓殖事業

めぼしい事業は歐洲人に先鞭をつけられてゐるので過色はあるが、漸く明治四十年前後からの着手として見る時、邦人の拓殖事業は大發展を遂げたものといつてよい。

地方別概観

南洋方面は我が國內工業原料品の一大供給地として重要關係あり、交通、風土、人情の關係からも邦人および邦人の資本を誘引する力が大であり、マニラ麻の如き邦人の創始といふも過言でない。

列國の移民

昭和十二年における各國の移出民を見るにイギリスの三萬二千最も多く、ついでイタリ一の三萬、ポーランドの二萬四千、ポルトガルの一萬五千、ドイツの一萬四千等が多い部類に屬してゐる。

移出民

Table showing emigration statistics for various countries like 帝國內地, イギリス, イタリー, ポーランド.

移入民

Table showing immigration statistics for various countries like アルゼンチン, カナダ, アメリカ, ブラジル.



年中無休 健全なる銃後娛樂
寶塚少女歌劇
關西隨一の保健地
タカラヅカ
座席券(稅共)卅五錢均一

● 頃と踊と音楽に演劇文化の薫り高き風光明媚な歌劇の都
● 縮履で無邪氣で上品で家族打揃つて面白く遊べる日本一の娛樂の都
● 新温泉、ルナパーク、動物園、植物園、圖書館、等堂々敷万坪の輪奐を誇る明朗清新な四季清遊の都です

大阪より僅か三十三分
神戸より僅か二十五分

共入場料三十三錢

阪急電車

ンチンにおけるマテ茶栽培、中米メキシコにおける日本水産株式會社の水産業などがある

産業別概観

ゴム 邦人のゴム企業熱は明治四十年ごろ起り、同四十三、四年ごろ最盛、大正六、七年ごろまで續いたが中には堅實味を缺いたものもあり、ゴムの市價漸落に惱み大正十一年十一月と暴落するに及び全く危機に瀕した。然るに同年十一月イギリス政府の英断により輸出制限令が布かれ、大正十四年末には一が八十歩を超えた。この好況に乘じ英米資本家の投資熱勃興し來り、邦人のゴム園實却十二園、租借面積七萬二千五百英反(全租借面積の一割九分)植付面積三萬千六百七十英反(全植付面積の二割三分)に達し、實價二千五百五十萬圓、純利得一千萬圓と註せられた。その後また密輸出、制限不加の關印の生産増加等で、制限令撤廢の餘儀なきに至り、世界的不況と相まつてゴム價はまた大暴落を演じた。そこで事業の合理化を計る一面、昭和九年五月米、蘭、白、佛その他を加へた全東洋ゴム生産地の五ヶ年生産制限協定が成立したが、昭和十三年に至り更に向ふ五ヶ年間延長した。市價は漸次回復した。同年邦人當業者の事業も着々合同統一され昭和十二年初現在の邦人ゴム園分布は次の通り(單位英反)

植付面積 (推定)	生産面積
マレー半島 10,000,000	10,000,000
英領北ボルネオ 2,000,000	2,000,000
サラワク 2,000,000	2,000,000
蘭領スマトラ 2,000,000	2,000,000
同ボルネオ 2,000,000	2,000,000
同ハワイ 2,000,000	2,000,000
同セレーベス 2,000,000	2,000,000
フィリピン 2,000,000	2,000,000
總計 30,000,000	30,000,000

最近の投資額は約八千萬圓と推定され、植付十三萬英反は全世界の栽培面積八百萬英反の一・六六%に過ぎず、産額も世界の八十五萬二千少(昭和十一年)に對し一萬六千少で僅かに一・八八%で、我が國の消費額六萬一千少に比すると四萬五千少の大不足である。

コーヒ 全世界のコーヒ樹數五十億一千四百三十三株(一九三三年度)ブラジルだけで二十九億八千八百四十萬株を占め、その中サンパウロ州が十五萬六千萬株を有するが、このうち邦人は約六千五百萬株と推定され、その多くは未成樹であるが、それでも年産七十餘萬袋二千萬圓以上と算定されてゐる。なほ南洋方面にも着手してゐる。

マニラ麻 邦人移民の失業救済に故太田蒸三郎氏が苦心の結果、明治四十年ミンダオ島ダバオにおいて栽培を始めたのが端緒で幾多の波瀾を経て、昭和十二年の邦人生産額

三十三萬袋、比島總産額百二十九萬袋に比し二十六%を占め、しかも邦人栽培のダバオ麻は品質優良で判然區別され、同年日本へ三十六萬袋を輸出し、米、英兩國を遙かに凌いでゐる。

亞麻 邦人經營のアマゾン産業會社では曩にアマゾン河下流を扼するパラ州政府と亞麻試植契約を締結し三年後には一萬町歩の土地權を獲得するとなつたが、またアマゾン河上流域を占めるアマソナス州政府の提議に應じ同州内において三十年間の亞麻生産、加工及び栽培權の外一萬町歩の即時讓與に關する契約を締結しアマゾン河全流域にわたる亞麻栽培を獨占することゝなつた。

棉花 邦人の棉作は注目すべきものありブラジルのサンパウロ州においては一九三七一八年度は一九三四年の北米における棉を作付減段令のため一躍生産額二億五千萬圓に達しうち邦人は約二分の一強の約一億二千五百萬圓を占めるといふ全く驚くべき發達を遂げてゐるペルー、アルゼンチンにおいても漸次發展しつつある。

その他 南洋方面における甘蔗、カカオ、サイザル麻、茶、コブラ、油椰子、米、規那その他香料、藥用植物、南米における米、養蠶園藝業、メキシコにおける水産業何れも注目すべきものがある。

良品丸実

國策に順應し統後配給報國の
使命貫徹に邁進して居ります



大阪梅田

阪急百貨店



アメリカ合衆國

米、英、獨、露、佛、伊を冒頭にその他は「アイウエオ」順に配列し、頁数の多い中華民國、滿洲帝國は後尾に付した。重要な地域は獨立國でないものも多少加へ、また日本と關係の深い國々や地方は特に詳密にし充實を期した。各國本土に屬領の全面積と人口は「土地人口」欄の「列國の面積と人口」を参照、また國情の急變などは「外交」欄、六大強國の軍備は「軍事」欄を参照のこと。

アメリカ合衆國

(聯邦共和國)

▲人口 一二三、七七五、〇四六人(一九三〇年國勢調査)一九三八年七月一日の推定によれば一三〇、二二五、〇〇〇人
▲首府 ワシントン、人口四八六、八六九人(一九三〇年調査)

政 治

▲政治組織 四十八州、一區、二准州より成る聯邦共和國で大統領(行政)と議員(立法)と大審院(司法)とを以て構成されてゐる。各州に自治権がある。
▲大統領 任期は副大統領とも各四年で、現大統領はフランクリン・デラノ・ルーズヴェ

ルト(一八八二年一月三十日生)で民主黨員。一九三三年三月就任、一九三七年一月再任。任期は一九四一年一月まで。▼副大統領ジョーン・ナンス・ガアナ(一八六九年十一月二十二日生)共和黨員、一九三三年就任、一九三七年再任、任期は一九四一年まで。大統領および副大統領の選挙は各政黨の指名候補者が、各州選出の選挙人(五三二名)により選ばれその過半数(二六六票)を得ることを要する。
▲議會 上下二院制▼上院は各州二名の割合で選出され、現在議員數九六名。任期は六

年。選挙は一般投票で、被選挙資格は二十歳以上、上院は立法権のほか、大統領が外國と締結した條約の批准決議権を有し、その採擇には議員三分の二以上の賛成を要する。また大統領によつて成された官吏の任命には認否または否定権があり、その否定には議員數三分の二以上の投票を必要とする。下院には否定権しかない▼下院現在議員數四三五名、任期二年、各州人口數に對する一定の比率を以て選出され被選挙資格は二十五歳以上、選挙權は原則として二十一歳以上の男女に賦與されてゐるが州によつては居住年限、納税額、教育程度等について制限のある所もある▼第七十六議會(一九三九年—四二年)の議員政黨別は左の如し。

上院—民主黨六九、共和黨二二、農民労働黨一、急進黨一、無所属二▼下院—民主黨二六二、共和黨一七〇、農民労働黨一、急進黨二

内閣

國務長官 コルデル・ハル
財務長官 ヘンリー・モーゲンソウ
陸軍長官 ハリー・エツチ・ウッドリング
司法長官 フランク・マーフィー
通信長官 チャームス・エー・ファアレーイ
海軍長官 クロード・エー・スワンソン
内務長官 ハロルド・エル・イタス

商務長官 ハリ・エル・オブキンス
労働長官 フランセス・パーキンス(女)
農務長官 ヘンリー・エー・ウォーレス

▲地方政治 四十八州、二准州(ハワイとアラスカ)一區(コロンビヤ)に分れ、各州にそれ〴〵州憲法、知事、州議會、司法および行政機關がある。ネブラスカ州を除く各州議會は上下兩院より成り、議員数は上院が少くかつ任期が長いのが普通である。議會は二年に一回開かれる。知事には臨時議會の召集權があるが解散權を持たない。兩院の權限は同一であるが、多くの州では豫算案は最初に下院に提出され、次に上院に回付される規定になつてゐる。知事は各州とも直接選舉によつて選出され、任期は二年乃至四年である。知事には州軍隊の監督權がある。ハワイ、アラスカには大統領が地方長官を任命する。首府ワシントン市を中心とする一帯の地域(六〇平方哩)をコロンビヤ區といひ、中央政府に直屬し、この地域には地方議會はない。

▲財政 會計年度は毎年七月一日より翌年六月三十日(單位千円、△印は豫算)

Table with columns for years (1938, 1939, 1940) and categories (歳入, 歳出) with numerical values.

▽スクリッパス・ハワード系—ワールド・アンド・テレグラム、ニューヨーク・テレグラム、サンフランシスコ・ニュース、ワシントン・ニュースなど二十五社で、自由主義的で平和的である。他に十七社を擁するキャネット系、パターソン・マッコイ・ミック系、シカゴ・デリー・トリビュン、ニューヨーク・デリー・ニュース、プロック系、カーチス系、スクリッパス・キャンフィールド系、リッダー・ブラザーズ系等の新聞團がある。大新聞にはニューヨーク・タイムズ、ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン、シカゴ・デリー・トリビュン等がある。

經濟

▲概観 世界經濟の約五〇%を占め世界の經濟界を左右する。即ち石炭、鐵、石油、銅、鉛、亜鉛、アルミニウムなど主要工業原料品の産額はいづれも世界一位を占め、棉花は世界産額の約七〇%を出し、小麦、玉蜀黍、煙草その他の食料品も世界一、二位にあるのが多い。豊富な原料品、燃料と相まつて水力電氣も發達し、こゝに製鐵、紡織、機械、船車、製紙、製粉、鑛詰その他の盛大なる工業國となつたのである。アメリカは大戦後イギリスを凌いで世界金融市場の中心となつた。一九三三年四月の金融恐慌は合衆國一區

國債總額は各年六月末において(單位千円)
一九三七年 三、四七〇、〇〇〇
一九三八年 三、七二〇、〇〇〇

社會

▲宗教 一九二六年商務省調査によれば、宗派二二、宗教團體三三、一五四、信者五四、五七六、三四六人、その主なるものは

Table showing religious statistics: 教會數, 信徒數, 新教, 長老教會派, etc.

▲教育 各州の學制が一定してゐないが、十一年乃至十三年限で小學校、初等中學校、高等中學校の三階級に分れてゐるのが多い。一九三六年においては

Table showing educational statistics: 公立初等、中等學校, 私立初等、高等學校, 公立師範學校, etc.

四十八州の金融機關の運行を停止した。この動搖の最中に大統領に就任したルーズヴェルト氏は一八七九年以來五十年の歴史を持つ金本位制より離脱して不況克服に乗り出し産業統制的法令を制定し、「ニュー・ディール」(新政策)と呼ばれる經濟政策を敢行して不況切抜けに邁進した。この結果工業生産は好況に向ひ失業者の減少となつたが、一方勞資對立の激化を伴ひ諸所に大規模のストライキを惹起したがその經濟更生の効果は着々と現はれ、産業活動は活潑となり、アメリカの景氣は回復した。一九三六年十一月の大統領選舉にル氏が再び壓倒的多數を以て當選したことはその證明と見るべきであらう。

▲農業 一九三五年の調査によれば農場面積は一、〇五四、五一五、一一一エーカー、このうち耕作面積は五三三、九一三、九六九エーカー、農場は六、八一、三五〇、農民は三一、八〇〇、九〇七人である。農場所収入一九三八年における農場總収入は七、六三二億圓。農事調整法による政府支出は四八二億圓。

Table listing various commodities and their prices: 重要礦産物(一九三七年), 金, 鐵, 鉛, 鋅, 銅, 水銀, 炭, 石油, etc.

とドクトル・オブ・フィロソフィで、カレッツは、バチエラーである。

▲通信社 十數個の通信社があるがエービーとユービーとが代表的である。▽エービー(アソシエイトッド・プレス)の略稱APは一八四八年創始のニューヨーク・エービーの後身、營利を目的とせぬ現在約一千三百五十の新聞社代表より成る組合で事實上關する報道蒐集を目的とし、政治的には中立を守る。▽ユービー(ユナイテッド・プレス・アソシエーション)の略稱UPは一九〇七年三通信社の合同による株式組織の營利會社である。

供給新聞社はスクリッパス・ハワード系の千二百餘、記事は一般的興味と報道の迅速に特徴があり、主として夕刊新聞が相手である。

▲新聞 新聞はよく普及し日刊新聞は約二千五百種、一日の發行部數約三千三百萬(人口三人半に對し一新聞)といはれ、有力新聞團による各地新聞の連鎖的經營が特徴である。主なるものは▽ハースト系—ニューヨーク・アメリカン、サンフランシスコ・エキザミナー、ロサンゼルス・エキザミナー、シカゴ・ヘラルド・アンド・エキザミナー、シヤトル・ポスト・インテリゲンサー其他で全米に二十九社、ハーストの標榜する編輯方針をとり、民主黨的色彩を持ち國家主義的態度が強い。

▲工業 一九三七年における生産額五億以上
上の工場は

Table with columns: 工場数 (従業員), 生産額 (百億ドル). Rows include various industries like 鋼業, 自動車, 石油精製, etc.

タイヤーチュ

Table with columns: 輸入, 輸出. Rows include 重要輸出品 (一九三八年), 重要輸入品 (一九三八年), etc.

▲日本の貿易(単位千圓)

Table with columns: 日本より輸入, 日本へ輸出. Rows include years 一九三七年, 一九三八年.

イギリス

▲イギリス帝國 は(一)グレート・ブリテン、北アイルランド、海峽諸島及びマン島、(二)アイル(舊アイルランド)、インド、自治領、植民地、保護領より成る。英領土に日の没するところなしといはれるほど世界各地に及ぶ。

(帝國)

シラス島、ヌヤサランド保護領、セントヘレナ島、アセンション島、トリスタン・ダ・クナ島、セシエレス島、ソマリランド保護領、バスターランド、ベチエアナランド保護領、南ローデシア、北ローデシア、スワチーランド、南亞細亞(その項参照)ニチエリア、ガンビア、黄金海岸、アジヤンチ、西アフリカ北西部保護領、シエラレオネ地方、アングロ・エチオピア、スーダン、タンガニカ保護領、西アフリカ、英領カメルン、トーゴランド。(四)アメリカ洲—パミユダ諸島、カナダ(その項参照)フクロランド諸島、英領ギアナ、英領ホンジュラス、ニューファウンドランド、およびラブラドル、西インド諸島。(五)大洋洲—オーストラリア聯邦(その項参照)トンガその他の諸島、ニューギニア、ニューヘブリデス委任統治島、西サモア、ナウル、ニュージージラント(その項参照)バプアおよびノーフオーク島、フィジー島等。

政治

▲政體 立憲君主制。
▲元首 ジョージ六世(一八九五年十二月十四日御誕生)。一九三六年十二月十二日御即位。

即位。

▲議會 上下二院制。上院 議員は貴族より成り七四〇名、その構成は(一)世襲権に由る者(二)皇帝の任命による者(三)院内裁奪する者(四)大僧止及び僧止(選挙による者)——アイル貴族(終身)とスコットランド貴族(有期)以上。下院 議員數六一五名。任期は五年。廿一歳以上の男子、女子に選挙権、被選挙権がある。一九二八年に現行の選挙資格が賦與された。一九三五年の総選挙で議員數を黨派別に表示せば(議員總數六一五名) 政府側(合計四三二名) 保守黨(ポールドウィン派) 三八七 國民労働黨(マクドナルド派) 八 國民獨立黨 三三 國民自由黨(サイモン派) 一五四 反對黨(合計一八四名) 労働黨(ヘンダーソン派) 一七 自由黨(サミュエル派) 一 獨立自由黨(ロイド・ジョージ派) 四 共産黨 一 無所属 四 ▲内閣 一九三九年九月三日イギリスは對獨宣戰を布告すると同時に内閣の改組を断行し九月五日までに三次にわたって戦時強化を行った。その顔觸れは 首相 ネヴィル・チエンバレン 閣相 チョーン・サイモン

外相 ハリアアツクス卿
 國防調整相 チャットフィールド卿
 海相 チャーチル(新入閣)
 陸相 ホーア・ペリシヤ
 空相 キングスレー・ウッド
 國庫尚書 ホーア
 無任所相 ハンケイ卿(新入閣)
 自治領相 イーデン(新入閣)
 樞密院議長 スタノーブ(新入閣)
 大法官 インスキップ(新入閣)
 内相兼保安相(新設) アンダーソン(新入閣)
 食糧相 ウイリアム・モリソン(ランカスター公領相兼任)
 情報相(新設) ヒュー・マックミラン卿(新入閣)
 戦時經濟相(新設) ロナルド・ヒツパートクロス(新入閣)

▲財政 會計期間は毎年三月三十一日に終る。最近の財政は(單位千ポンド、△は豫算)
 一九三八年 歳入 九六、八〇〇 歳出 一〇〇、三〇〇
 一九三九年 歳入 一〇〇、三〇〇 歳出 一〇〇、三〇〇
 一九四〇年 △ 九六、八〇〇 △ 一〇〇、三〇〇
 國債高は(單位百萬ポンド)
 一九三七年三月卅一日 三、九〇〇
 一九三八年同 三、九〇〇

▲宗教 國教はキリスト新教の監督教會

(聖公會)であつて、皇帝は國教會の最高支配者であつて、大僧正および監督の任命権を有してゐる。スコットランドの宗教は、長老教會派である。これらに次ぐものは、ローマカトリック教で、他にユダヤ教がある。ロンドンには救世軍の國際本部がある。

▲教育 ▽初等教育 一九三七年―三八年のイングランド及びウェールズの小學校數二一六七八校、生徒四、五二六、七〇一人、教師一六六、六七四人。盲啞者等の特殊學校六一。スコットランドでは小學校二、八九八校、生徒六三〇、四二五人、教師一九、六五四人
 ▽中等教育 イングランド及びウェールズの中等學校二、一五六校、生徒五六八、八三五人、教師二四、四五一一人。スコットランドには二五二校、生徒一五六、八一八人、教師六、八〇二人。▽大學教育 大學はイングランド十一校、スコットランド四校、ウェールズ一校合計十六校で教授六、〇九〇人、生徒五三、七四三人。このほか各地にカレッジがある。

▲通信社 支那事變以來度々惡質のデマをばらすロイテル通信社はイギリスを代表する通信社で同時に過去半世紀にわたつて世界通信界に覇を唱へて來た。ルーター又はロイターともいはれ一八五一年に創始され、一九二五年には株式の五割五分をプレス・アソシエーション(地方ニュースを供給するロイテル

と並ぶ大通信社)に提供して兩者は事實一體となつた。ロイテルは元來正確なる報道を主義としイギリス新聞界は國家ニュース機關として支持し朝野も種々の獨占的特權を與へて支持したためロンドンが政治と國際ニュースの中心地である條件と相俟つてロイテルは世界最大の通信社たる地位を確保した。特別の政治的色彩はないが大體時の政府を支持する立場をとる。

▲新聞 イギリス本國とアイルランドで現在約百七十種の新聞が發行され大體次の資本系統に屬してゐる。▽ロザミア脚系―デーリー・メール、イヴニング・ニュース、サンデー・デスパッチ、デーリー・ミラアその他▽ビットヴァー・ブルック脚系―デーリー・エクスプレス、サンデー・エクスプレス等▽ペリー兄弟(キヤムロイズ)系―デーリー・テレグラフ・アンド・モーニング・ポスト、他にインヴァレスク・スター・メーヤー系、フイナンシャル系などの新聞團がある。なほイギリスを代表するタイムズはいづれの新聞團にも屬せず部數十萬をこらるゝであるが政府の意向を反映するものとして重きをなす。他にデーリー・ヘラルド(労働黨系)デーリー・ニュース・クロニクル(自由黨系)デーリー・エクスプレス、デーリー・ワーカー(共産黨機關紙)マンチエスター・ガーディア

ン、デーリー・ポスト等がある。

經濟

▲概観 鐵、石炭などの工業資源に恵まれてゐる上、廣大な植民地を擁し廉價な原料を獲得し製品を供給することはイギリス經濟の特徴で、多數の商船と通信網の完備、國際政治の中心地たること、自由貿易制の發達、或は英語が世界的商用語たることなどの諸條件と相まつて久しく世界經濟市場に覇を唱へてゐた。然し國內産業としては農業は國內の需要を充たすに足らず、植民地および國領その他より仰ぎ、工業は高度に發達し製品を輸出してゐる。たゞし賃銀が高率なるため後進工業國によつて漸次壓迫されて市場を失ひつゝあり、日本の綿布、綿糸のごときはその好例であつたが、各地に關稅障壁を高め自國生産品販路の維持擴張に努めてゐる。近年の世界的不況にはイギリスも對抗し得ず自由貿易主義の傳統を放棄して保護貿易主義へ轉向し、一方金本位制より離脱してポンド貨の地位を低めて維持し國內産業を活潑にし輸出貿易の促進をはかり、財政もまた好轉した。たゞし獨伊の進出に伴ふ歐洲の政治危機、屬領各地における獨立運動の襲成、或は支那事變における在支權益(約十二億ポンド)の不安などイギリ

スは新たななる政治經濟上の苦悶にまき込まれてゐる。

▲農業 農業は牧畜業と共に重要産業ではない。耕地面積および農民數は漸減しつつある。一九三八年の耕地面積はイングランド及びウェールズ二四、七九二千エーカー、スコットランド四、五六二千エーカー。燕麥、馬鈴薯、羊、牛等を産するが、いづれも國內需要を満すに足らず、輸入に仰いでゐる。

▲礦業 重工業の中心たる石炭(世界第二位)鐵(世界第四位)に當り一九三七年の礦産物は(單位千トン)

石炭	一〇〇、四九六	鐵	四、三三〇
火成岩	一〇、四九六	石灰石	八、三三〇
一九三七年の總産出價格は二〇八、五七八七三六ポンド。なほ鐵石よりの精選高は鐵三、二六八、六一六ポンド(價額一、〇九二、四三七七ポンド)を筆頭に總價格一、一三九、六九八ポンド。石炭埋藏量は一九七、〇〇〇百萬ト、深さ四〇〇呎といはれてゐる(一九一五年發表)。鉄鑛生産は六、七八二、七〇〇ト(一九三八年)鋼鑛生産は一〇、三九三、八〇〇ト(一九三八年)。			

▲水産業 世界第四位の産額を有す。
 一九三七年 漁獲高 價額
 一、八七五ポンド 一、三三三ポンド

▲工業 工業の中心は紡績業(鐘數は世界第一位)で機械、造船、自動車、鐵鋼、食料品工業などがこれについて盛んである。

▲貿易 (單位千ポンド)

輸入	イギリス製	再輸出
一九三七年 一〇、四九六	五、三三〇	三、三三〇
一九三八年 九、〇〇〇	四、〇〇〇	三、〇〇〇
一九三八年の輸入品(單位千ポンド)		
食料品類合計四三三、三七八	原料品類二四七、六〇三	製造品類三三三、八四二
一九三八年の輸出品(單位千ポンド、再輸出及び植民地製品含まず)		
原料品類五六、九二四(石炭三七、四一一)	製造品類三六五、三七二(鐵鋼製品四一、五九七、機械類五七、九〇七、綿製品類四九、六八四、自動車其他四四、六四〇)	
貿易相手國は屬領地が第一位を占め一九三八年度は輸入の四〇・三九%、輸出の四九・八七%を占め、外國ではアメリカが第一。		
▲日本との貿易 (單位千圓)		
日本より輸入	日本へ輸出	
一九三七年 一六、三三三	一〇、七三三	
一九三八年 一四、三三三	一〇、二六六	
一九三八年(單位千圓)の重要輸入品は生糸二六、一七四、縫邊詰食料品四〇、八三一、絹織物等。		

ドイツ

(共和國)

▲人口 六六、〇三〇、四九一人(一九三六年六月十六日國勢調査。但しザール地方は一九三五年六月の調査による)オーストリア及びチエツコのズデーテン地方の併合により大ドイツ人口は七六、四四四、〇一六人となつた。

▲首府 ベルリン。人口四、二四二、五〇一人(一九三三年國勢調査)

政治

▲政體 共和制。一九一八年十一月九日ドイツ帝國は廢棄され、皇帝ヴィルヘルム二世は退位して共和國となつた。共和國憲法は一九一九年八月十一日發布された。

▲總統 アドルフ・ヒットラー。一九三四年八月十八日人民投票の絶対多数の賛成を得てライヒスフューラー(聯邦總統)として就任した。

▲政治 議會は參議院(聯邦議會、ライヒスラート)と代議院(帝國議會、ライヒスターク)とより成る。但しナチス獨裁のため、議會は名目的存在と見てよい。

▽ナチス ドイツではナチス(國家社會主義)

義ドイツ労働黨の略稱)以外に政黨の存在は認められない。ナチスは一九二八年の總選舉に十二名の代議士を出したのが初めて、一九三三年一月には早くもナチス中心の組織に成功し、一九三六年三月には一國一黨を實現し、新興ドイツの基礎は固く築かれた。(ナチスの經過は昭和十四年版記事参照)

▽チエツコ・スロヴァキア併合 一九三九年三月、チエツコ・スロヴァキア内のスロヴァキア及びルテニアは獨立を宣言し、ドイツ軍隊及びハンガリア軍隊のチエツコ進駐となり、ボヘミア、モラヴィヤ、スロヴァキアはドイツ保護下に歸した。(ルテニア地方はハンガリーに歸屬)かくて一九三八年十月のズデーテン地方の併合と共に、チエツコ・スロヴァキアは獨立宣言以來僅か二十二年で地圖から姿を消したのである。

▽崩潰前のチエツコ 總人口九、八〇七、〇九六人。集約的農業が行はれ、穀物、馬鈴薯、甜菜、ホップ等を産し、舊オーストリアハンガリーの穀倉といはれたほどである。鐵、石炭、石墨、銅、ラヂウム等の礦産物があり、なほ全土の三分の二は森林に覆はれ、

歐洲第一の森林國として木材、パルプの産が多かつた。紡績、ガラス工業も行はれてゐた。日本との貿易は(單位千圓)

Table with 2 columns: Year (1937, 1938), Japan exports to Germany, Germany exports to Japan.

▽獨逸合邦 舊オーストリア共和國は一九三八年三月十二日ドイツに併合し一州となり四月十日の人民投票で確定した。(詳細は昭和十四年版記事参照)合邦前のオーストリアは八州及び首都ウィーンより成り總面積三三、三六九平方哩、人口六、七六〇、二三二人。全人口の三割は農業に従事し、織物、煙草、自動車、樂器、革製品、小動物等の工業品が知られてゐた。オーストリアと日本との貿易は(單位千圓)

Table with 2 columns: Year (1937, 1938), Japan exports to Austria, Austria exports to Japan.

▽メーメル併合 一九三九年三月二十一日、リスマニアはメーメル地方をドイツへ返還した。

▽獨逸不可侵條約 一九三九年八月二十一日兩國間に不可侵條約が結ばれた。

▲内閣 現内閣は 首相兼國防相 アドルフ・ヒットラー

- 内相 ヴァイルヘルム・フリック博士
外相 ヨアヒム・フォン・リッペン博士
農相 シェゾエリン・フォン・クロジツク伯爵
經濟相 ヴォルター・フランク博士
交通相 ドルプミューラー博士
法相 フランツ・ゲルトナー博士
文相 ベー・ラスト
宗教相 ハンス・カール
宣傳相 ヨセフ・ゲッベルス博士
無任所相 ルドルフ・ヘッス
同 ハンス・フランク博士
同 ユルマー・レハト博士
同 ハイリツヒ・ラメルス博士
同 オット・マイスナー博士
同 フォン・ノイラート伯爵

▲財政 以前は豫算及び説明が發表されたが一九三五年以來發表されない。次は政府公表の收入概略である。(單位百萬マルク)

一九三六―三七年 一八四三
一九三七―三八年 一三九四
國債は一九三八年九月末において二三、八二七(百萬マルク)のうち戦前の分は二、八〇七(百萬マルク)である。

社會

▲宗教 國教として定められたものはない一九三三年六月の國勢調査によればキリスト新教徒四〇、八六五、二五八八(全人口の六二・七%を占む)が最も多く、カトリック教徒二一、一七一、九九一人(三三・五%)他のキリスト教徒三四、九二七人(〇・七%)ユダヤ教徒四九九、六八二人(〇・七%)その他二四六六・六〇三人(四%)である。

▲教育 教育はよく發達し、児童は六歳より十四歳まで就學しなければならぬ。一九三七年の調査によれば公立小學校五二、一五三校、児童七、七五八、三〇七人。私立小學校四一四、児童數三三、〇五六人。一九三〇年四月の法律によれば、ドイツの児童は四年間の基礎學校(グランドシュール)の教育を先づうけ、次に國民學校(フォルクシュール)に入學し、この規定の初等學校を卒業し、職業に就いた者は十八歳に達するまで補習學校または職業學校に入學しなければならぬ。フォルクシュールのほかにミッテルシュールがあり、これは英佛語を教授する。中等學校はその目的及び教授科目によつて數種類に分れ、上級學校の預備教育または専門的職業教育を授ける。一九三七年には男子校一五二六校、生徒四六五、六五二人、女子校七五

六校、生徒二〇五、二四三人。

高等専門の知識及び技術を教授する高等學校は高等工業學校をはじめ、家畜、農業、森林、鑛業、商業その他にわたつてゐる。大學は二五校を算へ、一九三七年には學生數四三、一三九人(うち婦人六、二三四人、外國人二、七二四人)教授及び講師五、八八八人。ハイデルベルヒ大學は一三八六年の創設で、ドイツ最古のもの。なほ舊オーストリアには大學三校を有してゐる。

▽ヒットラー・ユングント ドイツ男女青少年團の總稱で、將來のドイツ民族を養成するものとして注目されてゐる。男女青少年は一定年齢の間これに参加すべきもので、男子はユングフォルク(十歳より十四歳)とヒットラーユングント(十四歳より十八歳)とより成り女子はユング・メーデル(十歳より十四歳)とプント・ドイツチエル・メーデル(十四歳より二十一歳まで)とより成る。その組織は最小十五人の單位から形成され、次第に大規模組織に順次編入され、青少年指導員によつて統一されてゐる。現在總團員數約七百萬人。その訓練の内容は國民訓練、心身の鍛練、實力の發達等であり、體育、職業教育等は特に注目されてゐる。なほ訓練後は十八歳から二十五歳までの間に半年間の勞働奉仕に参加しなければならぬ。

▽労働奉仕團制度 愛國精神の涵養と國民教育の訓練を主要目的とするもので、労働の神聖さを自覺させ労働を通じて國家に奉仕させ堅實なる第二國民を養成せんとするものである。すなはち一九三五年六月の労働奉仕法により労働奉仕の義務ある男女中、體格検査に合格せる者を一ケ年に四十萬人限り、すべて一律に共同宿舎に入れ厳格なる規律と指導の下に精神的訓練を受け肉體的體験を積むのである。實際の労働は國民の食糧の自給自足土地の開墾などに主目標を置き、一般労働者の仕事を阻害せざる公共事業に従事する。その構成は全國を二十の労働班とし、各班は分隊小隊、中隊、大隊などから成る。なほ壯丁は入營前に必ず労働奉仕の義務を終るべきものとしてゐる。

▲通信社 デイ・エヌ・ビー(ドイツ通信社)が代表的な強力な國策通信社である。資本金は五百萬マルク、株式は全部政府の所有に屬す。國內の大小二千八百の新聞社中、千七百社はデイ・エヌ・ビーの供給を受く。

▲新聞 ナチスの政權掌握以來、言論指導の目的から新聞院及び宣傳省の統制をもつて臨み、反ナチスの新聞、雜誌、刊行物や煽動的なもの、趣味の低劣なもの、無責任なものなどは漸次廢刊または轉向を餘儀なくされ約四千七百種(一九三三年)の新聞は現在三千種に減少してゐる。

經濟

した。新聞記者は政府の記者養成所で養成される。主要新聞はナチスの機關紙フエルキツシャー・ペオバター、ベルリナー・ローカル・アンツァイガー、ベルリナー・ベルゼン・ツァイツング、ベルリナー・ターゲブラット、ゲルマニア、ベルリナー・モルゲンポスト、ベルリナー・フォルクス・ツァイツング、ナチスの機關紙デア・アリグリフ等(以上ベルリン發行)。地方新聞にはミュンヘナー・ノイエステ・ナツハリヒテン、ハンブルガー・フレムデンブラット、ケルニツシエ・ツァイツング、ライプツィガー・ノイエステ・ナツハリヒテンなど。

▲概観 ドイツの經濟界は世界大戰およびその膨大な賠償金によつて根本より弱められさらには一九二九年來の世界恐慌によつて拍車をかけられた。ドイツは鐵、石炭の埋蔵多く、科學的知識の進歩により盛大な工業國であつたが、これらの原因により國內生産の減少、輸出貿易の減少、失業増大となつて現はれ、經濟政策は輸出貿易の促進をもつて國內經濟の上に向けられたが、國內には原料が不足し、食料品は自給自足するに至つてゐないので、その効果は期し得られなかつた。ナチス政權の確立以來、國內經濟の建直しに

鋭意努力が拂はれ、自給自足を目標に種々の政策が實施された。すなはち失業の撲滅、日用品の騰貴防止、農産物の市場統制、原料品の統制、爲替管理、税制の改革、輸入の管理その他である。輸出は莫大な對外債務決済のため飢餓輸出といはれた程猛烈な輸出促進策をとり一九三六年に至つて、漸く出超となつたが、翌年には入超となつた。蓋しドイツの輸出は自國生産品のみをもつては全く不可能で原料資源の輸入を仰ぐとナチス以前と變りなく、食料品もまた外國に求めねばならぬのでこゝにナチス政策の重要轉換が生れた。即ち國內的には軍備の充實、對外的には不平等條約の撤廢、延いては失地回復による原料、食料品の獲得であり、それは「無血占領」によつて着々と實現されてゐる。更に食糧の自給自足、工業原料の獨立、耕地の開墾、科學的實際化、代用品の研究、輸入の抑壓などを通じて著々効果をあげつゝある。なほ一九三九年八月ソウエートと通商協定が成立した。

一九三七年の葡萄酒五五、四八四(千ガロン) 煙草三三、七七一(千キロ) ホップ一〇、二七六(千キロ)

▲鐵業 鐵産物の大部分はプロシヤに獨占される。褐炭及び加里は世界一位、石炭は世界第二位である。一九三七年の主要鐵産物は(單位千トン)

- 石炭 一八四、三三三 褐炭 一四、〇七六
- 鐵 九、七七一 鋼 一、三三三
- 岩 一、七七一 精製加里 一、〇七六
- 鋳 一、〇七六(一九三七年) 一、〇七六(一九三八年)
- 鋼 一、〇七六(一九三七年) 一、〇七六(一九三八年)

▲工業 鐵工業はルール、鐵鋼業はライン下流、電氣工業はベルリン、織物業はサクソニ地方がそれ／＼中心地をなし、他に精製加里、ガラス、ビールその他の化學、機械工業が極めて盛んである。一九三三年六月の産業調査によれば、工場數一、九〇三、四二〇、従業員數八、九九八、七五三名。

麥酒は世界第一位で一九三八年には四三、六四六(千ヘクトリットル)で年産五百ヘクトリットル以上を産する工場二六九一。

- 酒精は八八、五一四(千ガロン)
- 粗糖二、二一〇(千トン) 精糖 四四四(千トン)

他に煙草の産出も多い。なほドイツには企業聯合が特に發達し、染料、電氣、製鐵製鋼、

機械製造等盛大である。

▲貿易(單位百萬マルク)

一九三七年	輸入	五、六七	輸出	六、〇九
一九三八年	輸入	五、六四	輸出	五、五〇

▽重要輸入品(一九三八年、單位百萬マルク)

- 工業原料品類二、八九〇(棉花、羊毛、鐵礦、石油類)
- 食料品類一、九九七(小麦、バター、コーヒ)
- ▽重要輸入品(一九三八年、單位百萬マルク)
- 製造加工品類四、二八九(鐵鋼製品、化學製品、ワニス、染料) なほ石炭の輸出は三七九

ソウエート聯邦

(社會主義ソウエート共和國聯邦)

▲人口 一六五、八四七、一〇〇(一九三三年一月推定)

▲首府 モスコ。人口三、六六三、三〇〇(一九三三年一月推定)

政治

▲聯邦の構成 一九一七年十一月七日の革命によつて名實とも帝政ロシアが崩潰し、一九一八年七月第五回全露ソウエート會議で憲法が制定された。一九三六年十二月五日の第八回ソウエート大會は新憲法(いはゆるスターリン憲法)を採用した。聯邦は次の十一共和

▽主要相手國は英、米、伊、蘭等。

▲日本との貿易(單位千圓)

一九三七年	日本より輸入	一、六〇〇	日本へ輸出	一、六〇〇
一九三八年	日本より輸入	一、〇〇〇	日本へ輸出	一、〇〇〇

一九三八年の重要輸入品は魚油及び獸油一、八五六、絹織物二、五四五、絹織物一、四四九等。輸出品は合成染料一、七一一、硫酸アソモニウム一四、六三三、八等。

▽貿易協定 一九三九年七月二十九日に日獨貿易協定成る。

國より成立する。

- ロシア社會主義聯邦ソウエート共和國(首都モスコ)
- ソ連全聯邦面積の約七九%を占め六、三六八、七六八平方哩 △ウクライナ社會主義ソウエート共和國(首都キエフ) △白ロシア社會主義ソウエート共和國(首都ミンスク) △アゼルバイジャン社會主義ソウエート共和國(首都バクー) △ゲョルジア社會主義ソウエート共和國(首都チフリス) △アルメニア社會主義ソウエート共和國(首都エリザワン) △トルクメニ社會主義ソウエート共和國(首都アスハバード) △ウズベツク社會主義ソウエート共和國(首都タシケント) △タジク社會主義ソウエート共和國(首都スターリナバ

△カザツク社会主義ソウエト共和国(首府アルマアタ) △キルギス社会主義ソウエト共和国(首府フルンツェ)

▲政治組織 △立法 聯邦の最高機關は社會主義ソウエト共和国聯邦最高會議で聯邦會議と民族會議より成る。聯邦會議の代議員は國民三十萬につき一人の割合で選出され代議員五六九人。民族會議の代議員は聯邦最高會議、自治共和国の最高會議、自治州勤勞代表會議より選出され、聯邦加盟共和国は各二十五名、自治共和国は各十一名、自治州は各五名、民族管區各一人づつをもつて構成され合計五七四人。何れも十八歳以上の男女に選舉權がある。▽行政 聯邦の最高行政機關は聯邦人民委員會で内閣にあたる。▽司法 聯邦の最高司法機關は聯邦最高裁判所及び特別裁判所で聯邦最高會議より選出され、任期五年但し聯邦にあつては三權は完全に分離してゐない。▽聯邦最高會議幹部會 全聯邦の最高機關たる聯邦最高會議の閉會中の執行機關は聯邦最高會議幹部會である。これは聯邦會議、民族會議の合同會議により選出され、最高會議の召集、解散、選舉命令權、現行法制の解釋および訓令の發布、人民投票執行權その他があり、現在はカリニンが議長である。▽聯邦人民委員會 立法、行政を司り、聯邦最高會議に對し責任を負ふ。各國の内閣にあ

たる。

- 議長 モロトフ
- 副議長 チューバ
- 國家計畫委員會議長 ヴオズネセンスキ
- 副議長兼統制委員會議長 コシオル
- 高等教育委員會議長 カフタノフ
- 藝術委員會議長 ナザレフ
- 外務人民委員 モロトフ
- 内務人民委員 ベリヤ
- 國防人民委員 ウオロシロフ
- 海軍人民委員 フリノフスキ
- 重工業人民委員 カガノヴィツチ
- 機械製造工業人民委員 ブルスキ
- 食料工業人民委員 ツオトフ
- 輕工業人民委員 レニスタコフ
- 林業人民委員 アンツエロヴィツチ
- 水運人民委員 エジオフ
- 通信人民委員 ヘルマン
- 航空工業人民委員 カガノヴィツチ(兼任)
- 造船工業人民委員 テヴオスヤン
- 國防工業人民委員 ヴァニョフ
- 軍需工業人民委員 セルゲエフ
- 水産業人民委員 スミルノフ
- 獸肉人民委員 モロトフ夫人
- 鐵道人民委員 バグウリン
- 農業人民委員 ベネヂクトフ
- 穀物牧畜園藝農場人民委員 ユルキン
- 購買人民委員 ボボフ
- 財務人民委員 ツペーレフ

商業人民委員 リウビモフ
外國貿易人民委員 ミコヤン
司法人民委員 ルイヂョフ
保健人民委員 ボルディレフ
國立銀行人民委員 グリチマノフ
▽地方政治 聯邦加入の各共和国には、それそれ中央執行委員會と人民委員會とがある。▲共產黨 共產黨は聯邦内に許された唯一の政黨である。聯邦の主權は共產黨より生れ共產黨の地方的區畫はすなはち聯邦の地方的區畫である。地方ソウエトは州ソウエトへ代表者を送り、州ソウエトの代表が共產黨の最高機關たる黨大會を構成する。黨大會は少くとも三年毎に開かれる。大會は共產黨中央執行委員會、黨監督委員會、中央統制委員會を選出する。中央執行委員會は四ヶ月に少くとも一回は開催されることを要し、事務遂行のため五名の委員より成る書記局を設け、その一人が書記長となる。この書記長は事實上の共產黨の指導者であり、同時にソウエト・ロシヤの支配者である。中央執行委員會は黨務執行機關として政治局(ポルトビエロー)組織局(オルグビエロー)その他書記局を構成する。中央政治及び地方政治は共產黨によつて指導支配され、國家の諸政策、方針は共產黨の指令によるものである。一九三四年一月現在の黨員は二、八〇七、八

八六名(内正黨員一、八七二、四八八名、候補者九三五、二九八名)共產青年同盟(コムソモール)約六百萬人、外に共產黨幼年團(オクチャブリヤータ)などがある。黨組織の最下級單位は細胞(ヤチエイカ)である。▽共產黨中央執行委員會 書記長スターリン
▽政治局員(九名) スターリン、カガノヴィツチ、モロトフ、ウオロシロフ、カリニン、アンドレエフ、ツダノフ、ミコヤン、クルシチエフ。

▽第三インターナショナル(コミンテルン) 一九一九年三月五日、故レーニンによつて創立された。現在世界各國に五十餘の加盟支部を置いてゐる。コミンテルンの實質はソウエト聯邦の外郭機關すなはち共產黨の世界的外郭機關である。

▲ゲ・ペ・ウ ゲ・ペ・ウは一九一七年に組織されたチエカ(反革命防止委員會)の後身で一九二二年に改組されてゲ・ペ・ウと改稱された。反革命、反共產運動の取締彈壓に絶對的な暗黒檢察法を採つたが、五ヶ年計畫の成果が上つた一九三四年内務人民委員部に合併され國家保安部と稱し警察行政に從事することになつたが未だに廣くゲ・ペ・ウの名で呼ばれてゐる。流血の肅清工作はゲ・ペ・ウを中心に行はれたのであるが、一九三八年に入りゲ・ペ・ウにも肅清の手が伸びてきた。

▲共產黨の肅清

一九三六年八月ゾノヴィエフ、カメネフらの要人が反幹部派の陰謀の故を以て銃殺されたのはじめ血腥い肅清の嵐が全露を吹きまくつた。一九三九年までに大臣三二人、元帥五名のうち三人、陸軍將官級の八割、海軍では大將は一人も残さず血祭にあげられた。これはスターリンの獨裁強化、失政の責任轉嫁、戦争及び國防への國民の關心轉換等の理由に歸し得べく、國內情勢の逼迫、生産能率の低下等を物語るものである。然し國內的に動搖の甚しくないのは青年層に深く食入つてをり、且宣傳教化の徹底を示すものといはれてゐる。

▲財政 (單位百萬ルーブル、何れも豫算)

年	歳入	歳出
一九三七年	六、〇六九	六、二九二
一九三八年	三、三六三	三、三三三

大戦前及び大戦中その他の外債は一九一八年廢棄を宣告された。一九三三年一月における國內債は一、〇〇八、八九〇萬對。

社 會

▲教育 技術的教育の盛んなことは注目し得る。一九三四年一月より四年制、七年制、十年制の三種の學校が實施された。男女共學である。都會では工業技術的教育、農村

ではコルホーズまたはサフオーズと聯絡のある技術的教育が施される。▽一九三六年初における小學校數一六四、〇八一、工場學校一、七九七、技術學校二、五七二、労働者學校七、一六、大學及び高等學校五九五、生徒總數二七、三〇三、〇〇〇人、他に科學研究所七九四、大學にはドン大學、ウオロネツ大學、ゴルキー大學を始め總計二十二。文盲の多いの有名だつたロシヤも革命後の努力の結果、一九一七年の文盲七三%に比して一九三三年には僅かに一〇%に減少した。

▲宗教 宗教は許されない。革命後一九一八年法律をもつて教會の設立を禁止し、教會財産の一部を沒收した。一九二九年無神論者にのみその理論の宣傳を許すこととした。しかし反宗教政策に反對してゐる信者はソウエト・ロシヤだけでも千二百萬人以上あると推定されてゐる。

▲通信社 ソウエトを代表するタス通信社はソ聯邦人民委員會(内閣)に直屬する。中央情報機關で國內の通信事業を獨占する。ロシヤ共和国を除く各共和国には各人民委員會に直屬する通信社があるが、タスに服従すべき義務を負ひ、その指導監督下に業務を行ふのでタスの支局と見てよい。

▲新聞 ソウエトの言論機關は政府また黨の手中にあり、その政策遂行に必要な道

具として存在し、凡そ活字を以つて印刷され
る一切の刊行物(新聞、書籍、雜誌その他あ
らゆる印刷物)は教育人民委員部下の文學
及び印刷物事務管理局の検閲を要し、政府
及び共産黨に對して一切の批判を許さない。新聞
は國家事業であり全く官報といふべきもので
政府及び共産黨の政策を民衆に理解させ國內外の
問題に對する態度を率直に表示する。一九三
五年には新聞數約一萬(帝政時代の約三千
倍)この内五千種は地方新聞及び共産黨政治部
の機關紙である。首都モスコフ及び各共和國首
府で發行されるものは中央新聞と稱し指導的
地位にあり、地方新聞はその轉載にすぎぬも
のが多い。主要中央新聞はイズヴェスチヤ(報
道)の意、聯邦政府の機關紙)プラウダ(眞理
の意、共産黨の機關紙)クレステヤンスカヤ
・ガゼータ(農民新聞、共産黨中央委員會機
關紙)等。

經濟

▲概観 ロシヤは元來農業國であり、林業
および礦業に見るべき點があつたが、要する
に原料供給國にすぎず工業方面は諸國に遙か
に遅れてゐた。しかしソウエト聯邦が組織
され、その社會主義的近代工業國家の建設を
目標とする五ヶ年計畫が一九二八年より開始
されるや、農業の地位は一變し今や世界的

工業國として君臨せんとしてゐる。すなはち
第一次五ヶ年計畫は重工業の擴張と富農の打
倒を目標に一九二八年十月より開始され四年
三ヶ月をもつて豫定の計畫を遂行し、鉄鋼、
鋼鐵、電力、石油等を始め諸種の機械工場、
化學工場、鐵道等に躍進的進歩を示した。第
二次五ヶ年計畫は輕工業の充實、農業集團化
を目標に一九三三年より開始され、更に一
九三八年より第三次五ヶ年計畫にうつつた。
これは生産物の質的向上を目標とし、國防軍
需工業、重工業の強化と共に極東開發が問題
とされ、國民消費財は第二義的なものにされ
た感がある。ソ聯當局の發表が信し得るも
のとすれば、石炭を除く工業部門は歐洲第一
位、世界經濟上はアメリカに次ぐ第二位を占
め、工業の國産化一〇〇%、商業國産化九九
%、農業國産化九三%といはれる。然し現在
なほ生活必需品は甚だしく缺乏し、工業製品
は劣質であることは各種の方面から明瞭に看
取されるのである。

▲トラスト ロシヤにおける産業は國家の
所有並びに管理の下にある。大中企業形態を
とるトラストは約六〇〇、このうち二九一の
大トラストは全ロシヤ産業の八〇%を支配し
てゐる。一九三六年における企業數五四、
〇六四(このうち大企業六一、四二八)全勞働
者數は二千五百萬人。大企業に従業する抄師

および技術家は五八四、五〇〇人。

▲農業 一九三四年の耕地面積は二二一、
四〇〇千ヘクタール。このうち個人經營に關す
るもの僅かに二二、〇〇〇千ヘクタールで全面
積の九〇%近くは共營農場(コルホーズ)およ
び國營農場(ソフオーズ)に屬してゐる。一九
三八年における麥類の耕地面積は五六、三九
五千ヘクタール。

▲林業 全土の四四%は森林地帯で、その
大部分は國家の管理經營下にあり、アジヤ、
ロシヤに位する。伐材は未だ十分に行はれて
ゐないが、コーカサスは種々貴重な木材に富
み世界の市場に無盡蔵に供給し得る。

▲鑛業 主要鑛産物は(一九三六年、單位千
トン)

Table with 2 columns: 鑛物名 (石炭, マンガン, 鉄, 銅, 鉛, 鋅, 白金, 銀, 鉑, 石油, 煤油, 天然ガス) and 單位千トン (二六,三〇〇, 一八,〇〇〇, 一四,四四九, 一四,四四九, 一四,四四九, 一四,四四九, 一四,四四九, 一四,四四九, 一四,四四九, 一四,四四九, 一四,四四九)

▲工業 一九一三年には工業は全生産物の
四二・一%、農業は五七・九%を産出した農
業國であつたが、一九三四年には逆に工業八
七・四%に變り、純然たる工業國となつた。

▲貿易 外國貿易は國家の獨占で、外國貿
易人民委員會によつて統制され、現在輸出總
額十五、輸入總額四、輸出入共同機關一、在
外國の輸出入品の買入、販賣權は外國に派

遣されてゐる通商代表に委任されてゐる。
(單位千ルーブル)

Table with 2 columns: 年次 (一九三六年, 一九三七年, 一九三八年) and 輸出入 (輸入, 輸出) with sub-categories like 主要輸出品, 主要輸入品.

フランス

(共和國)

▲人口 四一、九〇五、九六八人(一九三
六年三月調査)
▲首府 パリ。人口二、八二九、七四六
(一九三六年調査)
▲政體 共和制。一八七〇年九月四日ナポ

レオン三世の退位とともに採用された。
▲大統領 アルベール・ルブラン。一九三
二年五月就任。一九三九年四月再任。大統領
の任期は七年。兩議會において絕對多數で選
擧されることを要するため、大統領の地位は
國家の元首として形式的存在にすぎず、政治
の實權は議會にある。

▲議會 上下二院制 ▲元老院即ち上院は
議員數三二四名。うち七五名までは終身議員
である。被選舉資格は四十歳以上の男子で間
接選舉である。一九三八年十月一部改選の結果
は社會黨、共産黨計一七、民主左黨一五、二、
共和聯盟六九、共和左黨一六、民主聯盟二七、
無所屬三三△代議院即ち下院は議員數六一
八名、任期四年、二十一歳以上の男子のみ選
舉權を有する。一九三六年五月の總選舉の結果
は左翼が大勝を占めた。
左翼(人民戰線)一合計三八一名。六二%にあ
た
る。社會黨一四六、急進社會黨一六、世産黨七
二、社會黨各派三七、共産黨各派一〇。
右翼(國民戰線)一合計二二七名。三八%にあ
た
る。共和聯盟八四、共和各派八八、獨立急進黨三
一、人民民主黨二三、保守黨一一。
▲内閣 ダラディエ首相は對獨戰宣言布告以來
強力内閣の組織を計畫してゐたが一九三九年
九月十三日遂に組閣に成功し、自ら首相とな
り外相を兼任するほか新に封鎖(ブロックレ
イ)及び軍需(アーマメント)の二省を創設し
た。顔觸れ次の通り。
首相兼國防相兼外相 エツワール・ダラディエ(留
任急進社會黨)
無任所相 カミーユ・レヨータン(留任、急進社會
黨)
法相 ジョルジュ・ボネ(新入閣、急進社會黨)

文相 イヴォン・アルボス(新入閣、急進社会黨、元外相)
 封鎖相 ジョルジュ・ベルノ(新入閣、共和聯合、元法相)
 蔵相 ポール・レイノー(留任、右翼左派)
 内相 アルベール・サロー(留任、急進社会黨)
 海相 セザール・カンパンキ(留任、急進社会黨)
 空相 ゴ・ラ・ジャンブル(留任、急進社会黨)
 商相 フェルナン・ジャンタン(留任、急進社会黨)
 農相 アンリ・クイユ(留任、急進社会黨)
 海相 ジュール・ジュリアン(留任、急進社会黨)
 土木相 アナトール・ド・モンジ(留任、急進社会黨)
 労働相 シャルル・ボマレ(留任、急進社会黨)
 海運相 アルフォンス・リオ(新入閣、共和社会黨、元海運相)
 恩給相 レオス・ベツス(新入閣、元土木相)
 軍需相 ラウル・ドートロイ(新入閣、元海軍總長)

▲地方政治 九〇縣に分れ、政府の任命する知事が統治する。地方政治の單位たる自治區はコンミュンと呼ばれ、一九三六年には全土に三八、〇一四コンミュンが存在した。コンミュンに次いで郡がある。

▲財政(單位千フラン、何れも豫算)
 一九三八年 歳入 三、九、七、五、七
 一九三九年 歳入 三、九、七、五、七
 一九三九年 歳出 三、九、七、五、七

社 會

一九三八年八月末の國內總額四〇九、五〇五百萬、外債は四、五三五百萬。

▲宗教 宗教は自由。カトリック教徒が全人口の九割を占め、新教徒これにつき約百萬、ユダヤ教徒約十五萬である。

▲教育 初等教育は六歳より十三歳までの児童に義務教育を行つてゐる。一九三六―三七年における小學校數八一、二二三校、生徒數五、三三三、一三三人。一九三七年における公立中等學校(七年制)は三五二校、女學校は一九五校。大學は一七校、一九三七年の生徒總數七二、一五三名、パリ大學は創立一五〇年で最も古く、生徒三一、九九八名。

▲通信社 フランスにおける最古最大の通信社はアヴァスで一八二五年ごろの創始。迅速よりも確實さを特徴としてをり特別の政治的色彩はないといはれてゐるが、外務省より毎年補助金があり、重役が殆んどユダヤ人であるため、これに對し異説を唱へる人もある。ヨーロッパ諸國の通信社にはロイテルと同様親密な地位に立つ。

▲新聞 一般に國際問題に對する關心が少く、內政問題を重視する傾向があり、反動的態度が目立つ。主要新聞は何れもパリで發行されブレ・パリジャン、ジュルナル、マダ

經 濟

ン、パリ・ソアル、アントランシジャン、エグゼルシオール等は特定の政治色彩のないニュース本位の報道新聞である。政治色彩あるものはユマニテ(共產黨機關紙)ポピュレール(社會黨)レビュブリック(急進社会黨)エール・ヌーヴル(急進社会黨)ウーヴル(急進社会黨)ブレ・ジュルナル(左翼系)アクシオン・フランセーズ(極右派で王黨の機關紙)エコ・ド・パリ(右翼的で國家主義的)リベラテ(右派)オールドウル(右派で一流の評論新聞)等がある。その他アミ・ド・ブール、フィガロ等。地方新聞にはデベツシユ・ド・トゥールーズ、ブレ・シロント等。

▲概観 耕地は全國の六割以上に及び適當な氣候と雨量とにより農業は盛んである。石炭、鐵などの工業資源も豊富で機業および美術的工藝品、醸造業などに特色を有してゐる。しかしフランス經濟界を特色づけてゐるものはフラン貨の動向である。フランスは大戦前にあつてはイギリスに次ぐ資本輸出國であつたが、戦後ロシア、トルコなどを失つて投資の回収がつかず、一方アメリカに借債を負つたために逆轉して債務國となり、また大戦中に破壊された北部工業地帯の復興に莫大な資金を要し國債や入超が高まり悪性インフ

レーションが起りフラン貨は暴落した。その對策として一九二八年に平價切下によつて金本位に復歸しフランは漸く安定し、逃避資本および外國資本が流入しアメリカと共に二大金市場となつたが、一九三一年以後英米は金本位制を停止したので、蘭、伊、白、瑞、和等と所謂金ブロックを作り對抗したが、國際經濟に逆行する結果となり、貿易不振、物價の下落、財政の悪化、國內政治、經濟の動搖を招いた。かくて金フランの動搖は一九三二年來數回の内閣更迭の原因となり、一九三八年平價再切下によつて辛うじて小康を保つてゐる。フランス經濟界の前途はなほ多難である。

▲農業 一九三五年の農耕面積は五二、九三三、八〇〇ヘクター。一九三七年主要産額は(單位千トン)
 小麦 一、〇一七
 燕麥 四、四四三
 馬鈴薯 一、九三二
 栗實の生産もまた多く葡萄酒の製造は世界第一位を占め、葡萄酒は三、六一八千ヘクター、葡萄酒一、一三〇千ガロン、サイダー三七九、四〇九千ガロン(一九三七年)シャンパニユとボルドーからの葡萄酒は品質優良で世界的に知られてゐる。養蠶はローヌ河を中心に生糸の産額は一九三七年に六四一萬キログラム。

鐵 業

▲鐵業 鐵礦、石炭を始め鐵鑛土、加里鹽等の埋藏が多い。(一九三七年、單位千トン)
 石 炭 四、三九
 鐵 鑛 三、九三
 鐵 鑛 土 六、六
 岩 鹽 三、三
 加里鹽 四、三

▲工業 鐵工業、精糖業、蠶造業、紡績業などのほか絹織物も盛んである。
 一九三八年の鉄鑛五、九九九(千トン)、鋼鑛六一八七(千トン)、砂糖は七九六、六八六トン、酒精七八、二二六(千ガロン)

植 民 地

▲植民地 (一)内務省管轄に屬する植民地
 —アルゼリア(二)外務省管轄に屬するもの
 —チュニス(保護國)モロッコ(保護國)シリ
 ア及びレバノン(委任統治領)(三)植民地省管轄にあるもの—セネガル、モリタニア、佛領スーダン、佛領ギニア、象牙海岸、ダホメ、ニガール、ダカール、トウゴ(委任統治)ガ
 ブーン、中央コンゴ、ウーバンデシヤリ、チャード、カメルン(委任統治)マダガスカル島(以上アフリカ洲)交趾支那、カンボヂヤ、安南、ラオス、トンキン、廣州灣(租借地)ソ

イ タ リ

▲人口 四四、〇五六、〇〇〇人(一九三九年推定)

(主 國)

マリイ海岸、リユニア、佛領インド、サンビエール及びミクロン、西印度諸島、ニューカレドニア、ニューヘブリヂズ島、大洋洲の諸島などより成る。總面積四、六一七、五七九平方哩、人口六四六、九七五人。

▲貿易(單位千フラン)
 一九三七年 輸入 三、九、七、五、七 輸出 三、九、七、五、七
 一九三八年 輸入 三、九、七、五、七 輸出 三、九、七、五、七

重要輸入品は石炭及びココス、酒類、羊毛、棉花、穀類、石油、重要輸出品は化學製品、鐵及び鋼鐵、羊毛、絹織物。貿易相手國は植民地が最も多く、英、獨、米、ベルギー、スイスなどがこれに次ぐ。

▲日本との貿易(單位千圓)
 一九三七年 日本より輸入 日本へ輸出 三、九、七、五、七
 一九三八年 輸入 三、九、七、五、七 輸出 三、九、七、五、七

主要輸入品は雜糧、食料品一、六七五、生糸二四、六三一、絹織物一、五一五、其他食料品等。(一九三八年、單位千圓)

▲首府 ローマ。人口一、一五五、七三二人(一九三六年四月調査)

政治

▲元首 ヴイトリオ・エマニエーレ三世(一八六九年十一月十一日御生誕)一九〇〇年七月御即位。

▲政體 立憲君主制。議會は二院制で上院は王族及び國王指命の議員より成り一九三八...

諸問題と化した。イタリアが組合國家といはれる所以である。

▲内閣 首相兼内相、陸相、海相、航空相、植民地相 ベニト・ムソリーニ

▲宗教 ローマ舊教が唯一の國教であり、絶対的多数を占め、一九三一年の調査によれば四一、〇一四、〇九六人で全國民の九九・六%にあたり新教徒は僅かに八三、六一八人

經濟

▲概観 全土の七割は農業地で元來農業を主要産業とするが、國內は山地が多く多大の生産高を望み得ず、重工業資源も貧弱で大戰前は常に輸入超過を續け貿易外収入で收支の均衡を保つてゐたが、大戰や世界恐慌の結果貿易關係は悪化した。一九二二年フアシスト政府が成立以來、國內生産力の擴充と自給自足の促進が進められ、農業においては小麦戰爭(小麦の増收を計り多額の輸入を阻止する)と完全開墾事業となつて現はれ八割近くの増産を見た。其他工業方面においては各種重工

▲通信社 代表的通信社は宣傳省の支配下にあるステファニアである。
▲新聞 大戰前の三分の二以下に減少し、政府の嚴重な統制下にある。統制は記者の同業組合、記者の登録制度、記事の検閲、記者學校の設立等によつて行はれる。主なる新聞はローマの四大新聞即ちジョルナル・デイタリア、メッサチエロ、トリブナ、ポポロ・デイ・ローマ、ミラノのコリエレ・デラ・セラ(イタリー)ポポロ・デイタリア(フアシスト黨機關新聞)トリノのガゼッタ・デル・ポポロ、スタンパなど。他に法王國系の新聞がある。

▲農業 一九三七年十二月末農耕地面積は七〇、五四八、一三二一エーカー。主要農産物は北部に穀類、生糸、南部にはオリブ其他の果實が多い。一九三七年の産額は(單位千キントル)

▲工業 纖維工業が大宗で生糸、人絹は世界第三位、絹糸、毛織も世界有数の地位にある。生糸は全般的に行はれ、一九三七年には二、八六一(工場數一、〇六三、鍾數一、三七八、七五四)人絹は一九三七年に二、四三、八八一(工場數三二、鍾數七、三三、八〇一)近年化學工業の進歩著しく硫酸、過燐酸、硫酸銅等の産出あり。他に砂糖、チーズ等。
▲貿易(單位百萬リラ)

アイスランド(王國)

スカンデナヴィヤ半島の西北に位置する島國。人口一七、六九二人(一九三七年十二月末)▲首府 ライキヤヴィク。人口三六、一〇三(一九三七年)▲元首 デンマーク國王クリスチャン十世を戴く▲政治 一九一八年デンマークと合併し、聯合法によつて元首として同國王を迎へることとなつてゐる。永世局外中立國たるため、軍備は一切ない。政治は立憲君主制。議會は世界最古のもので、一千餘年の歴史がある▲經濟 農牧、漁業を主とする。世界三大漁場の一。鱈と鱒が多い。

アイル(自由國)

舊國名アイルランド。グレート・ブリテンの西、アイルランド島の南部を占む。人口二、九六八、四二〇(一九三六年四月調査)▲首府 ダブリン。人口四六八、一〇三(一九三七年)▲大統領 ダグラス・ハイデ(一九三八年當選)▲政治 イギリス自治領。アイルランドの獨立運動は過去數十年にわたつて行はれたが一九二二年十二月アイルランド自由國たることとなり、一九二七年六月に新憲法を採用し、獨立民主國たることを聲明し、アイルランド自由國たる國名を廢し、古語のアイルを採用した。

アフガニスタン(王國)

アジヤ州の西南部、インドの西北に隣し、人口約千一百万▲首府 カブール。人口約八萬▲元首 マホメッド・ツアイル・シヤア▲政治 立憲君主制。一制院。元イギリスの保護國であつたが、一九三二年新憲法を制定した▲國語 ペルシヤ語、アフガン語、トルコ語▲宗教 主としてマホメット教▲經濟 「岩石と流血闘争の國」といはれてゐるやうに肥沃地なく、産業不振で鐵道もない。

アラビヤ地方

アジヤ州の西南部にある大半島で面積約百萬平方哩、推定人口約一千万。長くトルコの支配下にあつたが大戦を契機としてトルコの支配を脱し、現在次の諸王國に分れ他に小會

長國があるが、實權は殆んどイギリスにある。國語はアラビヤ語で多くの方言がある▲サウチ・アラビヤ王國 總人口約四百五十萬、首府はメッカ(人口八萬、回教の始祖マホメットの生地メヂナに墓がある)一八一六年古來メッカを支配したベンラタバ家の一員フツセン・イブン・アリは聯合國側に加盟しトルコに叛旗を翻してヘヂヤズ王國を建てたが後ネヂド國王のイヴン・サウドと戦つて敗れ、イヴン・サウドは一九二六年自らヘヂヤズ國王を兼ね、一九三二年國名をサウヂ・アラビヤ國王と改めた。主なる産物は棗椰子、麥類、果實、獸皮、羊毛その他▲イエーメン王國 アラビヤ半島の西南端紅海に臨んだ獨立國で面積約七萬五千平方哩、人口約三百五十萬。千餘年前よりイエーメンの支配者たるイマム・ザイドの後裔たるザイデイ王朝が君臨し、國王はザイデイ・イマム。國土は一體に二千乃至三千呎の高地であるが適度な雨量と地味あるため農牧業が行はれ麥類、棉花、コーヒ、獸皮、岩鹽、眞珠等の産がある。首府はサナ(人口約二萬五千)イエーメンを中心に英伊の確執が行はれたが、一九三八四月の英伊協定の一部としてイエーメンの領土保全尊重が制定された。なほ國王は宗教上でも回教の主権者である▲コーウエート王國

ペルシヤ灣の北西海岸にあり人口約五萬。國王はアーメド・イブン・ジャビール・エル・スバー。首府 コウエート。實權はイギリスにある▲オースマン王國 アラビヤ半島の東端に位置し面積約八萬、千平方哩、人口約五十萬。首府はムスカット(人口約四千五百)國王はザイド・ザイド・ビン・タイムール、國土の大部分は沙漠及び山地で、産物はコーヒ、鹽、粟椰子、眞珠等。貿易は主としてインドと行はれる。實權はイギリスにある▲日本との貿易 (單位千圓)

Table with trade data for Kuwait: 1937, 1938, 1939. Columns for Japan exports and imports.

アルゼンチン(共和國)

南アメリカの南端に位置す▲首府 ブエノスアイレス。人口二、三二七、七五五(一九三八年一月推定)▲大統領 ロバート・オルチス博士(一九三八年二月就任)任期は六年。間接選挙▲政治 共和制。議會は二院制▲經濟 農牧國であつて農牧地面積二七二、五〇〇千ヘクタール。有名なパンパ平原を中心に、主なる農産物は小麦、燕麥、玉蜀黍、亞麻仁など。牧畜では羊、牛、馬、羊毛、獸皮及び獸肉の産多くその加工が行はれ、その他石油、煙草、棉花等も多い。一九三八年の輸入は一

四六一百萬ベツで、主なるものは織物、燃油、鐵及び機械類。輸出は一、四〇九百萬ベツで、農牧關係品が殆んど全部を占め南米第一の商業國。移民はイタリイ、スペイン人を主としてゐる▲日本との貿易(單位千圓)

Table with trade data for Argentina: 1937, 1938, 1939. Columns for Japan exports and imports.

アルバニヤ(王國)

ヨーロッパの南部、バルカン半島にあり首府 テラナ。人口三〇、八〇六(一九三〇年)▲元首 一九三九年四月アーメッド・ツォーグ一世蒙塵し王位はイタリイ國王に獻上さる▲政治 立憲君主制一九二二年トルコより獨立、一九二四年君主制採用、一九二五年共和國となり、一九二八年再び君主制を採用、大統領アーメッド・ツォーグが國王第一世として即位。議會も一院▲經濟 原始的で自給自足の程度に過ぎぬ。▲伊の統治下に入る アルバニヤはアドリア海の要衝であるためイタリイとユーゴスラヴィアとは多年アルバニヤに對する統治を争つたが、伊は一九二六年に攻守同盟に成功、更に一九三九年四月伊治下に編入された。(詳細は三三六頁

アンドラ(共和國)

フランスとスペインの國境ピレネー山脈中にあり面積一九二平方哩、人口五千の小國で毎年九六〇万フランに貢ぐフランスの保護國。國語はカタロニヤ語。牧羊が主産業。

イラク(王國)

アラビヤ半島にあり▲首府 バグダッド。人口四九九、四一〇(一九三五年推定)▲元首 フェーザル二世(一九三九年四月四日即位)▲政治 立憲君主制で二院制。世界大戰中トルコより獨立しイギリス委任統治の下にあつたが、一九二七年獨立國となつた▲教育 大學はない。國語はアラビヤ語、クルヂス方言、トルコ語など▲經濟 地味豊饒なるも灌溉を要する土地多く、主要産業は石油である。アングロ・イラン石油會社のカナクイン石油會社、英米佛合辦の國際的なイラク石油會社などによつて經營され、一九三八年の産額四、二七二、〇〇〇ト▲日本との貿易(單位千圓)

Table with trade data for Iraq: 1937, 1938, 1939. Columns for Japan exports and imports.

イラン(王國)

舊國名はペルシャ、アジヤ洲の西南部に位置す。▲首府 テヘラン、人口約三十六萬。▲元首 リザ・カーン・パールヴィ(一九二六年即位) ▲政治 立憲君主制 ▲經濟 礦物の埋蔵量は多いが十分採掘されてゐない。しかし石油の産出は世界有數。但し殆んどアングロ・イラン石油會社(イギリス資本)の獨占で、その産出高は一九三八年に約一千萬ト。羊毛、棉花、阿片、煙草、穀類、ペルシャ絨毯、果實などを産す ▲貿易 政府の獨占、輸入は綿織物。輸出は石油、絨毯類。貿易相手國は英、露、佛 ▲日本との貿易(單位千圓)

Table with 2 columns: Year (1937, 1938) and Trade (Imports, Exports)

一九三七年 日本より輸入 三、六三三 日本へ輸出 一、五九〇
一九三八年 同前 同前

インド(英領)

大部分は英領であるが、インド新統治法により、ビルマ及びアデンが分離された。一九三一年における人口は英領二八九、四九一、二四一。その他の地方は六三、三四六、五三

七で總人口三五二、八三七、七七八 ▲首府 ニュー・デリー。人口四四七、四四二(一九三一年) ▲總督 イギリス皇帝はインド皇帝を兼ね、總督を任命する、任期五年。現總督はリンリスゴウ侯爵(一九三六年四月就任) ▲政治 一九三七年四月一日より實施されたインド統治法はインドに聯邦制度を布き、英領インドと土侯國を單一政治組織の下に置き英領インド各州に高度の地方自治制度を認め、このうち地方自治制度は實施されてゐるが、聯邦制度は未だ實施されない。それは、全土侯國人口の半を占めかつ全土侯國に割當てられた聯邦上院議員の半數を選出するに足るだけの土侯諸國が聯邦加入を承認する時に成立することを條件とする ▲中央政治 立法機關は總督及び議會である。なほ英本國にはインド省がある。議會は上院と下院より成る。總督は議會に諮ることなく緊急の處置を講ずることが出来る。行政機關は總督府執行委員會で、皇帝の任命による ▲地方政治 英領インドは現在七地方に分れ、知事によつて治められてゐる。このうち十一州は總督、六州は英本國の管轄下にある。各州に議會があり、知事の下に内閣が構成されてゐる。これら英領インドのほか英皇帝の宗主權下にある封建的な土侯國が廣く各地に存在してゐる

る ▲インドの獨立運動 イギリスの從屬的關係に對する不滿は古くより胚胎し、統治法の改正によつて完全なる自治または獨立を目指す運動は大戦後更に猛烈となり、その中心勢力はマハトマ・ガンディーのひきかゝる國民會議派(現領袖はネール)で、他に回教徒聯盟、自由黨等もある。國民會議派は新統治法の聯邦制度に反對してゐる。(詳細は昭和十四年版年鑑参照) ▲宗教 宗教の種類甚だ多く一九三一年の國勢調査により大別すればヒンズー教二三九、一九五、一四〇人、回教徒七七、六七七、五四五人、佛教徒一二、七八六、八〇六人、原始教八、二八〇、三四七人、キリスト教六、二九六、七六三人、シーク教四、三三五、七七一、ジャイナ教徒一、二五二、一〇五人、ゾロアスター教徒一〇九、七五二人、ユダヤ人二四、一四一人(いづれも英領インドのみ) ▲國語 住民は四十五種族、二千四百種姓となるため、宗教と國語ともに雜多を極める。その主なるものは西ヒンズー語、ベングル語、パンジャブ語、ビルマ語、マレイ語、テルギー語、タミリー語、カナリ語、オリエ語など二百六十餘種に達してゐる。住民の九〇%は文盲である ▲經濟 農業を主要産業とし至人口の三分の一は農耕により生計を

立てゝゐる。一九三六―三七年の主要物産は 米 三、六三三、三三三 小麦 九、八六二、三三三 棉花 六、六二二、二二二 黄麻 九、六二二、二二二 亞麻仁 四、二二二、二二二 茶 三、三三三、三三三 落花生 三、三三三、三三三 芥末 三、三三三、三三三 石炭 三、三三三、三三三 石油 三、三三三、三三三 鉛 三、三三三、三三三 マンガン 三、三三三、三三三 金 三、三三三、三三三

▲牧畜 牛を第一に羊、山羊、水牛、象等 ▲貿易(單位千圓) 輸入 輸出 一九三七年 一、二二二、二二二 一、二二二、二二二 一九三八年 一、二二二、二二二 一、二二二、二二二

輸出入とも英、米、獨との取引が多く、主なる輸出品は棉花、黄麻類、茶、米などで、主要輸入品は綿織物、機械、金屬類である。 ▲日本との貿易(單位千圓) 日本より輸入 日本へ輸出 一九三七年 三、三三三 三、三三三 一九三八年 三、三三三 三、三三三

日印貿易は英印貿易について第二位、獨、米、ビルマと相並ぶ。日本よりの主要輸入品は綿織物類を主とし六七、八七九、綿織系二

○、五〇二、人絹織物一一、六二七、其他各種の商品にわたる。日本への主要輸出品は棉花一一三、三三三(單位千圓、一九三八年)。

ウルグアイ(共和國)

南米の南部、大西洋に面す ▲首府 モンテビデオ。人口六八二、六六四(一九三七年) ▲大統領 アルフレッド・バルドミール(一九三八年選任) 任期四年 ▲政治 議會は二院制で、上院議員三十名、下院議員九十九名。任期いづれも四年、十八歳以上男女の普選による ▲經濟 農牧を主とし、全面積の六〇%は牧場。一九三七年の全輸出額九千八百萬ペソのうち八〇%は家畜及び畜産品で輸出入ともイギリスが首位を占めてゐる ▲日本との貿易(單位千圓)

Table with 2 columns: Year (1937, 1938) and Trade (Imports, Exports)

一九三七年 日本より輸入 一、二二二 日本へ輸出 三、三三三 一九三八年 同前 同前

英領ボルネオ

ボルネオ島の北部を占め、面積三一、〇〇〇平方哩、人口二七〇、二二三(一九三一年) ▲首府 サンダカン。人口一三、八二六 ▲政治 ブルナイ、スルー、サラワクなどの酋長

國より成り、イギリスの保護地、總督の管理下にある ▲經濟 國內は山地が多い。主要産物は木材、サゴ椰子、煙草、ゴム、米、コーヒ香料その他の農産物、石油、石炭、鐵、金など ▲日本との貿易(單位千圓)

Table with 2 columns: Year (1937, 1938) and Trade (Imports, Exports)

英領マレイ

マレイ半島の南部にあり、聯邦と非聯邦とより成る。 ▲政治 各國に支配者(酋長)の議會があり、別に聯邦議會が構成される。イギリスは高等委員を派遣するが現在は海峽植民地總督の兼任 ▲經濟 ゴム、コブラ、米。鑛業では錫を第一に金、タンクステン、石炭。木材も多い。

非聯邦マレイ諸國 〓ジョホール、ケダ、ペリス、ケランタン、トレンガヌより成る。いづれもイギリスの保護領で、ジョホールはゴムの栽培で知られ、邦人の經營者が多い

▲日本との貿易 (単位千圓)

日本より輸入	日本へ輸出	
一九三七年	三、六六六	四、七五五
一九三八年	三、六六一	四、八六一

エクアドル (共和国)

南米の西部、太平洋沿岸にあり▲首府 キト。人口一八二、三五〇 (一九三六年)▲大統領 アウレリオ・モスクエラ・ナルヴェズ (一九三八年十二月當選)▲政治 一九二九年の憲法によれば大統領は國民により選挙され任期四年。議會は二院制であつたが、一九三五年九月の革命によつて廢止された▲國語 スペイン語を主要語とする▲經濟 ココアは世界産額の約三分の二を占め、年産額二萬乃至三萬。輸出の三分の一を占める。その他コーヒー、石油、シアン化銅物、金、銀なども重要な輸出品で、米、バナナ類などの産出も多い▲日本との貿易 (単位千圓)

日本より輸入	日本へ輸出	
一九三七年	一、七四〇	一、七三三
一九三八年	一、七〇三	一、七三三

エストニア (共和国)

ヨーロッパの北部、ソウェイト聯邦の西側に在り▲首府 タリン (レヴァアールの改稱)

稱)人口一四六、五六〇 (一九三八年推定)

▲大統領 ユンスタンチン・パエツ (一九三一年當選)▲政治 一九三六年二月人民投票により新憲法が制定された。これによれば大統領の任期六年、上下二院より成る▲國語 小學校ではロシア語、ドイツ語、スエーデン語、レット語等の諸國語を使用▲經濟 畜産業、農業が主要で全人口の七〇%が従事。バター、チーズ等の酪農品、木材、パルプ、紙等が主要輸出品。鑛業は石油。政治上、經濟上イギリスの支配力が大きい。

エチプト (王國)

アフリカの北岸、ナイル河の流域を占む▲首府 カイロ。人口一、三〇七、四三二 (一九三七年調査)▲元首 ファールク一世 (一九三六年四月二十八日即位。幼少のため攝政會議が設けられてゐる)▲政治 一九一四年までトルコ領、大戦によりイギリスの保護國となつたが、一九二二年に條件付で獨立したイギリスは軍事、外交その他に特權または干渉權がある。議會は兩院制▲經濟 全人口の六二%は農民で地味豊かに棉花を第一に小麦、甘蔗、大麥などを産する。一九三七年の主要産物には鐵五、一七、〇〇二、石油一七、〇、八六〇、エチプト棉花生産高は

一九三六年	一、一七〇、一七〇、一七〇、一七〇
一九三七年	一、一七〇、一七〇、一七〇、一七〇

▲日本との貿易 (単位千圓)

日本より輸入	日本へ輸出	
一九三七年	三、三三三	四、二一八
一九三八年	三、六九七	四、三三三

オーストラリア (濠洲)

(イギリス自治領聯邦)

面積二、九七四、五八一平方哩。人口六、八六六、五九〇 (一九三七年)▲首府 カンベラ。人口九、七八七 (一九三六年)▲總督ゴリーエ卿 (一九三六年一月就任)▲政治 一九〇一年イギリス自治領聯邦として成立し六州、二准州より成る。聯邦議會は二院制▲經濟 羊の牧養は世界第一位、羊毛は世界の四分の一を生し第一位。一九三七年末には一三、八五四、〇〇〇頭。羊毛産額は一九三六―三七年に九八二、八三一、四四九。その他牛も著名で肉類、乳製品、皮革の産が多

い。農産物では小麦を第一とし一九三六―三七年には一五一、三八九千ブツセル。他に大麥、燕麥、玉蜀黍、甘蔗等。一九三六年末の穀物價格は約十三億磅で、この約半數は金その他銀、石炭、鉛などを主とする。近年極端な保護貿易政策をとつてゐるが工業は未だ盛んではない▲貿易 輸出は羊毛を第一とし輸入は機械、絹製品、毛織物、石油など。イギリスが主要相手國▲日本との貿易 (単位千圓)

日本より輸入	日本へ輸出	
一九三七年	七、〇〇〇	一、五三三
一九三八年	六、三三六	一、五三三

一九三八年の主要輸入品は人絹織物一七、三〇三、主要輸出品は羊毛六四、八八二 (単位千圓)。

▲フィジー諸島 太平洋にある英領諸島の中心をなす。總督及び西部太平洋の高等委員が派遣されてゐる。北米、濠洲間の航海、通信の要路にあたり、イギリスは貯炭所を設け、各國船舶に便宜を與へ、太平洋上、重大な位置を占めてゐる。面積七、〇八三平方哩、人口二〇一、〇八六。首府はスベ、人口一、八六三 (一九三六年)甘蔗、コブラの産がある

オランダ (王國)

ヨーロッパの北部、北海に臨む▲首府

王城の所在地はヘーグ。人口四九〇、一八五行政上の首府はアムステルダム。人口七八八三三三 (一九三八年一月)▲元首 ウイルヘルミナ・ヘレナ・パウリン・マリヤ女皇 (一八九〇年即位)▲政治 立憲君主制。議會は第一議會と第二議會とより成る▲經濟 穀物、馬鈴薯、甜菜等を産し、酪農業、造船業、精糖業、醸造業、漁業等行はる▲植民地 (一) 蘭領東インド セレベス、スマトラ、ジャワの諸島、ボルネオ島南部、マラッカ群島より成り、甘蔗、米、ゴム等を産し (二) 蘭領西インド キュラサオ群島 (三) 蘭領グイアナ (スリナム) 南米の北海岸にあり、砂糖、ココア、コーヒー、米等を産す。(蘭領東インドはその項を見よ)▲日本とオランダ本國との貿易 (単位千圓)

日本より輸入	日本へ輸出	
一九三七年	一、四〇〇	一、三〇〇
一九三八年	一、四〇〇	一、三〇〇

海峽植民地 (英領)

マレー半島の南部にあり、シンガポール、ピナン、マラッカ、ラバンより成る。面積一、三五六平方哩。人口一、三四四、五四五 (一九三八年)▲首府 シンガポール▲政治

カナダ (英自治領)

イギリス領で總督が統治する▲經濟 主要物産はゴム(輸出の過半を占む)銀など、他にコブラ、パインアップル、香料などありシンガポールは全人口の過半を占め、マレー物産の中心にあたり、貿易上、軍用上重大なる位置にある。全人口の半は支那人で、他は世界各國人が雜居する▲日本との貿易 (単位千圓)

日本より輸入	日本へ輸出	
一九三七年	一、四〇〇	一、三〇〇
一九三八年	一、四〇〇	一、三〇〇

北アメリカ州の北半を占め、九州及び一地方より成る▲首府 オッタワ。人口一、二六、八七二 (一九三一年末)▲政治 イギリス自治領。總督、内閣、議會があり、議會は二院制 (總督 トウイーズミア卿 (一九三五年十一月就任)▲經濟 土地廣大のため大規模農業經營に適してゐる。一九三七年度の主要産物は (単位千ブツセル)

小麦	一、八四〇	燕麥	三、六、四三
大麥	一、一四一	ライ麥	一、七七一

牧畜もまた盛んで牛、豚、羊、家禽類が飼育され種々の酪製品を産する。全国土中一、二五四、〇八二平方哩は森林でバルブ、木材の産が多い。漁業では鮭、鰻、鱒、鯉等▽鐵山業 一九三八年の鐵山物の主なるものは、
 鉛 四、三三三、三三三ポンド 金 一、〇〇〇、〇〇〇ポンド
 銀 三、〇〇〇、〇〇〇ポンド 銅 一、〇〇〇、〇〇〇ポンド
 白金 六、〇〇〇、〇〇〇ポンド 石炭 一、〇〇〇、〇〇〇トン
 石油 六、〇〇〇、〇〇〇トン アスベスト 二、〇〇〇、〇〇〇トン
 等でニッケル、アスベストは世界一。一九三七年の鉄鋼八九七、八五五、鋼線一、四〇一、〇〇一ト▽工業 全国的に水力電氣が利用されてゐる。一九三六年現在の工業投下資本額は三、二七二百万、工場數二四、二〇二、生産總額は三、〇〇二百万(電氣事業を除く)
 ▼貿易(單位千ドル)

一九三六—三七年	輸出	輸入
一九三六—三七年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一九三六—三七年	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇

主要輸出品は新聞紙、小麦、金塊、ニッケル、銅等。輸入は石油、石炭、機械類、自動車部品、棉花、砂糖等。相手國は英、米、▲日本との貿易(單位千圓)

キユーバ(共和國)

北米西インド群島中の一島國▲首府 ハヴァナ。人口五六〇、三五六(一九三七年)▲大統領 フエデリコ・ラレド・ブルウ博士(一九三六年十二月就任) 任期四年▲政治 一九三五年新憲法採用。議會は二院制▲國語 スペイン語と英語▲經濟 主要産物は砂糖(産額世界第二位)と煙草で、他にコーヒ、ココア、穀物、馬鈴薯、果實、礦産物も多い。砂糖は世界第二位で一九三七年に二、九七〇千トンを産し全輸出の七三%、煙草は一六%。貿易相手國は主として米國▲日本との貿易(單位千圓)

一九三七年	日本より輸入	日本へ輸出
一九三七年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
一九三八年	一、〇〇〇	一、〇〇〇

輸入は綿織物類。

ギリシヤ(王國)

バルカン半島の西南端にあり▲首府 アテナ。人口三九二、七八一(一九三四年)▲元首

グワテマラ(共和國)

中央アメリカに在り、全人口の六〇%はインディアンである▲首府 グワテマラ。人口約一六四、七七二(一九三八年)▲大統領 デヨイチ・ウビコ將軍。一九三二年就任、一九四三年まで▲政治 議會は一院制▲經濟 コーヒ、バナナ、木材、砂糖を産す。礦産物の埋藏は十分開發されてゐない。貿易相手國は主として米國▲日本との貿易 一九三八年に日本よりの輸入廿五萬圓、輸出二萬一千圓。

一九三七年	日本より輸入	日本へ輸出
一九三七年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
一九三八年	一、〇〇〇	一、〇〇〇

主要輸入品は綿織物類。

コスタリカ(共和國)

中央アメリカに在り。國民の多くはスペイン系で國語はスペイン語▲首府 サン・ホセ

セ。人口七〇、五六八(一九三八年)▲大統領 ドン・レオン・コテス・カストロ(一九三六年五月就任。任期四年)▲政治 議會は一院制▲經濟 良質のコーヒが主産物で、その他バナナ、ココア、金、銀などを産し、貿易相手國は主としてアメリカ▲日本との貿易 一九三八年の日本よりの輸入は綿織物を主として二百十三萬圓、日本への輸出は七十一萬圓。

コロンビヤ(共和國)

南アメリカの北海岸に在り。國語はスペイン語▲首府 ボゴタ。人口三三二、四〇〇(一九三八年推定)▲大統領 エドワルド・サントス博士(一九三八年當選) 任期四年▲政治 議會は二院制▲經濟 獨時の良質なコーヒを産し一九三六年の輸出は三、九八〇、六六〇袋(六十キ入)で輸出の大半を占め、このうち二八一九、一三〇袋はアメリカへ送られる。他に煙草、米、ココア、バナナ等がある。他に煙草、米、ココア、バナナ等がある。▲ペルーとの國境紛争は百年以上にわたるもので、一九三二年再燃し一九三四年協定が出来た▲日本との貿易 日本より輸入四十二萬圓、輸出九十一萬圓(一九三八年)

サルヴァドル(共和國)

中央アメリカ、太平洋に面し火山國である▲國語 スペイン語▲首府 サン・サルヴァドル。人口一〇二、三二六(一九三七年)▲大統領 マクシミリアノ・ヘルナンデス・マルティネス將軍。任期四年。一九三五年再選、議會は一院制▲經濟 中央アメリカ中の最小國で人口の密度最も高く、全土の八割まで耕作され世界最高の耕作率を持つてゐる。コーヒの單一栽培で、その耕作面積は二十六萬五千エーカー。産出高は一九三七年に一〇八七五〇千ポンド、米國へ大部分送られ全輸出の八〇%を占めてゐる▲日本との貿易 一九三八年の日本より輸入二萬八千圓、輸出六千圓。

サン・マリノ(共和國)

イタリア半島、イタリアの領土に圍まれた世界最小の共和國である。面積三八平方哩。人口一四、三八九(一九三八年)一院制の議會がある。産業は農牧。

シヤム(タイ)を見よ

スイス(共和國)

ヨーロッパの中部にあり▲首府 ベル

スエーデン(王國)

ヨーロッパスカンディナヴィヤ半島にあり▲首府 ストックホルム。人口五五六、九

一九三七年	日本より輸入	日本へ輸出
一九三七年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
一九三八年	一、〇〇〇	一、〇〇〇

主要輸出品は合成染料四七六、時計類二、四四八、機械類等(單位千圓、一九三八年)

五四(一九三八年)▲元首 グスタフ五世(一九〇七年即位)▲政治 立憲君主制、議會は二院制▲經濟 穀物、馬鈴薯等の農産物のほかに鐵礦の産多く一九三七年には一四、九五三三(大部分は輸出) 鉄鐵は六四七千ト。他に銀、鉛、亜鉛、マンガン等。農業經營には電力が多く利用される。また森林に富み、木材パルプ、紙の製造、輸出が盛んである▲日本との貿易 (單位千圓)

日本より輸入 日本へ輸出
一九三七年 二、四三〇 四、九七五
一九三八年 一、八七五 四、〇〇〇
主要輸入品は綿織物二、七二六、主要輸出品はパルプ六、二七六(單位千圓、一九三八年)

スペイン(共和國)

ヨーロッパの西南部▲首府 プルゴス(人口四三、四四五)とヴァラドリッド(人口九七、五二八)の二ヶ所にあり。なほ革命前の首府はマドリッド(人口一、〇四八、〇七二)以上一九三四年推定人口▲大統領 フランシスコ・フランコ將軍 ▲スペインの統領(エル・カウデイリヨ)として一九三七年十二月二日ブルゴスにて就任▲革命の終結 一九三六年七月十七日スペインの左翼政府に對抗して起つたフランコ將軍は全土を席巻し、一九

三九年一月には人民戦線派の首都バルセロナを落し、最後の據點たるマドリッドも二月二十八日に攻略、こゝに二ヶ年半の内亂は終結した。革命の發端については昭和十四年(一九三九年)四月のグワテマラを最初に、獨、伊、ニカラガ、日本等が續き、マドリッド陥落に際し英、米も遂に承認せざるを得なくなつた。フランコ將軍はスペインの再興に全力を注ぎ、一黨治國の制を樹てフランコ黨をスペインの政黨となし名實共に黨、政府、軍の統率者となつた▲經濟 住民の四分の一は農業に従事し穀物、馬鈴薯、甜菜、果實を産する。鐵産物は石炭、硫黄、鐵、錫、亜鉛、鉛、水銀などである。オリブ油は世界一、葡萄酒は世界三位。一九三三年の産額は葡萄酒五二四六一千ガロン、オリブ油六、二〇三、四二〇ハンドレッドウェイト▲植民地 リオ・デ・オロおよびアドラル、イフニ、スペイン領モロッコ、スペイン領ギネア、フェルナン・ド・ポイその他いづれもアフリカにあり、總面積一、二八、六九六平方哩、人口九三三、六八六▲日本との貿易 (單位千圓)

一九三七年 日本より輸入 日本へ輸出
一九三八年 一、八七五 四、〇〇〇
輸入は綿織物類、雜貨。貿易の中心地コロンボは印度洋の心臓と呼ばれる。

セイロン(英領)

インドの東南海洋にあり、面積二五、三三二平方哩。人口五、三〇六、八六三(一九三一年)▲首府 コロンボ。人口二八四、一五五(一九三二年)▲政治 イギリスの直轄植民地で總督が統治し、議會がある▲經濟 米その他の穀物、カカオ、ゴム、椰子、肉桂、茶等の農産物。礦物では黒鉛、寶石等▲日本との貿易 (單位千圓)

タイ(王國)

舊名シヤム。一九三九年六月廿日改稱。アジャラの南部、印度支那半島の中央部▲首府 バンコック。人口約九十五萬▲元首 アナンダ(一九三五年三月即位、御幼少につき攝政制がおかれた)▲政治 專制君主制であつたが一九三三年より立憲君主制。議會は一院制で二十歳以上の男女には選舉權がある▲宗教 佛教が壓倒的勢力を占め、全人口の九割五分は佛教徒である。佛教寺院一七、六五一、

ダンチツヒ(獨領)

ヨーロッパの中部、バルチック海に面し面積七五〇平方哩。人口四〇七、〇〇〇▲政治 大戦前はドイツ領であつたが、ヴェルサイユ條約で國際聯盟の管下に移され、ポーランドへ海港を提供するために一九二〇年に自由市として開設され、ポーランドの勢力範圍下におかれてゐた。所謂ポーランド通商の北端に立し、海峽頭びにバルチック海の要衝として重大な位置を占めてゐる。國際聯盟よりハイコミッションナーが派遣され、ドイツ復讐まではカール・バークホルト博士(一九三七年二月就任)が就任し、別に國民議會と元老院とが構成されてゐた▲歐洲大戦とドイツ復讐 ドイツは植民地及び失地回復を重要な外交基調として看々成功し、ダンチツヒもその一項にあげられてゐたため、常にポーランドをめぐつて歐洲政局に問題を投じてゐたが一九三九年四月ヒットラー總統がダンチツヒ回復に對する強固なる意思を表明し、ポーランドまたこれを拒絶する意圖に出で遂に危機は表面化するに至つた。これより先きダンチツヒ内のドイツ・ナチス派もドイツ復讐を目標に數年にわたつて運動をすゝめてをり、斷

一九三七年 日本より輸入 日本へ輸出
一九三八年 一、八七五 四、〇〇〇
▲日本との貿易 (單位千圓)

チエツコ・スロヴァキア

一九三八年のミュンヘン會議によつて危機は去つたかと思はれたチエツコ・スロヴァキアは、一九三九年三月十日、スロヴァキアのチソ内閣の離脱に端を發し、スロヴァキア及びルテニアの獨立宣言となり、遂に共和國は崩壊するに至つた。(詳細は國際外交及びドイツの項参照)

チリ(共和國)

南アメリカの南部太平洋岸に位す▲首府

全人口の八割三分は農民で主要産物は米である。一九三六―三七年の産額三、三九千ト植付面積は九、九七六千ヘクタール。米の輸出は全輸出額の過半数以上を占め、輸出超過をなす。その他チルク材、ゴム、錫、タンクステン、石炭、亞鉛、牛、水牛等。礦産物は豊富であるが開發は未だ十分でない▲列國との關係 通商、財政、司法等に不利益な片務的條約を負ひ、政府大官中には英、佛、米、獨その他の外人があつて自國の權益を守護してゐるので、漸次これらの改革を實行しつつある。但し英、支、デンマーク、ベルギーその他の投資が多く、殊にイギリスは官界、財政、重要産業、金融等に絶對的勢力を持ち支那は商業上活躍してゐる。日本との關係は近年親密となつた。

一九三七年 日本より輸入 日本へ輸出
一九三八年 一、八七五 四、〇〇〇
日本は輸入國中マレー聯邦に次ぐ第二位で綿織物類一四、九〇五を第一とし、輸出には米二、七九九、木材一、二三六を主とする。(一九三八年、單位千圓)

サンチャゴ。人口六九六、二三一（一九三〇年）▲大統領 アギレ・セルダ（一九三八年十二月就任）任期六年▲政治 議会は二院制である。ペルー及びボリビアとの國境紛争が有利に解決して北方の地を得國力充實しアルゼンチン、ブラジルと共に南米のABC三國といはれてゐる▲經濟 南北に細長いため氣候の影響を受けること多く、中部以北の乾燥地帯は沙漠砂原となり、アタカマ沙漠はこの國第一の富源たる硝石の埋藏多く世界第一位またアンデス山地に産する銅は世界第二位で金、石炭も多い。中部地方は主要農牧地、南部の冷寒地帯は森林多く漁業も行はれる。硝石工業の副産物たる沃度は世界消費の七割近くを供給し一九三八年の販賣高八三二、二九〇。硝石はかつて世界需要の七割以上を供給したが、最近は綜合肥料の進歩により需要が著減した。主要生産高は

硝石 一、四〇〇、三三三（一九三七年）
銅 四三、一六三（一九三七年）
金 三、五三〇（一九三七年）
石炭 一、六八八（一九三七年）
その他鐵、銀、マンガン、モリブデン等。
▲貿易 主要輸出品には硝石、沃度、銅など、英、米、獨などと取引多く、輸入では織物、

機械、石油、砂糖など、相手國は米、英、獨ペルーなど▲日本との貿易（單位千圓）

一九三七年	日本より輸入	日本へ輸出
	一、七四三	一、四七九
一九三八年	六、一〇一	一、二二三

輸入は綿織物類四、一九一、輸出は硝酸曹達二、二七二（單位千圓、一九三八年）。なほサンチャゴの外港バルパライソは日本郵船南米航路西海岸の終點にあたる。

デンマーク(王國)

ヨーロッパ中部の半島及び島嶼▲首府 コペンハーゲン。人口六六六、二六九（一九三五年）▲元首 クリスチヤン十世（一九一二年即位、アイスランド國王を兼ねぬ）▲政治 立憲君主制。議会は二院制▲經濟 西半大部分は砂地で沼澤地も多いが、國民の握まざる開拓により、全面積の七割六分は耕作地となり、世界の模範農村國となつた。一般に小規模經營で牧畜も盛んに行はれる。穀類、馬鈴薯、甜菜、バター、チーズ、皮革、家畜など漁業も盛んで、酒類の産も多い。▲植民地 グリーンランド。面積七三六、五一八平方哩。人口一六、六三〇（一九三〇年）國土の大部分は氷雪に掩はれてゐる。貿易は國家の管

理。なほアイスランドは以前はデンマーク領であつたが、今は獨立してゐる（その項参照）▲日本との貿易（單位千圓）

一九三七年	日本より輸入	日本へ輸出
	一、六九三	一、四七九
一九三八年	一、三三三	一、三三三

ドミニカ(共和國)

北アメリカ洲、西インド群島中ハイチ島の東部を占め、サント・ドミンゴと呼ばれる。中米諸國同様アメリカの干渉が多い▲國語 スペイン語及び英語▲首府 サント・ドミンゴ。人口七一、二九七（一九三五年）一九三六年よりシウダード・トルデローと改稱▲大統領 ビエンヴェニド・ペイナド（一九三八年八月就任）任期四年▲政治 議会は二院制で直接選挙による▲經濟 農業及び牧畜業が主産業で、砂糖、ココア、煙草、マホガニー等を産する▲日本との貿易（單位千圓）

一九三七年	日本より輸入	日本へ輸出
	三、〇三三	八、四〇
一九三八年	三、三三三	三、三三三

輸入の大部分は綿織物類。

トルコ(共和國)

アジア洲の西端にあり▲首府 アンカラ

南阿聯邦(英自治領)

アフリカの南端にあり。ケープ州(喜望峯)ナタール州、トランスヴァール州、オレンジ自由州の四植民地より成る▲首府 三ヶ所にあり。ケープタウン(ケープ州)、立法上の首府で聯邦政府の所在地。人口約廿七萬、うち歐人一七三、四二二(ブレトリア)、トランスヴァール州。行政上の首府で聯邦政府の所在地。人口約十萬、うち歐人七六、九三五(ブルムフォンタイン)、オレンジ自由州にあり。司法上の首府で聯邦高等法院の所在地。人口六四、二二三、うち歐人三〇、二九一)▲總督 パトリックダンカン卿(一九三七年四月就任)▲政治 英國の自治領で一九一〇年に四州が合して南アフリカ聯邦となつた。イギリス皇帝の任命する總督が統治し、聯邦政府と聯邦議會と成る。議會は二院制▲經濟 鑛業を第一とし金(主産地はトランスヴァール)及び金剛石(主産地はケープ州)いづれも世界第一位。その他石炭、銀、アスベスト、銅など。農業は棉花、砂糖、小麦、玉蜀黍、果實など。羊毛、駝鳥毛の産も多い。一九三七年の主要産額は

金	二、七四〇オンス	銀	一、一〇一オンス
金剛石	一、〇〇〇カラット	石炭	一、七六二トン
羊毛	三、二八、七四三トン	棉花	五、〇五〇トン

ニカラグア(共和國)

中央アメリカの中部▲首府 マナグア。人口約十一萬五千▲大統領 アナスタシオ・ソモツア將軍(一九三七年就任)任期四年▲政治 議会は二院制、殆んどアメリカ合衆國の支配下にある。パナマ運河のみにては國防上の不安を感じてゐるアメリカはニカラグアに運河開通を計畫中▲經濟 コーヒー、砂糖、ココア、バナナ、木材などを産し、貿易の大半はアメリカとの間に行はれる▲日本との貿易 一九三七年には日本より輸入二二三萬二千圓日本へ輸出四十六萬三千圓。

ネパール(王國)

ヒマラヤ山中にある一小國▲首府 カト

(アンゴラを改稱)人口一三二、七二〇(一九三五年)▲大統領 イスマット・イノニユー(一九三八年十一月就任)任期四年▲政治 一九二二年にケマル・パシヤを首領とするアンゴラ政府が帝政トルコを倒して翌一九二三年共和制を宣言。一九二五年新憲法採用ケマル・パシヤは政權を獲得以來國政の改革に力を注ぎ、一夫多妻制の廢止、太陽曆の採用、トルコ文字の廢止、義務教育制の實施、メートル法の採用などを行つて來た。首都をイスタンブール(舊名コンスタンチノープル)よりトルコ本來の地たるアンゴラに移した。一九三七年二月、議會は注目すべき聯邦人民黨の設定を決議した。これは聯邦憲法の一部で、將來國家社會主義を實施する單一政黨となるもので、進歩的な國家社會主義的色彩を有し、交通、産業、社會施設などの國家所有または管理を規定してゐる▲國語 トルコ語▲經濟 農牧を主とし棉花、煙草、穀物無花果、阿片、オリブ油、乾葡萄、アンゴラ山羊等がある。鑛産物はクロム、石炭、セメント、硼砂、亜鉛、マンガンなどが豊富に埋藏されてゐるが採掘は未だ不十分。また織毯製造は有名▲日本との貿易(單位千圓)

一九三七年	日本より輸入	日本へ輸出
	三、七五三	三、八八八
一九三八年	三、八八八	三、七五三

主要輸入品は綿織物類。

マンツ、人口八萬▲元首 トリブナ・ビル
ビクラム(一九一一年即位)▲政治 世界大戦
にイギリスを援助した功により一九二三年獨
立を認められた▲經濟 農業および牧畜業を
主とし森林も多い。

ニュージールランド(英自治植民地)

イギリスの自治植民地で大洋洲にあり。イ
ギリス皇帝の任命する總督、政府、兩院より
成る議會がある。本土の面積は一〇三、七二
二平方哩。人口は一、四九一、四八四。ほか
にマオリ人八二、三二六。首府はウエリント
ン、人口一五四、四〇〇(一九三八年)▲經
濟 國土の三分の二は主産業たる農牧に適し
穀物、羊毛、肉類を産し鑛業では金、石炭。
林業も盛んである▲日本との貿易(單位千圓)

一九三七年 日本より輸入 日本へ輸出
一九三八年 二六、三三三 四、六三三

主要輸入品は綿織物二、四九三、人絹織物
三、三二八、輸出は羊毛八、二七二(單位千圓
一九三八年)

ノルウエー(主國)

ヨーロッパスカンディナヴィア半島の西半
部▲首府 オスロー(クリスチヤニヤの改稱)

人口二五三、二二四(一九三〇年)▲元首 ハ
アコン七世(一九〇五年即位)▲政治 一九〇
五年スエーデンより分離獨立。議會は總議員
數一五〇名、うち四分の二は第一議會を、四分
の三は第二議會を構成する。任期三年▲國語
ノルウエー語のほかデンマーク語、スエーデ
ン語など▲經濟 森林は全面積の二割四分を
占め耕作地は全國土の僅か三分六厘に過ぎな
い。鑛産物には黄鐵礦、銅、アルミニウム、
鐵礦がある。水力電氣の發達は著しく機械
製造、紡績、空中窒素工業、バルブ、製紙業
などが行はれる。水産業はヨーロッパ第一で
鯨、鱈、鮭などを産する▲貿易 輸出は木
材、バルブ、金屬、獸肉など。輸入は船舶、
機械、織物など▲日本との貿易(單位千圓)

ハイチ(共和國)

西印度群島中ハイチ島の西半▲首府 ボル
ド・オー・プリンス。人口約十一萬五千▲大
統領 ステニオ・ヴィンセント(一九三〇年
就任)任期は五年だが一九三五年の國民投票

で更に五ヶ年延長▲政治 議會は二院制▲國
語 フランス語▲經濟 コーヒ、ココア、砂
糖、煙草、棉花などを産す。アメリカの投下
資本約三千萬▲日本との貿易(單位千圓)

パナマ(共和國)

中央アメリカの最南端に位す▲首府 パナ
マ。人口一二七、五七三(一九三七年)▲大
統領 デモステネス・アロセメナ博士(一九
三六年十月就任)任期四年▲政治 以前はコ
ロンビアの領土であつたがアメリカの援助で
一九〇三年に獨立し、アメリカはパナマ運河
開鑿權、運河の兩岸五哩の永久的使用權、軍
備その他の權利を獲得した。議會は一院制。
パナマ運河は一九一四年開通、全長四四哩、
船舶の通過には平均七八時間を費す▲經濟
バナナ、ココア、獸皮などを産す。アメリカ
の投資額は約五千萬▲日本との貿易(單位
千圓)

パラグアイ(共和國)

南アメリカ洲の中央部▲首府 アスンシヨ
ン。人口一〇四、八一九(一九三八年)▲臨
時大統領 イスチ・ガリリヤ氏(一九三七年
就任)▲政治 一八一一年スペインより獨立
し議會は二院制。但し一九三六年二月十七日
に陸軍急進派により首都に革命が起り、南米
に初めてのアッシュヨ政府が樹立された▲國
語 スペイン語とグアラニー語▲經濟 土地
が豊饒で氣候が亞熱帯、煙草、棉花などの耕
作に適し、マテ茶の特産がある。その他牧畜
林業▲日本との貿易 日本より輸入百八十四
萬圓、日本へ輸出一萬七千圓(一九三八年)

ハワイ(米領)

米領の准州で太平洋上にあり、八主要島よ
り成り面積六、四四九平方哩、人口四一一、
四八五、このうち邦人は一五三、五三九の多
數を占める(一九三八年)▲首府 ホノルル
人口一五三、〇七三(一九三八年)▲政治
以前は土人の獨立王國であつたが一八九八年
アメリカに合併し、アメリカ總督が統治して
ゐる、上院と下院がある▲經濟 土地は肥沃
で甘蔗、パイナップルの栽培が行はれ製糖業

も盛である。他にコーヒ、バナナ、獸皮な
ど。經濟の實權は殆んど邦人にあるが、現在
は東洋人移民は禁止されてゐる。貿易は主と
してアメリカと行はれる▲日本との貿易
(單位千圓)

ハンガリー(主國)

ヨーロッパ洲の中央部にあり▲首府 ブダ
ペスト。人口一、〇五九、二八七(一九三七
年)▲元首 攝政ニコラス・ホルテイ・デ・
ナギバンヤ將軍▲政治 立憲君主制。オース
トリア・ハンガリー帝國の一部であつたが、
一九一八年の革命で獨立して共和制が採用さ
れた。一九二〇年帝政時代の憲法復活を可決
した。元首はいまだ空位で、攝政が統治して
ゐる。議會は二院制▲國語 國民の九二%は
ハンガリー語(マジヤール語)で他にドイツ
語、スロヴァク語、ルーマニヤ語、ルテニヤ語、
クロアチヤ語など▲經濟 農業を主として小
麥玉蜀黍、馬鈴薯などを産す。石炭、褐炭の
産も多く漁業も行はれる。

ビルマ(英領)

一九三七年四月一日より實施されたイギリ
スのインド新統治法により、ビルマはインド
統治の手を離れた。總面積二六一、六一〇平
方哩、總人口一四、六六七、一四六(一九三
一年)▲首都 ラングーン。人口四〇〇、四
一五(一九三二年)なほ首都は夏季は北部高
原のメイミョーに移る▲政治 イギリス皇帝
の任命する總督が監督し、内閣および議會(二
院)がある。他に酋長の治めるシヤンといふ
國々がある▲經濟 農業を主産業としチーク
材、石油、錫、銀、タングステン、鐵など。
米はラングーン米と呼ばれ、棉花は印棉と呼
ばれるもの▲教育 程度は可成り高い。

フィンランド(共和國)

ヨーロッパ洲の北部、ソウエート聯邦の西
北隣にあり▲首府 ヘルシンキ(ヘルシング
フォルス)。人口二九三、一三七(一九三
六年)▲大統領 ケースチ・カリオ(一九
三七年三月就任)任期六年▲政治 一九一
七年ロシアより獨立した。議會は一院制▲國
語 國民の大多數はフィンランド語、他にス
エーデン語、ロシア語、ドイツ語、ラブラン
ド語など▲經濟 全面積の六二%は森林で林

業が主要産業、全人口の六〇％は農林業に従事する。木材、パルプ、纖維工業などが盛ん ▲日本との貿易 日本より輸入三百六十八萬圓、日本へ輸出三百四十七萬圓(一九三八年)

フィリッピン群島

アジア州の東南部、七、〇八三個の群島より成る。マレー人種が全人口の九割一分を占めてゐる ▲首府 マニラ。人口三五五、四八五(一九三六年) ▲大統領 マヌエル・ケソン(一九三五年就任) 任期六年 ▲政治 議會は一院制。任期三年 ▲國語 國民の約半數は英語かスペイン語、他は本土語 ▲フィリッピンの獨立 一九三四年三月タイデングス・マツダツフイ法案が確定された。右法案はフィリッピン憲法及び一九三五年十一月より十年を限り、比米兩國間の關係を規定したもので、十年後にはフィリッピン共和國が名實とも完全に出現することになつてゐる。比米兩國間の關係とは、外債、公債、通貨、貿易外交、移民、軍備などにつきアメリカが干渉し得る點、憲法修正希望の餘地を残した點などで、アメリカ大統領に年々報告する義務がある。新憲法によればフィリッピンは大統領によつて統治されるべく、その任期は副大

領とともに六年、大統領の下に七省が置かれ大統領、副大統領、大臣はいづれもフィリッピン人たることを定めてある。一九三五年九月の選挙で、比島獨立に盡力したケソン及びオスメナが大統領と副大統領に當選した。現在のアメリカ總督はパウル・ヴィ・マツクナット(一九三七年二月就任) ▲軍備 一九三八年の兵員は約八千名であるが一九四六年の完全獨立期には四十萬人の在郷軍人を作る他に常任正規兵の規定がある。なほ現在のアメリカ軍隊は約四千人 ▲經濟 農業國で主要産物は主として邦人經營による米およびマニラ麻をはじめ砂糖、煙草、椰子、果物、ゴムなど。砂糖は輸出の第一位を占め重要な物産である。他に林業も盛んである。豊富な埋蔵量を持つ鑛業は未だ十分の開発が行はれず漁業もまた振はない。主なる産物は

一九三七年 日本より輸入 日本へ輸出
一九三八年 主要輸入品は綿織物類六、〇五三、人絹織物二、一〇〇、その他陶磁器、ガラス製品、各種雜貨。輸出品は麻類一一、八八九、木材六、六九五等。(單位千圓、一九三八年)

ブータン(王國)

アジア州のヒマラヤ山系中にある小王國で面積一萬八千方哩、人口約三十萬、住民は蒙古族である ▲首府 プナカ ▲元首 マハラジャ・ジメ・ワンチーク(一九二六年即位) ▲政治 一九一〇年以來イギリスの保護下にある。佛教が勢力を占めてゐる ▲經濟 原始的な農業、牧畜を營んでゐる。

佛領インド支那

アジア州にあり、南支那海に臨む。面積二八五、〇〇〇平方哩、人口二、八五三、五〇〇 ▲首府 ハノイ(河内) 人口一四二、〇二〇(一九三七年) ▲政治 フランス領中最も重要な植民地で、交趾支那植民地およびトンキン(東京)アンナン(安南)カンボヂヤ、ラオス各保護國の五つより成り、總督が派遣されて統治にあたる。交趾支那には知事、植民

地會議、他の保護領には總督代理と保護領會議があり、インド支那全土の問題については政府會議、經濟問題には全體會議が設けられてゐる。ハノイは北方、サイゴンは南方のそれぞれ重要な政治、軍事上の要衝である ▲經濟 三様に分れ高部のサイゴン地方は農業地で米の産出多く、北部のトンキン地方は農耕鑛業、工業が行はれ中央アンナン地方は肉桂砂糖、茶など。石炭は良質の無煙炭で一九三七年の産額二、三〇八千ト ▲日本との貿易 (單位千圓)

ウエネスエラ(共和國)

南米の北海岸にあり ▲首府 カラカス。人口二〇三、三四二(一九三七年) ▲大統領 エンツァール・ロベツ・コントレラス將軍。任期三年。一九三六年四月就任 ▲政治 議會は一院制 ▲國語 スペイン語 ▲經濟 地表は農耕、牧畜、森林の三地帯に分れ、人口の五分の一は農耕に従事してゐる。コーヒー、ココア、甘蔗、木材、棉花等を産し、全土の三分の一は牧畜地帯。鑛産物は極めて豊富である。石油は世界第三位の産出國で一九三八年

には一八七、七〇一、三六〇バレルを産し全輸出の約九割、主としてアメリカへ送られる。ほかにアスファルト、金、銅、石炭、マグネサイト、岩鹽、眞珠等 ▲日本との貿易 (單位千圓)

ブラジル(共和國)

南アメリカの東部にあり南米第一の大國二十州二地方より成る ▲首府 リオ・デ・ジャネイロ。人口一、七一一、四六六(一九三六年) ▲大統領 ゲツリオ・ヴァルガス博士(一九三四年就任) ▲政治 一八二二年ポルトガルより獨立し、帝國となつたが、一八八九年革命により共和國となつた。一九三四年第二次共和政體を規定した新憲法が發布された。新憲法議會は構成の改正、移民の制限などのほか、産業統制上の強大な權力を國家に與へ銀行、保險會社などの國有化、有望な主要産業の專賣などを漸次行ひ、議會は上院と下院とより成り、各州に獨立の政府があるものと

規定した。一九三七年十一月十日共產黨を徹底的に弾壓するクーデター突發し、大統領にはヴァルガスが居居ることとなり、獨裁政治が實現した。同時に發表された新憲法は大統領の権限を強大にし獨裁権を與へ、議會の権限を縮小して上院を廢して聯邦會議がこれに代り、他に經濟審議會なる新機關を設けた。經濟審議會は農、工、商、金融、交通の各部門を代表する立法機關で、組合國家の體制をとるものである。一九三八年五月五日政府は新移民法を公布した。これは從來の二分制限法を緩和し各國人の入國割當數の間に融通を認め、移殖民審議會の制度を設けた點で舊法と異なる特色あり日伯植民關係は融和された ▲國語 ポルトガル語が廣く行はれ、他に南部地方にはイタリ語、ドイツ語が用ひられる ▲經濟 農業國で、全輸出の六〇乃至七五％を占めるコーヒーが主産物で、世界第一位。その數十七萬に及ぶ邦人移民の多くはコーヒー栽培に従事し、大部分はサンパウロ州にゐる。コーヒー樹は三、〇一七、二三四、〇〇〇本(世界の三分の二) コーヒー産額は世界の四分の三。一九三二年來コーヒー販賣は政府の管理となり、政府の買上、貯藏、燒却高(市價維持のため)は一九三八年末までに六四、七

三三、〇〇〇袋に達する。一九三三―三四年に一九、八八〇、〇〇〇袋(一袋は二三三磅)の世界最高生産レコードを作った。一九三八年のコーヒー輸出額は一七、二七六、八五六袋。コーヒーに次いでココアが世界第二位、砂糖及び煙草が第三位。一九三八年―三九年の砂糖生産額は一、一三二、三四二ト。オランダはアメリカに次ぐ主産國でその他棉花、パラゴムなどの産も多い。林業、鑛業もまた重要な産業で木材の多くはアルゼンチンへ輸出され、鑛山物では金、マンガン、石炭、鑛、金剛石など豊富であるが、十分に開發されてゐない。金の輸出は一九一八年以來禁止されてゐる。工業では紡織業が最も盛んである。貿易輸出の王座はコーヒー、輸入は機械類。一九三七年には(位車千ミルリス)

▽主要輸出品

コーヒー 三三、〇〇〇(一九三三年)
棉花 位車千ミルリス(一九三二年)
ココア 三三、〇〇〇(一九三二年)

▽主要輸入品

機械類 一、〇〇〇(一九三二年)
自動車 位車千ミルリス(一九三二年)

主要相手國は米を第一に獨、英、佛等。
▲日本との貿易(單位千圓)

Table with 2 columns: Year, Japan's exports to the country, Japan's imports from the country. Rows for 1937, 1938.

輸入は主として陶磁器、雜貨類。輸出はコーヒー、棉花、水晶その他。日伯親善關係は近年親密となつた。(移民關係は「海外發展」の項参照のこと)

ブルガリヤ(王國)

バルカン半島にあり黒海に臨む。首府ソフィヤ。人口二八七、〇九五(一九三四年)
▲元首 ボリス三世(一九一八年即位)
▲政治 立憲君主制、世界大戰に際して獨、捷側に加盟した。大戦後ギリシヤ、ユーゴ・スラヴィヤに國土を割譲した。議會は一院制
▲經濟 全國民の八〇%は農業に従事し全面積の三〇%は森林である。

ペルー(共和國)

南アメリカ州の太平洋岸にあり。首府リマ。人口三七〇、〇〇〇(一九三六年推定)
▲大統領 オスカ・ベナイデス將軍(一九三三年四月就任)任期一九三九年まで
▲政治 エスピノサの領土であつたが、一八二二年―二四年獨立。一九三三年四月に新憲法公布。

議會は二院制となつた。▲經濟 銀の産額は世界第三位。銅、石油、金など主要物産である。一九三六年の産額は
銅 三五千トン 石油 二、四二八千トン
銀 五三四千トン 金 六千キロ
鉛 四三千トン 亞鉛 一八千トン
ヴァナヂウムは世界産額の八〇%を占めてゐたが、一九三一年採掘を停止した。グアノ(海鳥糞)の産額も多い。人口の八割は農民で棉花(タンギス棉といはれ品質良好。二割位は邦人の手によつて生産される)砂糖、コーヒー、ココア、キナ、米、羊毛、獸皮などを産す。先年チリと戦ひ、南部の硝石産出地方を失つた。▲國語 スペイン語のほか土人語がある。▲日本との貿易 日本より輸入五七六萬圓、日本へ輸出一九七萬圓(一九三八年)
邦人の移住する者多く、二萬餘人に上るが、一九三六年の新移民法により、各國人は全ペルー人口の二分を越えるを許さぬこととなつた。

ベルギー(王國)

ヨーロッパの西北部。首府 ブラッセル
人口九二〇、一五四(一九三七年) 國內は鐵

道密度と、もに人口密度の高いことで有名である。▲元首 レオポルド三世(一九三四年即位)
▲政治 立憲君主制。一八三九年ロンドン條約によつて永久中立國となつたが世界大戰中にドイツに侵略され、戦後佛と接近し軍備をなすに至つた。一九三六年十月中立國に復歸した。議會は二院制。▲國語 フランス語とフランドル語が通用する。▲經濟 國土の過半は耕作地で馬鈴薯、甜菜、穀類を産する。鑛業、工業が盛んで鉄鑛、銅鑛、石炭、機械硝子、織布、レース、革製品等を産す。▲植民地 (一)ベルギー領コンゴリアフリカにあり。面積九〇二、〇八二平方哩、人口は土人一〇、二二七、四〇八。白人二三、〇九一(一九三八年)各種の鑛物に富み、金、銅、金剛石、コーヒー、ココア、煙草などを産す。(二)ルアンダ及びウルンディ地方にあり。カにあり。元はドイツ領であつたが大戦後委任統治となつた。面積二〇、五三三平方哩、人口三、三六九、三〇四。専ら牧畜に適す。▲日本との貿易(單位千圓)

Table with 2 columns: Year, Japan's exports to the country, Japan's imports from the country. Rows for 1937, 1938.

輸入品は鐵鑛、食料品。いづれもベルギー・ルクセンブルグ經濟同盟との貿易額である。

ペルシヤ(イランを見よ)

ポーランド(共和國)

ヨーロッパの中部。首府 ワルソワ。人口一、二六五、七〇〇(一九三八年)
▲大統領 イグナツ・モシツキ(一九三三年再選)任期七年
▲政治 元獨立國であつたが十八世紀に獨、露、普三國に分割された。大戰後故ビルズスキ元帥らの努力により一九一八年にロシアより獨立し、三國より舊領土を回復した。議會は二院制。▲經濟 農業を主とし、麥類、馬鈴薯、甜菜、岩鹽、石炭の産出が多く砂糖、紡績、製糖、製紙、硝子工業も行はれる。

Table with 2 columns: Year, Japan's exports to the country, Japan's imports from the country. Rows for 1937, 1938.

回復したものの、ポーランド人は約七十%にすぎず他種民族(ユダヤ人、白露人、ウクライナ人、ドイツ人、リシアニア人)と混同し複雑な國際情勢の一端を暗示してゐた。ロカール條約の一員として英佛側の保護下にあつたが、一九三三年に隣國ドイツにナチス政權が確立して以來、大戰によつて書き直された國境問題をはさんで險惡な空氣を現出して來た。即ちドイツはダンチツヒ、上シレジア、ポーゼン、ポーランド廻廊等の回復を希望するに至ることは明かであり、こゝに一九三四年不侵略條約を結ぶに至つた。更にロシアも大戰によつて領地を失つたのであるから、その回復の意思あることは否定出來ないため、一九三三年不侵略條約を締結してゐる。しかし條約による一片の文書は一國の實力と必要の前にはいつ踏み破られるかは保證し得ぬところである。ドイツはナチス政權の確立以來次第に失地の回復に成功し遂にダンチツヒ復歸、ポーランド廻廊の返還を正面から要求するに至り、一九三九年四月以來兩國は遂に一觸即發の危機に直面するに至つた。
▲獨波戰爭開始 一九三九年八月ドイツはソ聯と不侵略條約の締結に成功し、武力によつ

つてポーランドとの問題を解決しようとした。即ちダンチツヒ市のドイツ返還、ポーランド領のドイツ復讐を定める人民投票等十六ヶ條をポーランドに提出し、更に他の外交的手段を用ひて迫つたが、英佛の援助を信ずるポーランドはドイツの要求を一蹴したため一九三九年九月一日早朝ヒットラー總統は國防軍に進軍を命じ、こゝに獨逸間の戦争が開始された。(なほ外交及び歐洲戰亂の項参照)

ボリウイヤ(共和國)

南アメリカの中央部▲首府 スクレ。人口二七、五〇八、事實上の首府はラバスで人口二〇〇、〇〇〇(一九三六年)▲大統領(三三三頁参照)▲政治 議會は二院制。但し一九三六年五月革命が起り軍事政府が成立し各種の國家的經濟施設を講じてゐる、なほ一九三九年四月全權主義政府樹立を宣言した▲國語 スペイン語のほか土人語が用ひられる▲經濟 鑛業を主とし、錫、アンチモニー、銀、銅鉛等を産する。錫は世界産額の四分の一、アンチモニーは世界第二位を占めてゐる▲日本との貿易 日本より輸入三八七萬圓、日本へ輸出四三三萬圓(一九三八年)

ポルトガル(共和國)

ヨーロッパの最西部▲首府 リスボン。人口五九四、三九〇(一九三〇年)▲大統領アントニオ・オスカー・カルモナール將軍(一九三五年再任)任期七年▲政治 一九一〇年の革命で國王マヌエル二世を廢して共和制を宣言。議會は二院制▲經濟 全面積の三分の二は農耕地で果樹園にも葡萄、葡萄酒、オリブ油を産す。水産物特に鱈の産が多い。鑛物は埋藏豊富であるが、開發未だ不十分。全土の二割六分は森林で、林業は第二の主要産業▲植民地 スペインとともに古くより海外貿易に活躍したため今なほ世界に植民地を有してゐる。(一)アフリカ州▲ケープ・ヴェルデ諸島、ギニア、プリンシプ島、セントトーマス島、アングラ(ポルトガル領西アフリカ)(二)アジア州▲ポルトガル領インドと呼ばれるゴア、ダマオ、ヂウ及び澳門(支那)などより成る(三)太平洋▲チモールなどで、總植民地八一〇、二〇一平方哩、人口一〇、一三七、〇〇五人▲日本との貿易(單位千圓)

Table with 2 columns: Year, Value. 1937: 15000, 24000. 1938: 13000, 16000. Labels: 日本より輸入, 日本へ輸出

ホンジュラス(共和國)

中央アメリカにあり▲首府 テクシガルバ人口三四、九〇〇(一九三四年)▲大統領チプリシオ・カリアス・アンデイン博士(一九三七年再任)任期四年▲政治 一八二二年スペインより獨立。一院制▲國語 スペイン語のほか、各地方に種々異なる言葉が通用する▲經濟 農牧を主とし、バナナ、コーヒー、砂糖、煙草、銀、獸皮等▲日本との貿易 日本より輸入一七八萬圓、輸出一二萬圓(一九三八年)

メキシコ(共和國)

北アメリカ州、合衆國の南隣にあり▲首府メキシコ。人口約九六〇、九〇五(一九三〇年)▲大統領 ラッアロ・カルデナス將軍(一九三四年就任)任期六年▲政治 三十一州及び一區より成る聯邦共和國、議會は二院制▲國語 スペイン語▲經濟 農産物には玉蜀黍砂糖、小麦、米、棉花、コーヒー、甘藷等がある。ユカタン地方より産するシザル麻は世界産額の五〇%を占む。鑛産物は豊富で銀の産額は世界銀産額の四〇%を占め第一位。石油は世界第七位。鉛は第三位。金は第六位に

あり。銅、亜鉛も産する。一九三七年における産額は

Table with 2 columns: Commodity, Value. 石油: 26,600千バレル, 2,600千キロ. 金: 2千キロ, 2,612千キロ. 銅: 6,600千キロ, 1,000千キロ

メキシコには列強の資本が投下され、主要産業たる鑛業において三萬一千の鑛坑の九八%まで外國資本の獨占である。資本關係の錯雜は過去の不斷の政争、叛亂の背景をなしてゐる。一九三七年政府は外國人石油會社の財産を收用し國立石油會社を設立した▲貿易 一九三八年の石油輸出は二一、八九七、三七七バレル。最近五ヶ年間の統計では鑛産物は全輸出の七〇%を占め、貿易相手國は米を第一とし英、獨▲日本との貿易(單位千圓)

Table with 2 columns: Year, Value. 1937: 15000, 24000. 1938: 13000, 16000. Labels: 日本より輸入, 日本へ輸出

モナコ(王國)

ヨーロッパ、フランスの地中海沿岸にあり。人口二三、九五六(一九三八年)▲首府モナコ。人口一、九八三(一九三八年)▲元首 ルイ二世(一九三二年即位)▲政治 世界最小の獨立國であるが八百年間王位を繼承してゐるフランスの保護下にあり普選による十

二名の議員を有する議會がある。モンテ・カルロにある公認の賭博場(カジノ)からの収益が國家の主な經常收入である。その收入約十萬圓。毎年平均百五十萬人の外國人が來遊する。

ユーゴスラウイヤ(王國)

バルカン半島、アドリヤ海に臨む▲首府ベルグラード。人口二六六、八四九(一九三一年)▲元首 ビーター二世(一九三三年十月即位)▲政治 立憲君主制。議會は二院制▲經濟 全人口の八五%は農業で玉蜀黍、小麦、馬鈴薯、煙草、麻などを産出する。國土の三分の一は森林である。石炭、鐵などの鑛産物も多い。

ラトウイヤ(共和國)

ヨーロッパの中央部、バルチック海に面す▲首府 リガ。人口三八五、〇六三(一九三五年)▲大統領 カルリス・ウルマニス(一九三六年四月就任)任期三年▲政治 一九一八年ロシアより獨立。立法、行政などの實權は首相(大統領が兼任)に握られてゐる▲經濟 ロシヤの西部諸國とを結ぶ通商路として重要視されてゐる。亞麻を主要産物とし、

小麦、馬鈴薯、木材なども生産する。輸入は許可制。政治上、經濟上英國の支配力が大きい。

蘭領東インド

アジア州の南部、ジャヴァ及びスマタラ群島、セレベス島、モルッカ群島、ボルネオ島などより成り、總面積七三五、二六七平方哩、人口六〇、七二七、二二三(一九三〇年調査)▲首府 バタヴィヤ。人口約四十四萬。ジャヴァ島にあり▲政治 本國國王の任命による總督により統治せられ、總督の下に國王任命の參事官數名を置く。自治體の前提として一九一八年より議會が開設され、議員は本國人のほかヨーロッパ人、本島人、東洋人(支那、アラビヤ)の参加が許されてゐる。一九二五年の憲法によれば、内政は本國政府管下に自治體となり、立法權は總督と議會が司ることとなつた▲經濟 總面積は本國の六十倍にあたり、オランダの寶庫といはれてゐる。熱帯性植物の栽培を主とし一九三七年の主要農産物は(單位千トン)

Table with 2 columns: Commodity, Value. 砂糖: 1,500. コーヒー: 1,300. 煙草: 400. キナ: 200. 椰子油: 100

キナ、ゴム、椰子油などは世界一、二位を占め、砂糖は近年生産制限を實行。礦物には石油、錫など日本との貿易(單位千圓)

一九三七年 100(千圓) 日本へ輸出
一九三八年 100(千圓) 六、四九六

主なる輸入品は綿織物類三九、四八六、人絹織物七、二〇二、その他各種の雜貨多し。(單位千圓、一九三八年)主なる輸出は砂糖五、一八九、生ゴム一、〇八〇。

リスアニア(共和國)

ヨーロッパの中央部にあり▲首相 コッポ。人口一〇八、一九八(一九三八年)▲大統領 アントナス・スメトナ(一九三三年就任)▲府 任期七年▲政治 一九一八年ロシアより獨立議會は一院制。問題のメーメル地方は一九三九年三月ドイツへ返還した▲經濟 農業と林業が主要産業。

リベリヤ(共和國)

アフリカ州の西南部にあり▲首府 モンロヴィア。人口一萬▲大統領 エドウィン・パークレー(一九三六年再選)任期八年▲政治 一八四七年アメリカより解放された奴隷によつてアメリカ植民協會支援のもとに建設された共和國。議會は一院制▲國語 英語▲經濟

コーヒー、ゴム、石油、象牙などを産す。森林が多い▲日本との貿易 一九三八年には日本より輸入三十六萬四千圓、輸出は僅かに十二圓。

リヒテンシュタイン(公國)

ヨーロッパの中部、ドイツとスイスの國境にある小農牧國で面積六五平方里▲首都 ファッツ。人口千七百▲元首 フランシス・ヨセフ二世(一九三八年八月即位)▲オーストリアから正式に獨立したのは一九一八年。議員一五名の普選議會あり。軍備は全くない。通貨、選信制などはスイスと緊密な關係にある

ルクセンブルグ(大公國)

ヨーロッパの西部ドイツ、フランス、ベルギーの三國に圍まれてゐる▲首府 ルクセンブルグ。人口五七、七四〇(一九三五年)▲元首 シャルロット(一九一九年即位)▲政治 一八六七年のロンドン條約により中立國となる。議會一院制▲經濟 鉄鐵、鋼鐵の産多くベルギーと經濟的に親密な關係がある

ルーマニア(王國)

ヨーロッパの南部バルカン半島にあり▲首府 ブカレスト。人口六四三、二九三(一九三七年)

九三七年)▲元首 カロル二世(一九三〇年即位)▲政治 立憲君主制。議會は二院制▲經濟 五分の四は農民。石油、岩鹽の産が多い。

ローマ法王廳

イタリア、ローマ市にあり▲面積 四四、四クタル▲人口 一、〇二五八(一九三二年)▲法王 ピアス十二世(一八七六年生誕)一九三九年三月法王に選ばれる▲イタリアとの關係 羅馬法王は中世から中部イタリアに法王領(一六、〇〇〇平方里、人口三、二二五〇〇〇人)を有してゐたが、イタリア王國が建設されるにおよび王國に合併され、一八七一年五月にイタリア國王と結ばれた條約により法王はヴァチカンその他の宮殿を領有し、かつ一年に三、二二五、〇〇〇リラをイタリアより受取ることとなつたが、これは有名無實であつた。一九二九年二月イタリア政府と法王との間に和解が成立し、政府は(一)法王廳を獨立の主權と認めること(二)イタリアの宗教および教會の統制を許すこと(三)法王に對し七億五千萬リラを現金で十億リラを國庫債券で支拂ふこととなつた。かくてローマ法王廳(ヴァチカン市)は一個の獨立國たる待遇を與へられたのである。

中華民國

概観

孫文の創設した中華民國は蔣介石によつて受難がれ南京に首府を定めてより十年、漸く形態の整ふるが如く見えたが昭和十二年七月瀟湘橋事件により勃發した今次の支那事變によつて未曾有の大變革に遭遇し東洋歴史は書き換へられて新しい頁を加へつゝある。すなはち東亞新秩序の生誕がそれである。而して支那の山河はなほ依然たり。國破れて山河ありの諺は現在の支那に最も相應しく、ここに動かざる支那、動く支那の二面が描き出されるのである。政治的に新支那と稱さるべき皇軍占領地區、新政權統治下の範圍は現在すでに支那全土の半ば(別表)に及んでゐるのであるから諸種の統計上にこれを區分してもよいのであるが新秩序創設はなほ進行中であり舊支那を一體として見た方が概観上便宜なものと且つ新秩序下における諸統計の未だ備はらないために主として新事象以前のものをを用ひる。

Table with columns for provinces (省名), regions (方軒), and population (人口). Rows include North (北支), Central (中支), South (南支), and Border (邊疆) regions.

面積

中華民國の土地面積は別表(表は朝日新聞社發行東亞年報昭和十三年版に據る)の通りで、我が全土の十一倍に當つてゐる。

住民

支那における人種は支那屬として漢族、西藏族、苗族、シベリア屬として滿洲族、蒙古族、トルコ族がある。漢族 支那全人口の九割を占め紀元前三千年頃から黄河沿岸に移住し漸次全土を占めた。高い文化と繁殖力の強いのが特質。西藏族 古代の氏、羌、唐代の吐蕃、宋代の西夏等これに屬す。現在人口約二百萬、文化は低い。苗族 漢民族に追はれて西南支那の山中に逃げ現在雲南、貴州の北部に住んでゐる。滿洲族 ツングース、古の金即ち女真と同族である。三百年前清朝を起したのもこの民族で清朝時代に支那本土に入り漢民族と同化した。現在五百萬といはれてゐる。蒙古族 現在内外蒙古はじめ新疆、青海にも住み人口約二百萬。トルコ族 東洋史上の匈奴、羯、柔然、突厥、回紇、詰魯等て現在甘肅、陝西地方に主として住み人口約

一千萬、性剝奪で漢民族との抗争を繰り返してゐる。

人口

支那の人口は大體四億二千萬乃至七千萬と見られる。即ち

- (イ)内政部民國十七年調査
(ロ)申報年鑑による
(ハ)内政部發表
(ニ)壬士達氏調査

省別人口(一九三四年末現在)

Table with columns for 地方 (Location) and 人口 (Population) for various provinces like 江蘇, 浙江, 安徽, etc.

主要都市人口

Table listing major cities and their populations, including 上海, 天津, 北京, 漢口, etc.

在支日本人

Table showing the number of Japanese in various regions of China, such as 上海, 天津, 北京, etc.

因に事變後昭和十三年下半年期における在支各地の日本人數を見るに左表の如く著しく増加し事變進展の跡を示してゐる。

Table showing the number of Japanese in various cities like 大治, 漢口, 重慶, etc., with columns for 地名 (Location) and 人口 (Population).

昭和十四年第二四半期の全支の對外貿易高(上海稅關昭和十四年八月二十二日發表)

對外貿易額

Table showing trade statistics for imports and exports, including categories like 輸入品内譯 (Import categories) and 輸出品内譯 (Export categories).

新事態下の支那

大本營陸軍部では昭和十四年五月二十九日事變勃發以來四月末までの事變經過について

左の如く發表した。

我軍占據地域(一)察哈爾、綏遠、河北、山東、山西、江蘇、安徽の全省および河南の大部、浙江、江西、湖北、廣東の各一部、海南島の全部(二)面積 一、五六二、九三八平方キ、我全土の二倍半弱(我全土は六七、三六五平方キ)占據以外の支那本土(三)一、五七、三四六平方キ)との比は五十%、支那全土との比は十六%に當る。

北支

臨時政府の管轄下にあるは河北、山東、山西、河南四省と黄河、白河の流域、山東半島および山西の山地帯である。

政治

滿洲事變後事變前まで北支那に翼察政權と冀東自治政府があつたが事變が起ると共に翼察政權は崩れ臨機の處置として天津には前國務總理高凌霨氏を委員長とする天津治安維持會が生れ、北平には江朝宗氏を委

員長に北平治安維持會が生れた。而して南京陥落後昭和十二年十二月十四日北京(北平改名)に成立したのが中華民國臨時政府である。新政府は親日と防共をモットーとし政府の組織は三權分立制とした。

- 一、議政委員會(施政重要事項を審議決定)
二、行政委員會(議政委員會の決定事項を實施する)
三、司法委員會

行政委員會は日本の内閣に相當し、その中に財政、治安、教育、内政、法制、實業の六部を置く、地方は省に省政府を設け、省の下に縣を置き縣政府を設ける。政府首腦は王克敏氏をはじめ王揖唐、汪時璟、齊燮元、湯爾和、朱深、王蔭泰諸氏何れもかつて内閣に列した經歷の所有者、北支政治、經濟界の長老である。

新民會 新政府を側面から援助するもの新民會がある。新民會は昭和十二年十二月二十四日北京で發會式をあげた。目的は新政權の主義綱領を基礎にこれと表裏一體となり日滿支の提携共榮を希ひ共產主義の撲滅、國民黨の打倒を完成し東洋の文化道徳を宣揚せんとするにある。新民會は教化團體たるを本分とし政治團體ではない。組織は北支に中央指導部、監察部あり、指導部長は繆斌氏、各省に省指導部あり部長は省長兼任、その下に

縣指導部あり部長は縣長これを兼ねる。新民會の主な対象は農村で青年訓練所、農事試験場をもち或は合作社を興して産業組合の指導に努め着々實績を擧げてゐる。

財政 臨時政府では成立以來健全財政方針を堅持し關稅、鹽稅、統稅等歳入の増加を計ると共に歳出方面においては冗費節約につとめつゝある。

金融 新幣制を確立して將政權の舊法幣を一掃するため昭和十三年三月中國聯合準備銀行が設立された。これは中央發券銀行たるもので新法幣を發行すると同時に南方券、雜券に對し三ヶ月を限り流通禁止、北方券にも一ヶ年に限り流通禁止を斷行した。聯銀券の發行は現在二億元を超えてゐる。一方天津外國租界における流通妨害あり奥地でも遊撃隊の妨害工作があるので管轄區内の流通はなほ未だ十分ではないが、これは治安の確立と租界問題の解決によつて當然次第に改善されるべきである。聯銀は更に聯銀券の貿易通貨たる機能擴充のため昭和十四年三月より十二品目に限つて爲替の集中を實施したが更にこれを全商品に適用することとなり臨時政府は七月六日その旨發表十七日より實施することゝなつた。すなはち海關通告により十七日より

北支における一切の輸移出に關しては爲替買却證明書に關する中國聯合準備銀行の確認を要することゝなつたが、一方輸入においても輸出爲替集中制擴大に應じ希求品目は從來より更に廣範圍に擴大し華北における開發資料生活必需品の殆んど凡てを網羅することになつた。また今回の機會に買取り爲替の一部を割きやむを得ぬ貿易外支拂、たとへば在留人の郷里送金などに充當する規定を設けることになつた。

産業開發

北支産業開發事業を統制するため昭和十三年三月北支那開發株式會社の創設を決定、大谷尊由氏を總裁に同十一月七日創立總會を開いた。資本金三億五千萬元、半額はわが政府出資で主要産業に投資または融資し經營の綜合調整をなすことを目的としその範圍は交通、運輸、港灣、通信、電氣、鑛産、鹽業等に及ぶ。今日すでに創設された子會社は別表通りで着々實績をあげてゐる。

一方日支の經濟提携の媒體として日華經濟協議會が昭和十三年三月臨時政府との間に覺書に調印を見た。會長王克敏氏、副會長平生劔三郎氏が就任、平生氏は見通し一段落のため昭和十四年五月辭任した。この機關は北支那經濟の最高指導機關で經濟開發に關する企業立案を審議決定する。また農村復興のため

に特に棉花栽培に意を用ひ華北産業科學研究所を擴張し技術的に援助するほか支那の棉花改進會の組織を改め日本棉花栽培協會と共に棉花の増産を圖つてゐる。なほ農村復興に必要な北支の治水工作にも留意し臨時政府建設廳が主體となつて鋭意工作に努力してゐる。

産業

北支の重要資源として鑛産(石炭、鐵)水産(鹽)農産(棉花)の三つが擧げられる。中でも鑛産は最大資源であり

石炭

は埋藏量一千三百二十八億二千七百ト、全支産額の五五・六%を占め、これを滿洲國の石炭埋藏量に比すれば二十八倍餘に該當し山西省一省で全支産出の五三・二%を占めてゐる。山西炭田の主なるものは平孟路澤、臨沂、河興離縣、太原西山、寧武、大同、渾五の七大炭田でこのうち平孟路澤炭が省内の四〇%を占めてゐる。

鐵

は一億四千八百八十六萬四千ト、全支産額の四六・九%を占め、中でも察哈爾省は九千六百四十四萬五千ト、全支埋藏量の二八・三八%を産出、河北省は四千二百萬トで第二位を占めてゐる。察哈爾鐵礦の埋藏地は真化、龍關、懷來の三縣でこのうち懷簡山、龐家堡、麻峪口は龍關鐵礦公司の鑛區で塔刀窩溝及び察家溝は涿鹿鐵礦の中心地で

ある。

鹽

は山東鹽および長蘆鹽がその代表で、山東鹽は鹽田六千陌、一陌當り六二廳、年産二八萬担(一九三五年)。長蘆鹽は鹽田九千町歩、産鹽量年額二六萬廳であるが最近何れも増産計畫が擧げられ山東鹽五十萬廳、長蘆鹽六十萬廳が目標とされてゐる。

棉花

の作付段別は一千七百三十六萬六千畝(滿鐵北支要覽)で産額五百十六萬一千噸である。北支農産の主なるものは小麦、粟、高粱等の食糧で棉花は全段別の五%に當るのみであるが鋭意これが増産に努力栽培率を十五%乃至二〇%まで擴充すべく計畫中。

治安と交通

北支の治安は漸次整備して來てはゐるが事變後日も淺く包含地域の廣大な上に前線では支那軍に對しなほ軍事行動繼續中であり、一方支那側は遊撃隊により後方擾亂を企て更に敗殘兵、匪賊等も跡を絶たないためになほ未だ完全とはいひ難い。共產第八路軍を主體とする遊撃隊は陝西を根據とし山西の五台山及び中條山脈に蟠踞し山東南部高縣を中心にも蠢動を續けてゐるが皇軍はこれに對し昭和十四年二月及び五月にわたり山西地區、山東南部地區の大掃蕩を斷行し彼等に大打撃を與へた。現在北支の要地には皇

にある。

この地區を治むる中華民國維新政府は昭和十三年三月二十八日南京に誕生した。その指導精神は共產主義排撃、日支親善、一黨專制取消してあつて組織は行政、司法、立法の三種鼎立である。成立以來すでに一年有半、北

中華民國維新政府機構一覽(昭和十四年九月) 行政院 院長 梁鴻志、秘書長 吳用威

Table with 10 columns: 外交部, 內政部, 財政部, 綏靖部, 交通部, 教育部, 實業部, 立法院, 司法院, 行政院. Lists various ministers and their titles.

立法院 院長 湯宗堯 司法行政部部長 胡勛泰 秘書 丁政言

支の臨時政府と連繫を保ち支那の中でも最も複雑なる國際關係を有する上海を包含する種々な困難に打ち打ち財政に治安に建設に業績の見るべきものがある。

政治組織 行政、立法、司法の三院が最高機關で、司法院は未成立、目下行政、立法二院でやつてゐる。行政院には外交、内政、經濟、財政、教育、實業、交通の七部と司法院が二部がある。地方機關としては江蘇、浙江、安徽三省政府と南京、上海兩特別市府とがある。これら中央、地方機關の人的構成は次表の如くである。

治安・行政 内政部内に總務、民政、警政、衛生、統計、土地の六司をもち成立以來内務行政に力を注ぎ來つた。まづ省、道、縣の組織條例を定め縣の下に城、廂、鎮、郷の自治機關を設け清鄉、保甲、戶口等の各辦法を制定し地方秩序の整備に努めた。警察行政方面では違警罰法、縣知事任用條例等を制定、警官學校、警士訓練所等を設けその他水害の防止と救濟、地方倉庫の管理、救濟院の設立、土地施行法、檢疫條例、出版法、著作權法、醫師藥劑師助產士規則制定等を行つた。綏靖部は軍事機關であるが、當面の任務として地方治安の維持に力を注ぎ部内に二司七

科を有し治下三省に綏靖區を設け各司令官を派してゐる。軍官學校も昭和十二年十月成立し一方綏靖隊の編成に努めをり十四年二月現在でその數四萬四千となり、これに屬順申込四萬を加へると近き將來に約九萬の部隊となる。一方民衆組織による自衛的治安工作としては保甲制度なるものあり、これと並んで防共青年團の組織が進行中で百三十萬の團員獲得を目ざしてゐる。

外交部は成立以來江海關の接收、上海租界當局との折衝等をやつてゐる。教育部は二司十一科四督學、今までに小學校法、高等學校法、專門學校法、師範學校法、大學法、留學規程、臨時教員養成所規程、教育督學規程を制定してゐる。毎月東方文化座談會を開いて日支文化界の名士を集めて協議してゐる。司法行政部の下には江蘇、浙江二高等法院が設けられ江寧、上海、吳縣、無錫、杭嘉五地方法院も設けられた。司法人員の登記を行ひ合格者を司法官に任命將來の人材養成のため十四年五月司法人員養成所を設立した。實業部は漁牧、工商、農林の三司あり、農村の復活、工業の回復、漁牧の獎勵、鑛産開發、消費調節等最も緊急を要する施設に力を注いだ。昭和十三年十一月から十四年四月までを實業工作計畫第一期として綿業改進機關の設立、絲繭事業の徹底的改革、國立工藝院

の設立、鑛業條例の改訂、中央鑛業實驗所の整理、中央林區管理局の回復、炭礦の復活、南京、上海總商會の回復、商標局及び商檢局の改進、製紙、印刷事業の改進等の實現に努め更に昭和十四年五月より十一月までを第二期とし農業專門技術訓練所の創設、三省の鑛業實驗區の設立、昆蟲局の回復、浦東アルコー工場の接收、漁牧司の改進工作と華中水産會社との合作等を計畫してゐる。

交通 中支の交通は四通八達の水路にあるが、このため上海内河汽船會社が昭和十三年七月設立された。鐵道は交通部(八科)の努力により京滬、滬杭、蘇嘉各鐵道の修理成り上海、南京間には急行列車をへ開通、五時間半をもつて日歸りさへ可能となつた、また自動車も華中市公共汽車公司が設立され上海南京等八都市にバスを通してゐる。航空は大日本航空會社が上海―日本線に就航のほか中華航空會社が昭和十四年三月より上海、南京北支線を開航した。郵便事業も治安回復と共に復舊、約三百局が事務を開始、近く蘇浙皖郵政總局設立の運びとなつてゐる。電信電話は昭和十三年六月華中電信會社が上海國際無電台を接收、中支相互間をはじめ北支、日本及び諸外國との無線聯絡を開き七月同社の事業を繼承した華中電氣通信會社が上海各電

話局を復興し順次南京、杭州等各局におよび同十月日本と無電開通、十四年一月上海、蘇州、南京間長距離電話も開通した。

財政・金融 財政部は昭和十三年五月日英間に海關處理取極め成立するや直ちに江海關を接收するとともに海關監督を任命、同六月關稅引下斷行、十一月共同租界内における江海關樓上高く五色旗を懸すに至つた。最近では海關より毎月正金銀行に預託される關稅收入は一千万に上りこれに統稅收入五百萬元を合し年收一億八千万に達し政府諸經費を賄ふに足りてゐる。統稅機關としては蘇浙皖稅務總局がこれを統轄し鹽稅機關として鹽務管理局を中心に機構充實を急いでゐる。維新政府治下の產鹽場たる兩淮兩浙からの鹽稅は事變前年額八千万であつたから鹽稅回復せば財政上非常に有利である。このほか田賦、家屋稅、營業稅などの地方稅も整備を急いでゐる。民衆負擔減輕については地租の免除地方稅を撤廢し代りに地方交付金制度を確定した。

中支通貨政策に關しては興亞院華中連絡部をはじめ現地各機關並に維新政府にて慎重檢討を遂げつゝあつたが、十四年五月に至りつひに華興商業銀行を上海に創立することとなつた。

華興商業銀行券は大體法幣相場にリンクする方針を採用し來つたのであるが、その後の情勢は法幣は日に漸落し七月十八日にいたり香港上海銀行支店の再度銀行間の外貨賣止め斷行により、一方重慶政府の宋子文、孔祥熙、張公權ら財政要人の辭意などより、急に五毫の維持さへ困難となり、第三國側がさらにクレジットを設立してこれを支ふるにあらざる限りその安定回復は困難と見らるゝにいたつたので華興商業銀行側において法幣リンク政策を放棄するに決し獨自の立場より大體六毫に設定するに決した。

産業開發 國策會社として中支那振興株式會社は昭和十三年十一月七日成立した。資本金一億圓、總裁兒玉謙介氏、本店上海。これは持株會社で直接事業に當る事業會社たる子會社を作り、これに投資または融資し事業を統合調整し乃至統一的に指導し特殊な場合のみ自ら事業を經營する建前となつてゐる。而して同會社の投資または融資する子會社の事業は (一)交通及び運輸に關する事業 (二)通信に關する事業 (三)電氣・瓦斯、水道に關する事業 (四)鑛産に關する事業 (五)水産に關する事業 (六)前各記のほか中支における公共の利益または産業振興のため必要なる事業と規定されてゐる。この規定によつ

て設立されたる子會社は左表の如くである。

Table with columns: 會社名, 設立年月, 資本金, 所在地. Lists various companies like 華中電氣通信株式會社, 上海恒產株式會社, etc.

南支といふのは普通には福建、廣東、廣西三省を指す場合が多いのであるが、この上に地理的、民族的、政治的な關係から浙江、湖南省の南部、雲南、貴州兩省を包含せしむる場合もある。但し政治、産業の中心は廣東である。我軍の南支制壓はその目的が海岸線の封鎖にあつた關係上現在新秩序態勢下にある地區は福州、廈門、汕頭、廣東の諸都市と海南島にとまつてゐる。

廣東

政略半月後の昭和十三年十一月一日には惠州に治安維持會生れ、三日に佛山鎮に、二十七日に廣東自治委員會が誕生した。委員長彭東原氏、副委員長呂春榮氏、委員高衍慶、廖銘、卓球、陳紹唐、梁永棟諸氏。これとともに委員會改稱を確立し正副委員長を加へた十名の委員からなる合議制の最高委員會のほか諮問機關として諮議、諮議を設け、行政機關としては秘書處、治安處、民政處、財政處、復興處、司法處、外交處を置く。廣東の經濟建設は諸種の事情から北支、中支の如く未だ顯著なる實績を見ざるも舊廣東省政府統轄たりし諸工場の復興は順調その緒についてゐる。

廈門

昭和十三年五月十日政略、六月には内地人、台灣人が復歸し興亞院廈門連絡部も設けられ水戸長官が就任した。十四年五月十一日親日廈門總商會長洪立勳氏が對岸鼓浪嶼で暗殺された事件が起り、引きついで鼓浪嶼租界問題が発生したが、なほ日本當局と租界當局は交渉繼續中である。

汕頭

汕頭の最高司法行政機關たる汕頭市善後委員會成立式は昭和十四年八月十八日舉行、周元碩氏が委員長となりはか四委員

を決定した。

海南島

昭和十四年七月十五日、海南島各縣代表大會を開催、九十一名の代表を選出し十六日さらに魯汝年、吳直夫、林耀李、謝若愚、趙士桓、毛鏡澄、劉乙公、李濟民、李志健九氏を政府委員に選出した。十七日午前十時瓊崖臨時政府成立式典を海口中華戲院で舉行、委員長は互選の結果趙士桓氏當選し瓊崖委員長の成立宣言、民衆代表の決議朗讀ついで左記四項目にわたる新政府の指導精神を宣明した。

(イ)瓊人治瓊(ロ)日支合作による全島の經濟開發(ハ)行政簡捷、健全財政(ニ)共產主義撲滅

因みに初代委員長たる趙氏は廣東國民大學教授、文昌中學教諭を経て海南島文昌治安維持會會長であつた。

◇蒙 疆

地域

こゝにいふ蒙疆地區とは蒙古聯合自治政府所管の地域で、東は興安嶺をもつて滿洲國と境し、北はゴビの沙漠により外蒙と連り、西は寧夏省、南は内長城線を隔て、陝西、山西、河北の各省に接する舊察哈爾、綏遠兩省および山西省の北部を加へたいはゆる内蒙古の大部分を占める五十萬平方の地域

合委員會最高顧問金井章二氏は主席と不分離の關係において新政府最高顧問の地位に立つこととなつてゐる。

なほ新政府の年號は成吉思汗紀元、首都は張家口、政府旗は赤、藍、黃、白の四色旗と決定した。

日本との關係

(一)我大陸國策の根幹たる西北支那に伸びる防共驅逐策のため(二)重要資源として(三)蒙古民族運動の自治政權獲得——右三項目を基礎とし新支那とは別個に特殊な高度の防共自治地域として發展しつゝあることが當地區の特質である。

産業

第一は鐵礦で、その埋藏量一億七千萬ト、龍烟鐵礦最も著名で埋藏量一億二千萬ト、この經營主體は蒙疆法人龍烟鐵礦會社である。ついで羊毛其他の畜産、主として羊、馬、牛、豚、驢、騾等、通過羊毛數當年三千五百萬斤、各獸毛取引額六百萬圓、これらの開發増産を企圖してゐる。

金融

三自治政府等額出資の下に昭和十二年蒙疆銀行(資本金一千二百萬圓、本店張家口)が設立され紙幣發行額は三千五百五十萬圓(十三年末)に達し業績極めて良好その紙幣は兌換せざる管理通貨制の上に置かれてゐるが操作適切を得て準備確實(七〇%)

を指すもので、わが本州、九州、四國、朝鮮を合せた面積に匹敵する。

人口

人口は總數五百七十萬、うち察南五百五十萬、晋北五百五十萬、蒙古二百七十萬。民族は漢族が大部分で蒙古人は全住民の五%で約卅萬、このほか少數の回教民族がある。

政治

蒙古聯合自治政府の成立式典は昭和十四年九月一日張家口の蒙疆聯合委員會新廳舎内庭にて舉行された。從來蒙疆地區には察南、晋北、蒙古の三自治政府があり、そのほか德王を委員長とする蒙疆聯合委員會が三政府共通の政務をみるために設けられてあつたが、蒙疆の發展に伴ひ單一政府樹立の要望高まり遂に新政府の成立を見るに至つたもので、新政府は蒙古聯合自治政府と稱しその首長を主席と稱しその下に二名の副主席を置く。さらにその下に政務院、政務院の下に總務、民政、治安、司法、財政、産業、交通の七部を置き、各部にそれ／＼三乃至七の科を置く。また政府主席とならんで參議府及び軍總司令部を設け、政務院には諮議を置くことになつてゐる。また地方政治は察南に察南政廳、晋北に晋北政廳を置くとともに舊蒙古聯盟政府管内の白音太拉、察哈爾、烏蘭察布、錫林郭勒、伊克昭の五盟にそれ／＼各公署を

にして日、通商貨と等價に安定してゐる。

交通・通信

鐵道は京包線と同蒲線の一部で滿鐵が委託經營、小運送には蒙疆運輸股份有限公司(資本金百萬圓)が當つてゐる。自動車は蒙疆汽車公司(資本金六百萬圓)が獨占し主要路線二十八、延長三千、に及んでゐる。通信事業は蒙疆電氣通信設備株式會社(資本一千二百萬圓)が設立され、ラヂオは張家口に五百ワットの放送計畫が完成した。新聞社は蒙疆新聞社(資本四十萬圓)が設立されてゐる。

産業計畫

蒙疆聯合委員會では昭和十三年三月産業五ヶ年計畫を樹て蒙疆産業資源の開發に着手したが十四年に入つて國際情勢の變化、日本の物動計畫および滿支をつなぐ生産力擴充など内外ともに全面的に促進態勢をとるに至つたので、委員會では五ヶ年計畫を一應打ち切り新たに三ヶ年計畫を立案中のところいよ／＼大綱の成案を得たので關係方面の最後の檢討を経て實施を見ることになつた。右案は資源の開發に重點を置き石炭、鐵石、鉛の礦産資源の開發とこれに關連する石炭液化、セメント、羊毛、電力、交通通信各事業の大擴充に向つて進むのであるが、その主なるもの三ヶ年後における開發量の目標を示せば大體次の通りである。

置く、なほこれが人的機構は參議府に議長、副議長各一名、蒙軍總司令部に總司令、政務院に院長、各部に部長および次長を置き、地方政廳には長官と次長を置く、盟公署には長官と參議官を置くものである。

▲政府要人 新政府の人事の主なるものは左

- 主席 德穆楚克魯普(德王)
副主席 夏燕、于品卿
參議府參議 吳鶴齡、同秘書處長村合彦次郎
政務委員長 卓特巴札布、同諮議院議長 赫梯布
特克稀布彦、總務部長 菊池保、民政部部長 松津楚克、同次長 大場達之助、治安部長 丁其昌、同次長 代理水川依夫、司法部部長 陶克陶
同次長 代理波多野義能、財政部長 馬永魁、同顧問兼次長 事務取扱 日比野賢、産業部長 杜連宇、同次長 野尻哲一、交通部部長 永金昌、同次長 伊藤祐、同鐵道顧問 滿尾亮、牧業總局長 鄭爾卓札布、同次長 泉名英、推運總署兼稽查總署長 吉爾嘎朗、同次長 高須進
蒙疆學院院長 關口保、同副院長 田邊壽利、察南政廳長 官陳玉銘、次長 竹内元平、晋北政廳長 官前島昇

白音太拉盟長 補英達額、察哈爾盟長 托圖巴札布、錫林郭勒盟長 林溥、同副盟長 烏蘭察布盟長 巴寶多爾濟、伊克昭盟長(未定)
總務部次長は當分缺員の儘、なほ現蒙疆聯合

石炭一大同五百萬、下花園五十萬、大青山四十萬、鐵一龍烟百七十萬、石綿一二萬、雲母一萬、鉛一十五萬、石炭液化は大同炭を用ひてコークス、コークライト、油の大生産をなし、電力は發電設備十四萬キに上り、交通は鐵道、自動車等産業開發に伴ふ充實を圖り、通信施設またこれに應じ、羊毛も在來種の増産改良、コリデル輸入により大開發を行ふ豫定である。

租界問題

天津の租界問題は日本側の隔絶斷行、日英會談となつて世界の注目の的となり新事態下支那における最大の外交問題となつた。元來租界は支那の政治能力未だ備らざる期間における列強の勢力扶植の基地であつたもので租界の存在は一面支那の國家的發展を阻害せると同時に他面支那の文化上に相當の効果を殘したものである。新事態下支那においてすでに整備した政治機關が生れ治安の能力が皇軍保護の下に十分な今日にあつては租界の存在が當然幾多の矛盾を蘊するのみならず殊に反日的策動の凡てが租界を根據として堂々とはれ新支那建設の障礙たることはまことに許すべからざること、その解決は事變收拾上の重要な部分を占めるといつてよい。

上海租界問題

昭和十三年一月岡本上海總領事より共同租界工部局に對し「抗日テロ取締、警察機構改正」を要求、その結果赤木特別副總監就任す。十四年二月三浦總領事より更に「テロ取締」を要求、大體工部局は我要求を容認、三月十日上海特別市政府より上海第一特區地方法院の接收、土地台帳返還、青天白日旗掲揚禁止を申入る。五月三日我澤田外務次官より在京英米兩國大使に「土地章程改正」「法院の接收」等租界の根本につき申入れを行つたが、英米兩國政府は右に對し、その時期にあらずとして拒否的回答をよせた。我方は飽くまで租界土地章程の舊態を打破すべき方針に邁進する豫定である。

廈門、鼓浪嶼租界問題 昭和十四年五月十一日廈門市商會長洪立勳氏鼓浪嶼にて暗殺され十二日我陸戰隊上陸、十七日英米兩國より陸戰隊上陸、五月十四日内田總領事より左の五項を租界に要求す。
(一)排日の取締
(二)工部局長兼警視總監及び工部局秘書長を日本人としその職員もなるべく日本人を採用すること
(三)台灣人に工部局參事會員の選舉權と被選舉權を與へること
(四)缺員中の支那人工部局參事會員三名を

天津租界問題

昭和十四年四月九日天津海關監督程錫庚氏抗日テロ團のため英租界内にて暗殺され、同二十三日四名の犯人逮捕されたもイギリス側は日本側の引渡しに應ぜず五月三十一日付をもつて我方より六月七日正午までの期限付回答を求む。六月六日イギリス側より犯人は證據不十分なりとして引渡しを拒絶、我方の承認せざる第九路軍參謀長と稱する者ほか一名を右四名の上官なりとして引渡しせしと拒絶的回答をなす。よつて六月十三日天津軍當局は英租界隔絶の重大聲明を發す。然るに同日英本國政府は租界封鎖延期を申入れ来る。六月十四日午前六時より英佛兩租界の隔絶を斷行。その後イギリスは對策に苦慮し經濟封鎖、香港、新嘉坡諸港に對し復手段等の恫喝宣傳を行つたが我現地、中央の一致せる決意は牢固たるものあり英政府は遂にクレーギー駐日大使を通じ天

津租界問題につき東京にて日英會談を開催したき旨提議し來り、我方これを承認して七月十五日東京外務省において先づ有田外相、クレーギー英大使による日英の諒解取極めの交渉開かれ、遂に英國側は我方の原則要求を承認、同月二十四日帝國政府は聲明を發し、同時に英國下院にてチエン・バレン首相より同主旨の聲明を行つた。(外交欄に詳記)
ついで經濟問題即ち天津における法幣の禁止、英國側保留現銀の引渡し問題に入るに及んで英國側は容易に我説得に服せず、つひに回訓未着を理由に往復日を重ね十八日クレーギー大使は本國政府の回訓に接し通貨及び現銀問題は地方問題として治安問題と同時に論議する能はずといつて來たので、こゝに日英會談は一應中絶の餘儀なきに立ち至つた。

上海で國民黨六次大會

汪兆銘氏の重慶脱出 昭和十三年秋皇軍武漢を攻撃する武漢放棄論と武漢死守論とが激烈に論議されてゐたが共產黨系乃至黨内主戦派の主張が奏功し武漢死守と定め蒋介石は武漢三鎮死守を言明するに至つたが、皇軍破竹の進撃の前に脆くも敗れた國民政府はあげて重慶に遁入して了つた。そこで重慶では武漢から持越しの共產黨系、抗戰派對國內の和平論者との間に抗爭が激化し和平論者の方では

武漢死守失敗の責任を無責任なる共產黨の主張にありとして痛烈に攻撃したのである。一方重慶政府内における勢力は共產黨の進出著しく國民黨系は一部過激派を除くはかた悉く共產黨に對する反感を益々助長せしめつゝあつたのである。かゝる情勢のうちに十三年十一月十三日長沙の擄擄事件勃發するや民衆怒聲の聲浪に滿ち、汪兆銘氏は豫ての和平論に更にその熱を加へ無謀なる焦土抗戰の愚を説いてU・P通信記者との談話に焦土抗戰を非難し或は中央週報に遊擊戰術排論を公然と掲載して主張を明かにしたため抗戰派の憤激を買ひ身邊の危険を感じるに至つたので十二月十八日密かに重慶を脱し昆明に飛び更に昆明より飛行機にて佛領印度支那の河内に到着した。汪氏には腹心會仲鳴氏ほか數名が同行した。十二月三十日汪氏は河内にて内外注目するうちに和平の第一聲明を發し非常な衝撃を各方面に與へた。殊にそれは重慶政府に甚大なものがあつた。即ち重慶政府は十四年一月一日國民黨中央執監臨時會議を開き汪は自己の部署を放棄對日和平を唱へたるにより國民黨籍より終身除名し一切の官職を褫奪する旨決議し重慶において汪派と目される要人多數を逮捕するに至つた。汪氏の和平聲明によつて黨内の和平論者及び全國の同志は俄然動搖をみせたもので蒋介石は大いに狼狽し汪

氏脱出が國民黨に影響なきことや益々抗戰に邁進すべきことなどの放送に努むる一方、密かに汪氏の許に密使を派して勸意圖重せんことを求め來つたのであつたが汪氏の決意固く動かさずと見るや俄かに策を改め刺客を派し三月二十一日その隱家を襲撃せしめ會仲鳴氏を殺し數名を傷くるに至つた。こゝに於て汪氏の蒋介石糾彈、和平強調は益々固く第五の論文に或はマイクを通じて民衆に訴ふる等目ざましい活動振りを示した。さればその反響は日に大きく各所に汪氏の聲明を支持する民衆團體々々出現し臨時、維新兩政府の滿腔の贊成支持とともに汪氏を擁して相よつて更に強固なる中央新政權を樹立せんとする機運は澎湃として起つた。實に國民黨にとつて汪氏の脱出は事變以來の最大事であつた。

上海で國民黨六次大會 重慶脱出以來汪兆銘氏の數次にわたる熱烈なる和平の呼びかけはその反響極めて大きく全国各地の民衆は續續汪氏支持の通電を寄せ來り、汪副總裁に對し速やかに第六次全國代表大會を召集し新國是を協議せんことを要請するもの續出した。かくて各地より國民黨代表二百三十三人の召集を見るに至つたので黨では昭和十四年八月二十八日より三日間上海に國民黨第六次全國代表大會を開催し、

一、去る一月一日以後の黨中央執行委員會および監察委員會の一切の決議命令は完全に無効とする。

一、黨總章を修正して總裁制を廢し中央執行委員會主席を設け總理の職權を代行せしむ。

一、反共をもつて黨の基本政策とする。

一、日支關係を根本的に調整し速かに國交を回復する。

一、中央執行委員會主席に授權し中央執行委員會を指名して黨外の人士と協同して中央政治委員會を組織せしむ。

蔣介石政權の現状

政治

ついで討議のち決議を作成、前期中央執行委員會常務委員の重任、周佛海氏ら九名を新たに常務委員に任命、左の如く中央黨務機關責任者を決定して五日積極工作に入つた。

合會により「國防最高會議法」なる官制の公布を見た。

國民政府の組織

國民政府の政治は孫文の首唱にかゝる三民主義に基く五權分主制により政府の組織は一九二八年十月三日公布の「中華民國國民政府組織法」による。即ち



地方政治制度 省政府、市政府、縣政府の三に分れてゐる。

事變下の國民政府體制 一九三七年九月九日の中央政治委員會及び中央常務委員會聯

更に一九三八年一月一日國民政府は長期抗戰に備ふべく政治機構の大改革を行つた。即ち蔣介石は行政院長を辭して軍事委員長となり、行政院長には孔祥熙を据ゑて財政部長を兼ねしめ、副院長には張群を充てた。行政機構改組は實業部を改めて經濟部として規模を擴大し鐵道部、交通部を合して大交通部とした。改革の重點は一切の政治機構をして蔣介石を主軸とする軍事委員會に從屬せしめ輿地運入後の情勢に適合せしめて蔣自身の支配權維持と抗戰の基礎を固めんとするにあつた。

改組後の國民政府は軍事委員會を中心としてその強化を圖り、副委員長に西南派の頭目李宗仁を、軍事訓練組織部長には白崇禧を、作戰部長に徐永昌を任命し、同時に國防會議會

を擴充して従来の委員三十名を七十五名に増加し各派の有力者を参加せしめ國內の團結を圖つたが、改組の實質はあくまで蔣介石の權力強化にあり舉國一致は形式に止ることは軍事、行政各改革機構の要位は悉く蔣の腹心をもつて固められてゐることによつて窺知される。即ち從來交通部長たりし俞飛鵬は軍事輸送局長に、海軍部は陸軍部に併せられ何應欽軍政部長の指揮下に置かれた。また交通、鐵道兩部は合して大交通部となり張公權が新部長に擴大強化された。經濟部長には翁文灝が任命され、國民總動員の元勳たる新教育部長には陳立夫が据つた。これによつて軍、政、經と蔣政權は強度の體制を整へ、しかも共產黨はじめ各黨派をも一面この新機構のうち

戰時體制下の國民黨

(一) 共產黨との合作 國民黨と共產黨の合作の端は一九三六年十二月において蔣介石が張學良、楊虎城等の共產勢力に捕はれ身の身となり合作を條件として生還したに始まつたのであるが、支那事變勃發とともにこれは急激に具體化した。即ち一九三七年八月十五日付の共產黨の「抗日救國十大綱領」九月二十一

日付の「稱誠團結一致抗敵宣言」が同一二十四日の蔣介石談話によつて容認され、こゝに國共合作ははじめて正式に表面化されたのである。かくて國共の合作は實現されたが元來國民黨と共產黨とは氷炭相容れぬ性質をもち、それ故に蔣介石は十ヶ年の長い間共產黨の討伐に従事して來たのである。今や抗日救國のスローガンの下に同床異夢を再び結ぶことにはなつたが共產黨は國民黨との合作によつてその終局的目的たる支那共產化を達成せんとし國民黨は共產黨と結ぶことによつて國內の統一を計りソ聯と結び共產黨の戦力を借つて對日戦の上に一時的に利用せんとする建前であつて、かゝる無理な結合がやゝともすれば抗日戰線陣營に相剋と破綻を齎す原因となり現に幾多の事實となつて現はれて來てゐる。

(二) 臨時全國代表大會 國民黨第六次全國代表大會は事變勃發のため開催不能となつたので、國民政府は一九三八年三月二十九日より四月一日まで漢口にて國民黨臨時全國代表大會を開いた。本大會は交戦下のことであり

共產黨勢力の増大しつゝある時期だけに共產黨はこの機會に發言權を獲得して各種の提案をなし合法的にしかも巧妙に自派の擴大と國民黨への浸潤を計つたのであるが國民黨側も豫めこれに對處し一面彼等の主張を容認する

とともに他面には潜在目的を防ぐべき手段を講ずるのを怠れはしなかつた。即ち共產黨の主張による各派参政主義による國民参政會の新設を決定せる他面、三民主義青年團なる右派綜合の防共團體をも新設した如きこれである。國共兩派は軍政共に帝制利用し共產黨はイギリスの如き帝國主義國家の蔣介石援助に支障を與へざるため表面に現はれることをさけ内部から徐々に目的へ進む手段を講じ國民黨は共產黨を媒體とするソ聯の援助を求めつゝ政權把握に近づくことを極力防止するといふ方針で同床異夢は更に繼續されつゝある。

(三) 共同委員會の成立 中國共產黨第六次全國會の決定に基く新國共合作案は國民黨五中全會で一應否決されたが、昭和十四年三月中旬重慶において國共合作を眼目とする共同委員會が成立したと傳へられた。同會成立の發表されないのは同會が國民黨の合法的順序を踏んで出來たものでなくかつ英米等の資本主義國家への思惑もあつて秘密に保たれたる故であつて、傳へられる同會の構成は

委員 蔣介石、陳誠、陳果夫、朱德、毛澤東、周恩來、陳紹禹

機關たる國防最高委員會に付議すべき黨政、軍に關する一切の重要事項も同委員會の同意を必要とするに非公開的な共同委員會が實際上の最高權力を握るものである。

陸軍

共産軍 一、第八路軍 總指揮朱德、副指揮彭德懷、兵力約十萬

一、新四軍 軍長葉挺、副軍長項英、政治部主任五助、兵力約十萬

中央軍 事變前の中央軍は正規軍、不

正規軍、共産軍を合し約二百十萬内外であつたが事變二周年後の今日ではその配置は大標次の如くなつてゐる。因みに開戦以來の支那軍側戦死者は百二十萬(胡駐米大使発表)一、揚子江以北全部を西北地區、揚子江以南を西南地區に分け西北地區の總指揮官に程潛(司令部は蘭州)西南地區の總指揮官に白崇禧(司令部は廣西省桂林)を任命、兵力の配置は揚子江を中心とする南に大部隊を配置、即ち浙贛鐵道附近より洞庭湖の南に亘る一帶に薛岳の第九戰區約五十萬、揚子江北側の第五戰區李宗仁の二十五萬、綏遠、寧夏兩省は第八戰區兵力四萬、朱紹良が指揮に當つてゐる。山西の舊黄河に沿うた地區は第二戰

區で閻錫山が約十五萬を率ゐてゐる。西安附近には蔣鼎文の率ゐる第十戰區約八萬あり、鄭州附近には第一戰區衛立煌の約九萬がある。なほ以上のほか江北には所謂京漢線西北區の李宗仁の率ゐる第五戰區廿五萬がある。江南には薛岳の率ゐる第九戰區五十萬、杭州以南に顧祝同の第三戰區十二萬、廣東の周圍には韶州を中心として張發奎の指揮する第四戰區十四萬が配置されてゐる。

雜軍 右のほか北支に鹿鍾麟軍約三萬、千學忠の山東軍五萬があつたが、わが河北、山東肅清戦に約半減された。

空軍 現有勢力E十五、十六型及び練習機等百三十台、爆撃機S・Bやセバスキー等五十台見當である。戰隊は蘭州爆撃隊は重慶、成都に根據地を置き南鄭、平涼、玉山、南陽、衡陽、芷江に前進基地を有し訓練所は昆明、重慶に置きソ聯將校が指導に當つてゐる。蘭州は最近において全くソ聯部隊と化し去りソ聯の飛行機組立工場をはじめ外蒙經由器材、ガソリンを集積、最近ソ聯より飛行機百二十台及び數十輛の戦車がソ聯部隊ともにも集結されたといふ。

交通

戦時下國民政府の交通を概観すると

鐵道

隴海鐵道 連雲港より陝西寶雞に至る一、二二五軒で現在國民政府支配下にありは鄭州以西約六七〇軒、そのうち鄭州、潼關間二六〇軒は我攻撃に曝され機能を失ひ西安以西のみ對ソ關係上かなり動いてゐるらしい。

粵漢鐵道 全長一、〇九六軒、支那軍の手の中にあるのは湖南省株州以南廣東省英德まで四五〇軒、兩首斷たれて機能は極度に失はれてゐる。

浙贛鐵道 杭州對岸江邊より株州まで九八〇軒、我南昌攻略により中斷され南萍段は撤收破壊されてゐる様子で現に活動してゐるのは僅か五百軒内外のみ。

滇越鐵道 昆明一河口間四六四軒、海防まで全長八五一軒、事變以來活動力は三倍に達して援路の主なるもの、フランスの經營にかゝる。

湘桂鐵道 事變後起工され粵漢線衡陽より廣西省桂林、柳州、南寧を経て佛印の國境嶺南關に至る九五〇軒、この全線を四區に分ち工事中で第一區衡陽一桂林間は十三年秋開通桂林一柳州、柳州一南寧間は近く完成の豫定第四區間たる南寧一佛印間も十四年末開通の豫定。

歐亞航空公司 同じく重慶を中心に昆明、桂林、河内、成都、西安、蘭州、西寧、寧夏、涼州へ週一回乃至三回運航してゐる。

對英空路 中國航空、英帝國航空兩會社の豫定で重慶を起點に昆明、ラシオ、ラングーンを経て英本國と聯絡するもの、重慶、ラングーン間を中國航空機が、ラングーン、昆明間を英帝國航空機が飛んでをり十四年二月二十八日重慶發、同二月二日ラングーン發を第一便として開始された。

對ソ空路 重慶を起點とし蘭州、哈密、迪化、塔城を経てソ聯のアルマトイに達するもの、重慶、哈密間を支那側、哈密以西はソ聯側が受持ち十四年三月協定成立し同三月二十五日ソ聯飛行機によつて處女飛行が行はれた。

戦時經濟

府政權の戦時經濟は全國臨時代表大會で決定した抗戰建國綱領の經濟原則に基くものであるが、その根幹は公債、増税、生産擴充、貿易獎勵、消費節約、紙幣増發、金銀の輸出、外債(列強の援助)、華僑送金にあるので、この必要のために爲替統制、貿易管理、法幣の強化策、借款乃至クレヂットの設定、外貨獲得のための土貨生産獎勵、これが運搬

四川・ビルマ鐵道 四川省敘州より雲南省

昆明を経てビルマ國境崑崙渡に至りこゝでビルマ側の計畫線ラシオ一崑崙渡延長線と接續する豫定の鐵道である。支那側の所謂敘昆鐵道で全長一千五百五十軒、昆明を中心として二分し北を川滇鐵道、南を滇緬鐵道としてゐる。各約七百十餘軒、十二年十月工程局を設け同十二月二十五日同時に起工式をあげた。支那側では一九四一年四月に兩線とも開通させる豫定といつてゐるが、全線は峻しい山岳地帯で大河谷を横ぎり百五十軒の隧道、數百軒の橋梁を必要とする。傳ふるところでは敘州一昭通間、昆明一宜威間は近く完成の豫定である。この線の建設にはイギリスが技術、資本上参加し竣工の頃は揚子江一イラワディ兩水系間の聯絡路として歐洲一支那への新道として非常に重要視されてゐる。

寶成鐵道 隴海線西端の寶雞から成都に延びるもので六百五十軒、ベルギー資本による建設計畫が事變のため頓挫したが、最近再び動き潼關以東の撤收材料を利用して晝夜兼行工事中ですでに寶雞一鳳縣間は枕木敷設を終つてゐると傳へられる。

湘黔鐵道 株州一貴陽間一千軒の鐵道で浙贛線の延長線に當る。ドイツ資本、現況不明 成渝鐵道 重慶と成都を結ぶ五三〇軒、十

二年五月起工、フランス資本の豫定であつた。現況不明。

公路

現在國民政府の支配下にある支那本部諸省には四萬軒前後の公路が完成されてゐるが事變以來の建設は新設一千六百軒、改修一千二百六十六軒といはれてゐる。主要公路のうち重要視されるものは對外交通線でその多くは國府交通部西南公路局の直轄下におかれ鐵道に代つて運營されてゐる。即ち滇緬公路(昆明一ラシオ)、湘桂公路(衡陽一南寧)、桂越公路(南寧一鎮南關)、桂滇公路(南寧一昆明)、川桂公路(南寧一成都)、鄂港公路(武昌一九江)、贛滇公路(南昌一昆明)、川滇公路(四川一雲南)、粵贛公路(韶關一南昌)、西蘭公路(西安一蘭州)、西漢公路(西安一漢中)、川陝公路(成都一寶雞)

以上のほかに蘭州より新疆を経てソ聯のセルギオボルに至る赤色公路も存在してゐること確實である。現在の國民政府にとつてはこれの赤色ルートと對ビルマルルート、對佛印ルートの三ルートが命の糧道である。

航空

中國航空公司 重慶を中心に成都、昆明、宜昌、嘉定、桂林へ週一回乃至三回の便あり。

交通路の整備等に大童であるが、北支における聯銀券の流通、中支における華興券のため法幣は崩壊し、我海軍力による海岸線の封鎖と重要海港の占領により必要資材の輸入と土貨輸出に極度の困難を来し且つ海關稅收の極減による減收、在外資金の消耗、貿易縮小による信用低下のため公債發行能力の急減と法幣基礎の弱体化及びイギリスの援蔣政策の變更による法幣支持中止等の諸事由により蔣政權の抗戰經濟力は刻々行詰りを示し破綻の一步前にあるのが現状である。たゞ抗戰一日の延長がそれだけ蔣政權にとり最後の勝利に近づくものとの誤れる見解を棄てないために最後の一仙も援蔣國の餌食となることを知りつゝも自らその陥穽に落ちこむかの如き最後の足掻きをつけてゐる状態である。以下前記各項の施設について略記する。

國民政府の發表によると、その豫算は一九三六年度十二億元、一九三七年度二十一億元、一九三八年度二十四億元、一九三九年度二十八億元五千萬元となつてゐる。平年の政費は三億五千萬元見當であるから、事變後二年間におけるその軍事費は約四十五億元に達してゐる。元來が赤字不健全財政の國民政府がいかにしてこの巨額の軍事費を調達し且つ戰時下における金融、財政の維持に對處したであらうか。

(A) 公債増發 國民政府の發行して來た戰時公債は左の如くである。

民國廿六年救國公債五億元、廿七年金公債一億元、海關金票一億元、(ロ)米弗五千萬冊、(ハ)英磅一千萬冊、廿七年國防公債五億元、二十七年賑災公債三千萬元、二十八年建設公債三億元、なほ建設公債の第二期三億元が昭和十四年八月に、軍事公債六億元が同六月及び十月に分割發行される豫定となつてゐるのでこれを法幣に換算すると事變以來公債發行總額は約三十一億元である。

(B) 増稅 從來國民政府全收入の三割を占めた關稅、統稅、鹽稅が日本軍の占領地區擴大とともに大減收を來したので國民政府は戰時財源に苦慮甚しく民國二十六年十月「輸出及轉口稅則暫行章程」を公布、ついで鹽稅、統稅にも増稅を行ひ、所得稅(民國二十五年創設)を徵收、「一時營利事業所得徵收辦法」を二十八年一月に公布、更に「非常時期徵收印花稅暫行辦法」を公布して印紙稅を二倍とし酒、煙草に對しては「土酒加徵釀辦十菸絲稅辦法」を公布した。戰時利得稅として「非常時期分利得條例」を、二十七年十月には「修正遺產稅條例」「戰時消費稅」も公布してゐる。地方稅としての田賦其他にも戰時加稅されてゐるが地方によつて異り詳細不明である。

(C) 通貨政策(法幣制度の動き) 紊亂を極めた支那の貨幣制度が近代的幣制の體裁を備へるに至つたのは事變に先立つこと僅々二年、一九三五年十一月四日の通貨改革が初めてである。即ち英國の援助の下に銀の國有令を發し、これを法幣の爲替兌換に對する在外通貨安定基金として法幣制度を樹立したのである。法幣制度によつて支那の貨幣運用の實權は完全に英國の手に握られたといつてよい。名目上の發行權は國民政府にあつてもその管理權は全然英國側の手中にある。事變下法幣の濫發は直ちに考へられることではあるが法幣の濫發がその對外信用を下落せしめ制度の基礎を危くするものであるから國民政府の長期抗戰の必要上かつ英國の在支權益擁護の二面からしてさうは自由に行かない。然るに他方日本軍の占領地區の擴大、その治安回復建設の進捗と、もに北支における聯銀券の流通増大と舊法幣の禁止、中支における華興商業銀行券の流通、圓札、軍票の流通等法幣の基礎を揺がす諸事情の勃興と貿易激減且つ入超決濟の困難、國內銀の吸收不可能等の諸因は法幣をして急落の道へと前進させるばかりであつた。

國民政府は一方軍費の抽出の點と法幣の對外信用維持のために大童となつた。勿論英國もともにである。にもかゝはらず法幣は遂に

大暴落を呈してしまつた。創立の當時より對英爲替一志二片二分の一(最低一志二片四分の一)を維持し來つたものが昭和十四年六月には八片四分の一となり六片二分の一となり同八月には三片台にまで墜落したのである。國民政府は法幣の増發が前述の如く容易に出來ないために窮餘の策として一元券及び補助券を地方的に發行するとした。この一元券及び補助券は發行準備中に二割の法幣を入れ、ことゝしたため法幣はこの方面に流れて都市における流通量を減じ、一方形の變つた五倍の流通券が放出されたこととなつた。更に上海より興地へ逃避した法幣は五、六億元の達してゐる。他方一元券及び補助券が地方の產物と變つて外貨となり、法幣流通量の減少により發行準備が減縮されて外貨と變じ、これが軍費となつてゐる譯である。國民政府は軍事資材充實のために海岸都市工場を興地へ移轉したり重、輕工業を奨励したり鑛山を開發したりしてはゐるが早急に間に合ふ筈もないのでその九分通りは輸入にまたねばならぬ。すでに國民政府の在外通貨安定基金が法幣に對する無制限爲替兌換の必要のために存し軍事費として支辨し得るものは法幣收縮による準備減少量極度に止るのみか英國側の嚴重なる監督下にあつて思ふに委せぬ關係上大量に軍事資材の輸入決濟は日一日と困難に

なる。即ち國內金融の集中に努力する一方興地の土產物を輸出して外貨と變へる方法と借款による二途よりないのである。この必要上から貿易管理政策がとられるに至つた。事變後輸入貿易管理より開始されたがこれは北支の聯銀券に對する政策であつた。即ち外貨賣に制限を加へることによつて輸入制限、更に輸入統制を行ふに至つたのである。ところがこの爲替の賣制限が法幣本來の無制限爲替兌換の原則を破るものであるからその對外價值はこれを契機に低落を始めたのである。一志二片二分の一より下つて八片四分の一になつて一應安定を見たがこれは英系銀行の支持による。すなはち昭和十四年三月十日北支聯銀券に加ふるに中支の維新政府の華興商業券輸出して法幣に對する攻勢急と見るやこの援護のため英文各五百萬磅合計一千萬磅をもつて法幣安定資金を設定し英、支双方より五名の爲替平衡資金委員會を組織しこれが運用に當らしめた。然るに落潮なほやまずと見るや六月六片半に安定點を切り下げたが平衡資金の消耗とともに局面は天津租界問題の進展より英國の提議による日英東京會談に發展し天津租界の治安問題とともに北支における通貨問題もこれに包含され英國側において日本の主張にやゝ近よらんとする傾向がその「英の原則承認」に表はれたので法幣價值維持の支援

繼續不可能と見て法幣は一舉に暴落し三片台に落ち、英國側もこれに對し新に平衡資金を注入する意なきと言明するとともに成行を靜觀、今後に對處せんとする態度を示してゐる。

さて前述の如く國民政府は法幣對外信用維持と軍需資金獲得のために在外正貨の充實を計るために輸出入貿易を管理し輸入を制限し輸出を増加せしむべく努力し、輸出貿易増加策として農產物増産に主力を置き土貨を政府の手に集中するために地方銀行をして極力貸付政策をとらしめた。即ち金融統制、農、工、鑛業に對する處置を一覽するに次の如くである。

金融對策 一九三七年七月「妨害國幣幣制暫行條例」を發し、また中央、中國、農民、交通の四政府系銀行をして融資聯合委員會を組織した。同年八月中央、中國、交通三銀行をして貸付手形割引に對する特別融資委員會を組織せしめ公債、土地、證券の擔保價格を引上げた。國民政府は「戰時下の必要に對應する内地金融の調節、農工業の扶助、生産の増加を計る」といふ理由で「地方金融機構改善辦法綱要」を公布した。右内容は中央、交通、中國、農民の四銀行發行の一元券及び補助券を地方金融機關が法幣二割のほかに三割の公債及び五割の動産、不動産を發行準備とし

て提供する領用制度、即ち代理發行制により引受け、更に當該地方の動産、不動産を擔保として貸付けるものである。しかして右貸付の對象は農産物である。このほか國民政府は「政府系四行内地聯合放款委員會放款辦法」(貸付割引辦法の意)を公布同委員會の手で金融統一に當る。

農業 民國廿七年六月農本局の組織を改定し國民政府經濟部と支那銀行と共同組織とし總局を重慶に設けた。また農產調整委員會を農產調整處に改め農本局に直屬、農産物の統制、耕作の改善、増産等を管理せしめ、別に農產促進委員會も設けた。産業未だ幼稚なる支那にあつては戰時國內金融の中心は農業に存してゐる。

工業 海岸地區の各工場と内地移轉のため中央建設委員會を設け廿七年下半年期において最も活動した。民國二十七年十二月十五日までの統計で内地移轉工場數三四一、うち四川省に入りしもの一四二、湖南西部に移りしもの一〇、廣西に向つたもの一五、陝西入りしたものの二〇、その他各地五四、機械の重量六萬五千二百、漢陽鐵鋼廠のものを加へると十三萬、紡績機械は三萬二千六百、金

リス官憲の便宜提供、香港を中心とする食糧軍需品の輸送 (ホ)天津、上海英租界におけるテロ團取締り不誠意、聯銀券流通の阻害 その他あらゆる問題にその敵性を露骨にしてゐるが、殊にイギリスの最も甚しい援蔣行爲はその財政援助にあるといはねばならぬ。これを一言にすれば蔣政府の抗戰力の台所はイギリスが受持つてゐるといふことである。 昭和十三年十二月九日英國政府は蔣政權に對する財政援助の左の結果を下院に提出した

- 一、現行輸出補償限度五千萬鎊(一九三七年五月二千五百萬鎊を五千萬鎊に擴張)を七千五百萬鎊に増額す。
 - 二、國家的利益の見地から補償を與ふることを適當と認むる場合には如何なる物件、例へば兵器類の輸出に對しても前記とは別勘定に一千萬鎊を限度として補償を與へることが出来る。
- 更に十四年三月二十二日下院、同二十九日上院を通過公布された法幣安定資金五百萬鎊案がある。

フランス

一、昭和十三年四月二十二日廣南關一南寧間の鐵道敷設の名の下に四里和蘭銀行、ラザール商會、印度支那銀行、佛支銀行の四行で組織されてゐる銀行團と國民政府及びチャイナ・デベロップメント・ファイ

屬機械工場八千、電氣工場三千二百、陶瓷工廠の機械三千四百餘、化學工廠のもの二千二百餘、炭礦機械八千六百餘、その費用五百萬元を貸與し、また一ヶ年分の材料費として三百五十萬元を貸付したと發表してゐる。國民政府の工業行政は戰前行政院及び軍事委員會より別々に管掌してゐたものだが戰時に入つてからは工業行政機關は經濟部に合併され同部内に改めて工業司、資源委員會工鐵調整處、中央工業試驗所の四機關が出来てゐる。

貿易 輸入制限、輸出獎勵のため貿易調整委員會が軍事委員會によつて設けられ、まづ輸入貿易に對して爲替取組許可制をとつて輸入貿易管理に入り、ついで輸出管理に移つた。この調整委員會は後に機構が修正され財政部及び經濟部の統轄に歸し輸出統制、外國爲替管理に當つてゐる。また廣東、浙江、雲南、四川、湖南、湖北各省には貿易管理會が設けられてゐる。輸出の禁止または制限については「禁運貨物品目條例」及び「禁運貨物品目區域表」が公布され、五十六品目をあげてゐる。

蔣政權と列國との關係

蔣介石が最初から抗戰する決意をしたのは第三國の援助に依頼したことであり、事變以來二ヶ年海軍、航空隊、陸軍の殆んどを潰滅

ナンス・コーポレーションとの間に全額一億五千萬、内材料一億二千萬、資金三千萬、擔保一支那塩稅收入及び剩餘金の借款が成立した。

- 一、廣州灣租借地附近及び佛印の海防一河内を通じて重慶に軍需品を盛んに輸送し殊に我軍の廣東占領により香港よりの輿地輸送路が絶たれてからは殊に甚しい。
- 一、フランスは雲南の昆明に多數の空軍將校を送り支那人飛行家を養成しまた飛行士の蔣介石軍への参加を許し退役大將二名以下六名の軍事顧問を重慶に送つてゐる。
- 一、フランスは租界問題につきイギリスと共に戦線に立ち抗日テロ、反日分子の取締、青天白日旗掲揚問題、第一法院引渡問題等に對し少くとも我方に好意ある態度はとつてゐる。

アメリカ

一、昭和十三年十二月十四日二千五百萬米の對支クレジット設定を許與した。このクレジットは米國復興金融會社が輸出入銀行に對し同行がニューヨークのユニバーサル・トレーディング・カンパニーに二千五百萬米がまでのクレジットを許與する權限を賦與したことである。これは名目は農産物の輸出、桐油の輸入のためとなつてゐるが武器に代へられたとは當然である。すなはちワシントン情報によると右資金は(一)支那

され、自らは遠く四川の山奥に遁入し氣息奄奄ながらもまだ口先だけで徹底抗戰だの最後の勝利だのといつてゐられるのは全く第三國の助け舟による。即ち戰争必需の兵器その他軍需品、長期抗戰に必要な建設諸材料食糧等の供給はこれを悉く第三國に仰いでゐる。しかもその買入資金に缺乏したため借金もするのである。

イギリス

英國は支那にあるその權益が蔣介石政權と密接不離の關係にあり蔣政權の覆没が在支權益の喪失だと深く信じてゐるので政治、經濟、軍事、外交の各方面にわたるあらゆる手段をもつて蔣介石を助けて抗戰させようとしてゐる。そのためには自己一國の力では日本に對して力足らずと思つてかフランス、アメリカ等を誘ひ共同戦線によつて日本の勢力伸張を妨害せんと企圖してゐる。その援蔣政策の具體的なものを略記すれば (イ)上海戰當時における支那軍援助と皇軍への妨害 (ロ)我空爆を非戰動員及び無防禦都市の爆撃なりと宣傳せしめ感傷論をもつてアメリカを動かして日本を非難せしめた

- (ハ)カー大使の蔣介石援助政策と抗戰力旺盛なりとの放送による對外信用の増加
- (ニ)雲南一ビルマ輸送路建設におけるイギリス

における新設工場殊に軍需工場の機械類、開發田の農業機械(二)トラック一千乃至二千台(三)電信電話機具(四)軍服用布地購入に當てられたと報じてゐる。

- 一、昭和十四年三月二十九日の合同通信は米國ユニナイテッド・エアクラフト會社のプラット・ホイットネー發動機製作所との間に國民政府は一千五百萬米のクレジット設定交渉に成功したと報じ、更にその後の報道によると米國飛行機會社三社との間に各種飛行機三百台購入契約が成立したものだといつてゐる。ついで四月二十二日ニューヨーク・タイムスの報道によれば蔣政權とアメリカ飛行機會社との間に飛行機及び器材七百萬が乃至一千五百萬の契約成立を報じてゐる(借款によつて)

一、米政府は昭和十二年五月に締結した米支銀協定を十三年七月擴充して米支金銀協定とし十二月三十一日失効となるべきを更に延長して英國の法幣援助を側面より支持してゐる。一、昭和十四年八月十八日アメリカ大藏省は蔣政權との間に銀塊六百萬オンスの購入契約を結んだと傳へられた。右は蔣政權に二百萬米を供與し物資購入乃至通貨維持の一助たらしむることを目的とするものである。尤も財務當局は銀協定の繼續履行に過ぎないと辭解してはゐるが。

ソ聯

英、佛、米から財政、經濟方面の支援を得てゐる蔣政権は軍事、政治方面においてソ聯の支配下にある。元來今事變の起きたのは蔣介石の國民政府が西安事變以來著しく共產化したことによる。現下の蔣政権内部におけるソ聯（コミンテルン）中國共產黨の権力増大は國民黨の項においてのべてある通りで政治機構の表面にこそ現はれた部分には少いけれども殆んど過半の勢力を占むるに至り國民黨右派との抗争は日に激しく蔣介石はその決裁的地位に立つて苦慮甚しいものがある。共產黨は武漢死守の抗戰徹底主義で蔣介石を引摺り、臨時國民代表大會には政治的進出を企圖して國民參政會を作り上げ以黨治國の國民黨外さらに一の各派混合政黨（共產黨が中心）を作り上げるに成功した。その上重慶移轉後機會あるごとに勢力を伸張し汪兆銘一派の和平論者を追つて國民黨内の急進分子たる馮玉祥、陳誠らを抱込み否應なしに抗戰陣營を強化せしめ、一方國民黨内右派、和平論者退出しによつて蔣介石の勢力分散を企圖して共產黨の發言乃至政治指導權の強化を圖るといふ道方である。このために共同委員會（共產黨—國民黨）の設置にも成功したと傳へられてゐる。汪兆銘の和平聲明以後反共產分子は漸次重慶離脱の現象を起し陳銘樞の如き陳果夫の如き有力軍閥、政治家の

脱出するもの相つぎ重慶の左右分裂は必至と見られるに至つた。故に將來の重慶政権は一個の共產政府と化すであらうと目されるのである。事變の目的は防共精神にありとする當の相手の面影がいよゝく明白となるのである。軍事的にはソ聯は共產黨をして蔣介石と協力せしめ第八路軍乃至新四軍として戦線に加はらしめゲリラ戦術をもつて執拗な抵抗をつゞけてゐる一方飛行機、飛行士、軍需品の供給を新疆省を通じて蘭州、西安に至る新疆ルートとウランバートルより寧夏を経て蘭州に至る赤色ルートの二路により盛んに供給し、徐州戦、武漢戦においてはソ聯將校、ソ聯飛行士の戦死者は多數發見された。一方ソ聯は日本の戦力消耗のため間に間に蔣政権を援けるに際し張鼓峰事件の如き、近くは滿蒙國境ノムハン事件の如き自ら不法なる挑戦によつて直接に我軍に抵抗さへ開始し來つた。故に事變の相手方は蔣政権ではあるが事實は蔣政権は廢物の影であつて正體はソ聯であるといふことは明白な事實である。ソ聯の眞意は事變を契機として日本の国力を消耗せしめ蔣介石の勢力を潰滅せしめて全支那の共產化を圖るといふ一石二鳥主義に存するやうである。ソ聯は事變勃發の昭和十二年八月二十一日駐支ソ聯大使ボゴモロフと國民政府外交部長王寵惠との間に南京においてソ支不辱略條約を締結してゐるが事變の進展に伴ひ蔣政権が敗戦につぐ敗

戦の結果孫科等をしてしきりにソ聯の對支援助強化を哀願し、これに關聯してソ支密約説も傳へられた。これはソ聯に西北特殊地域を提供する代償としてソ聯は蔣政権に對して軍事上の強力援助をなすといふのであるが、右の地區はすでに軍事、行政とも共產黨が政權を握り軍事主任に朱德、政治主任に手澤東が任命され多數のソ聯軍隊が入つてゐると傳へられてゐる。最近重慶政府と共產黨との關係密接が放逐される一方に國民黨の共產黨擁護隊（例へば宣傳文書の破壊、言論の極端な取締、共產黨員の逮捕）が宣傳されてゐる。或はまた共產黨の滿蒙國境移動説の如きこれを要するに抗日戦線上一時的の便宜のために國民黨、共產黨は同床異夢を結びつゝあるのであるが蔣は常に共產勢力を利用するとともにこれを遠ざけて日本の力による破權を計畫し、共產黨は自己の犠牲を小にして蔣政権の組織内に一步づつ合法的に侵蝕してこれを喰はんと互に策謀闘争に必死となつてゐるこれが種々の形となつて現はれ落ちつく先は分裂にあることは前述の通りである。分裂の線には支那事變は新しい段階に達するであらうことは豫測に難くない。十四年八月中旬ニューヨーク着電のU・P再電報によると蔣政権は今回ソ聯政府より總額七億圓（邦貨約四億八千三百萬圓）の借款供與をうくることとなつたと報道してゐるが、眞價前に詳細は不明である。



總說

建國略史

滿洲は未だかつて支那の領土であつたことなく、一度も漢民族に占據され或は統治されたことはない。歴史的に見て滿洲國の獨立は正しい意義をもつものである。滿洲の原住民族は漢民族と異なる滿洲族（ツングース種に屬し肅慎—挾婁—勿吉—靺鞨—渤海—女眞など清朝の系統）蒙古族（ブリアート種に屬し東胡—鮮卑—契丹—蒙古の系統）の二大民族によつて代表され、これら原住民族によつて滿蒙に三千年前の肅慎の時代から高句麗、渤海（靺鞨族）遼（契丹族）金（女眞族）元（蒙古族）清（女眞族）などの獨立國が相次いで建設され、支那本部に對する關係は常に獨立對立であつたばかりでなく、しばしば支那本部を征服統治した。日本は清末より滿洲を侵略すべく南下したロシアを驅逐し、滿洲を確保した。清朝崩潰後張作霖は事實上滿洲の主權者となり、軍閥政治をもつて人民を苛斂誅求し、張作霖死後その子學良は國民黨政權と結んで極端な排日政策を

とり、日本の勢力を滿洲より驅逐せんとしたが、一九三一年九月十八日遂に張學良正規軍の滿鐵爆破に端を發し滿洲事變の勃發となつた。日本軍は神速な行動をもつて張軍閥一派を滿洲から掃蕩し、同時に各地に新政權樹立の民衆運動が起つた。同九月二十七日奉天省地方維持委員會組織、同二十八日熱河の吉林省獨立宣言、張景惠の哈爾濱における東省特別區治安維持會組織、次いで黑龍江省、熱河省も獨立を宣言し滿洲は完全に國民政府の屬地となり脱した。奉天を中心に新國家建設運動は着々と進歩、一九三二年二月十六日奉天で新國家建設會議を開催、同十七日東北行政委員會を結成、二月二十五日國家の組織大綱を發表、同三月一日（大同元年）東北行政委員長張景惠は滿洲國政府の名をもつて建國宣言を公布し、こゝに滿洲國は誕生した。清朝の宣統帝即ち溥儀氏は大同元年三月九日執政に就任し、次いで康徳元年三月一日（一九三四年）帝政が實施された。

滿洲國の躍進

滿洲國の建國精神は日滿一體不可分、民族協和による王道政治を實現し、理想の國家を建設せんとするにあ

り、建國以來日本の援助により目覚しき發展を遂げ、康徳三年（昭和十一年）までに國體の奠基、治安の確保、幣制の統一、地方行政の改善、司法制度の確立、交通網の擴充などあらゆる基本部門の建設を完了し、康徳四年より、いよゝく日滿經濟一體化の線に沿ふ生産力の大擴充計畫を中心に國防體制の強化、國力涵養等第二期建設過程に入つた。かくて康徳四年十二月治外法權の全面的撤廢、同十月滿洲重工業開發會社の設立、産業五ヶ年計畫の修正、同十二月新關稅法の制定、大電の對滿移民計畫などを見たが、康徳五年には修正五ヶ年計畫は所期の成果を収めて康徳六年（昭和十四年）をもつてすでに第三年度に入り國防體制の強化については獨伊兩國との間に防共協定締結、或は日滿共同の軍事作戦を容易ならしむる目的をもつて公布された衛防委員會官制、或は東安、北定兩省の新設による積極的國境建設計畫が行はれ、また國民總服役制の準備に着手した。さらに日滿を一體とする戰時經濟の進展圓滑化については五ヶ年計畫はもとより物資動員計畫の遂行、爲替管理の強化、臨時資金統制法、國民貯金の獎勵物價抑制のため公定價格の設定、貿易の調整ことに輸出の振興による國際收支の改善諸經濟政策の強行が行はれた。しかして北邊振興計畫、開拓策、産業五ヶ年計畫の三つは滿洲

國當面の三大國策といはれ、滿洲國の飛躍的發展が期待される。國際的にも今や滿洲國を正式に承認せる國は日獨伊西洪等六ヶ國に及び、防共國家群の一つとして世界に確固たる地位を確立するに至り、東亞新秩序の建設に邁進してゐる。

◇日滿關係

日滿關係は歴史的には遠く古代に溯ることが出来るが、眞の近代外交は日清、日露兩戰役後に屬する。日本は兩戰役を通じて十餘萬の英鎊と二十億の巨費を失つた。この結果滿洲は日本の特殊權益地帯となり、滿鐵を中心とする日本の投資は十八億に達し、滿洲の平和と開發に努力した。しかるに張軍閥はこの特殊の日滿關係を無視し、日本を排撃した結果滿洲事變となり、滿洲國の誕生となつたのであるが、日本は大同元年(昭和七年)滿洲國誕生と同時にこれを承認しさらに日滿共同防衛に關する日滿議定書が締結され、康徳二年(昭和十年)滿洲國皇帝は御訪日より御歸還後發せられた回鑾訓民詔書によつて建國の大義たる日滿一德一心、一體不可分の國是が昭宣せられた。この日滿一體不可分の精神は各方面に實現せられ、關東軍は共同防衛の任務遂行に當り、また多數の日系官吏は政治の各部門に参畫し、經濟においては對日貿易は滿洲國貿易の七十%以上を占め、日本の對滿投資は大同元年より康徳四年

に至る六年間に二十六億圓に達し、さらに日本事業家及び技術者が多數經濟建設に參加し修正産業五ヶ年計畫の日滿一體化はもとより農業開發のため二十ヶ年五百萬戸計畫による大量の對滿開拓民が入植しつゝある。また物資動員並に資金計畫も日滿一體の線に沿つて改編され、支那事變を契機とする新情勢において日滿一體化の強化はますます重要となつてきた。

◇地勢

滿洲國は北緯三十八度四十分から五十三度五十八分、東經百五十度から百三十五度二十分にわたりその周圍は八、四三八に及んでゐる。東と北はソ聯、西は外蒙、南は圖們江と鴨綠江によつて朝鮮と接し、萬里長城によつて支那と接してゐる。南方渤海灣への口が狭く開けてゐる以外は周圍は山脈で圍まれ、東に長白山系北に小興安嶺、西に興安嶺、南に陰山山脈の一端があり、この中に廣さ三五六、五七二平方キロの豐饒な平野がある。東部滿洲の山脈および西北に連なる興安嶺は大部分未開拓の森林に掩はれてゐる。

◇氣候

滿洲の氣候は大陸的で夏と冬、晝と夜との差が甚しく、冬は長く十月から三月までは寒く北風が吹く。しかし風力は強くなく三寒四暖の現象がある。冬は氷點下をはるかに下り、平均最低氣温は大連零下八・九

奉天同一九・〇、新京同一三・八、哈爾濱同一五・九、滿洲里同一〇・六、霜のない間は僅か五ヶ月で、暑さは南北の差はない。最も暑い時は三十五度に上る。一體に空氣は乾燥し、快晴の日が多く雨量は少い。年平均五〇〇が、その約半分は作物の成長する七、八月に降る。東南部はこれより多く、西部は少い。溫和な春秋二季は短いが滿洲の氣候は凌ぎ難いものではない。

◇人口と面積

一四三平方キロ、人口は治安部調査によれば康徳五年(昭和十三年)十月一日現在三八、三〇一、五〇三人で、これを康徳四年末現在に比すれば一、三五一、五三一人の増加である。このうち在滿日本内地人は四九八、二九四人で康徳四年末現在に比すれば七九、九九四人の増加である。朝鮮人は一、〇四八、二一二人、外國人六五、二二〇人で、滿人は三六、六八九、七七七人で總人口の九割六分七厘に當つてゐる。

◇省別面積及人口(康徳五年十月一日現在)

Table with 3 columns: 省別 (Provinces), 面積(平方千米) (Area in sq km), 人口 (Population). Rows include 奉天, 吉林, 龍江, 黑龍江, etc.

政治、軍事、外交

◇統治組織

大同元年(一九三二年)三月一日建國と同時に暫行的政府組織法を制定したが、康徳元年(一九三四年)三月一日帝政を實施、同日新に六章三十七條の政府組織法(同年十二月及び康徳四年七月改正)を發布、滿洲帝國統治組織を確立し、帝位繼承法は康徳四年三月一日公布され、また同十二月治外法權の撤廢により完全なる獨立國家としての體制を完備するに至つた。滿洲帝國の政體は立憲君主制にして立法、司法、行政の三權分立制を採用してゐる。

▲皇帝

滿洲帝國は皇帝これを統治し、皇帝の尊嚴は侵さるゝことなく、皇帝は國の元首にして組織法の條規により統治權を總攬し立法、司法、行政の三權を行使し、法律、命令、緊急勅令を發する權利並に官制權、任官權、俸給を定むる權及び宣戰、講和、條約締結の權を有し、陸海軍を統率し、勳章その他榮典を授與する權、恩赦權を有する。

帝位は帝位繼承法に本つき康徳皇帝の男系子孫たる男子が永世これを繼承する。皇帝關係の機關には尙書府と宮内府がある。

▲參議府

參議若干名をもつて組織し、皇

帝の最高諮詢機關で

一、法律、帝室令、勅令、豫算及び豫算外國庫の負擔となるべき契約をなすの件、列國交渉の條約及び皇帝の名において行ふ對外宣言その他重要國務の諸項につき皇帝の諮詢を承けその意見を奏する。

二、立法院成立まで當分の間皇帝が發布せらるゝ法律と同一效力を有する勅令、豫算豫算外國庫の負擔となるべき契約をなすの件につき簽發する。

▲立法院 立法院機關たる立法院はその組織に關する法律が未制定であるため事實上存在せず、立法院秘書廳が設けられてゐるに過ぎない。

▲國務院

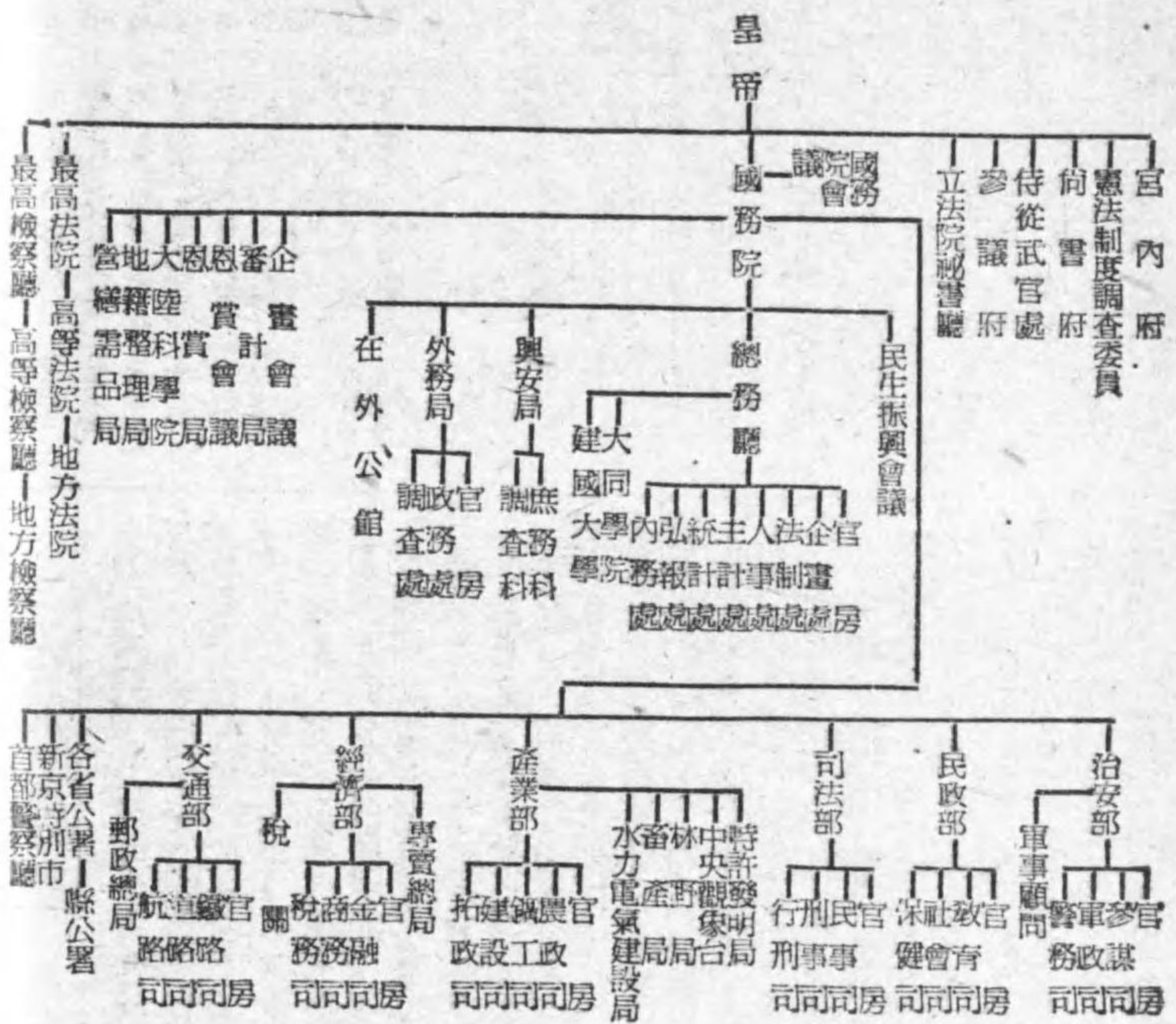
諸般の行政を掌理する機關で、その組織は國務總理大臣の直轄下に外務、興安の二局と治安、民生、司法の行政三部、並に産業、經濟、交通の經濟三部の六部とし、國務總理大臣が皇帝を輔弼しその責に任じ、國務院令を發する行政事務の聯絡統一を圖るため國務會議が設けられ、また國務廳はその直屬機關の中心をなし、重要事項を直宰し、各行政部局の事務に對する指導方針の決定及び統合聯絡を掌理してゐる。政治行政を唯一の國務大臣たる國務總理大臣に歸せしめ、かつ國務廳中心主義になつてゐることは滿洲國行政組織における一大特色である。

Table with 3 columns: 省別 (Provinces), 面積(平方千米) (Area in sq km), 人口 (Population). Rows include 奉天, 吉林, 龍江, 黑龍江, etc.

◇主要都市人口(康徳四年末現在、括弧内は日本内地人口)

Table with 2 columns: 都市名 (City Name), 人口 (Population). Rows include 奉天, 吉林, 龍江, 黑龍江, etc.

表織組府政國帝洲滿 (在現月六年五德康)



▲法院 司法權行使機關にして、法律により民事、刑事の訴訟を審判する。法院は區法院、地方法院、最高法院の四級に分つ。

▲地方行政機關 省、縣、旗、特別市、市、街および村に分れ、康徳六年七月一日内務局が廢止され、これに代り總務廳内に地方處が設けられ、地方行政に關する事務を管掌することになつた。蒙古民族居住地區に對しては異なる行政制度が布かれ、興安局が蒙古行政を擔當してゐる。康徳六年六月一日地方行政機構改革により新に東安、北安の二省を新設全國は奉天、吉林、龍江、熱河、濱江、錦州、安東、間島、三江、通化、牡丹江、黑河、北安、興安東西南北四省の十八省となつた。

▲滿洲帝國協和會 協和會は滿洲建國とともに生れた滿洲國獨創の國民組織で、その本質は康徳三年(昭和十一年)九月植田關東軍司令官によつて發せられた「滿洲帝國協和會の根本精神」に關する聲明に闡明されてゐる。建國精神に則り、政府と表裏一體となり官民圓融一致の獨創的政治を行はんとする一種獨特の國家機構であるが、しかし政治的機關でもなく、また民間團體でもない。協和會會員は民族、職業の如何を問はず建國精神の體得者であるべしとされ、會長は國務總理が兼ねることとなつてゐる。組織單位は分會で

地域別、職場別の二種があり、その指導統制機關として中央本部、首都本部、省本部、縣(旗)本部がある。分會數三千二百餘、會員數百二十萬を超える。建國精神の發揚、厚生興業、組織、協和、宣傳諸情の諸工作を行ひ協和會の政治的實踐活動として官民一體の懇談會ともいふべき聯合協議會が毎年開かれる。また協和青少年團、協和義勇奉公隊がある。

要人

- △宮内府 大臣熙洽、次長鹿兒島虎雄
- △侍從武官處 處長張海鵬
- △參議府 議長臧式毅、副議長橋本虎之助、參議瀧野木不勒、榮厚、直木倫太郎、沈瑞麟、于芷山
- △國務院 國務總理大臣張景惠、國務長官星野直樹、國務廳次長岸信介、同谷次亨
- △外務局 長官蔡運升
- △興安局 總裁札喇爾
- △審計局 長官荒井靜雄
- △恩賞局 長官壽津彰
- △地籍整理局 局長袁慶廉
- △風紀審判局 局長笠原敏郎
- △治安部 大臣于琛、次長薄田美朝

- △第一軍管區司令官王殿忠、第二軍管區同吉興、第三軍管區同李文炳、第四軍管區同邢士廉、第六軍管區同張益三、第七軍管區同張文錫、第八軍管區同王乃佑、興安軍司令官田瑪拉布坦、江上軍司令官尹作乾
- △警察 總監于鏡濤
- △民生部 大臣孫其昌、次長神吉正一
- △司法部 大臣張煥相、次長及川德助
- △産業部 大臣呂榮賢、次長村松稔三
- △經濟部 大臣韓雲階、次長松田令輔
- △專賣總局 局長羅振邦
- △交通部 大臣李紹庚、次長飯野毅夫、技監坂田昌亮
- △郵政總局 局長張書翰
- △最高法院 院長林榮
- △最高檢察廳 廳長李燮
- △省長 奉天金榮桂、吉林閻傳綏、龍江趙龍第、熱河金名世、濱江章煥章、間島李節益、錦州姜恩之、安東黃富俊、三江盧元善、黑河濱田陽兒、通化丁超、牡丹江澁谷三郎、北安馮廣民、東安御影池辰雄、興安東額勒春、興安南壽明阿、興安西諾爾嘎爾札布、興安北額爾欽巴圖
- △新京特別市長 于靜遠
- △協和會中央本部長 橋本虎之助

△駐日大使 阮振鐸、駐伊公使(兼駐西公使)徐紹卿、駐獨公使呂寅文

軍事

滿洲國軍は皇帝の統率する國家の軍隊にして統帥權の委任を受ける者は治安部大臣であり、元首に對して幕僚長であると同時に總司令官である。軍隊は日本軍と共同して平時は國內の治安維持、邊境及び江上の警備に當り、有時に際しては國防に任ずる。全兵力を中央直轄軍と地方警備軍たる八個の軍管區、興安軍および江防艦隊に分つ。直轄軍は主として國防に任じ警備軍は主として地方の治安の肅正に當る。

江防艦隊は建國當時舊式艦利級、利濟、江平、江清、江通の五隻に過ぎなかつたが、爾後大同二年に大同、利民の二砲艦および恩民、普民の三砲艦、康徳元年砲艦濟民および砲艦順天、養民、康徳二年砲艦定邊、親任康徳五年新鋭砲艦永順、祥雲、定順並に江防艦雲雲を加へ總艦艇十九隻となつた。江防艦隊司令官は哈爾濱に置かれ、松花江、黑龍江、烏蘇里江の警備に任じてゐる。

滿洲國の軍隊はかつては軍閥の手兵であり素質劣悪であつたが建國以來これを改編して國軍精神を扶植し組織も整備し素質を向上してその面目を一新するに至り、日本軍と協力してよく討匪の實績を収め國內の治安は今や

殆んど完全で康徳四年支那事變の勃發に當つては邊境の治安確保のため軍を起し、また康徳六年(昭和十四年)五月以來の滿蒙國境ノモンハン事件には日本軍に協力し幾多の功績を樹て、よく日滿同防衛の實を示した。しかしながら現在の募兵制度では應募者は主として貧農の壯丁なるため一層優秀なる軍隊を編成するには徴兵制度を實施するのほかに目下國民總服役制施行の準備が進められてゐる。

外交

對日本關係 建國の歴史、精神より永劫不變の日滿一體不可分の關係による。日本は建國直後滿洲國を承認、大同元年九月日滿議定書調印、康徳二年四月滿洲國皇帝の御訪日その御歸還後漢發せられた日滿關係の大憲章ともいふべき回鑾訓民詔書、同年七月日滿經濟共同委員會設置に關する協定の調印、康徳四年十二月治外法權の全面的撤廢等悉く日滿一體不可分關係を表示するものにはかならない。

對ソ關係 康徳二年三月日本の斡旋により北鐵護衛協定を締結し同鐵道を完全に接收したが、ソ聯はその後極東軍備を増強するとともに國境に對して威壓を加へ、不法行爲を

繰返し、國境不明確に起因する邊境紛争問題水路問題等その他懸案が多數ある。康徳四年(昭和十二年)六月には乾岔子事件あり、また十三年七月には張鼓峰事件が發生した。

對外蒙關係 外蒙に對しては滿洲國は正當な外交關係の樹立を提議し滿洲里會議を開いたが昭和十一年以來停頓状態にあり、全くソ聯の屬領と化した外蒙の不法行爲は絶間なく、昭和十年以來一月同十四年四月に至る四ヶ年間に百八回に及ぶ國境紛争事件を數へたが、昭和十四年五月十一日外蒙ソ軍の不法越境に端を發してノモンハン事件勃發し、日滿軍も外蒙ソ軍との間に大規模な戦闘が滿蒙國境の空陸に展開され、日滿軍は外蒙ソ軍に痛撃を加へ、これを國境線外に撃退した。他方滿ソ國境においても依然小事件が發生してをり、今や五千キロの滿ソ、滿蒙國境をはさんで、日滿對ソ蒙の關係は極めて險惡な状態にあり、これが解決は日滿の國力充實發揮によつてのみ可能である。

對中華民國關係 從來とくに北支との關係が深かつたが、支那事變により蒙疆政權、臨時政府、維新政府が樹立せらるゝや、それぞれ張家口、北京、南京に通商代表部を設けた。其他諸國との關係 イタリア政府は昭和

十二年十一月率先して滿洲國を承認、續いて同年スペインのフランコ政權との間に相互承認が行はれ、昭和十三年二月にはドイツのヒットラー總統が國會において滿洲國の承認を宣言し、さらに同十月にはポーランドが領事の交換を行つて事實上の承認を行ひ、かくて滿洲國の地位は國際的に確立せられ、イタリア及びドイツとの間には通商協定をも結んでその國交ますます緊密を加ふるに至つたが、ハンガリーも昭和十四年一月十日滿洲國を承認し、次いで同十六日滿洲國はハンガリー國とともに、日獨伊の招請を受諾して正式に防共協定に参加する旨の聲明を發表した。かくて滿洲國を正式に承認した國は滿洲國が生れた直後に承認した中米のサルバドルを加へて六國に及んだ。

教育

教育體系は康徳四年(昭和十二年)五月一日より實施された新學制及び康徳六年七月一日より實施された學制改革によつて整備された。教育方針は建國精神及び回鑾訓民詔書の趣旨に本づき日滿一徳一心不可分の關係及び民族協和の精神を體認せしめ、東方道徳特に忠孝の大義を明にし旺盛なる國民精神を涵養し、徳性を陶冶するとともに國民生活の安定に必要な實學を基調として知識技能を授け、適正なる體育を施して身體を強

健ならしめ、忠良な國民を養成するにある。

學校教育は初等教育(國民學舎、國民學校、國民優級學校)、中等教育(國民高等學校、女子國民高等學校)、高等教育(大學)の三段階並に師道教育(師道學校、師道高等學校及び主管大臣の指定する大學)及び職業教育(職業學校)の二部門よりなる。これら學校體系の全段を通じて修業年限は十二年又は十四年とされてゐる。新學制による康徳五年一月末現中等學校以上數は中等學校百三十六(同女學校三十一)、職業學校四十八、實科女學校三十一、師道學校十五、高等專門學校國立四私立四である。唯一の最高學府として建國大學があり、このほか特殊教育學校として大同學院及び蒙古人中學校たる興安學校がある。

財政、經濟

豫算 康徳六年度一般會計は歳入、歳出ともに四〇三、三七七、六五五圓で五年度當初豫算に比すれば九八、八二四、一六四圓の増加、また各特別會計は歳入一、三三三、九五七、四九一圓、歳出一、二八八、二六一六、七四圓となり五年度當初豫算に比して歳入において二五、〇二〇、六六三圓、歳出において一九九、六八九、一三六圓の増増を示

し、一般會計、特別會計を合算すれば歳入一七五七、三三五、一四六圓、歳出一、六九一、六三九、三三九圓となる。しかし右の數字は兩會計に重複計上せられてゐるものをも含んでゐるので、これを控除せる六年度豫算計額は歳入一、〇三〇、六九六、九七〇圓、歳出一、〇四四、〇一一圓となり、前年度豫算額に比して著しく増額した。これは時局に即應して合理的積極財政主義に本づき、國防體制の整備擴充、修正五ヶ年計畫に本づく生産力の擴充、資源の開發、國際收支の適合及び重要物價の需給統制並に民力の涵養、民心の安定に關する諸經費が増加せるに基固するものがある。

康徳六年度歳入歳出豫算(單位千圓)

Table with columns for '歳入' (Revenue) and '歳出' (Expenditure) under '一般會計' (General Accounting) and '各特別會計' (Various Special Accounting). It lists various departments like '臨時部' (Temporary Dept), '經常部' (Regular Dept), and '臨時部' (Temporary Dept) with their respective values.

Table showing '租稅' (Taxes) and '國債' (Government Bonds) with sub-categories like '關稅' (Customs), '內國稅' (Domestic Tax), '印紙收入' (Stamp Revenue), '專賣利益金' (Monopoly Profits), '官業收入' (Public Enterprise Income), '臨時部' (Temporary Dept), '習通' (Communication), '各特別會計' (Various Special Accounting), '國債' (Government Bonds), and '剩餘金' (Residual Funds).

特別會計 康徳六年度における各特別會計としては金鑛鑛業會計を廢止したほか恩給法による收支および恩給積立金に關する會計として恩給會計を設けて五、九六六、二七三圓を計上するとともに日本における滿洲移民事業の進展に對應して未利用地開發の計畫樹立實施、土地の取得管理、改良等の事項を遂行するため新に開拓總局を設け開拓事業會計を起し四二、三三三、八四一圓を計上することになつたので、特別會計はその數二十二となり歳入總計一、三三三、九五七、四九一圓、歳出總計一、二八八、二六、六七四圓となつた。

また康徳六年度起債總額は三九六、四二八千圓を豫定し、うち一般會計に屬するもの六五〇萬圓、各特別會計に屬するもの三三二、四二八千圓となつてをり

康徳六年度豫算中新規事業經費は一般會計において一九三、三四七、六〇七圓、各特別會計において三四一、八三四、四二二圓に達してゐる。

租稅

關稅制度、關稅行政は大同元年七月全滿海關を接收、滿洲の産業開發、對外貿易の伸張、日滿ブロックの見地から大同二年七月、康徳元年十一月、同二年十一月と三回にわたり緊急必要なものにつき暫定的部分的に關稅率の改正が行はれたが、康徳五年一月より新關稅法實施せられ、完全なる關稅行政に關する法制的整備と關稅率の全面的根本的改正を見るに至つた。

内國稅制度 建國以來漸進的に稅制の整理統一に努め、康徳四年度をもつて一應滿洲の特殊事情に即應した近代國家的稅制の確定を見るに至つた。現行稅體系は左の如く收益稅を基幹とし、これに消費稅、交通稅を配したものである。

一、收益稅(イ) 一般收益稅(勤勞所得稅、自由職業稅、地稅、營業稅、法人營業稅)(ロ) 特殊收益稅(出產權石稅、鑛區稅、鑛產稅)

木稅、禁煙特稅、雜稅

二、消費稅(イ)酒稅(ロ)捲菸稅(ハ)菸稅(ニ)三種統稅(綿紗統稅、麥粉統稅、水泥統稅)(ホ)專賣(鹽、火柴、阿片煤油類)

金融

幣制の統一、通貨の安定

滿洲中央銀行は建國直後の大同元年六月設立され、亂脈を極めた舊紙幣整理は康徳二年八月未完了、康徳二年八月末國幣對金圓相地のパー實現を見康徳二年十一月日滿兩國政府は同時に日滿爲替相場維持に關し聲明を發表、爾來滿洲國幣は銀建を離脱し、日本圓にリンクする管理通貨として至く安定するに至つた。また康徳三年十月滿洲興業銀行設立され、康徳四年一月以餘額銀券の流通も廢止され、こゝに國內通貨は至く一元化し、さらに内國普通銀行の整理改善、農民及び庶民金融のための金融合作社の創立も普及、社會政策的な金利引下げ、産業の開發、民生向上を目標とする金融の統制指導は著々と成果ををさめた。

▲貨幣制度 圓(純銀三三・九一%)を單位とし、本位たる銀圓に對しては貨幣を鑄造

對滿投資

産業開發五ヶ年計畫所要資金の調達は康徳五年初頭より好轉し、滿洲國政府公債五千萬圓、滿鐵その他社債二億四千六百萬圓、諸會社株式拂込、政府その他借入金を合すと六億一億圓の資金導入を見、さらに康徳六年に入つて僅か四ヶ月間に滿洲政府公債一億圓、滿鐵その他社債一億五千七百萬圓の成立を見た。

康徳五年末現在における投資殘高は二十六億七千五百萬圓で、大同三年末現在は九億五千五百萬圓であるから、結局六箇年間の對滿投資額は十七億二千四百萬圓に達してゐる。康徳五年末現在投資殘高

一、政府公債 三三、二五〇

二、社債 九三、六五〇

三、株式 一六、一五〇

四、證券投資に準すべき借入金 一〇、八〇〇

其の他 四、四〇〇

總計 一、〇七、二五〇

▲公債 滿洲國の公債は専ら建設事業公債であつて、所謂赤字補填のための財政的經費

人の買屋たる當舖がある。康徳六年二月末現在においてこれら各種金融機關の營業所は特殊銀行一八五店、普通銀行一八七店、金融合作社その他庶民金融機關一九三店、當舖一〇六九店に達し、また全滿金融機關の預金總額は一、〇二三百萬圓、貸出總額は一〇二千萬圓に上る。

諸金融機關預金及び貸出

(康徳六年二月末現在、單位千圓)

機關名	預金	貸出
滿洲國儲蓄會	一、一〇〇	一、一〇〇
滿洲中央銀行	一、一〇〇	一、一〇〇
滿洲興業銀行	一、一〇〇	一、一〇〇
內國普通銀行	一、一〇〇	一、一〇〇
金融合作社	一、一〇〇	一、一〇〇
金融會	一、一〇〇	一、一〇〇
金融組合	一、一〇〇	一、一〇〇
郵政儲蓄會	一、一〇〇	一、一〇〇
無盡會社	一、一〇〇	一、一〇〇
計	一、〇二、三〇〇	一、〇二、三〇〇

日本側機關

日本系銀行	一、一〇〇	一、一〇〇
金融組合	一、一〇〇	一、一〇〇
郵便貯金	一、一〇〇	一、一〇〇
無盡會社	一、一〇〇	一、一〇〇
計	一、一〇〇	一、一〇〇

其他外國系機關

歐米系銀行	一、一〇〇	一、一〇〇
中華民國系銀行	一、一〇〇	一、一〇〇
計	一、一〇〇	一、一〇〇

金融狀況

全滿金融機關の康徳六年二月末の貸出殘高は前年同期に比し五割七分の増加を示し、預金もまた前年同期に比し五割以上の増加を示し、その他爲替取組高、手形交換高もまた著しく増加、中央銀行の通貨發行高も増加し四億二、三千圓を示してゐる。

金融對策

巨額の資金の導入により悪性インフレーションに陥らざるやう政府は貯蓄の奨励、公債の消化、節約の徹底、その他資金吸收策に努力し、資金の合理的な按排統制に當つてゐる。貯蓄は康徳五年度の目標を五億とし、とくに滿人に對する貯蓄思想の涵養が要望されてゐる。外貨資金の獲得については爲替管理貿易統制、外貨資金の配分を合理的に運用するほか日滿貿易の調整、對第三國輸出の振興をはかり、物價は康徳五上半期綿糸布、麥粉等國民生活必需品を中心に一時騰貴し、康徳六年に入り大豆をはじめ雜穀類の昂騰を見これに對し非常時對策が種々講じられ、重要物資については價格公定制又は配給管理制を實施してゐる。

公債とは異なる。内貨公債現在高三億五千四百餘萬圓中建設開辦關係の事業公債は二億五千九百餘萬圓にして七十三%を占めてをり、なほ將來公債に借替を豫定する、借入金については現在高一億四千四百餘萬圓中投資會計負擔分七千餘萬圓、水力電氣建設事業會計負擔分二千餘萬圓、國有林事業會計負擔分一千三百萬圓、その他計一億一千餘萬圓を示し、公債、借入金合計においては五億一千八百餘萬圓中三億六千九百餘萬圓を占めてゐる。

國債現在高(康徳六年四月末現在、單位千圓) 内貨債 外貨債 計

Table with columns for 公債 (Public Debt) and 借入金 (Borrowing). Rows include 一般會計 (General Accounting), 特別會計 (Special Accounting), 小計 (Subtotal), 借入金 (Borrowing), 一般會計 (General Accounting), 特別會計 (Special Accounting), 小計 (Subtotal), 合計 (Total).

貿易

輸出入額年表(單位百萬圓、(一)入超) 年別 輸出 輸入 合計 差引 康徳元年 四六 五五 一〇三 (一)四六 (昭和九年) 四六 五五 一〇三 (一)四六 (同十二年) 四三 六四 一〇七 (一)二二 (同十一年) 四三 六四 一〇七 (一)二二

貿易は逐年飛躍し、康徳五年度においては輸出七億一千四百萬圓(再輸出五千五百萬圓を含む)、輸入十二億七千餘萬圓、輸出入計十九億八千五百萬圓、差引入超五億五千六百萬圓を示した。

主要國別輸出入貿易額

Table showing trade amounts by country (日本, 支那, ドイツ, 其他) for 輸出 (Export) and 輸入 (Import) in 康徳五年度.

産業

滿洲國は建國當初より統制經濟政策をとり昭和八年三月の有名な『經濟建設綱要』は滿洲産業開發の指導精神であり、昭和九年六月の『一般産業に關する聲明書』および昭和十二年五月の『重要産業統制法』は統制の範圍を明かにしたものである。また日滿經濟一體化の線に沿つて昭和十年の『日滿經濟共同

委員會」が成立し、昭和十二年より滿洲産業開發五ヶ年計畫が着手され、支那事變の勃發により同計畫は更に日本經濟との一體化の下に約二倍に修正され擴充されたが、その第二年度たる康徳五年度においては時局柄資材、動力、技術、努力などの關係で種々の障礙があつたにかゝらず所期の成果ををさめ、同計畫の幅軸をなす鑛業部門においては滿洲重工業開發會社をはじめ諸特殊會社によつて鑛業開發事業が營まれ東邊道の資源開發、液化工業の確立など各種工業生産は増大し、農産部門においては未利用地開拓事業の進捗、諸施設の改善整備により逐年農産物產出高が増大しつゝある。さらに滿洲の資源が豫想以上に豊富なることが確認され、これが開發は重點主義をとり、日滿を一體とする総合的な生産の擴充に努めてゐる。滿洲は今や大豆と高粱の國から重工業の國にその相形を變へつゝあり、東亞經濟に一大變革をもたらさんとしてゐるのである。

▲「經濟建設綱要」 (大同二年三月昭和八年) 滿洲國政府發表、滿洲經濟開發の根本方針である。

一、産業の開發振興の利益は一部階級に墮落する、の弊を除き萬民共榮たらしむ。 二、經濟重要部門には國家統制を加へ合理化

方策を講ずる。

- 一、經濟開發は門戸開放、機會均等の精神に則り世界の資源、技術、經驗を利用す。 二、東亞經濟の融合合理化を目的とし、日滿經濟の協調、相互扶助を緊密化ならしむ。 三、國防的又は益公的な重要事業は國營或は特殊會社による經營を原則とす。 四、右以外の各般の經濟事項は民間の自由經營に委す。たゞとくに民福を重んじ生産消費に必要な調節を行ふ。

▲重要産業統制法

昭和十二年五月重要産業統制法を發布して統制の内容を成文化して明示した。左記二十一種の産業は同法の適用を受ける。 兵器、航空機、自動車、鐵油および無水瀝青、鐵、鋼、アルミニウム、マグネシウム、鉛、亜鉛、金、銀、銅の精鍊(金および銀の濕式精鍊を除く)、炭鐵(年産五萬ト以上)毛織物(手織機によるを除く)、絹糸紡績、絹織物(手織機によるを除く)、麻製糸(年産五千ト以上)麻紡績(手織機によるを除く)、製粉(日産能力五百袋以上)ビール、製糖、煙草(紙巻煙草一千万本以上)曹達(天然曹達を除く)、肥料硫酸アモニウム、硝酸アンモニウム、過燐酸石灰石および石灰窒素、パ

ルブ、油坊(抽出式のもの)および陸機十

▲修正産業五ヶ年計畫 滿洲産業五ヶ年計畫は昭和十二年はじめより實施されたが、第一年度半にして支那事變發生し新情勢に應ずべくこれが修正擴充された。昭和十三年五月政府が非公式に發表したところによると新開發目標は鐵、石炭、電力、液體燃料、自動車、飛行機等に重點を置き、鐵礦については鉄礦約五百萬ト、銅塊約三百五十萬ト、鋼材約二百萬ト、石炭については鐵礦、石炭發化、電力等の計畫擴張に對應して約三千八百萬ト、電力については發電容量約二百六十萬ワット(水力、火力は同量)パルプは木材のほか、豆殼等の原料により約四十萬噸、鹽は約百萬ト、金については四ヶ年累計約三億圓を目標としてそれより可能な最大の開發擴張を進めその他アルミニウム、マグネシウム、亜鉛、鉛、鋼など現下緊要の金屬についても能ふ限り増産を期し、何れも當初の計畫につき約倍量の擴大である。液體燃料、自動車、飛行機および工作機械については幾多の困難が豫想されるが萬難を排して本格的工業の確立を期し本計畫の重點をなしてゐる。また農産部門では農家經濟の實際を考慮し貿易増進、自給自足確立をはかり、交通通信部門

においても積極的修正の要あり、右所費資金は略々倍増とし、第二年度以降資金總額は五十億圓の巨額に上るものと見られる。

▲滿洲重工業開發會社の設立 昭和十二年十二月所謂「日産の滿洲移駐」といはれる滿洲の設立を見たことは滿洲産業開發上特筆すべきであらう。同社の資本金四億五千萬圓、日産と滿洲國政府が半分づつ出資し、事業は

(一) 鐵鋼業 (二) 輕金屬工業 (三) 自動車製造業 (四) 航空機製造業 (五) 石炭鑛業に投資、その經營に當るはか金、亞鉛、銅の各鑛業又はその他の事業に附帶的に投資することが出来る。差當り昭和製鋼、滿炭、本溪湖製鐵、滿洲輕金屬、同自動車などの滿鐵傍系會社および滿洲國特殊會社が同社に移讓されその子會社になった。同社は産業開發計畫の中心をなしてゐる。

▲特殊及び准特殊會社 滿洲國産業の樞軸をなす滿洲獨特の國策會社であつて國防または國民經濟上重要な事業については一業一社主義により特殊會社が設けられて來た。特殊會社とは特別會社法の制定されたもの及び日滿兩國間の條約により設立されたものをいひ重役の任免、定款の重要な變更、利益金の處分、合併及び解散決議等に對し政府の認可を要し、その事業上特別の監督を受けるもの

で、准特殊會社とは特別會社法の制定なきも政府が設立認可に際し監督の必要上附款命令を以つて重役の任免、利益金の處分等につき認可を要するものをいふ。康徳五年末現在において特殊會社三十社、公稱資本金十一億六千九百三十萬圓、拂込資本金八億六千八百九十五萬圓、准特殊會社十二社、公稱資本金五億二千九百九十二萬圓、拂込資本金三億一千九百九十萬圓である。

滿洲國特殊、准特殊會社一覽表

(康徳五年末現在、單位千圓)

Table with columns for company name, capital, and industry. Includes entries like 中央銀行, 興業銀行, 拓殖會社, etc.

Table with columns for company name, capital, and industry. Includes entries like 奉天造兵所, 滿洲火藥販賣會社, 滿洲計畫會社, etc.

○准特殊會社

Table with columns for company name, capital, and industry. Includes entries like 昭和製鋼所, 本溪湖製鐵公司, 滿洲鐵山會社, etc.

滿洲會通會社 八,000 普通事業
滿洲豆粉パルプ會社 10,000 五,000 パルプ製造
滿洲航空會社 三,000 三,000 航空運送
計 (十二社) 三二,000 三九,000
總計 (四十二社) 一,一六一,一三〇 一,一八〇,一三〇

▲北邊振興計畫 所謂國境建設で、國防體制化の一環としてソ聯邦と接壤する間島、三江、牡丹江、東安、龍江、黑河、北安、興安の八省にわたり康徳六年(昭和十四年)より三ヶ年計畫、十億圓(政府二億圓、特殊會社二億圓、滿鐵六億圓分擔)をもつて交通、通信、産業、都市文化の各般にわたり積極的開發に當るものである。

▲開拓事業 ○開拓民の現状 滿洲開拓民は昭和七年拓務省の補助によりその第一回試驗移民の入植以來すでに七ヶ年、第一回龍川縣永豐鎮四九三戸(彌榮村)第二回依蘭縣湖濱營四九四戸(千振村)第三回綏化縣北大溝二九八戸、第四回密山縣城子河保及び熔達河保に五〇〇戸第五回密山縣永安屯、朝陽宅、黒台一〇〇〇戸入植し、これら開拓民先驅者の努力により開拓事業成功の確信を得るに至つたので、昭和十一年、二十ヶ年百萬戸、五百萬人の大移民計畫を樹立、まづ第一期の五ヶ年間に十萬戸を入植せしむることとなり、その第一年度

に當る昭和十二年度には集團移民五千戸、自由移民一千戸、昭和十三年も同様六千戸入植し、またこれと並行して毎年三萬人乃至五萬人の青少年開拓民たる青少年義勇隊を入れることとなり、北滿の嫩江、孫吳、綏化、鐵嶺寧安の五大訓練所が設けられ、その第一年度たる昭和十三年には三萬人入所した。昭和十四年度は集團、自由移民一萬一千戸、約五萬人、青少年義勇隊三萬人が入植する。康徳五年末(昭和十三年)現在において集團開拓民八十九團、約二萬二千五百名、集團開拓民は林業開拓民四十五團、約四千名、鐵道自警隊三十三ヶ所、約一千三百名、また青年義勇隊においては鐵道自警隊訓練所を入れて訓練所十七隊員二萬二千人、總計四萬八千人に達した。

滿洲開拓公社は開拓事業助成機關として移民用地總面積千五百萬陌の土地取得整理と開拓民經營助成に當つて來たが、土地取得については康徳六年度以降は滿洲國政府が管掌する。○開拓政策大綱方針 開拓事業は國防上經濟上極めて重要であり東亞の新情勢に即應せしめ開拓、政策の新體制を整へその積極的發展を期するため昭和十四年七月日滿當局が開拓懇談會を開催、開拓政策大綱を決定、日滿兩國の國策として昭和十五年(康徳七年)より實行に着手せられることになつた。

◇鑛業

滿洲は鐵、石炭、砂金その他各種の鑛產資源に富んでゐるが、大部分は未開發の状態にあり、これが開發の重要性に鑑み康徳二年鑛業法を制定し、四十種の法定鑛物を指定し、國營又は私營に關する鑛業の統制を實施してゐる。またこれら鑛物資源に對する採掘精鍊を目的とする事業は特殊會社又は准特殊會社をして行はしめ、滿洲探金、滿洲輕金屬工業、昭和製鋼、本溪湖製鐵、滿洲炭礦、滿洲鑛業開發、滿洲石油、滿洲合成燃料、滿洲油化、滿洲煤山、東邊海開發などの各會社がある。

鑛物資源の主なるものの推定埋藏量並にその著名な産地は左の如し。
石炭 一〇〇(阜新、撫順、本溪湖、烟台復州、西安、道壕、北票、虹子山、鶴崗、裕東、扎賚諾爾)▼鐵 二七(遼陽、本溪湖、臨江、通化、鳳城、磐石)▼金 四五(漢河呼瑪爾河、松花江流域、嫩江上流)▼油頁岩 五九(撫順)▼耐火粘土 二(復州、本溪湖、烟台)▼マグネサイト 五〇(海城、蓋平)▼石灰石 一七(全滿)
昭和十四年夏日滿兩國當路者、専門技術家よりなる日滿共同資源調査が行はれたが、滿洲の鑛物資源の膨大なことを再確認した。すなはち滿洲における鑛産の賦存状況は極め